

市民アンケート調査結果報告書

平成21年3月

芦 屋 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査項目	1
4. 回答結果	1
5. 報告書の見方	2
6. 回答者の基本属性	2
7. 母集団とサンプル集団	9
第2章 調査結果（単純集計）	11
第3章 調査結果の概要	21
第4章 調査結果の分析	22
1. 地域の住み心地について	22
2. 地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについて	74
3. 芦屋市政への考え	110
4. 自由意見	142
付録 アンケート調査票	

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

平成 13 年度にスタートした第 3 次芦屋市総合計画が 8 年目を迎えている中で、現在の市民の意識や関心等を調査・分析し、今後の施策遂行の基礎資料とするため。

2. 調査の方法

- ア 調査対象地域 芦屋市全域
イ 調査対象者 市内在住の 20 歳以上の男女
ウ 対象者数 3,000 人
エ 抽出方法 住民基本台帳登録者から階層別無作為抽出
* 回答者の年齢階層別構成比が母集団（平成 20 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳登録者）の構成比により近づくよう、過去の調査の年齢階層別回答率を参照し、年齢階層別に抽出者数の重みづけを行った。
オ 調査方法 郵送配布・郵送回収調査票
カ 調査期間 平成 20 年 10 月 7 日（火）～10 月 24 日（金）

3. 調査項目

- 地域の住み心地について
- 地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについて
- 芦屋市政への考えについて

4. 回答結果

- ア 実質配布数 2,985 票（未配達 15 票を除く） 未配達率 0.5%
イ 有効回収数 1,811 票（無回答 2 票を除く）
有効回収率 60.7%（1,811 票 / 2,985 票）
ウ 有効回収数 過去の調査結果との比較

	調査時期	配布数	有効回収数	有効回収率 (%)
平成 4 年度調査	平成 4 年 10 月	1,700	1,115	65.6
平成 11 年度調査	平成 11 年 8 月	3,542 (未配達 58 通)	2,126	60.0
平成 16 年度調査	平成 17 年 2 月	1,985 (未配達 15 通)	1,203	60.6

エ 居住地別有効回収率

地区名	抽出者数	実質配布数	有効回収数	有効回収率(%)
精 道	397	397	225	56.7
宮 川	380	379	216	57.0
山 手	648	642	371	57.8
岩 園	430	427	238	55.7
朝日ヶ丘	292	289	159	55.0
潮 見 (潮芦屋除く)	228	227	138	60.8
潮 芦 屋	99	99	60	60.6
浜 風	224	224	140	62.5
打 出 浜	302	301	188	62.5
無 回 答	-	-	76	-
合 計	3,000	2,985	1,811	60.7

* 実質配布数 = 抽出者数から不着により未配達となったものを除いた数

5 . 報告書の見方

- 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、構成比(%)の合計が100.0%にならないことがある。
- 複数回答の設問の場合、集計結果の合計が100.0%を超える。
- グラフ及び表の“N”は有効標本数を表している。
- 構成比(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。

6 . 回答者の基本属性

(1) 性別

性別	回答者数	構成比(%)
1 . 男	738	40.8
2 . 女	1,042	57.5
無回答	31	1.7
合計	1,811	100.0

(2) 年齢

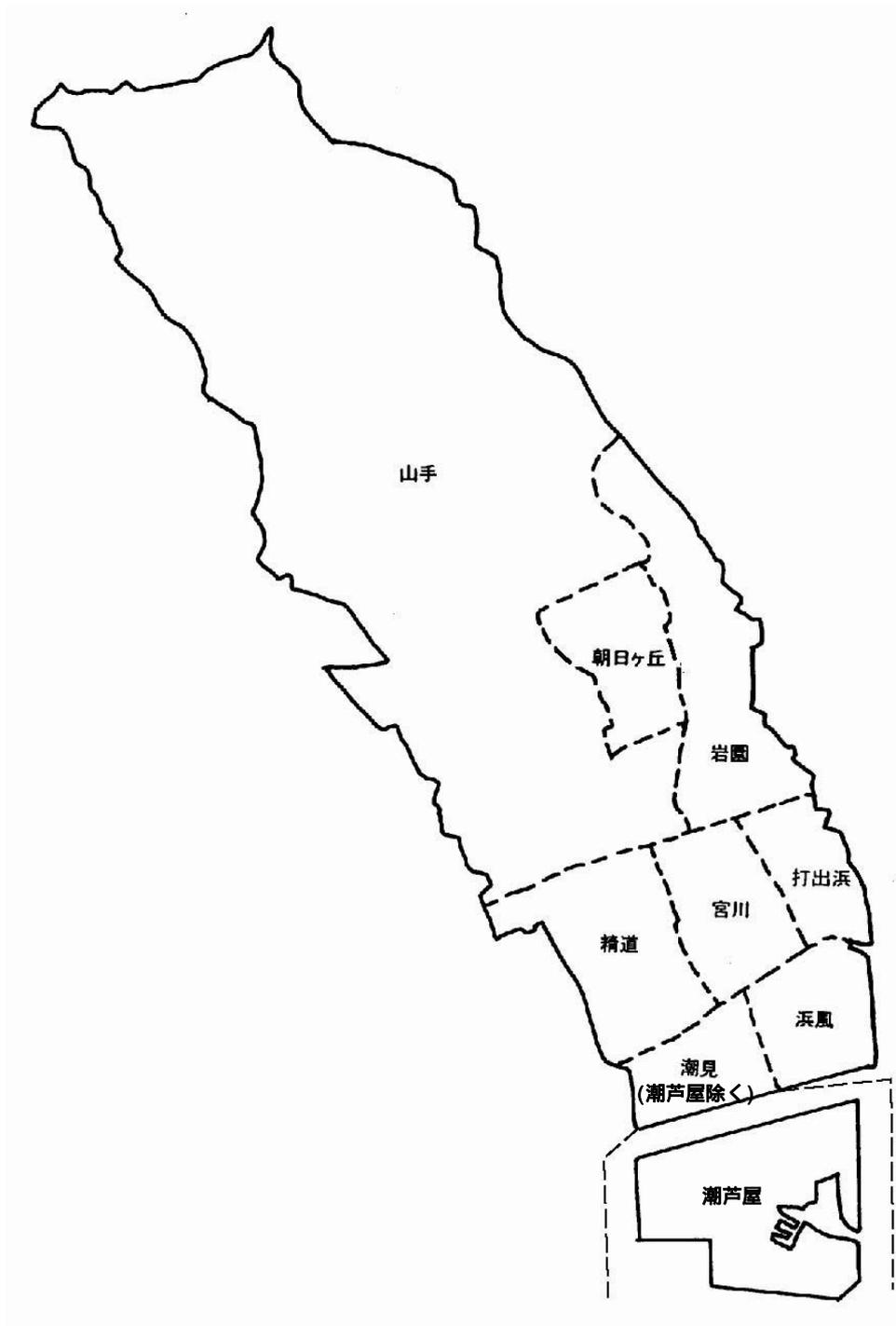
年齢	回答者数	構成比(%)
1 . 20～29 歳	173	9.6
2 . 30～39 歳	355	19.6
3 . 40～49 歳	347	19.2
4 . 50～59 歳	300	16.6
5 . 60～69 歳	279	15.4
6 . 70～79 歳	231	12.8
7 . 80 歳以上	108	6.0
無回答	18	1.0
合計	1,811	100.0

(3) 居住地 (小学校区)

地区名	町	回答者数	構成比(%)
精道	茶屋之町	12	0.7
	大榭町	13	0.7
	公光町	15	0.8
	川西町	21	1.2
	津知町	22	1.2
	竹園町	18	1.0
	精道町	14	0.8
	浜芦屋町	16	0.9
	平田北町	15	0.8
	伊勢町	25	1.4
	松浜町	32	1.8
	平田町	22	1.2
	計	225	12.4
宮川	打出小槌町	31	1.7
	宮塚町	20	1.1
	若宮町	17	0.9
	宮川町	13	0.7
	浜町	50	2.8
	西藏町	44	2.4
	呉川町	41	2.3
計	216	11.9	
山手	奥山	8	0.4
	奥池町	9	0.5
	奥池南町	13	0.7
	劔谷	0	-
	城山	0	-
	山手町	21	1.2
	山芦屋町	23	1.3
	東芦屋町	46	2.5
	西山町	34	1.9
	三条町	43	2.4
	大原町	49	2.7
	船戸町	15	0.8
	松ノ内町	17	0.9
	月若町	12	0.7
	西芦屋町	11	0.6
	三条南町	15	0.8
	上宮川町	7	0.4
	業平町	22	1.2
	前田町	12	0.7
	清水町	14	0.8
計	371	20.5	

地区名	町	回答者数	構成比(%)
岩園	六麓荘町	12	0.7
	岩園町	54	3.0
	翠ヶ丘町	93	5.1
	親王塚町	19	1.0
	楠町	60	3.3
	計	238	13.1
朝日ヶ丘	朝日ヶ丘町	115	6.4
	東山町	44	2.4
	計	159	8.8
潮見 (潮芦屋除く)	若葉町	65	3.6
	緑町	50	2.8
	潮見町	23	1.3
	計	138	7.6
潮芦屋	陽光町	32	1.8
	海洋町	10	0.6
	南浜町	18	1.0
	涼風町	0	-
	計	60	3.3
浜風	新浜町	35	1.9
	浜風町	25	1.4
	高浜町	80	4.4
	計	140	7.7
打出浜	春日町	45	2.5
	打出町	6	0.3
	南宮町	78	4.3
	大東町	59	3.3
	計	188	10.4
無回答		76	4.2
合計		1,811	100.0

図 居住地（小学校区）



(4) 今の住まいの居住年数

居住年数	回答者数	構成比(%)
1. 3年未満	313	17.3
2. 3年以上5年未満	186	10.3
3. 5年以上10年未満	343	18.9
4. 10年以上20年未満	379	20.9
5. 20年以上30年未満	265	14.6
6. 30年以上	260	14.4
無回答	65	3.6
合計	1,811	100.0

(5) 芦屋市での居住年数

居住年数	回答者数	構成比(%)
1. 3年未満	202	11.2
2. 3年以上5年未満	130	7.2
3. 5年以上10年未満	249	13.7
4. 10年以上20年未満	321	17.7
5. 20年以上30年未満	368	20.3
6. 30年以上	475	26.2
無回答	66	3.6
合計	1,811	100.0

(6) 家族の人数(本人を含む)

家族の人数	回答者数	構成比(%)
1. 1人(自分だけ)	169	9.3
2. 2人	595	32.9
3. 3人	449	24.8
4. 4人	390	21.5
5. 5人	114	6.3
6. 6人以上	44	2.4
無回答	50	2.8
合計	1,811	100.0

(7) 家族構成

家族構成	回答者数	構成比(%)
1. 自分だけ	168	9.3
2. 夫婦一組だけ(一世代)	528	29.2
3. 親と子(二世代)	892	49.3
4. 親と子と孫(三世代)	108	6.0
5. その他	60	3.3
無回答	55	3.0
合計	1,811	100.0

(8) 家族構成 (次に該当する方)

家族構成	回答者数	構成比 (%)
1 . 小学生以下 (小学生含む) の児童	358	19.8
2 . 65 歳以上の方	532	29.4
3 . 介護の必要な方	118	6.5
4 . 左記にあてはまる人は一人もいない	809	44.7
無回答	97	5.4
合計	1,811	100.0

(9) 住宅形式

住宅形式	回答者数	構成比 (%)
1 . 持ち家 (戸建・長屋建)	617	34.1
2 . 持ち家 (分譲マンション等)	649	35.8
3 . 民間の賃貸住宅 (戸建・長屋建)	50	2.8
4 . 民間の賃貸住宅 (マンション等)	232	12.8
5 . 県営・市営・公団などの公営賃貸住宅	167	9.2
6 . 社宅・職員住宅	35	1.9
7 . その他	12	0.7
無回答	49	2.7
合計	1,811	100.0

(10) 仕事

仕事	回答者数	構成比 (%)
1 . 営業主・会社経営	114	6.3
2 . 家事手伝い (農林漁業を含む)	12	0.7
3 . 自由業 (弁護士・開業医・個人教師等)	54	3.0
4 . 正社員・正職員などの常勤	448	24.7
5 . 公務員	52	2.9
6 . 派遣職員・アルバイト・パートなど	223	12.3
7 . 専業主婦・主夫	423	23.4
8 . 学生	45	2.5
9 . 無職 (年金生活者)	322	17.8
10 . 無職 (年金生活者を除く)	47	2.6
11 . その他	51	2.8
無回答	20	1.1
合計	1,811	100.0

(11) 勤務先(通学先)

勤務先(通学先)	回答者数	構成比(%)
1. 自宅(専業主婦・主夫・無職を除く)	22	1.2
2. 市内	136	7.5
3. 神戸市	218	12.0
4. 芦屋市・神戸市を除く兵庫県	176	9.7
5. 大阪市	277	15.3
6. 大阪市を除く大阪府	47	2.6
7. 兵庫県, 大阪府以外の都道府県	40	2.2
8. 勤務(通学)していない, 専業主婦・主夫	792	43.7
9. その他	17	0.9
無回答	86	4.7
合計	1,811	100.0

7. 母集団とサンプル集団

(1) 性別年齢別構成比

- 過去のアンケートでは、若年層の回答率が低く、高齢者の回答率が高い傾向が見られるため、平成16年度調査での年齢階層別の回答率の差を考慮して抽出者数の重みづけを行った。その結果、回答者の年齢別構成比は最大(「20～29歳」)で2.4ポイント以内(母集団構成比の20.0%以内)の誤差に収まっている。

(単位 人(%))

性別	年齢	母集団	抽出者	回答者
男	20～29歳	4,330(5.6)	199(6.6)	61(3.4)
	30～39歳	6,603(8.6)	283(9.4)	126(7.0)
	40～49歳	6,204(8.1)	282(9.4)	139(7.7)
	50～59歳	5,680(7.4)	207(6.9)	127(7.0)
	60～69歳	5,803(7.5)	179(6.0)	127(7.0)
	70～79歳	4,026(5.2)	136(4.5)	108(6.0)
	80歳以上	1,780(2.3)	71(2.4)	49(2.7)
	不明	-	-	1(0.1)
	計	34,426(44.7)	1,357(45.2)	738(40.8)
女	20～29歳	4,945(6.4)	249(8.3)	112(6.2)
	30～39歳	8,141(10.6)	369(12.3)	228(12.6)
	40～49歳	7,054(9.2)	322(10.7)	207(11.4)
	50～59歳	6,679(8.7)	244(8.1)	173(9.6)
	60～69歳	6,945(9.0)	198(6.6)	151(8.3)
	70～79歳	5,252(6.8)	156(5.2)	114(6.3)
	80歳以上	3,603(4.7)	105(3.5)	57(3.1)
	不明	-	-	-
	計	42,619(55.3)	1,643(54.8)	1,042(57.5)
不明	20～29歳	-	-	-
	30～39歳	-	-	1(0.1)
	40～49歳	-	-	1(0.1)
	50～59歳	-	-	-
	60～69歳	-	-	1(0.1)
	70～79歳	-	-	9(0.5)
	80歳以上	-	-	2(0.1)
	不明	-	-	17(0.9)
	計	-	-	31(1.7)
計	20～29歳	9,275(12.0)	448(14.9)	173(9.6)
	30～39歳	14,744(19.1)	652(21.7)	355(19.6)
	40～49歳	13,258(17.2)	604(20.1)	347(19.2)
	50～59歳	12,359(16.0)	451(15.0)	300(16.6)
	60～69歳	12,748(16.5)	377(12.6)	279(15.4)
	70～79歳	9,278(12.0)	292(9.7)	231(12.8)
	80歳以上	5,383(7.0)	176(5.9)	108(6.0)
	不明	-	-	18(1.0)
	計	77,045(100.0)	3,000(100.0)	1,811(100.0)

(2) 居住地(小学校区)別構成比

- 居住地(小学校区)別構成比では、精道地区、朝日ヶ丘地区で母集団と差が見られるが、最大(「精道地区」)で1.4ポイント以内(母集団構成比の10.1%以内)の誤差に収まっている。

(単位 人(%))

居住地(小学校区)	母集団	抽出者	回答者
精道	10,662(13.8)	397(13.2)	225(12.4)
宮川	9,681(12.6)	380(12.7)	216(11.9)
山手	16,308(21.2)	648(21.6)	371(20.5)
岩園	10,457(13.6)	430(14.3)	238(13.1)
朝日ヶ丘	7,754(10.1)	292(9.7)	159(8.8)
潮見(潮芦屋除く)	5,497(7.1)	228(7.6)	138(7.6)
潮芦屋	2,638(3.4)	99(3.3)	60(3.3)
浜風	6,017(7.8)	224(7.5)	140(7.7)
打出浜	8,031(10.4)	302(10.1)	188(10.4)
不明	-	-	76(4.2)
合計	77,045(100.0)	3,000(100.0)	1,811(100.0)

* 母集団 = 住民基本台帳(平成20年10月1日現在の20歳以上の登録者)

第2章 調査結果(単純集計)

地域の住み心地についてお伺いします。

問1 あなたは、今お住まいになっている地域(町, 学区など)を住みよいところだと思えますか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N=1,811】

1. かなり住みよい	38.3%	4. かなり住みにくい	0.9%
2. どちらかといえば住みよい	50.4%	5. わからない	1.4%
3. どちらかといえば住みにくい	4.1%		

(無回答 4.9%)

(単位 %)

問2 あなたは、お住まいになっている地域の生活環境について、どのように感じておられますか。
a ~ pの項目ごとに、1から5の数字を **1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N=1,811】

		かなり良い	やや良い	普通	やや悪い	かなり悪い	(無回答)
安全・安心	a 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性	11.6	22.5	52.1	8.9	1.9	3.0
	b 子どもが外で遊ぶときの安全性	6.6	23.0	46.4	16.4	3.8	3.9
	c 通園・通学時の安全性	9.1	24.5	46.4	13.8	1.7	4.6
	d 夜道の明るさなどの安全性	3.5	16.2	37.1	30.3	9.8	3.2
	e 周辺道路の交通安全性	3.9	18.4	50.0	21.3	3.6	2.8
	f 医院, 病院等の医療機関の充足	5.9	18.8	43.4	22.8	6.6	2.5
	g 休日や夜間の急病時の安心さ	2.7	11.9	44.8	27.4	9.3	3.9
住環境	h 河川・海辺などの水辺の環境	15.6	33.8	37.6	7.5	1.7	3.8
	i 緑などの自然の豊かさ	30.8	39.9	21.6	4.4	0.9	2.4
	j まち並み等の景観の美しさ	28.7	40.1	24.0	4.5	0.6	2.3
	k 公園・広場・緑地等の充足	20.2	35.7	31.9	7.6	1.8	2.8
	l ごみやタバコ等の散乱状況	14.4	35.6	33.1	11.4	3.3	2.3
	m 隣近所との付き合い	4.8	17.6	60.3	11.6	3.3	2.5
	n 地域のコミュニティ活動の状況	3.9	17.7	59.6	12.8	2.5	3.5
生活利便	o 日用品・食料品等の買物の便利さ	19.1	28.4	27.5	16.8	6.5	1.7
	p 通勤・通学時の便利さ	19.7	27.8	33.1	12.6	3.9	2.9

問3 あなたは、今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。
 転勤等による移転予定の有無に関わらず、ご自身の気持ちとして該当するものを次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1. 永住したい	<input type="checkbox"/>	→ 問4へ	40.7%
2. 当分住み続けたい	<input type="checkbox"/>		43.0%
3. 移転したい(市内へ)	<input type="checkbox"/>	→ 問5へ	5.0%
4. 移転したい(市外へ)	<input type="checkbox"/>		5.4%
5. わからない	<input type="checkbox"/>	→ 問6へ	3.6%

(無回答 2.3%)

問3で、「1.永住したい」、「2.当分住み続けたい」と答えた方に、お伺いします。

問4 住み続けたいと思われる理由を、次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。 【N = 1,516】

1. 芦屋らしさを感じられる	18.4%
2. 地域イメージが良い	32.9%
3. 豊かな自然環境に恵まれている	40.2%
4. 歴史的な景観や伝統がある	3.7%
5. 自分や家族の勤め先が芦屋市内である	4.9%
6. 交通が便利である	46.6%
7. 買い物や医療など日常生活に便利である	25.5%
8. 住宅事情や住宅環境が良い	29.7%
9. 物価や住居費が適当である	2.4%
10. 学校などの教育環境に恵まれている	3.6%
11. 集会所などのコミュニティ施設が充実している	1.8%
12. 文化・スポーツ施設が充実している	2.6%
13. 衛生環境が良い・近隣公害が少ない	21.5%
14. 隣近所とのつきあいがよい	5.2%
15. 長年、住み慣れている	29.3%
16. 家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がる	3.8%
17. 特に理由はない	0.6%
18. その他	1.6%

(無回答 0.2%)

問6へお進みください。

問3で、「3. 移転したい(市内へ)」、「4. 移転したい(市外へ)」と答えた方にお伺いします。

問5 移転したいと思われる理由を、次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。
【N = 188】

1. 芦屋らしさがなくなった	8.5%
2. 地域イメージが良くない	7.4%
3. 自然環境に恵まれていない	6.9%
4. 歴史的な景観や伝統が乏しい	1.6%
5. 働く場所がない	7.4%
6. 交通が不便である	29.3%
7. 買い物や医療など日常生活に不便である	31.4%
8. 住宅事情や住宅環境が悪い	23.4%
9. 物価や住居費の負担が大きい	30.9%
10. 学校などの教育環境が良くない	5.9%
11. 集会所などのコミュニティ施設が整っていない	2.7%
12. 文化・スポーツ施設が充実していない	2.7%
13. 衛生環境が悪い・近隣公害がある	9.0%
14. 隣近所とのつきあいが悪い	9.0%
15. 住み慣れていない(近年, 引っ越してきたばかりである)	9.0%
16. 家を継いだり, 家族の介護や世話をする必要がある	5.9%
17. 特に理由はない	1.6%
18. その他	12.2%

(無回答 5.3%)

問6へお進みください。

問6 芦屋市外に移転の予定がありますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

【N = 1,811】

1. 移転予定がある	<input type="checkbox"/>	→	問6 - 1へ	2.9%
2. 将来移転の可能性はある	<input type="checkbox"/>	→		17.5%
3. 移転予定がない	<input type="checkbox"/>	→	問7へ	58.6%

(無回答 21.0%)

問6 - 1 移転の主な理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

【N = 370】

1. 転勤のため	33.2%
2. 介護のため	8.4%
3. 家を継ぐため	11.1%
4. その他の理由	45.4%

(無回答 1.9%)

地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについてお伺いします。

問7 あなたは、芦屋市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1. かなり関心がある	14.2%	4. まったく関心がない	1.5%
2. ある程度関心がある	64.7%	5. わからない	2.3%
3. あまり関心がない	16.9%		

(無回答 0.4%)

問8 あなたは、地域内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1. かなり関心がある	11.6%	4. まったく関心がない	2.2%
2. ある程度関心がある	62.8%	5. わからない	2.3%
3. あまり関心がない	20.6%		

(無回答 0.6%)

問9 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1. 日ごろから親しくしている	13.0%	3. あいさつをする程度	54.8%
2. 立ち話をする程度	26.2%	4. ほとんどつきあいがいい	5.6%

(無回答 0.4%)

問10 あなたは、お住まいの地域で、地域活動の機会があれば参加しますか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1. 現在、参加しており、今後も参加したい	13.5%	
2. 現在、参加しているが、今後は参加したくない	1.4%	→ 問10-1へ
3. 以前、参加したことがあり、今後も参加したい	13.6%	
4. 以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない	8.3%	
5. これまで参加したことはないが、今後は参加したい	26.6%	→ 問10-2へ
6. これまで参加したことがなく、今後は参加したくない	34.5%	→ 問10-3へ

(無回答 2.1%)

問 10 - 1 どんな地域活動に参加していますか、または参加していましたか。次の中からいくつでも選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】

1 . 防災活動	15.9%	7 . 交通安全活動	3.9%
2 . 防犯活動	12.1%	8 . スポーツ・リクリエーション活動	28.5%
3 . 公園や道路の清掃活動	38.4%	9 . リサイクルなどの環境活動	17.5%
4 . 緑化や園芸活動	7.9%	10 . まつりなどの交流行事	42.6%
5 . 子育て支援活動	12.0%	11 . その他	8.1%
6 . 障がい者や高齢者の生活支援	5.4%		

(無回答 5.5%)

問 10-2 または 問 10-3 へお進みください。

問 10 で「参加したい」(回答番号 1 . 3 . 5 .) と回答された方にお伺いします。

問 10 - 2 どのようなテーマであれば参加したいと思いますか。次の中から3つ以内

1 . 防災活動	14.6%	7 . 交通安全活動	6.0%
2 . 防犯活動	16.1%	8 . スポーツ・リクリエーション活動	30.1%
3 . 公園や道路の清掃活動	23.0%	9 . リサイクルなどの環境活動	20.7%
4 . 緑化や園芸活動	19.5%	10 . まつりなどの交流行事	28.1%
5 . 子育て支援活動	18.7%	11 . その他	1.1%
6 . 障がい者や高齢者の生活支援	10.1%		

で選び 印を付けてください。

【N = 974】

(無回答 11.7%)

問 11 へお進みください。

問 10 で「参加したくない」(回答番号 2 . 4 . 6 .) と回答された方にお伺いします。

問 10 - 3 参加したくない主な理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 799】

1 . 地域の活動に関心がない	8.5%
2 . 時間的にゆとりがない	44.8%
3 . 体力的にゆとりがない	20.2%
4 . 人間関係がわずらわしい	16.5%
5 . その他	3.5%

(無回答 6.5%)

芦屋市政へのお考えについてお伺いします。

問 11 あなたは、市の行政についてどの程度関心がありますか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。【N = 1,811】

1. かなり関心がある	13.9%	4. 全く関心がない	2.1%
2. ある程度関心がある	58.3%	5. わからない	4.4%
3. あまり関心がない	19.7%		

(無回答 1.7%)

問 12 あなたは、市の行政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から**いくつでも**選んで 印を付けてください。【N = 1,811】

1. 市が実施するアンケート調査で回答したい	59.0%
2. パブリックコメント（行政計画等を策定する過程での市民の意見募集）があれば意見等を述べたい	15.7%
3. 市長や議員との懇談会などがあれば参加したい	12.6%
4. 市民の自主的な集まりがあれば参加したい	8.7%
5. 陳情・請願等により意見を述べたい	3.4%
6. 市の審議会や委員会のようなものに委員として参加したい	4.3%
7. 議員や専門家に任せる	22.3%
8. その他の方法	1.0%
9. 関心がない	11.1%

(無回答 5.1%)

問 13 下記の a ~ v の各項目は、第 3 次芦屋市総合計画（まちづくりの指針として平成 13 年度にスタート）に基づく取り組みです。

あなたは、それぞれの取り組みについてどのような感想をお持ちですか。また、
 今後はどのような期待をお持ちですか。

a ~ v の各項目について、それぞれ数字を 1 つだけ 選んで 印を付けてください。

【N = 1,811】 (単位 %))

		現在までの取組 へのご感想					今後の取組 への期待				
		充分 である	普通	不充 分である	わ か ら な い	(無 回 答)	わ か ら な い	も と と 力 を 入 れ て 欲 し い	程 度	こ れ ま で と 同	(無 回 答)
生活 環 境	a 地域活動への支援	2.9	46.8	8.7	33.8	7.8	22.0	38.6	25.1	14.2	
	b 安全と防災の確保	4.6	57.0	15.4	16.7	6.4	44.8	33.5	9.8	11.9	
	c 環境を大切にす取組	14.6	53.1	13.2	12.0	7.0	39.2	40.7	8.1	12.0	
	d 差別のない社会への取組	5.9	44.2	6.9	35.3	7.7	15.2	42.4	29.0	13.4	
	e 地域特性を生かした産業の振興	2.3	31.5	21.0	37.6	7.5	28.1	28.6	30.5	12.9	
	f 消費者保護の対策	1.8	37.7	18.4	34.6	7.5	33.3	29.0	24.7	12.9	
保 健 ・ 医 療 ・ 福 祉	g 保健・医療・福祉の連携	2.9	43.3	29.6	17.6	6.6	54.1	23.4	10.8	11.7	
	h 共に助け合う地域福祉の推進	2.5	43.8	15.3	30.9	7.6	30.8	33.7	22.4	13.2	
	i 高齢者の自立への支援	2.6	36.7	19.8	34.3	6.6	38.5	25.2	23.9	12.4	
	j 子育て支援	3.3	37.2	18.3	33.0	8.2	37.3	25.5	24.0	13.3	
	k 障がいのある人の生活と社会参加への支援	2.7	33.0	14.2	42.6	7.5	29.5	26.6	30.9	13.0	
	l 経済的困窮者への支援	3.1	29.3	12.5	47.3	7.8	24.0	27.5	35.5	13.1	
教 育 ・ 文 化	m 学校教育と教育施設の充実	5.1	45.4	18.7	23.7	7.1	35.1	33.8	18.2	12.8	
	n 文化・芸術・スポーツなどの活動への支援	6.5	52.4	13.3	21.0	6.8	28.4	43.2	16.4	12.0	
	o 男女が対等に共同参画する社会づくり	3.0	43.7	5.8	40.0	7.5	12.5	41.9	32.6	13.0	
	p 国内・国際交流の促進	5.4	43.3	7.6	35.9	7.7	16.5	41.3	29.4	12.9	
都 市 基 盤	q 住宅都市にふさわしいまちづくり	16.2	55.1	10.5	10.9	7.2	32.7	47.0	7.9	12.4	
	r 安全で快適な交通環境の整備	8.3	54.3	22.0	8.1	7.3	44.3	38.5	5.8	11.4	
	s 上・下水道などの整備	22.1	54.1	4.4	12.0	7.5	15.3	62.2	10.0	12.5	
	t 景観の美しいまちづくり	26.8	50.9	9.3	6.4	6.6	34.8	48.9	4.8	11.4	
行 政	u 市民参画と協働の推進	1.7	43.0	8.0	39.5	7.8	16.9	37.3	32.3	13.5	
	v 効率的な市役所づくり	3.9	42.6	20.3	26.9	6.3	38.7	30.2	20.1	11.0	

前ページの取り組み以外で、あなたが「今後取り組みが必要である」と思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

あなた自身のことについてお伺いします。

1 あなたが今、お住まいになっている町名は。

町

2 あなたは、今お住まいになっているところで何年住んでおられますか。

(一度転出して、また戻ってこられた場合は、戻ってこられてからの年数)【N = 1,811】

1 . 3年未満	17.3%	4 . 10年以上 20年未満	20.9%
2 . 3年以上 5年未満	10.3%	5 . 20年以上 30年未満	14.6%
3 . 5年以上 10年未満	18.9%	6 . 30年以上	14.4%

(無回答 3.6%)

3 あなたは通算して、芦屋市に何年住んでおられますか。

(一度転出して、また戻ってこられた場合は、以前住んでいた年数も含める)【N = 1,811】

1 . 3年未満	11.2%	4 . 10年以上 20年未満	17.7%
2 . 3年以上 5年未満	7.2%	5 . 20年以上 30年未満	20.3%
3 . 5年以上 10年未満	13.7%	6 . 30年以上	26.2%

(無回答 3.6%)

4 あなたは今、何人で住んでおられますか。(あなた自身も含めた人数)【N = 1,811】

1 . 1人(自分だけ)	9.3%	4 . 4人	21.5%
2 . 2人	32.9%	5 . 5人	6.3%
3 . 3人	24.8%	6 . 6人以上	2.4%

(無回答 2.8%)

5 一緒に住んでいる方々はどのような構成になっていますか。

【N = 1,811】

1 . 自分だけ	9.3%	4 . 親と子と孫(三世代)	6.0%
2 . 夫婦一組だけ(一世代)	29.2%	5 . その他	3.3%
3 . 親と子(二世代)	49.3%		

(無回答 3.0%)

6 一緒に住んでいる方々のうち、次に該当する方はおられますか。

(あてはまるものすべて)

【N = 1,811】

1 . 小学生以下(小学生含む)の児童	19.8%	4 . 左記にあてはまる人は一人もいない	
2 . 65歳以上の方	29.4%		44.7%
3 . 介護の必要な方	6.5%		

(無回答 5.4%)

7 あなたのお住まいの住宅形式は。

【N = 1,811】

1 . 持ち家(戸建て・長屋建)	34.1%	5 . 県営・市営・公団などの公営賃貸住宅	
2 . 持ち家(分譲マンション等)	35.8%		9.2%
3 . 民間の賃貸住宅(戸建て・長屋建)	2.8%	6 . 社宅・職員住宅	1.9%
4 . 民間の賃貸住宅(マンション等)	12.8%	7 . その他	0.7%

(無回答 2.7%)

8 あなたの年齢は。 【N = 1,811】

1 . 20 ~ 29 歳	9.6%	5 . 60 ~ 69 歳	15.4%
2 . 30 ~ 39 歳	19.6%	6 . 70 ~ 79 歳	12.8%
3 . 40 ~ 49 歳	19.2%	7 . 80 歳以上	6.0%
4 . 50 ~ 59 歳	16.6%		

(無回答 1.0%)

9 あなたの性別は。 【N = 1,811】

1 . 男性	40.8%	2 . 女性	57.5%
--------	-------	--------	-------

(無回答 1.7%)

10 あなたのお仕事は。(兼業の方は主な仕事についてお答えください。) 【N = 1,811】

1 . 営業主・会社経営	6.3%	7 . 専業主婦・主夫	23.4%
2 . 家業手伝い(農林漁業を含む)	0.7%	8 . 学生	2.5%
3 . 自由業(弁護士・開業医・個人教師等)	3.0%	9 . 無職(年金生活者)	17.8%
4 . 正社員・正職員などの常勤	24.7%	10 . 無職(年金生活者を除く)	2.6%
5 . 公務員	2.9%	11 . その他	2.8%
6 . 派遣職員・アルバイト・パートなど	12.3%		

(無回答 1.1%)

11 勤務または通学されている方にお伺いします。主な勤務先(または通学先)をお答えください。(働きながら通学されている方は,勤務先) 【N = 1,811】

1 . 自宅(専業主婦・主夫・無職を除く)	1.2%	6 . 大阪市を除く大阪府	2.6%
2 . 市内	7.5%	7 . 兵庫県,大阪府以外の都道府県	2.2%
3 . 神戸市	12.0%	8 . 勤務(通学)していない,専業主婦・主夫	43.7%
4 . 芦屋市・神戸市を除く兵庫県	9.7%	9 . その他	0.9%
5 . 大阪市	15.3%		

(無回答 4.7%)

12 市政やまちづくりに対して,意見・要望などがありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第3章 調査結果の概要

調査結果の概要については次のとおりである。詳しくは第4章(P22～)で分析している。

1. 地域の住み心地について-----P 22

「住みよいと感じている人」は9割近くを占める。
市全体では「自然」、「景観」に対する評価が高く、「安全」、「安心」については評価が低くなっている。
約8割が定住意識を持っている。
住み続けたい理由は「交通が便利」、「豊かな自然に恵まれている」が多くなっている。
移転したい理由は「買い物や医療など日常生活に不便である」、「物価や住居費の負担が大きい」、「交通が不便」が多い。

2. 地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについて-----P 74

市内及び地域のできごとや動きに対する関心は高い。
隣近所とは「あいさつをする程度のつきあい」が多いが、年齢や居住年数による差がある。
5割を超える人が地域活動に参加意識を持っている。
参加したことがある地域活動テーマは「まつりなどの交流行事」、「公園や道路の清掃活動」、「スポーツ・リクリエーション」が多い。
地域活動について参加を希望するテーマは年齢や居住地区によって異なる。
地域活動に参加したくない理由は「時間的にゆとりがない」が最も多い。

3. 芦屋市政への考え-----P 110

7割を超える人が市政に関心を持っている。
市政への意見の反映方法はアンケート調査が多い。
第3次芦屋市総合計画に基づく取り組みは、5割以上の人々が「保健・医療・福祉」に力を入れて欲しいと期待している。

4. 自由意見-----P 142

環境・衛生,まちづくり・整備,教育・福祉,生活環境,行政についての様々な意見

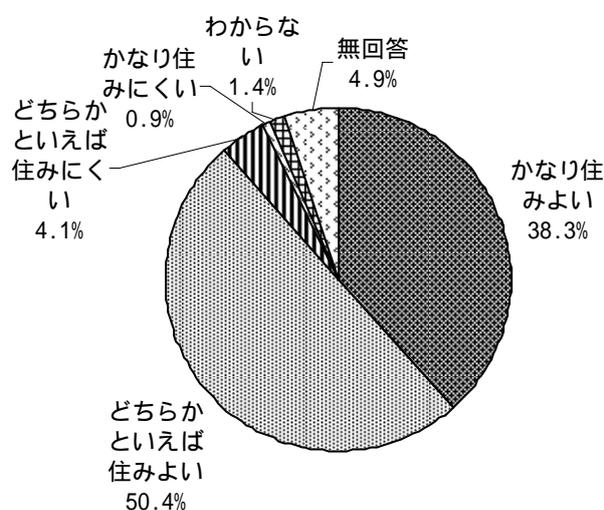
第4章 調査結果の分析

1. 地域の住み心地について

(1) 地域の住みよさ

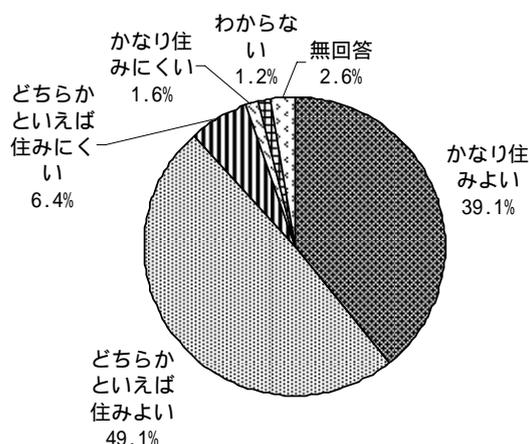
『住みよいと感じている人』は9割近くを占める

問1 あなたは、今お住まいになっている地域(町, 学校区など)を住みよいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N=1,811】



過去の調査結果(平成16年度調査)

問10 あなたは、今お住まいになっている地域を住みよいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで 印をつけてください。 【N=1,203】



地域の住みよさについて、「どちらかといえば住みよい」が50.4%、「かなり住みよい」が38.3%となっており、合わせて88.7%の人が住みよいと感じている。

平成16年度調査と比較すると、「非常に住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた「住みよいと感じている人」は88.2%から88.7%と0.5ポイント上昇している。また、「どちらかといえば住みにくい」と「かなり住みにくい」を合わせた「住みにくいと感じている人」は8.0%から5.0%と3.0ポイント低下している。

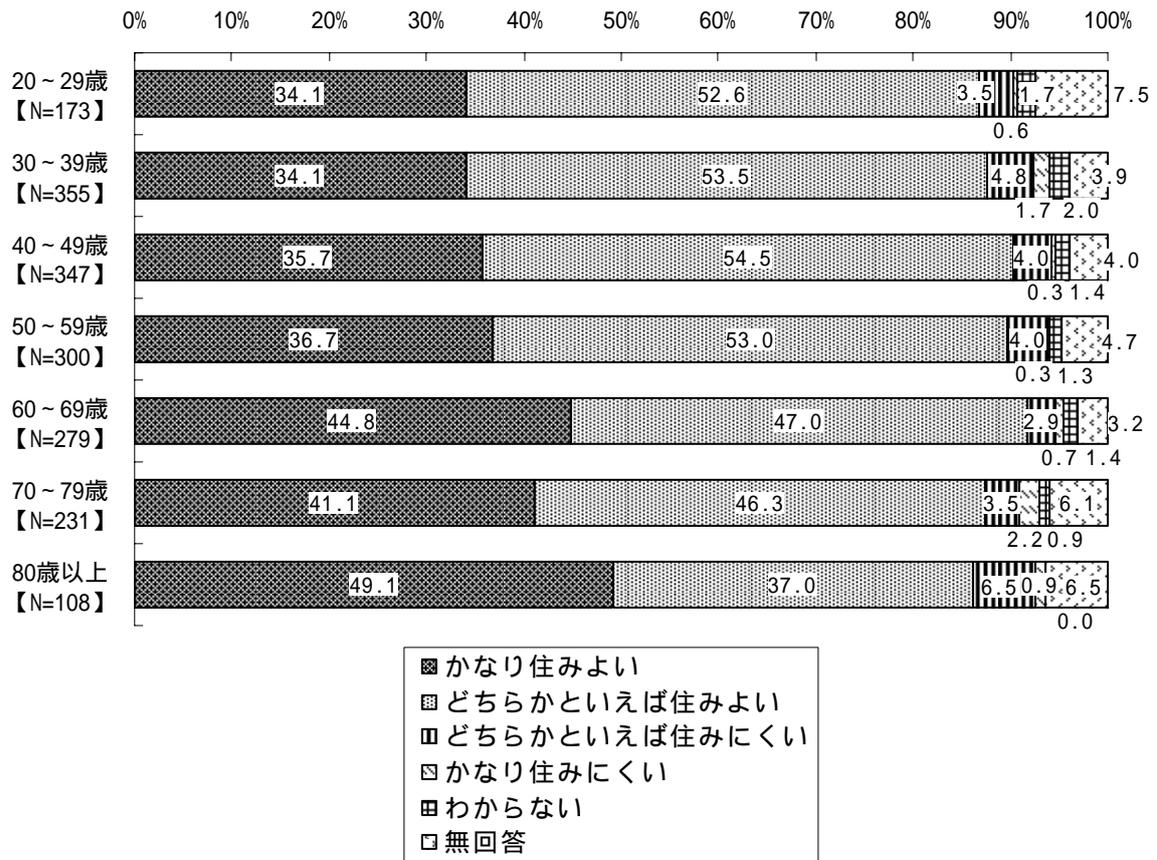
年齢別にみると、すべての年齢層で「住みよいと感じている人」が8割以上となっている。

居住地別にみると、精道、山手、岩園地区で「かなり住みよい」と回答している人は4割を超えているが、打出浜地区では28.2%と最も少なくなっている。

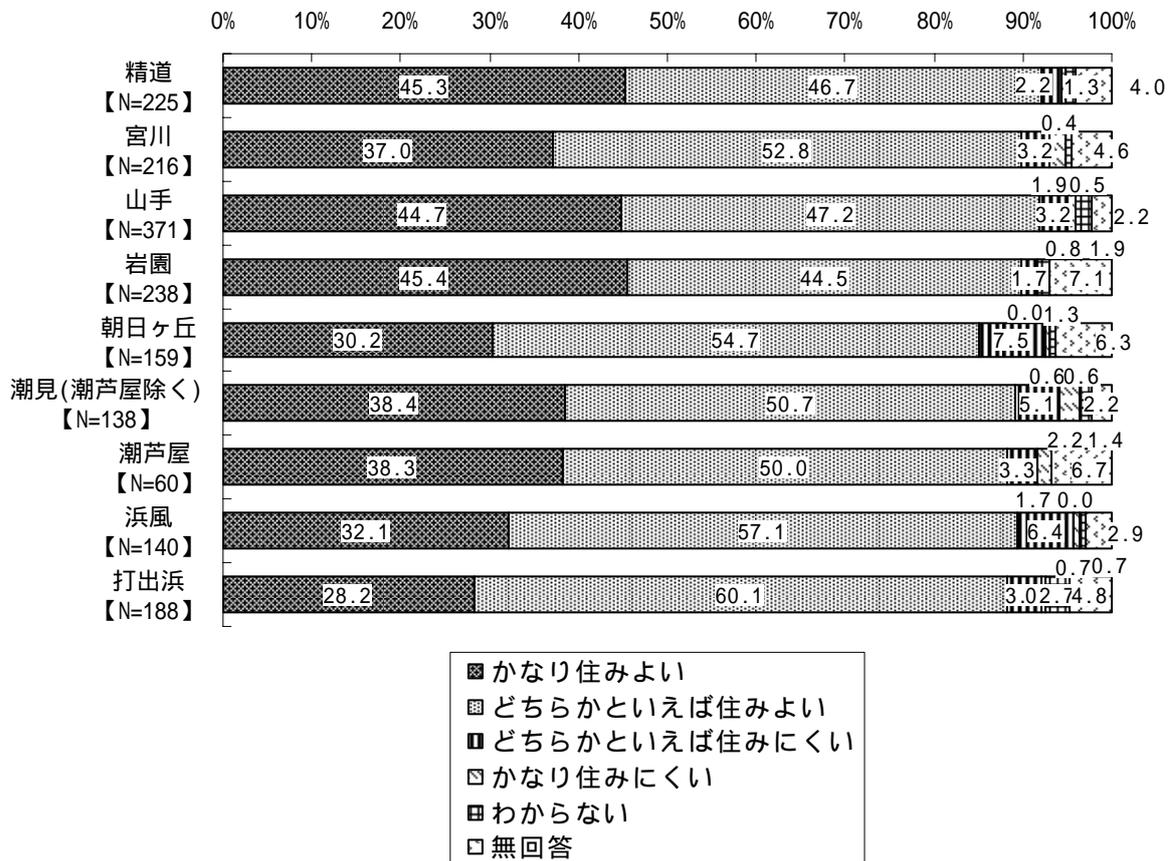
定住意識別にみると、「住みよいと感じている人」は「永住したい」、「当分住み続けたい」が9割以上となっており、「移転したい(市内)」、「移転したい(市外)」と回答している人でも「住みよいと感じている人」は5割以上となっている。

住宅形式別にみると、「住みよいと感じている人」は「その他」を除く住宅形式で8割以上となっており、「持ち家」で「かなり住みよい」と感じている人は4割以上と多くなっている。

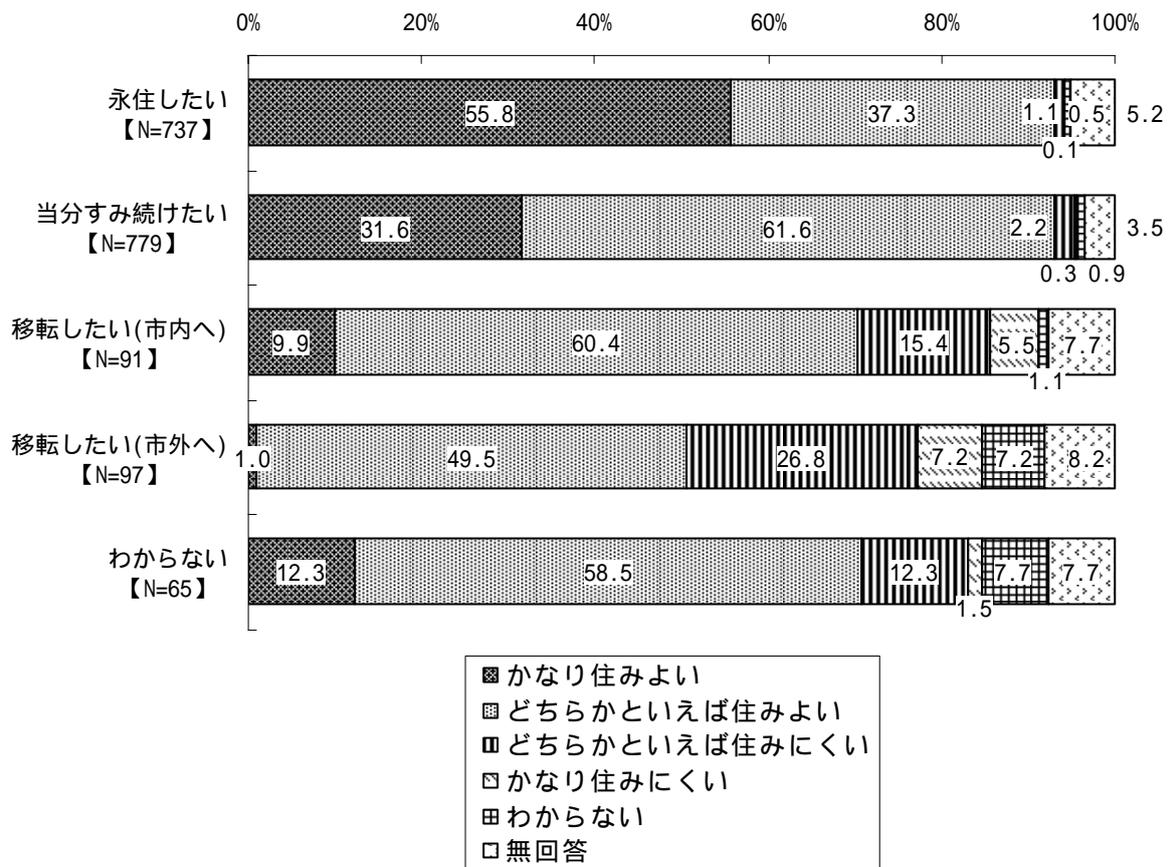
年齢別



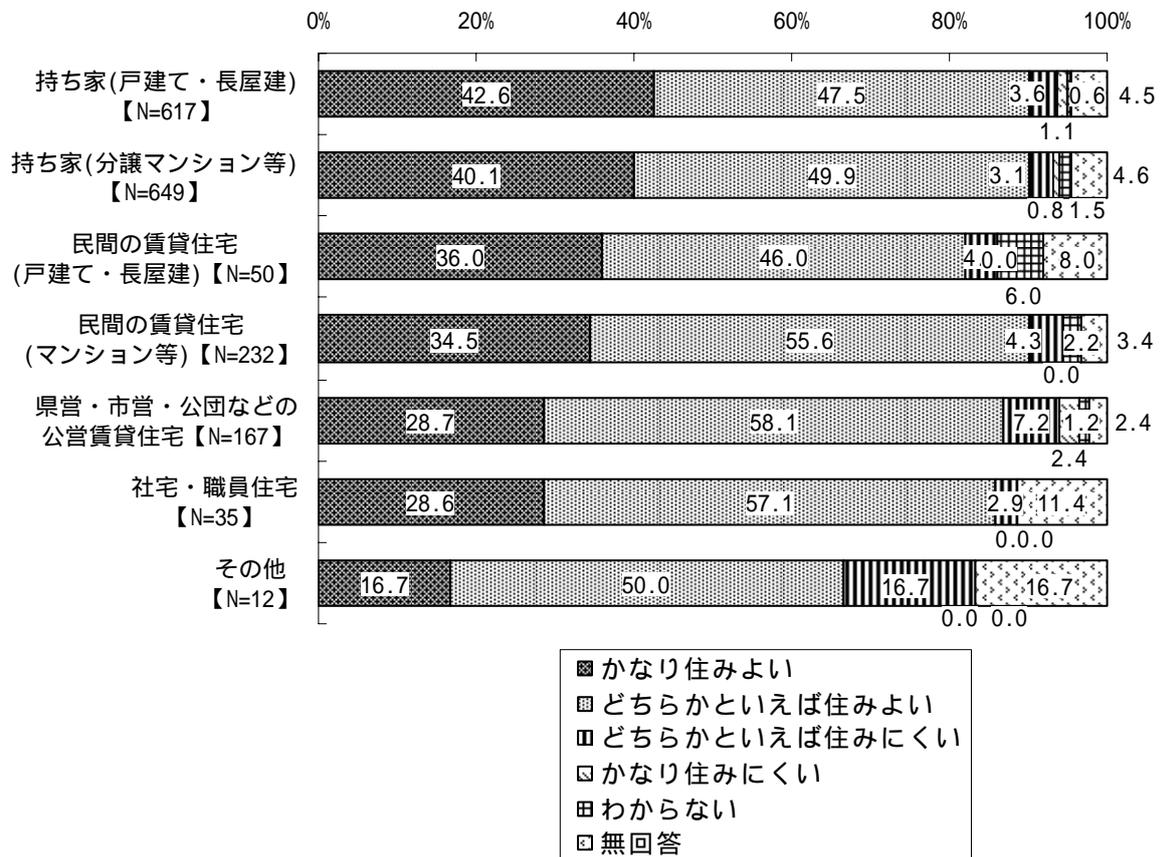
居住地別



定住意識別



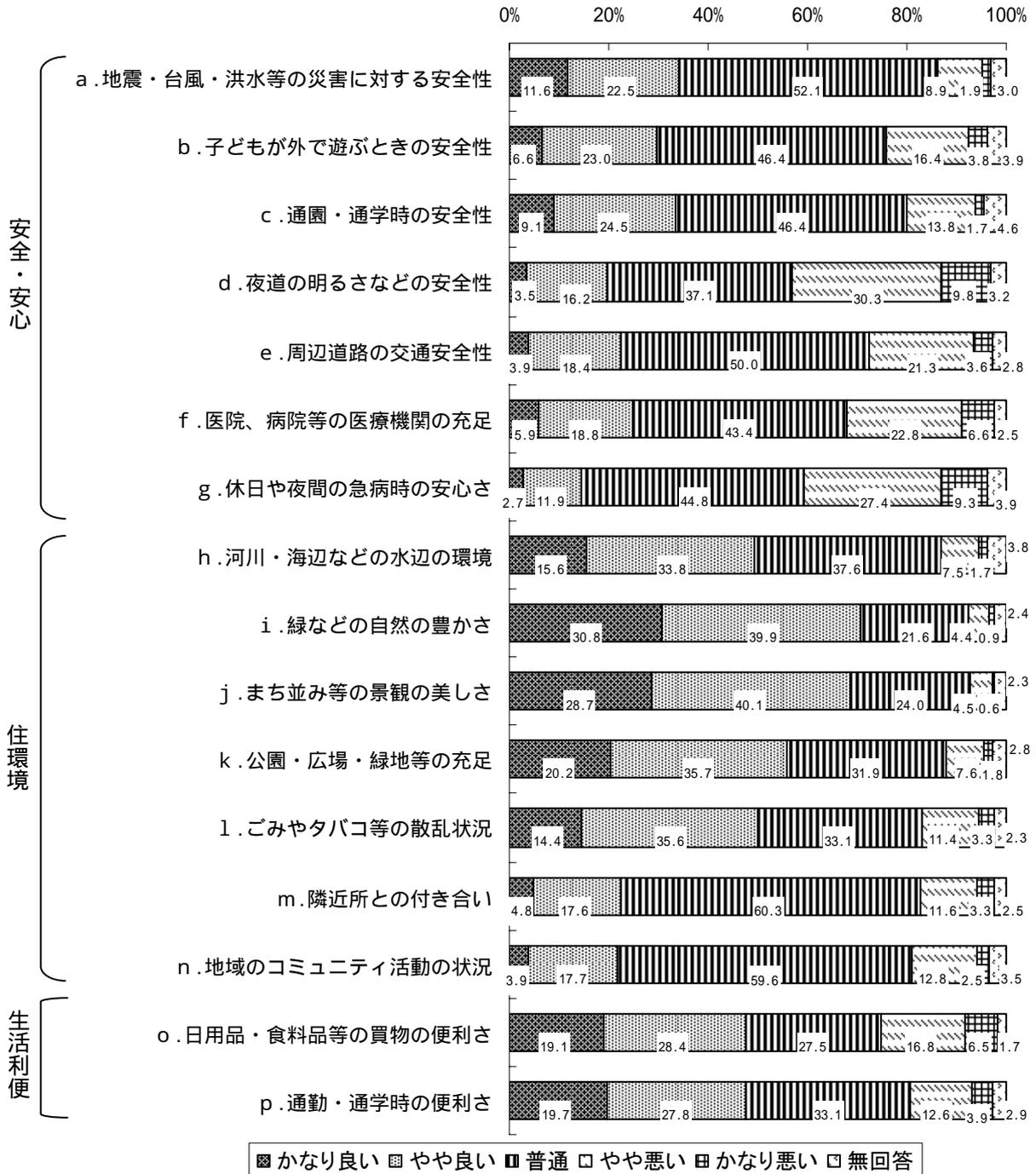
住宅形式別



(2) 地域の生活環境

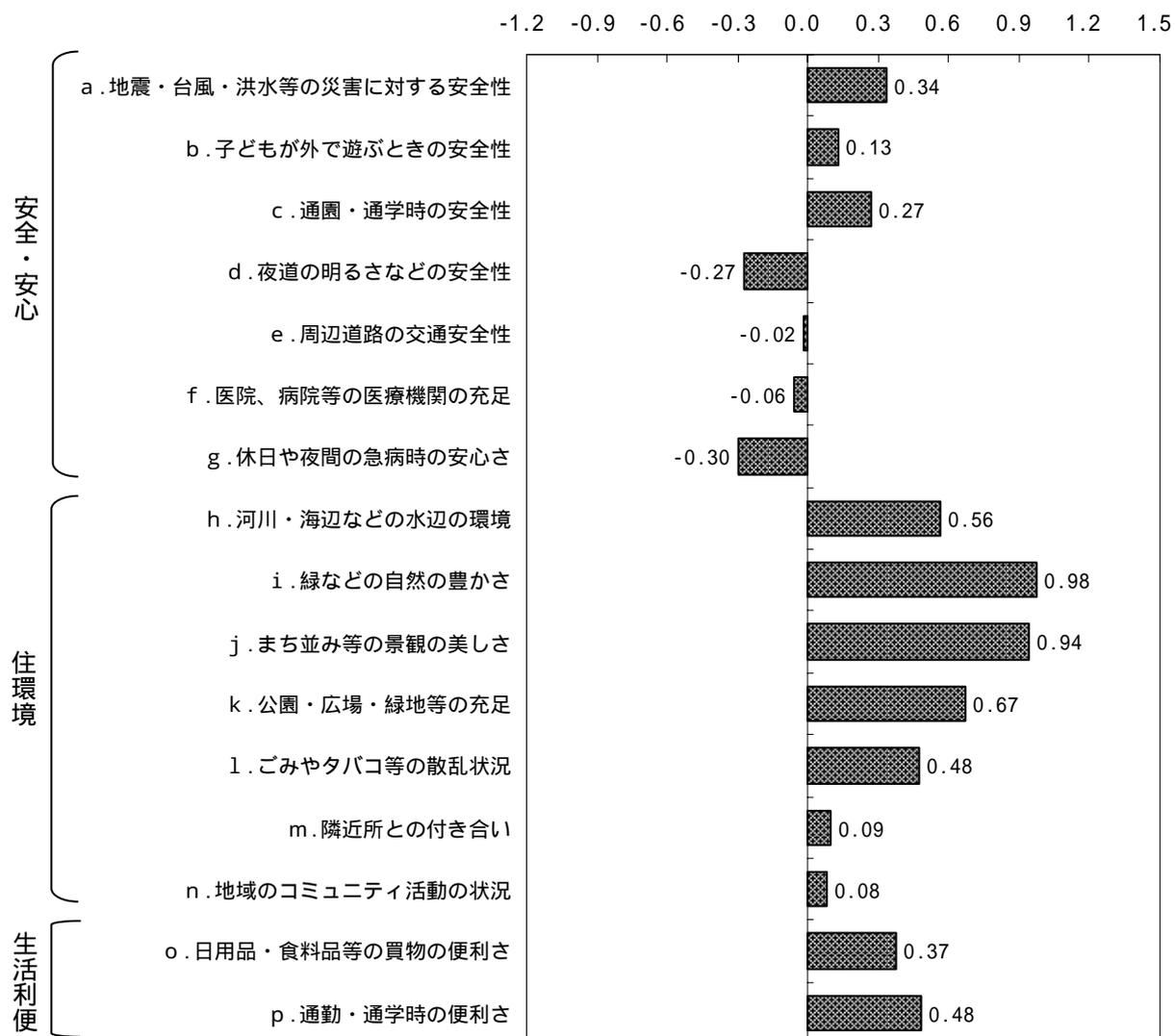
評価の高い『自然』、『景観』、評価の低い『安全』、『安心』

問2 あなたは、お住まいになっている地域の生活環境について、どのように感じておられますか。a～pの項目ごとに、1から5の数字から1つだけ選んで印を付けてください。 【N=1,811】



評価の点数化

項目ごとに「かなり良い」を+2点、「やや良い」を+1点、「普通」を0点、「やや悪い」を-1点、「かなり悪い」を-2点として点数を算出した。

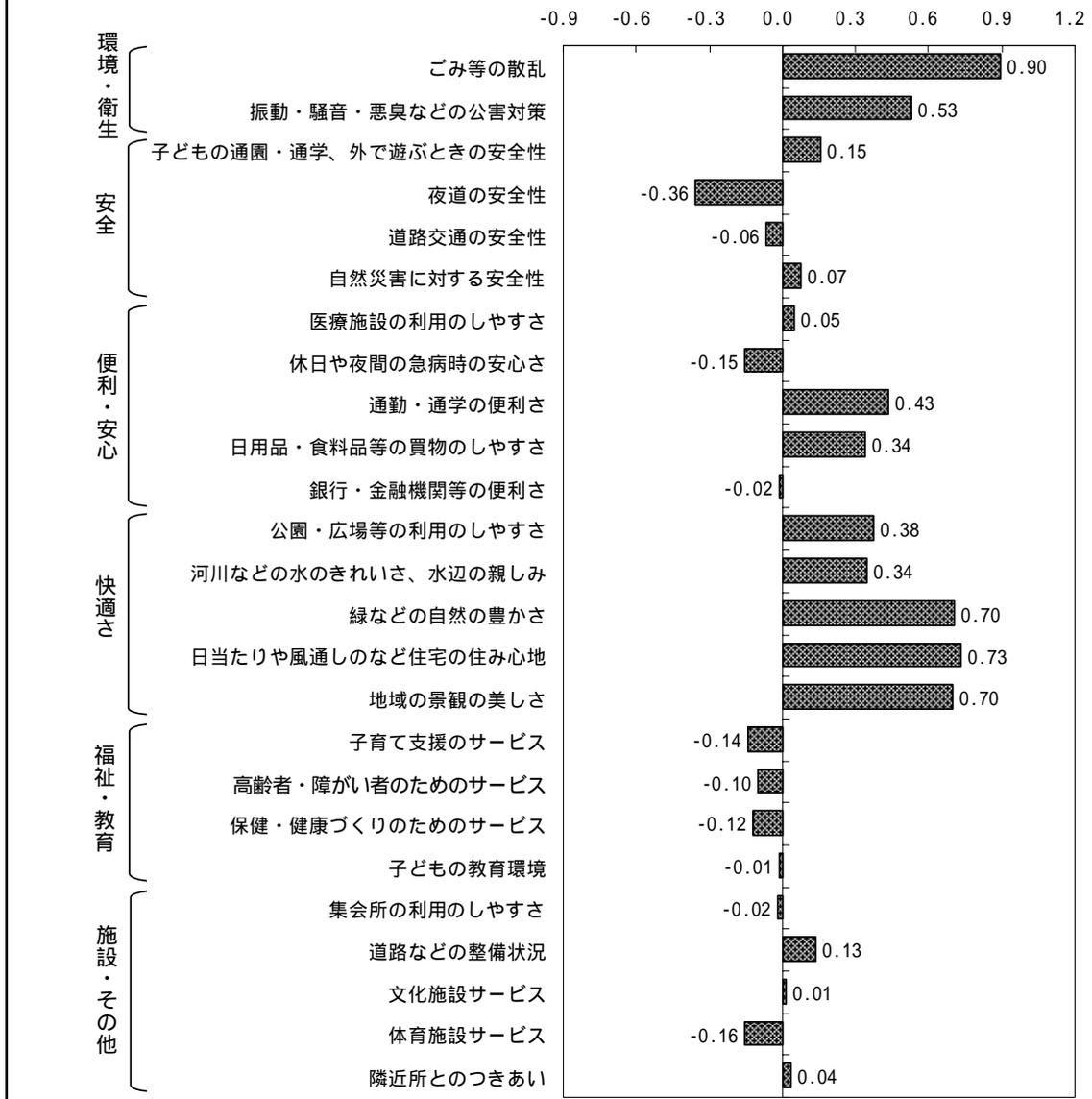


地域の生活環境について、「住環境」のカテゴリーでは「河川・海辺などの水辺の環境」、「緑などの自然の豊かさ」、「まち並み等の景観の美しさ」、「公園・広場・緑地等の充足」の評価が高くなっている。一方で、「安全・安心」のカテゴリーでは「夜道の明るさなどの安全性」、「休日や夜間の急病時の安心さ」の評価が低くなっている。

過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 11 あなたは、今お住まいになっている地域の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目についてお答えください。評価は 1 から 6 の数字から 1 つだけ選んで 印をつけてください。

【N = 1,203】

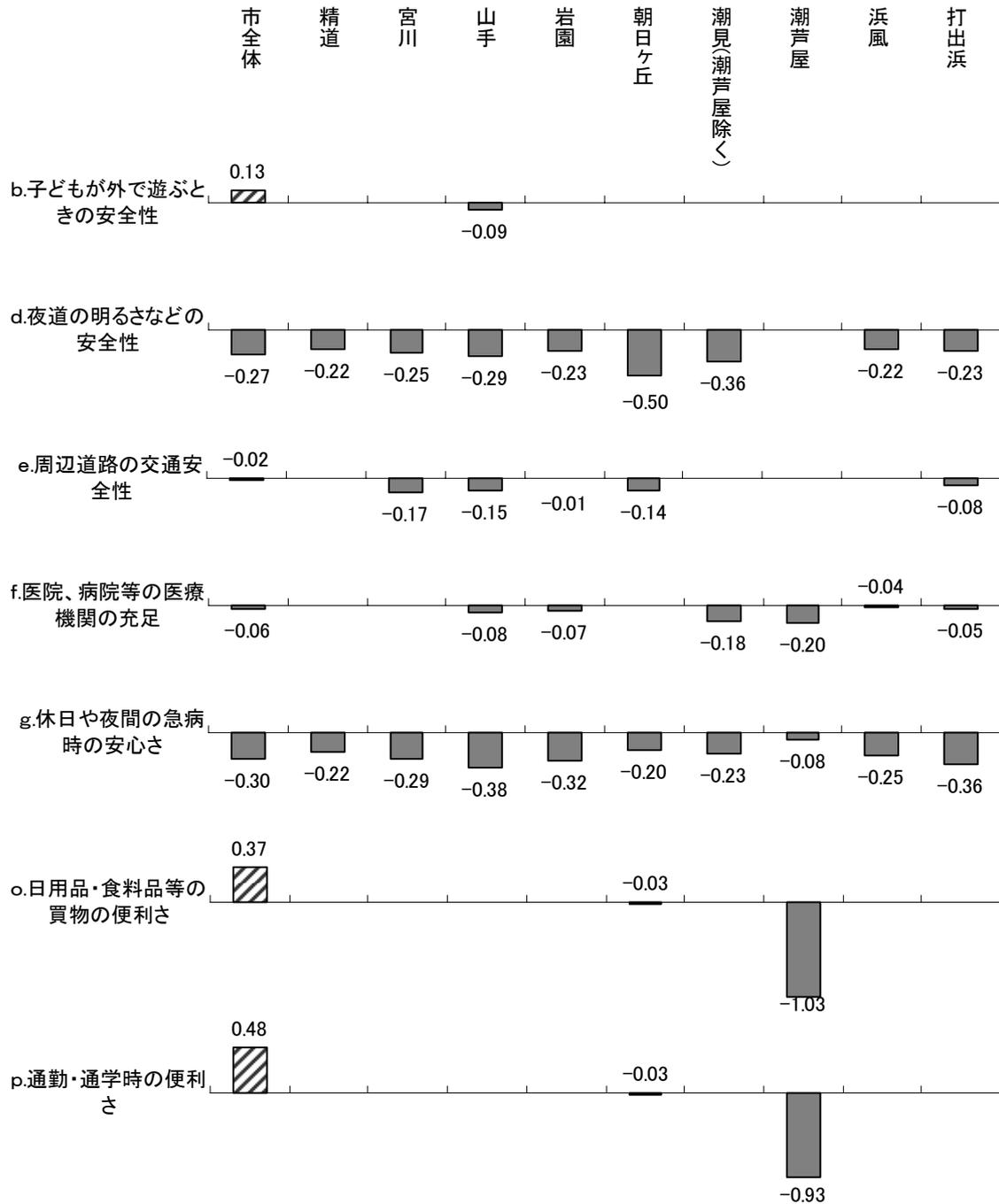


平成 16 年度調査と比較すると、「休日や夜間の急病時の安心さ」は-0.15 から -0.30 と 0.15 ポイント低い評価となっている。

「ごみ等の散乱」は 0.90 であるが、今回の調査では「ごみやタバコ等の散乱状況」が 0.48 と 0.42 ポイント低い評価となっている。「緑などの自然環境」、「地域の景観の美しさ」については 0.7 ポイント前後の高い評価であるが、今回の調査でも類似の項目が 0.9 ポイント以上の高い評価となっている。「自然災害に対する安全性」は 0.07 から 0.34 と 0.27 ポイント高い評価となっている。

「夜道の安全性」は-0.36 であるが、今回の調査でも「夜道の明るさなどの安全性」が-0.27 と低い評価となっている。

マイナス評価一覧



居住地別に評価を点数化し、マイナス評価となった項目を一覧にまとめた。

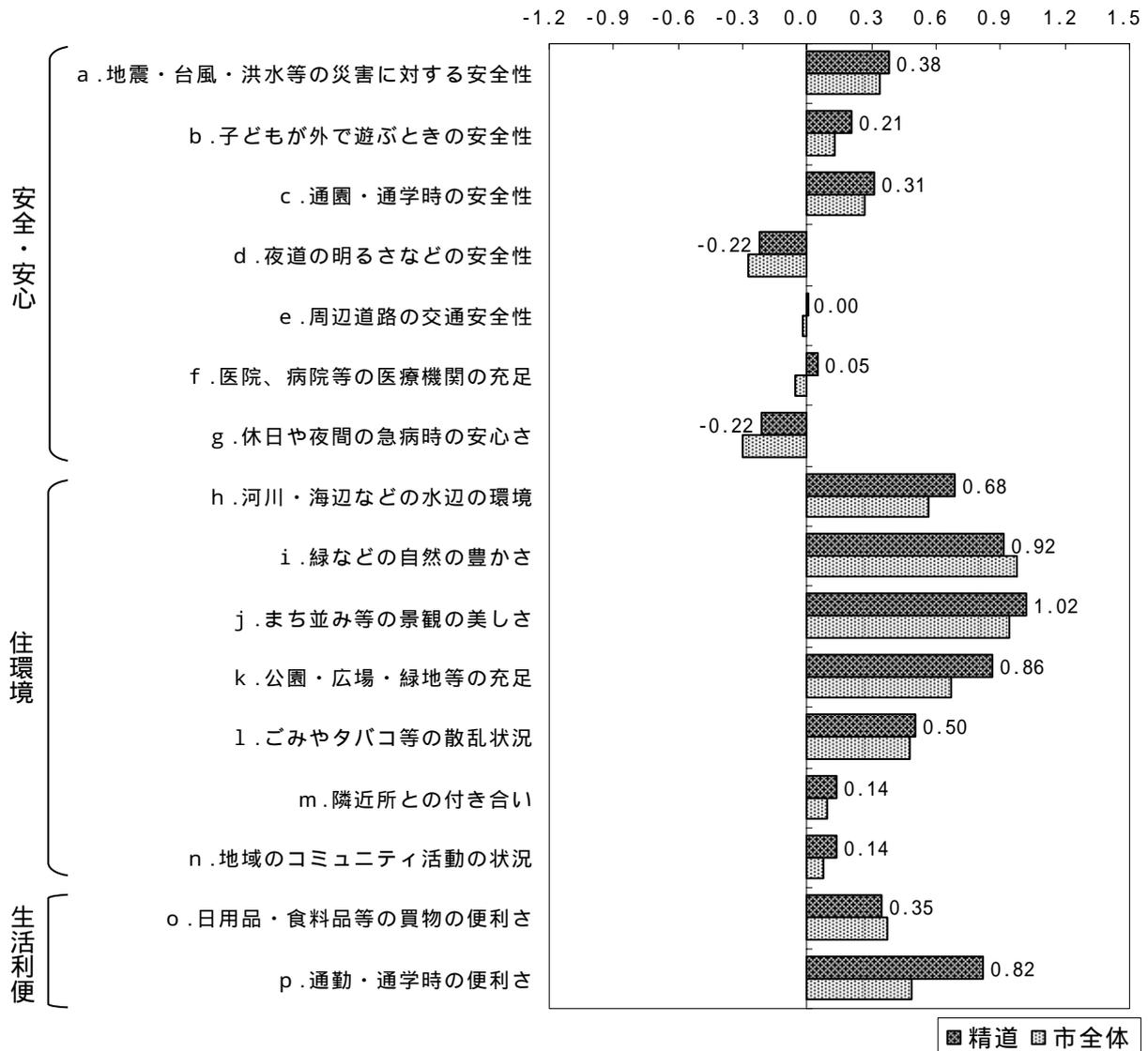
「a.地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」など、すべての居住地でプラス評価である項目は掲載していない。

項目別にみると、「子どもが外で遊ぶときの安全性」は、山手地区だけがマイナス評価になっている。「夜道の明るさなどの安全性」は、潮芦屋地区を除くすべての地区でマイナス評価となっており、特に朝日ヶ丘地区のマイナスの度合いが大きい。「休日や夜間の急病時の安心さ」は、すべての居住地でマイナス評価となっている。「日用品・食料品等の買物の便利さ」、「通勤・通学時の便利さ」は、朝日ヶ丘地区、潮芦屋地区だけがマイナス評価になっており、特に潮芦屋地区でのマイナスの度合いが突出している。

居住地別

< 精道 >

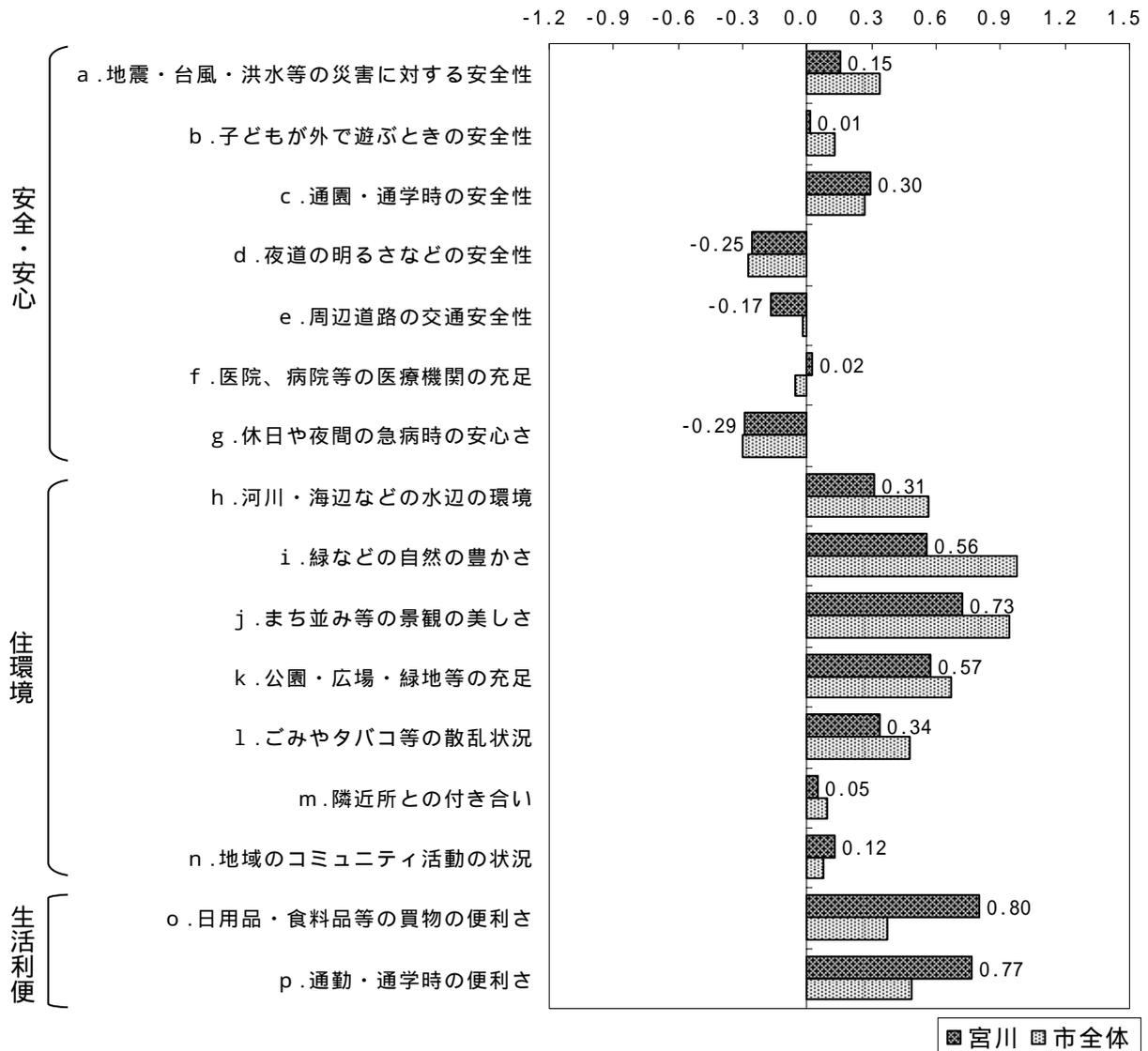
【 N = 225 】



居住地別にみると、精道地区では「安全・安心」の категорияはすべての項目が市全体よりも高い評価となっている。

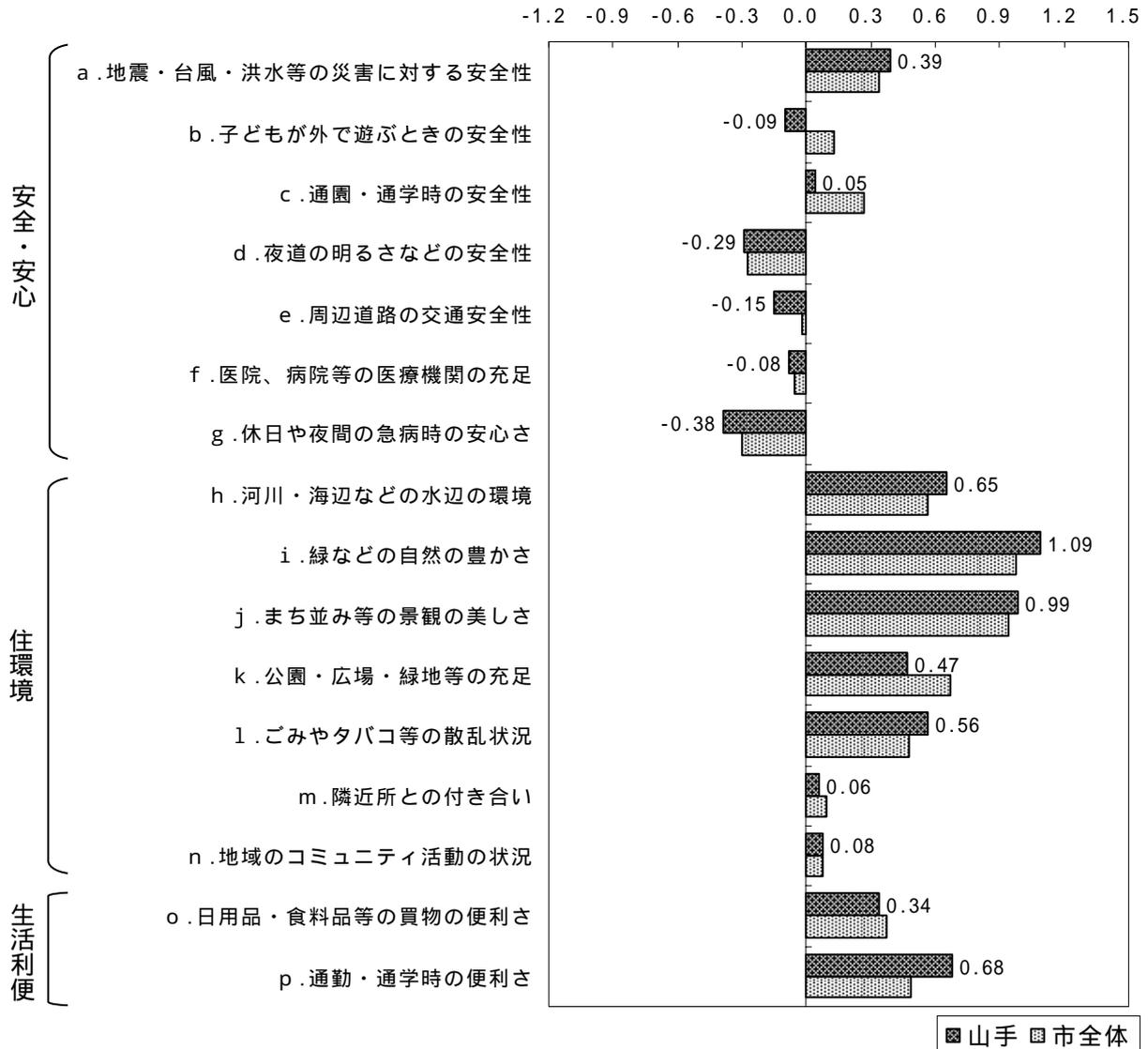
「住環境」の категорияは「緑などの自然の豊かさ」を除くすべての項目が市全体よりも高い評価となっている。

「生活利便」の categoriaは「通勤・通学の便利さ」は市全体を約 0.4 ポイント上回っている。



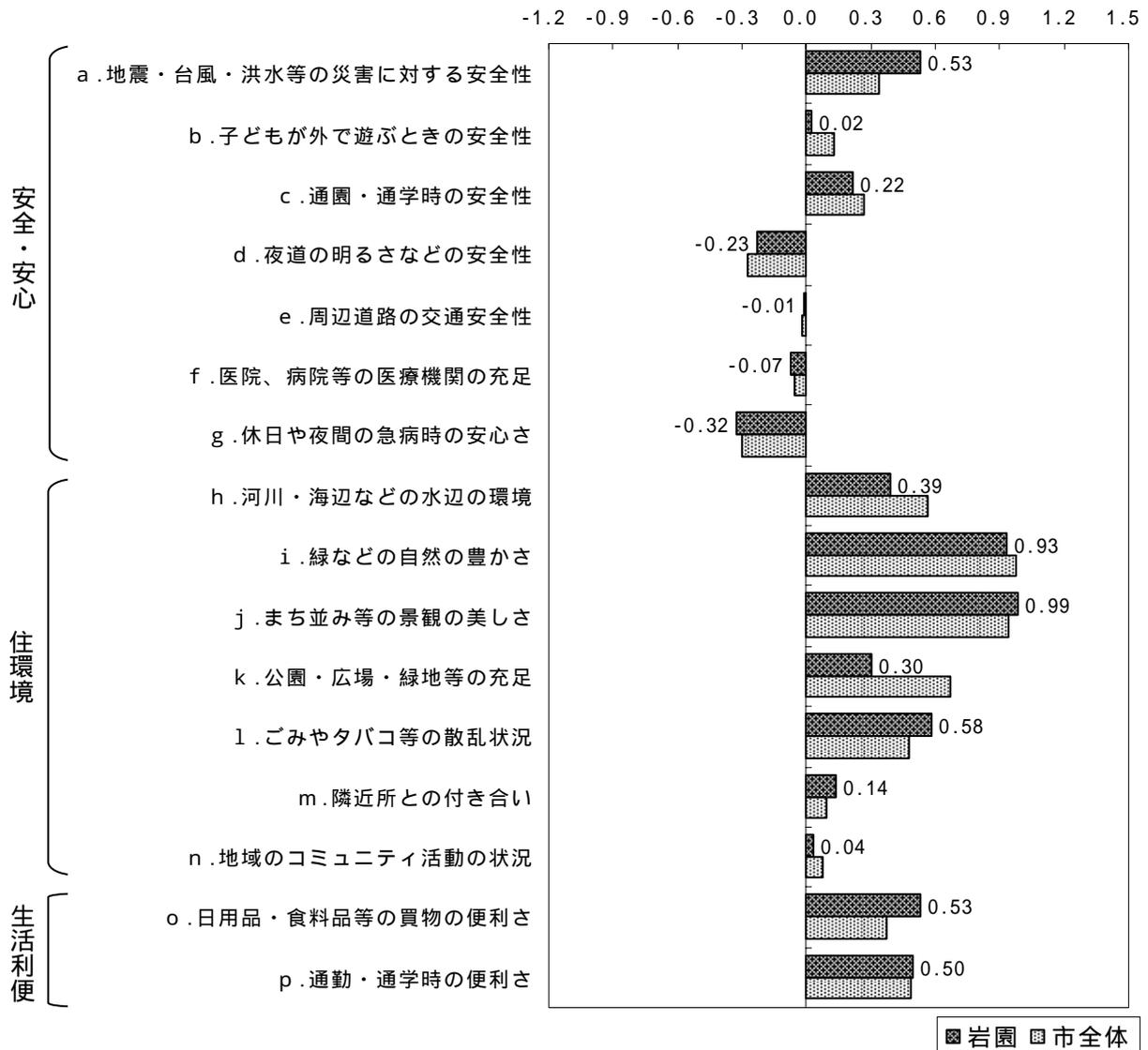
宮川地区では、「安全・安心」の 카테고리は「地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「周辺道路の交通安全性」の項目が市全体よりも低い評価となっている。また、「住環境」の 카테고리は「地域のコミュニティ活動の状況」を除くすべての項目が市全体よりも低い評価となっている。

「生活利便」の 카테고리はすべての項目が市全体よりも高い評価となっており、「日用品・食品等の買物の便利さ」は市全体を約 0.4 ポイント、「通勤・通学時の便利さ」は市全体を約 0.3 ポイント上回っている。



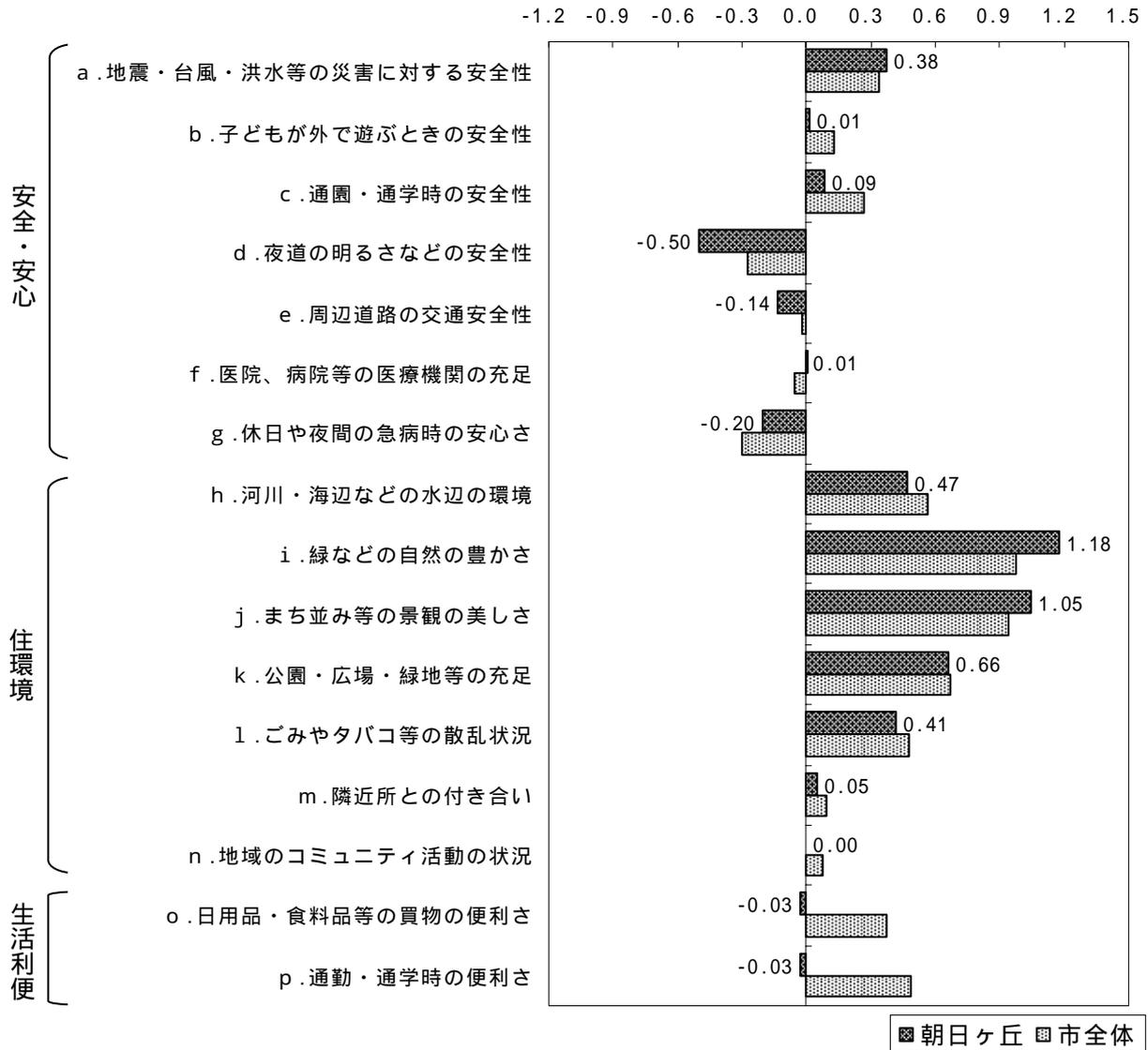
山手地区では、「安全・安心」の категорияは「地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」を除くすべての項目が市全体よりも低い評価となっている。

一方、「住環境」、「生活利便」の категорияは市全体よりも高い評価の項目が多い。



岩園地区では、「安全・安心」、「住環境」の категорияは市全体よりも低い評価の項目が多く、「公園・広場・緑地等の充足」は市全体を約 0.4 ポイント下回っている。

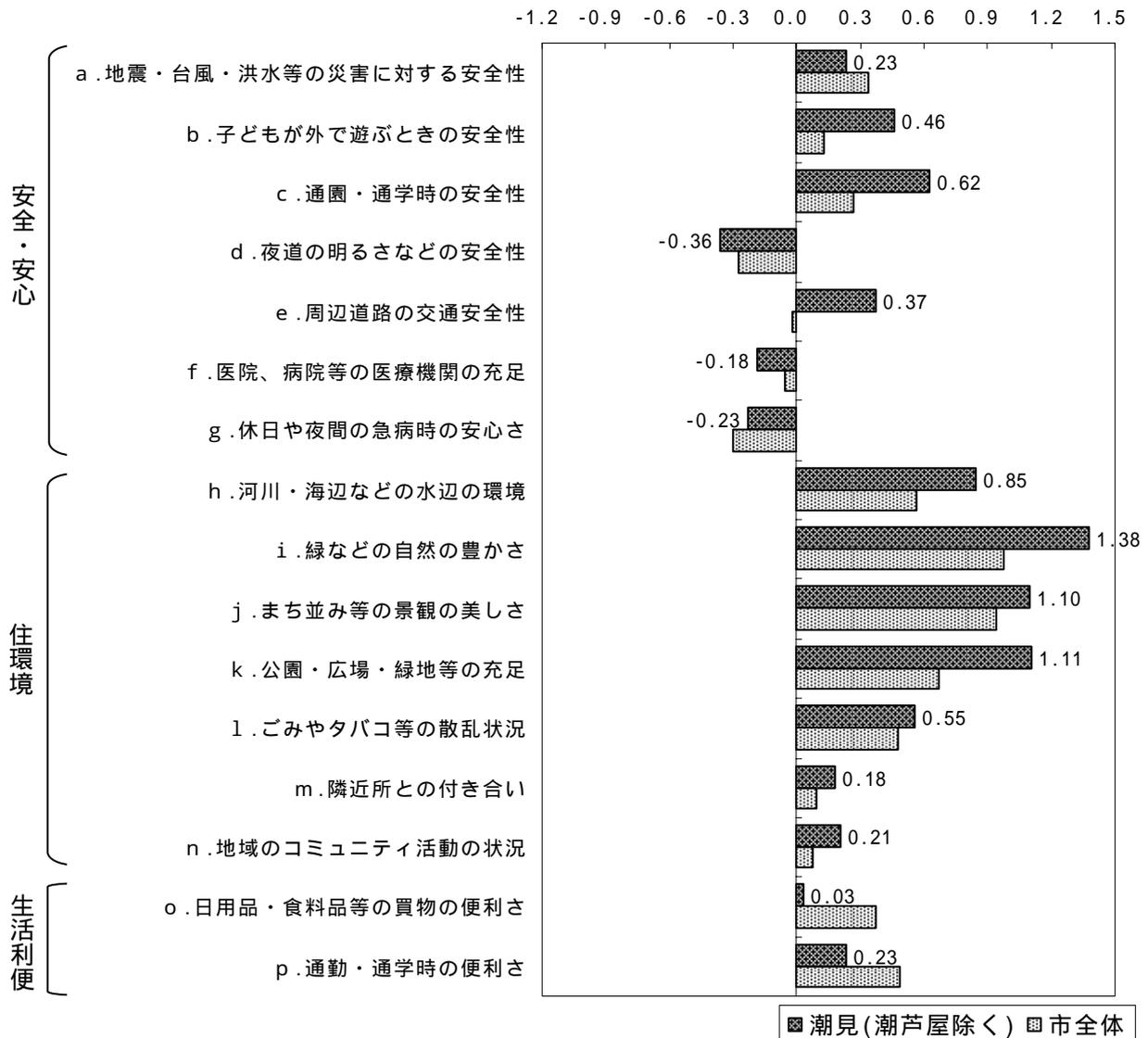
一方、「生活利便」の категорияはすべての項目が市全体よりも高い評価となっている。



朝日ヶ丘地区では、「安全・安心」の категорияは市全体よりも低い評価の項目が多く、「夜道の明るさなどの安全性」は市全体を約0.2ポイント下回り、全居住地の中で最も低い評価となっている。

「住環境」の категорияは市全体よりも低い評価の項目が多い。

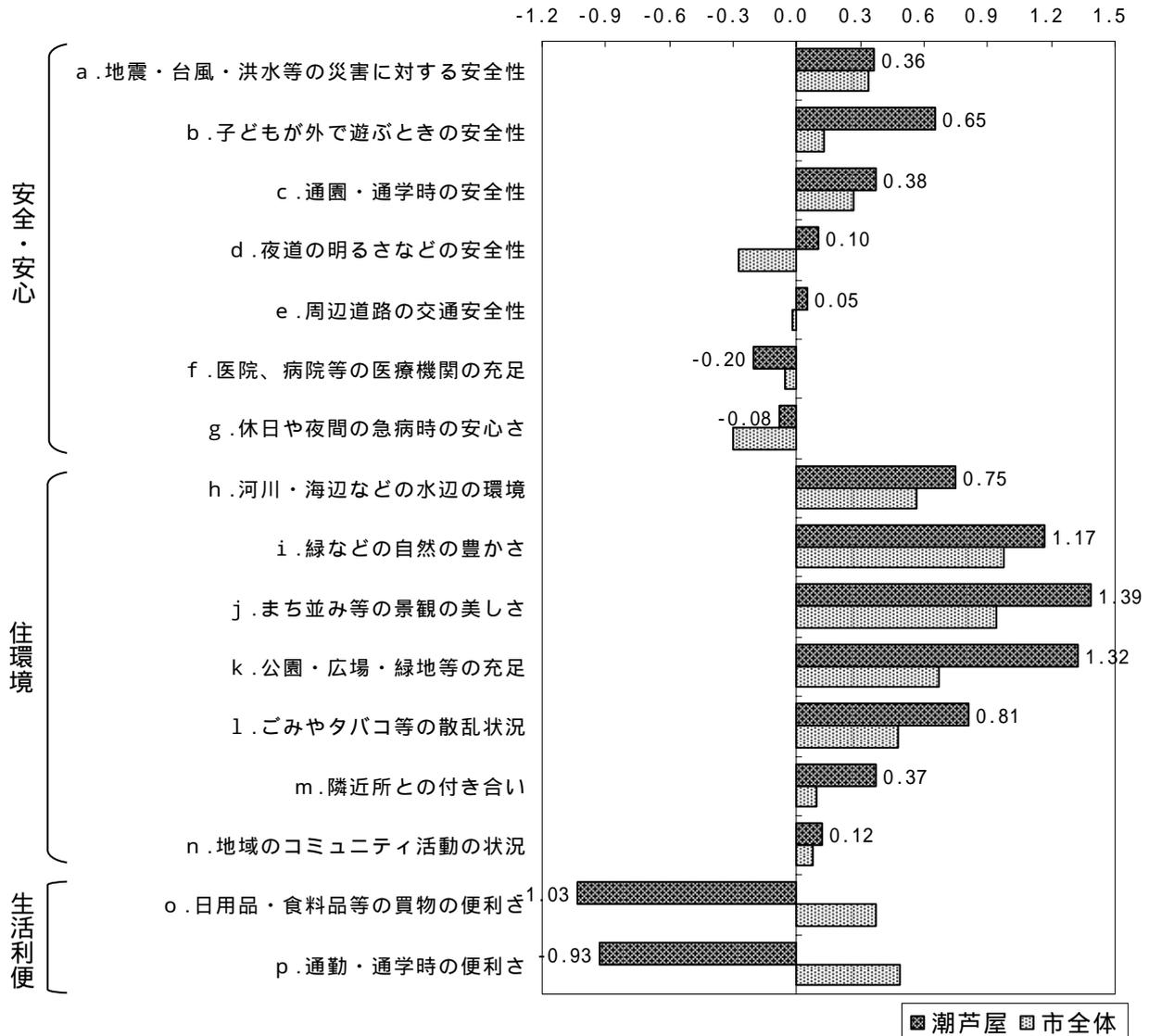
「生活便利」の категорияはすべての項目が市全体よりも低い評価となっており、「日用品・食料品等の買物の便利さ」は市全体を約0.4ポイント、「通勤・通学時の利便さ」は市全体を約0.5ポイント下回っている。



潮見(潮芦屋除く)地区では、「安全・安心」の категорияは市全体よりも高い評価の項目が多く、「子どもが外で遊ぶときの安全性」、「通園・通学時の安全性」は市全体を約0.3ポイント、「周辺道路の交通安全性」は市全体を約0.4ポイント上回っている。

また「住環境」の категорияはすべての項目が市全体よりも高い評価となっている。

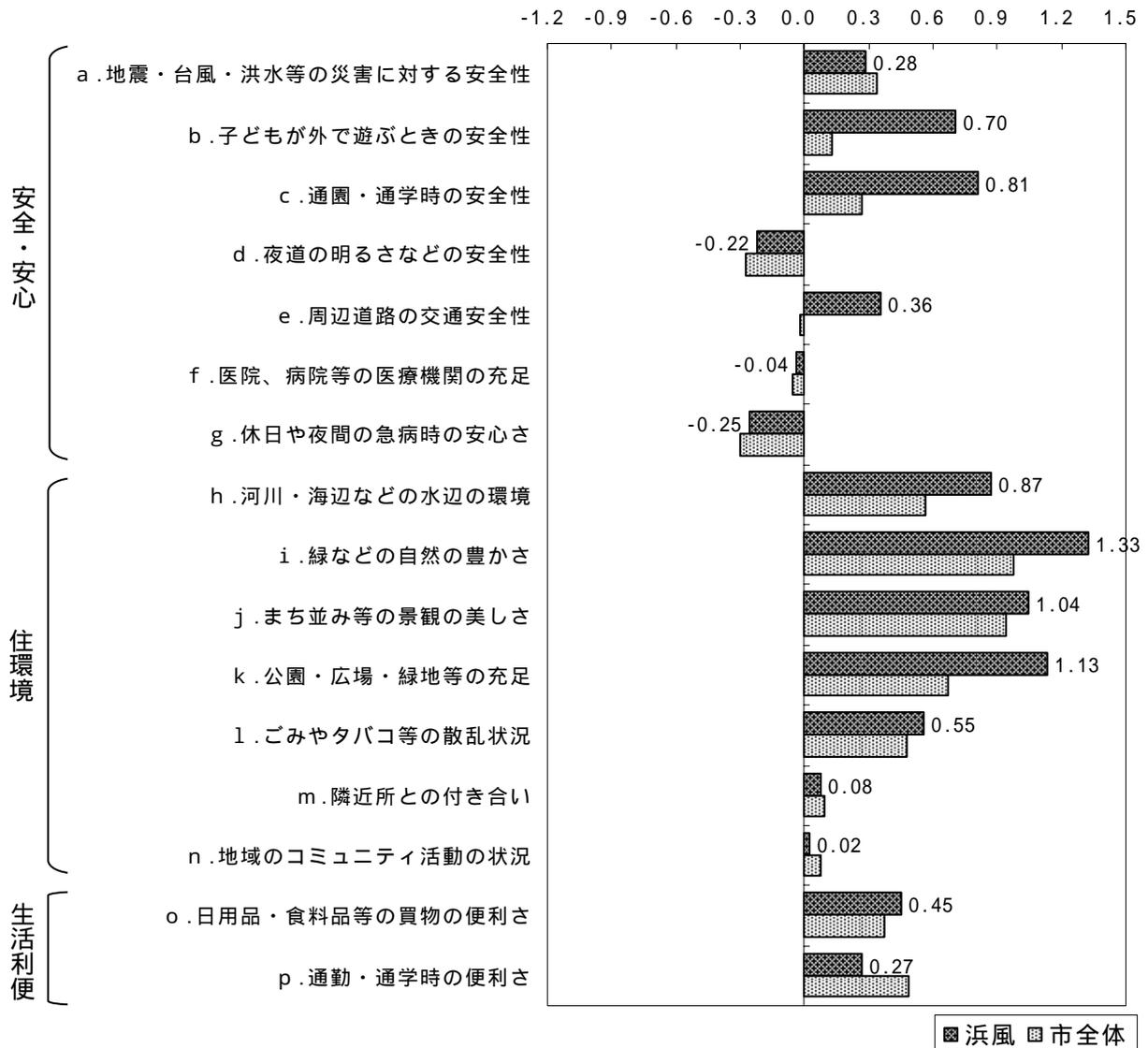
一方、「生活利便」の категорияはすべての項目が市全体よりも低い評価となっており、「日用品・食料品等の買物の便利さ」では市全体を約0.3ポイント下回っている。



潮芦屋地区では、「安全・安心」のカテゴリーは「医院，病院等の医療機関の充足」を除くすべての項目が市全体よりも評価が高く、「子どもが外で遊ぶときの安全性」は市全体を約0.5ポイント上回っている。

また、「住環境」のカテゴリーはすべての項目で市全体よりも高い評価となっている。

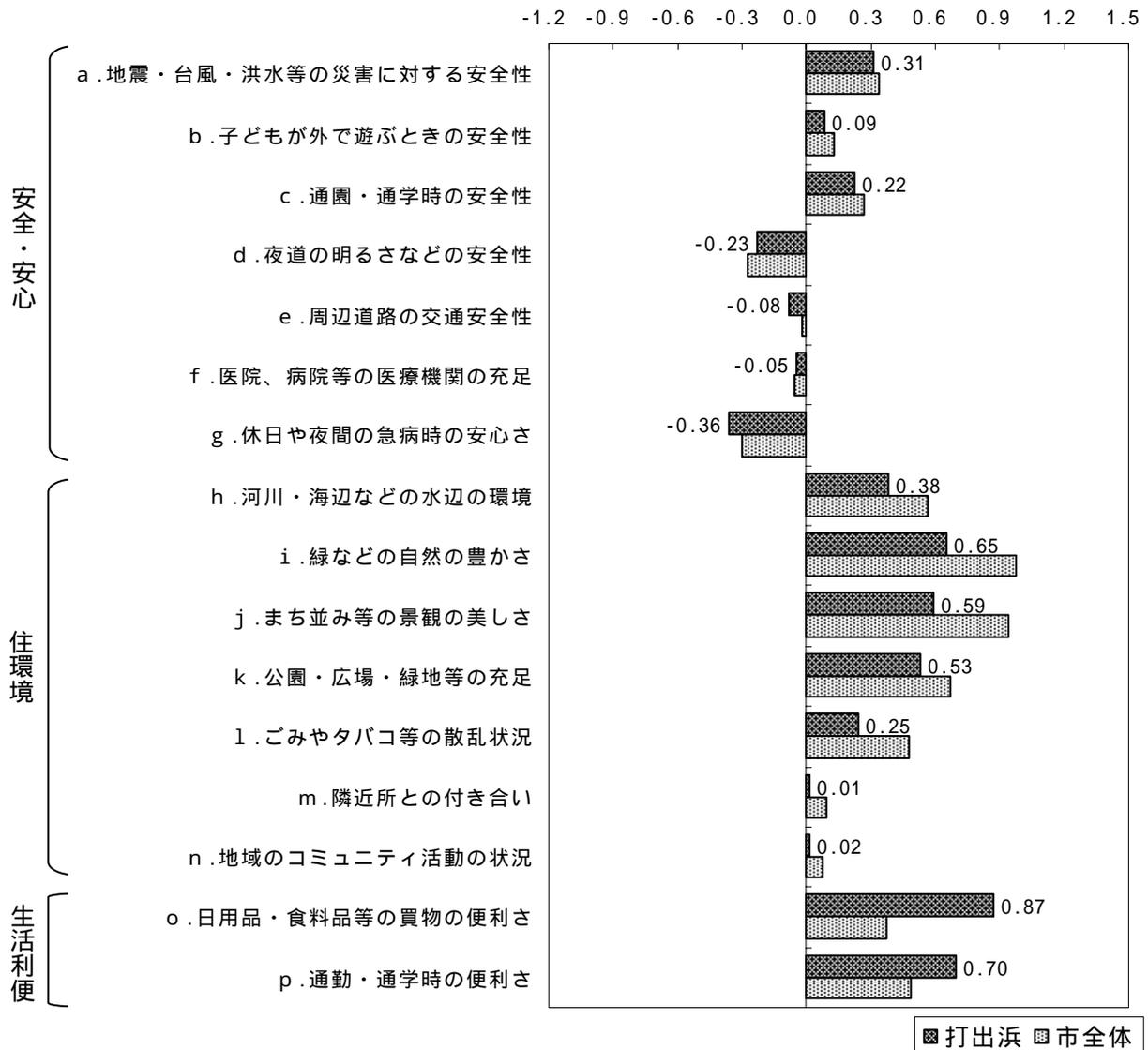
一方、「生活利便」のカテゴリーはすべての項目が市全体よりもかなり低い評価となっている。「日用品・食料品等の買物の便利さ」、「通勤・通学時の便利さ」は市全体を約1.4ポイント下回り、全居住地の中で最も低い評価となっている。



浜風地区では、「安全・安心」の категорияは「地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」を除くすべての項目が市全体よりも高い評価となっており、「子どもが外で遊ぶときの安全性」、「通園・通学時の安全性」は市全体を約 0.5 ポイント、「周辺道路の交通安全性」は約 0.4 ポイント上回っている。

また、「住環境」の категорияは市全体よりも高い評価の項目が多い。

一方、「生活利便」の categoriaは、「日用品・食料品等の買い物の便利さ」は市全体よりも高い評価になっているが、「通勤・通学時の便利さ」は約 0.2 ポイント下回っている。



打出浜地区では、「安全・安心」の категорияは市全体よりも低い評価の項目が多い。

また、「住環境」の категорияはすべての項目が市全体よりも低い評価となっている。

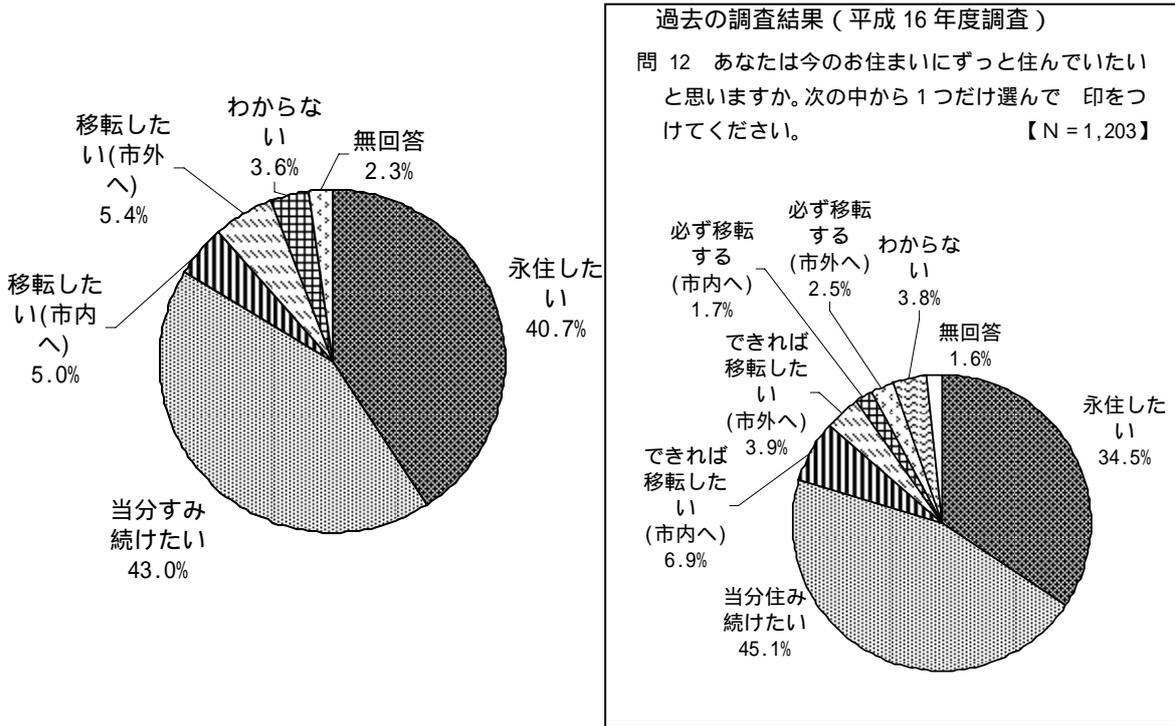
一方、「生活利便」の categoriaはすべての項目が市全体よりも高い評価となっており、「日用品・食料品等の買物の便利さ」では市全体を約 0.5 ポイント上回っている。

(3) 今の住まいに住み続けたいか

約8割が定住意識を持っている

問3 あなたは、今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。

転勤等による移転予定の有無に関わらず、ご自身の気持ちとして該当するものを次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



今の住まいに住み続けたいかについて、「当分住み続けたい」が43.0%、「永住したい」が40.7%となっており、合わせて83.7%の人は定住意識を持っている。

平成16年度調査と比較すると、「永住したい」と「当分住み続けたい」を合わせた「定住意向を持っている人」は79.6%であったが、今回の調査では83.7%と4.1ポイント上昇している。また、「できれば移転したい(市内へ)」と「できれば移転したい(市外へ)」を合わせた「移転したい人」は10.8%であったが、今回の調査では10.4%と4.6ポイント低下している。

年齢別にみると、「永住したい」と回答している人は年齢層が高くなるほど多くなっている。

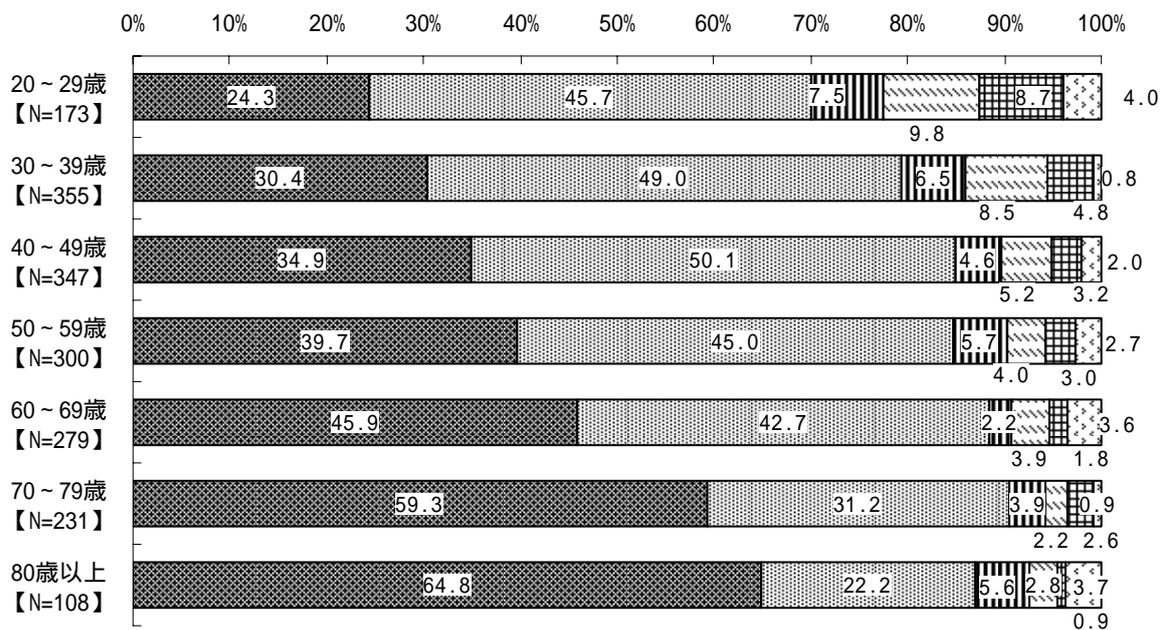
居住地別にみると、朝日ヶ丘、浜風地区では「移転したい人」が約15%と他の地区と比較して多くなっている。

芦屋市での居住年数別にみると、「30年以上」と回答した人で「永住したい」が56.0%と他の居住年数よりも高くなっている。

住みよさ別にみると、「かなり住みよい」と回答した人で「永住したい」が59.3%と他の住みよさよりも高くなっている。

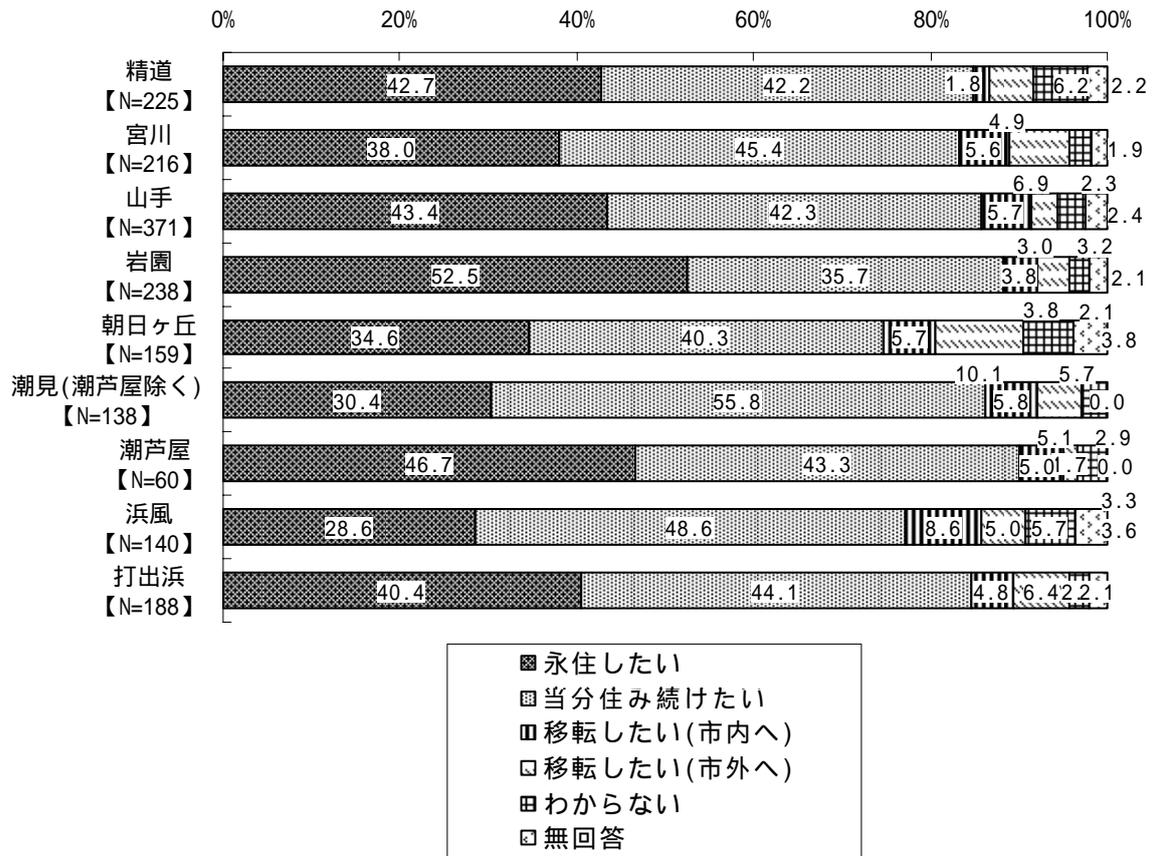
住宅形式別にみると、「持ち家」と回答した人で「永住したい」が4割以上と高くなっている。

年齢別

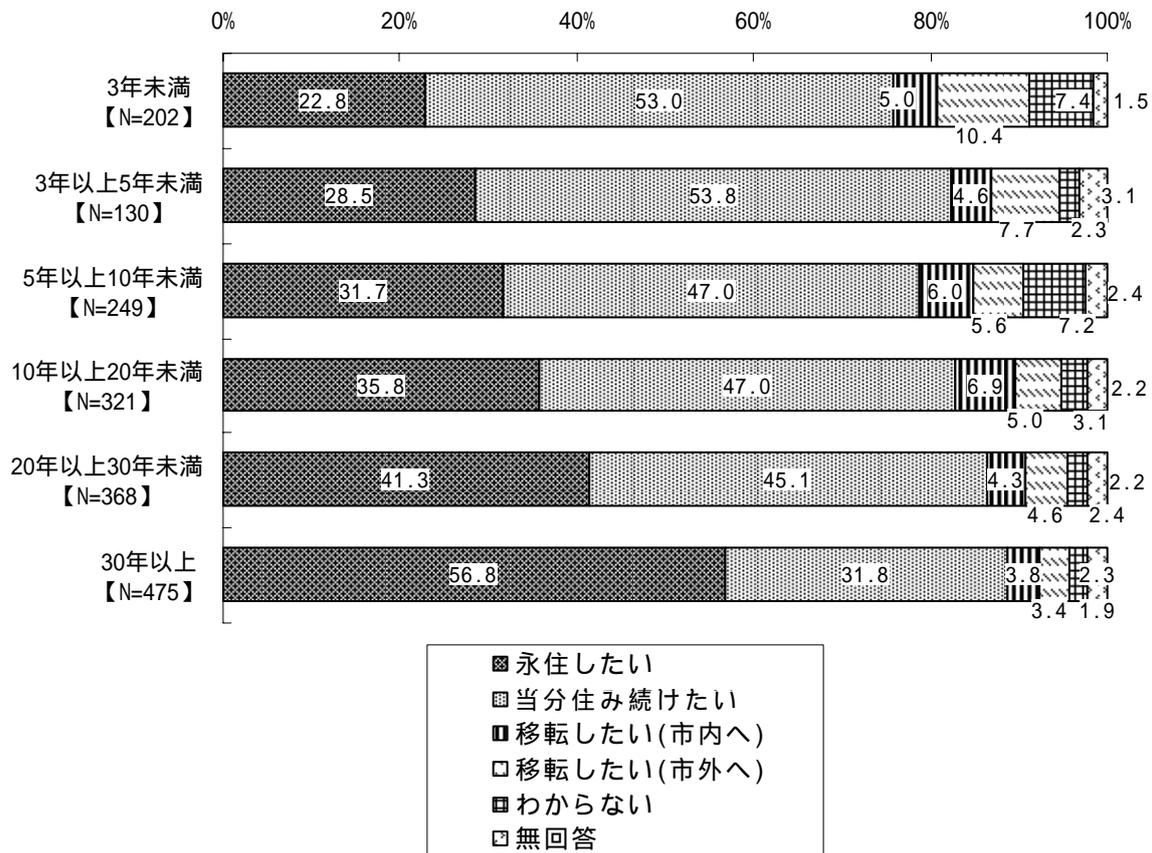


- 永住したい
- 当分住み続けたい
- 移転したい(市内へ)
- 移転したい(市外へ)
- わからない
- 無回答

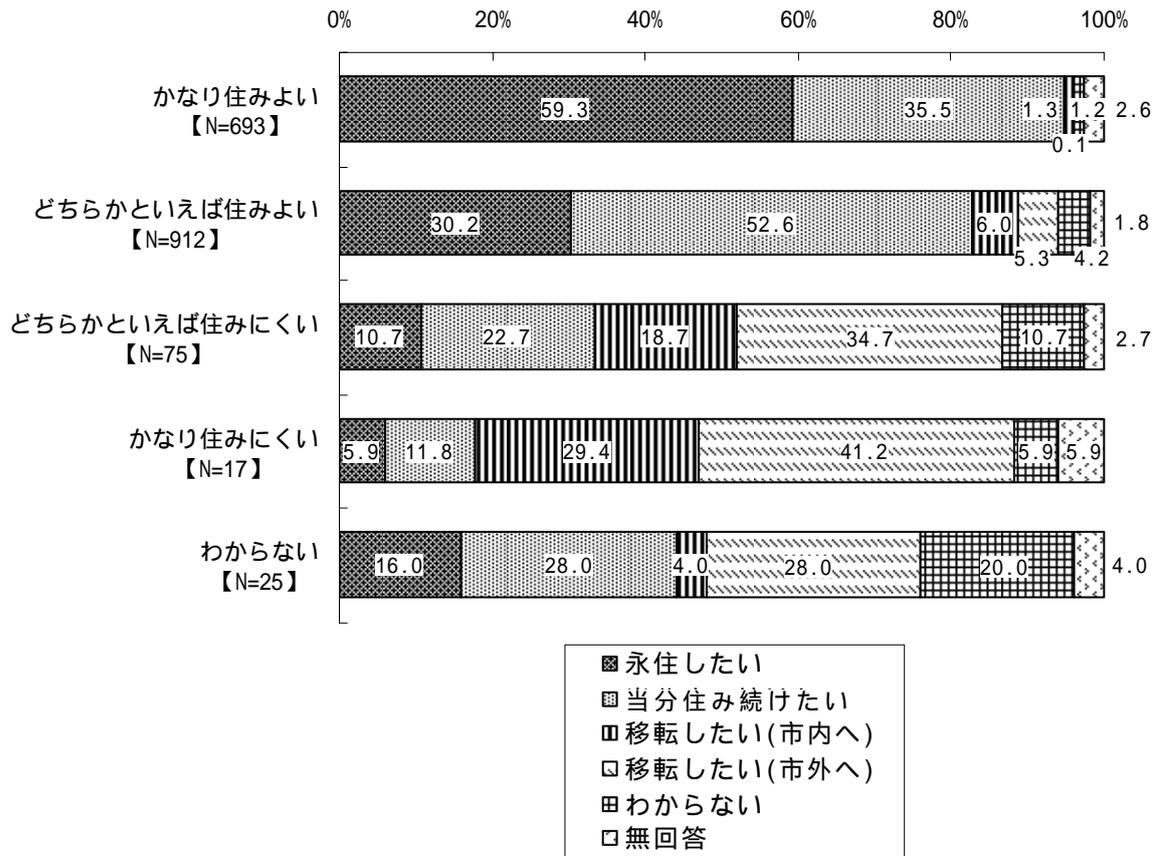
居住地別



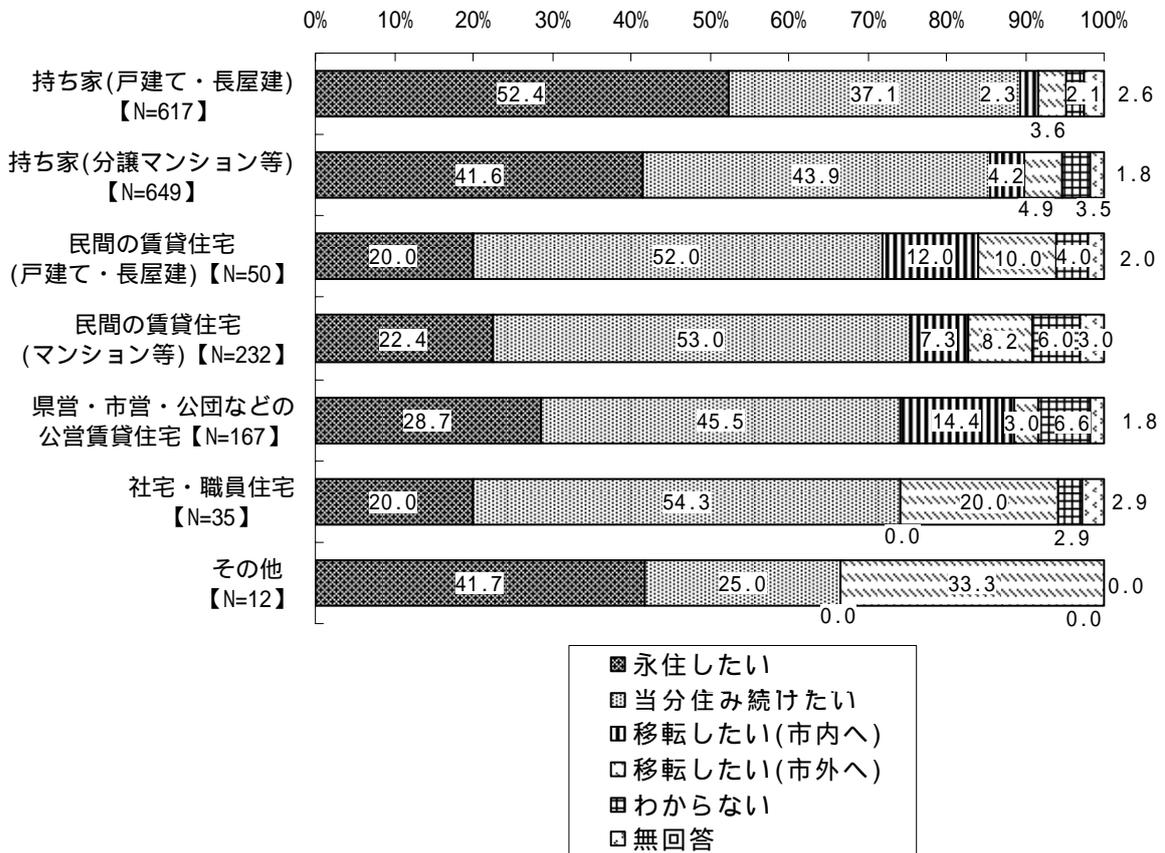
芦屋市での居住年数別



住みよさ別



住宅形式別



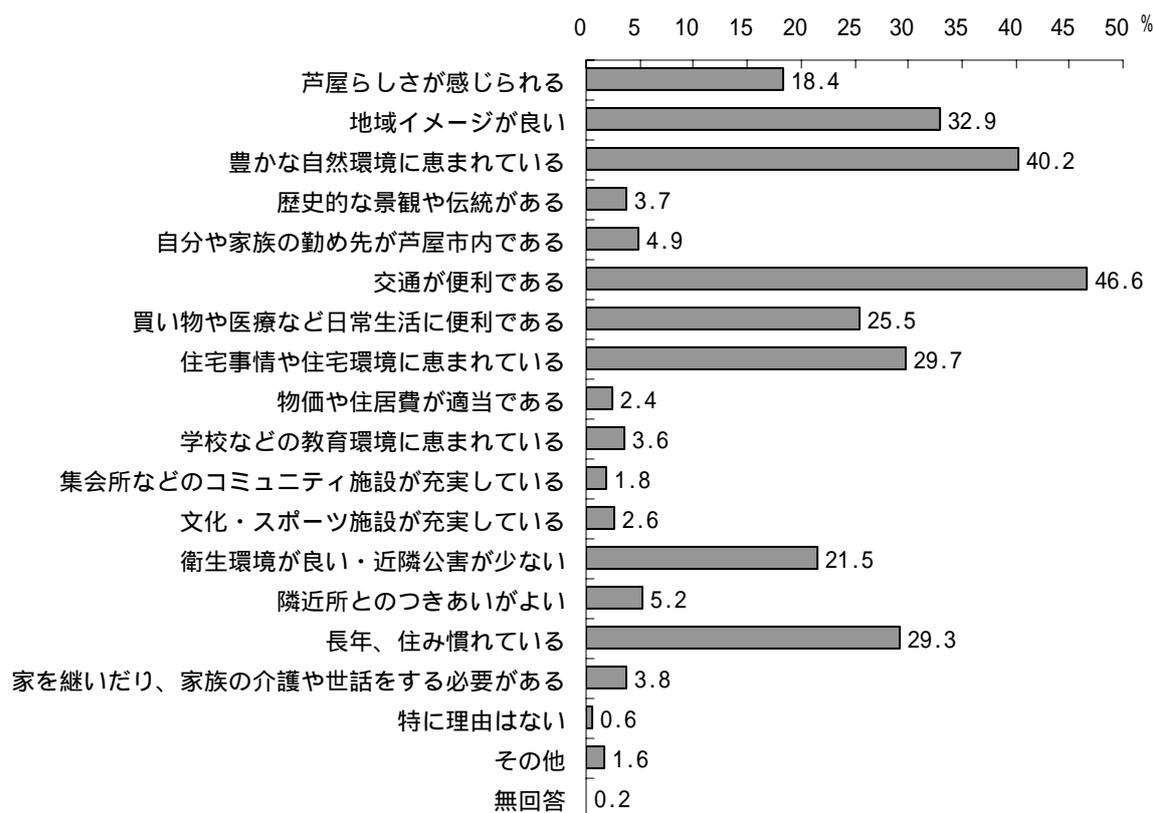
(4) 住みたい理由(3つまで)

『交通が便利』、『豊かな自然環境に恵まれている』が多い

問3で、「1. 永住したい」、「2. 当分住みたい」と答えた方に、お伺いします。

問4 住みたいと思われる理由を、次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。

【N = 1,516】



住みたい理由について、「交通が便利である」が46.6%と最も多く、「豊かな自然環境に恵まれている」が40.2%、「地域イメージが良い」が32.9%となっている。

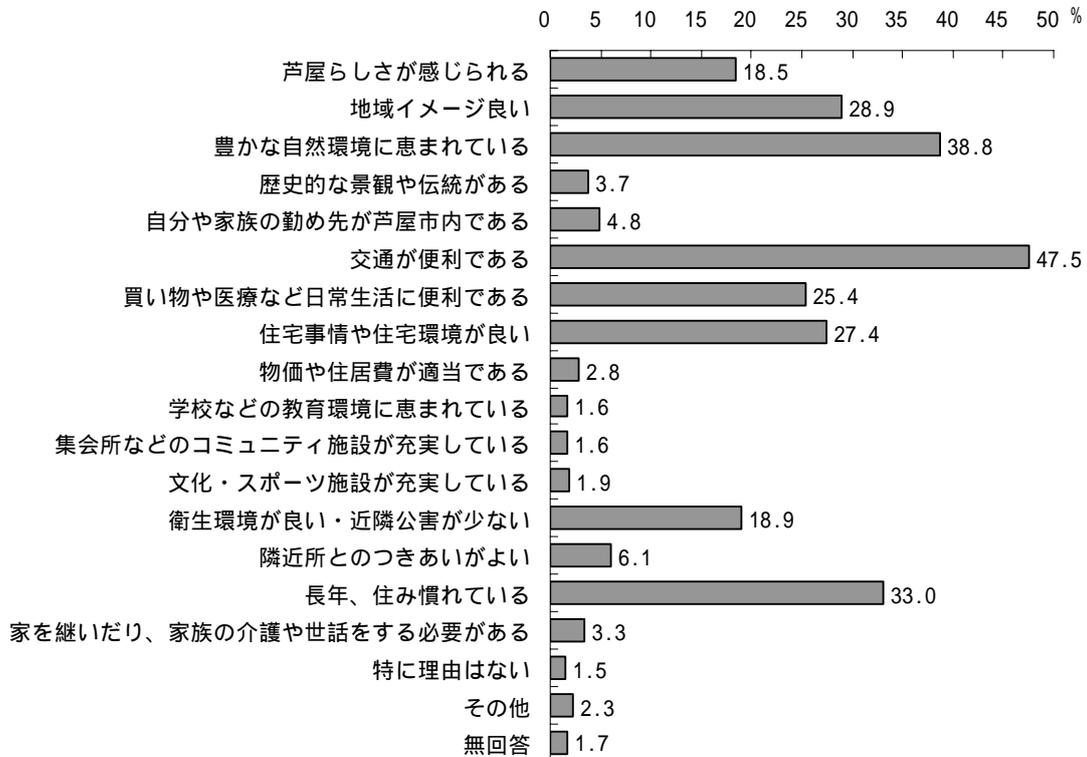
その他意見

- ・住み慣れている(地元, 高齢, マイホームなど)(7件)
- ・生活環境が良い(静か, 住んでいる人の品が良い, 自然環境など)(6件)
- ・住居の都合(引越したばかりなど)(4件)
- ・利便性(買い物, 素敵なお店, 車の運転が出来れば便利)(3件)

過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 13 問 12 で「 1 .永住したい」、「 2 .当分住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
住み続けたいと思われる理由を、次の中から 3 つまで選んで 印をつけてください。

【 N = 957 】



平成 16 年度調査では、「交通が便利である」が 47.5%、「豊かな自然環境に恵まれている」が 38.8%、「長年、住み慣れている」が 33.0%と多くなっているが、今回の調査でも同様の項目が上位 2 位になっている。前回調査の 3 位の「長年、住み慣れている」は、今回の調査では「地域イメージが良い」が 3 位になっている。

芦屋市での居住年数別では、「地域イメージが良い」、「豊かな自然環境に恵まれている」を回答した人の割合は「3 年未満」が多く、「長年、住み慣れている」は、「20 年以上 30 年未満」、「30 年以上」が多くなっている。

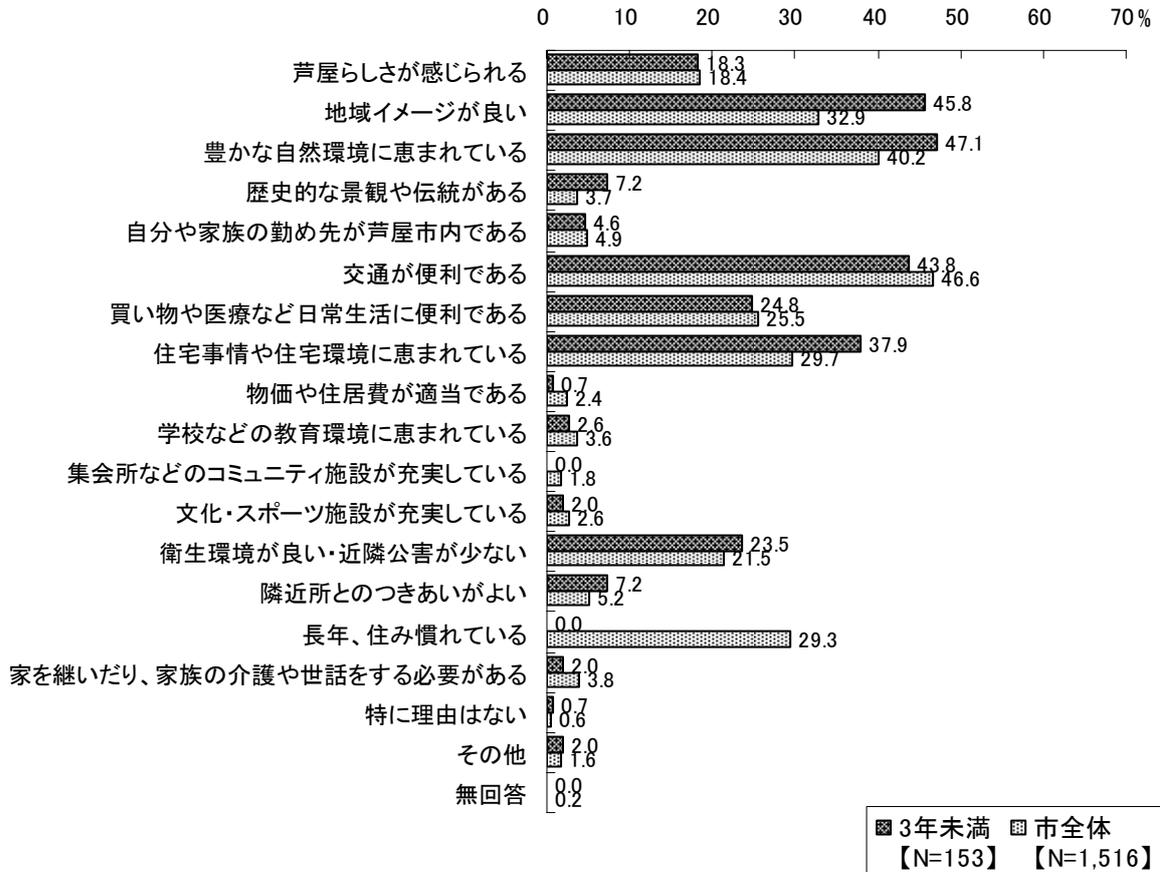
居住地別では、1 位の「交通が便利である」を回答した人の割合は精道地区が 62.8%と最も高かったのに対し、潮芦屋地区が 1.9%と最も低く、最も大きな格差となっている。

2 位の「豊かな自然環境に恵まれている」を回答した人の割合は、潮芦屋地区（59.3%）や潮見（潮芦屋除く）地区（58.0%）が高かったのに対し、打出浜地区（20.8%）や宮川地区（24.4%）は低かった。また、3 位の「地域イメージが良い」を回答した人の割合は、どの地区においても約 30%～50%となっており、上位 2 つの項目ほどの格差はなかった。

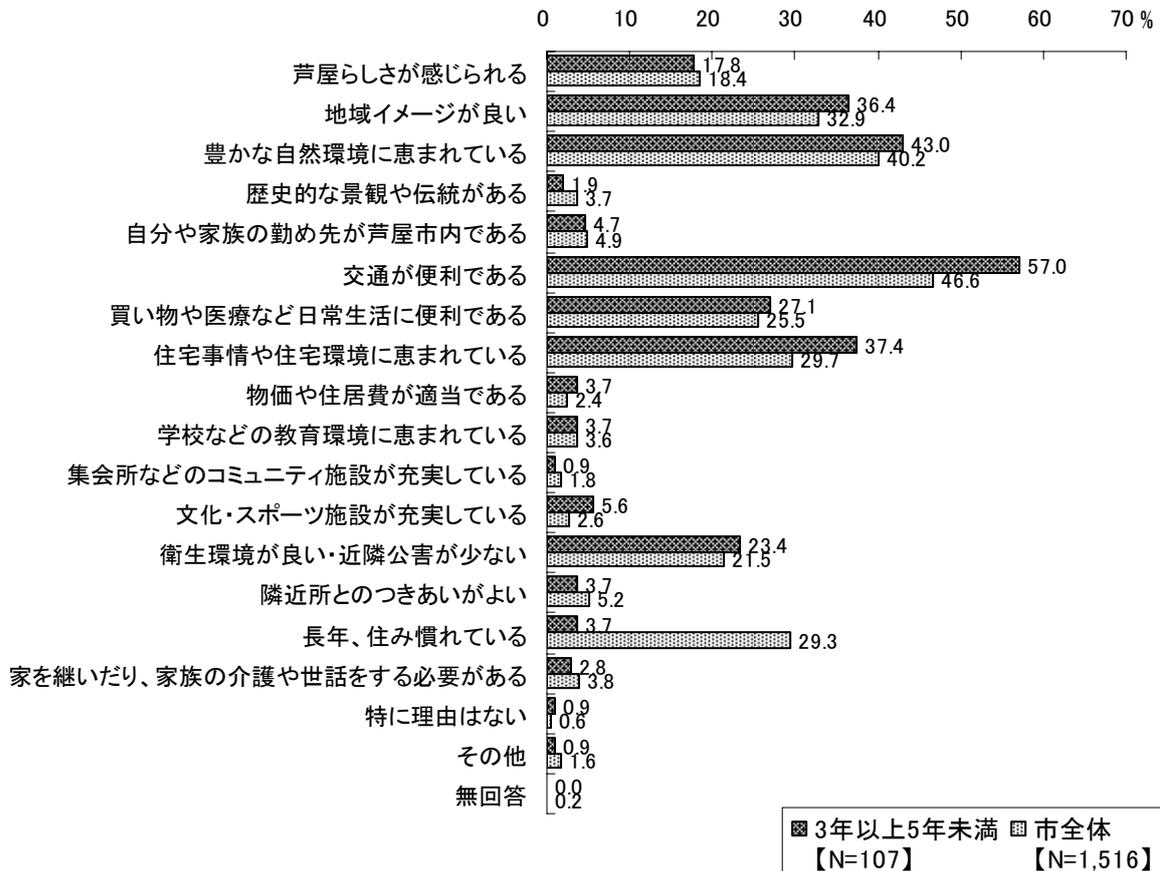
年齢別では、すべての年齢層で「交通が便利である」を回答した人の割合が4割を超え、年齢層が高くなるほど「長年、住み慣れている」と回答する人の割合が多くなっている。

芦屋市での居住年数別

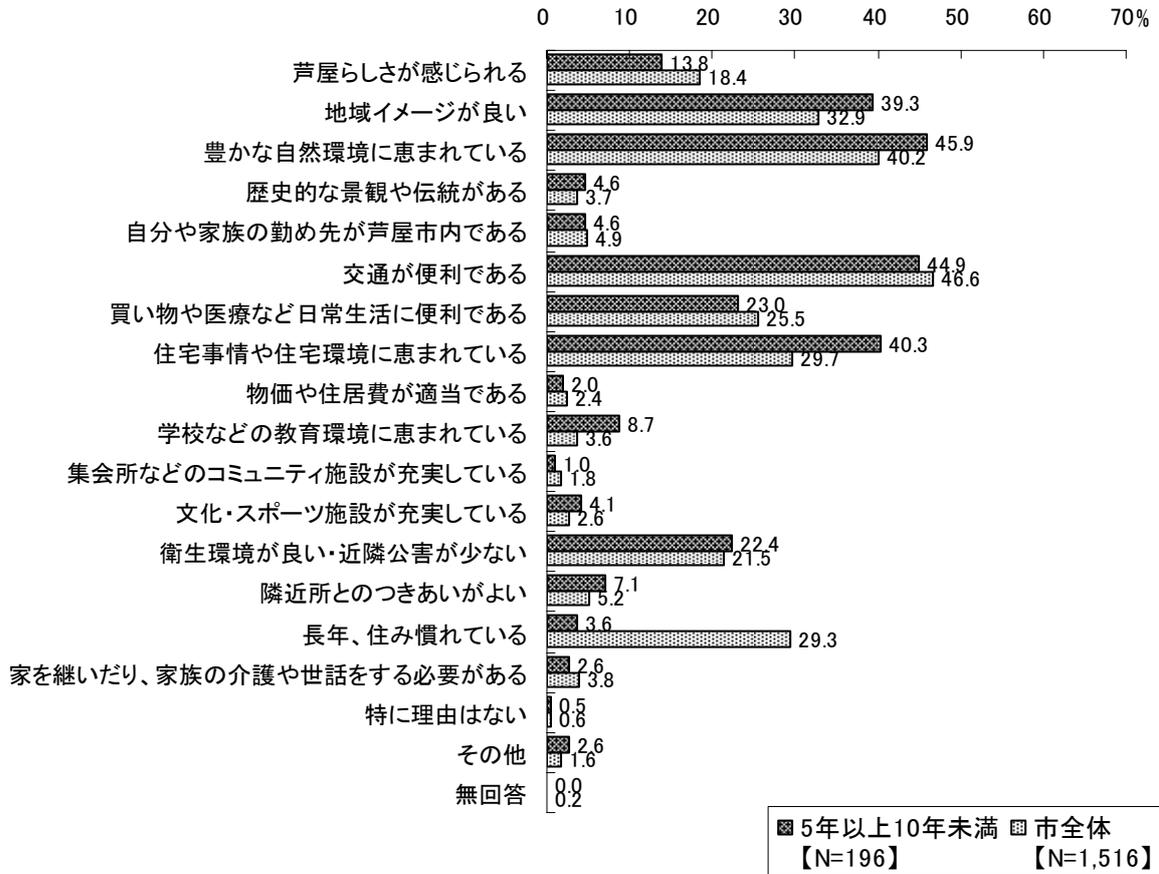
< 3年未満 >



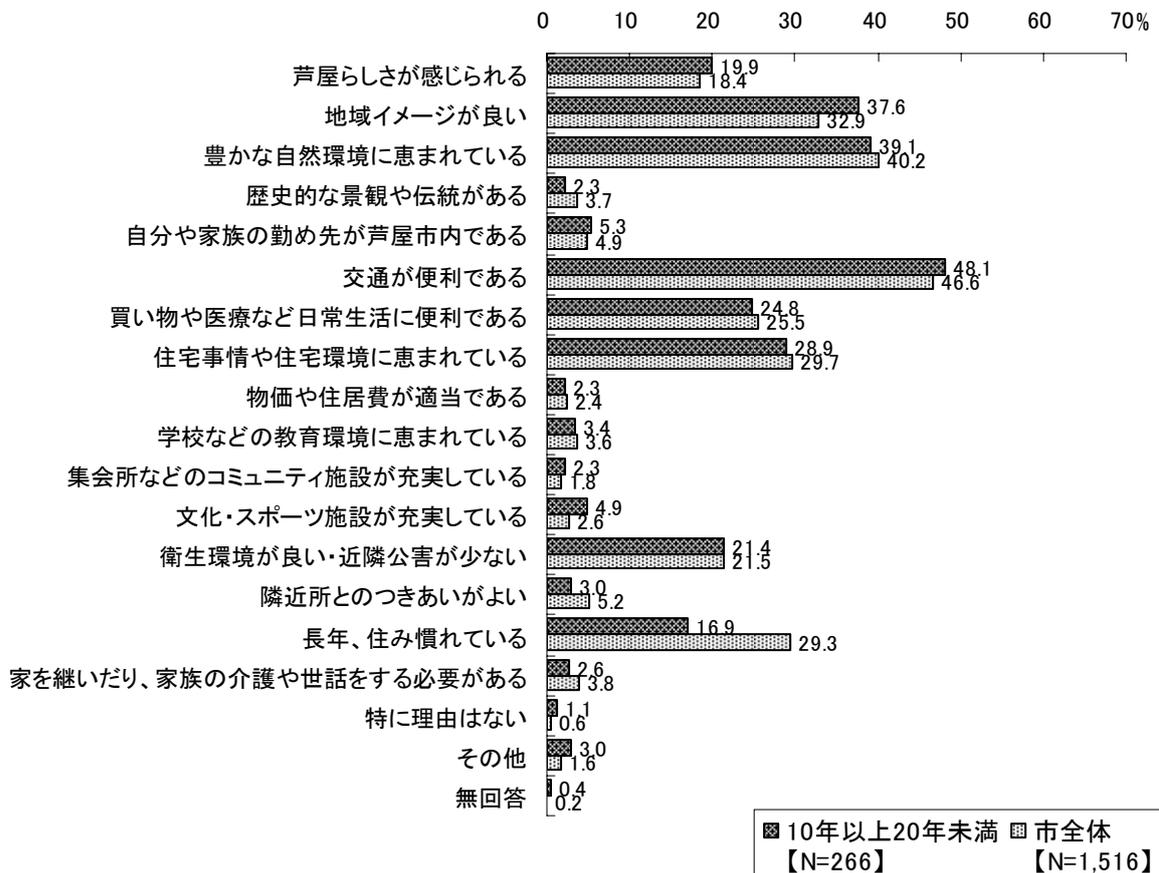
< 3年以上5年未満 >



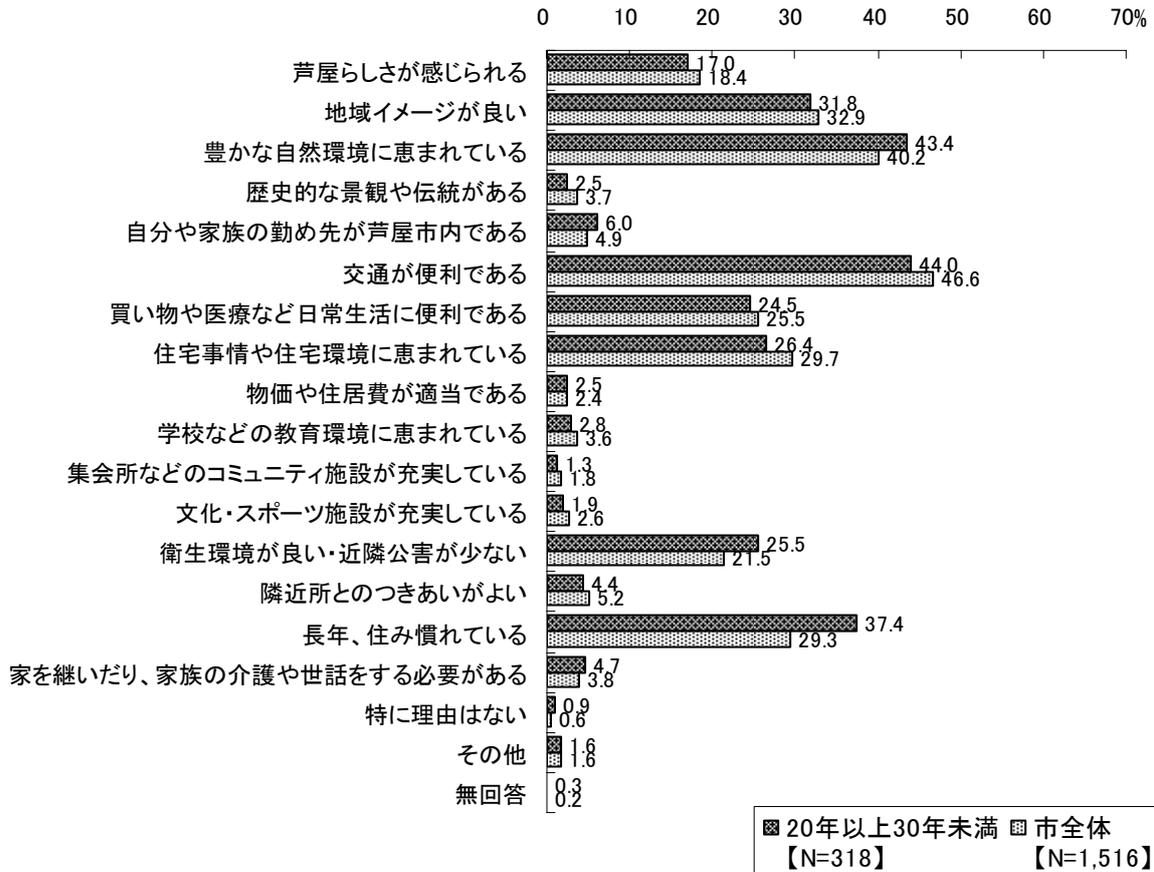
< 5年以上10年未満 >



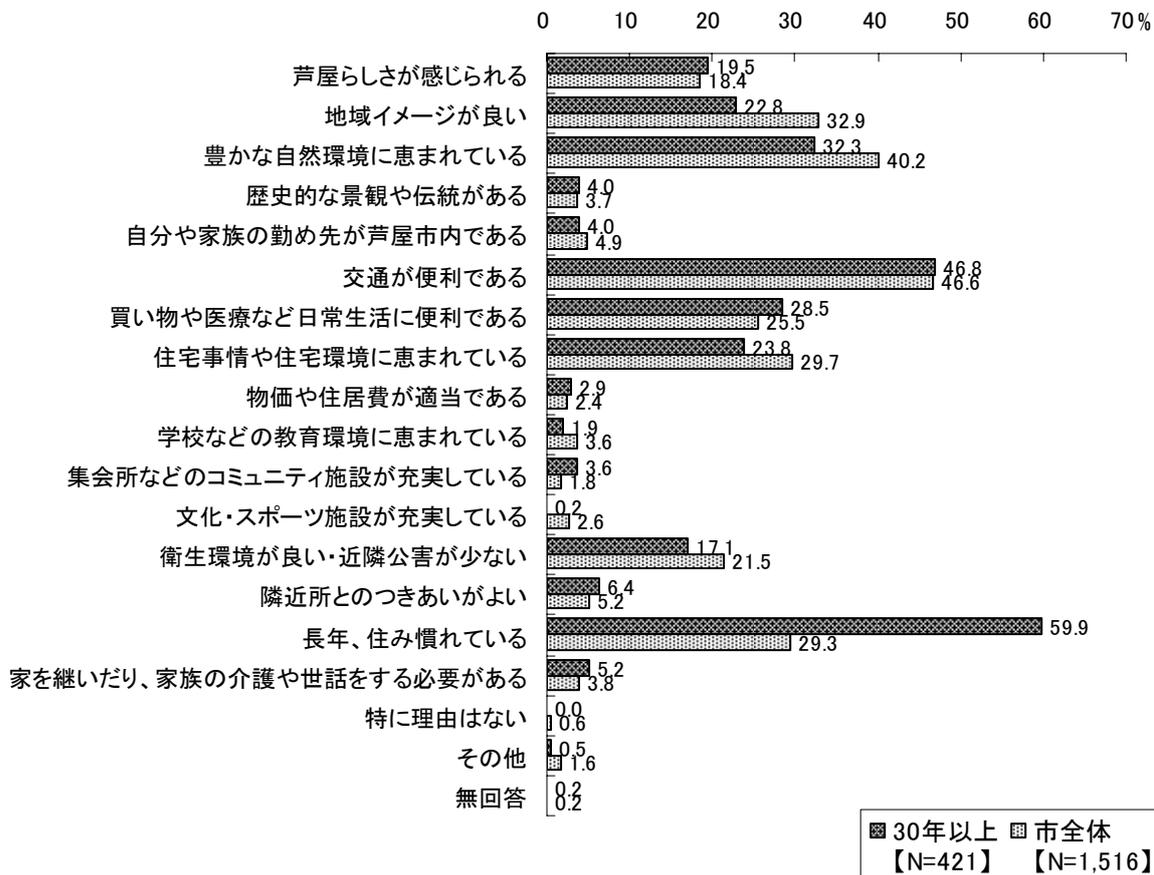
< 10年以上20年未満 >



< 20年以上30年未満 >

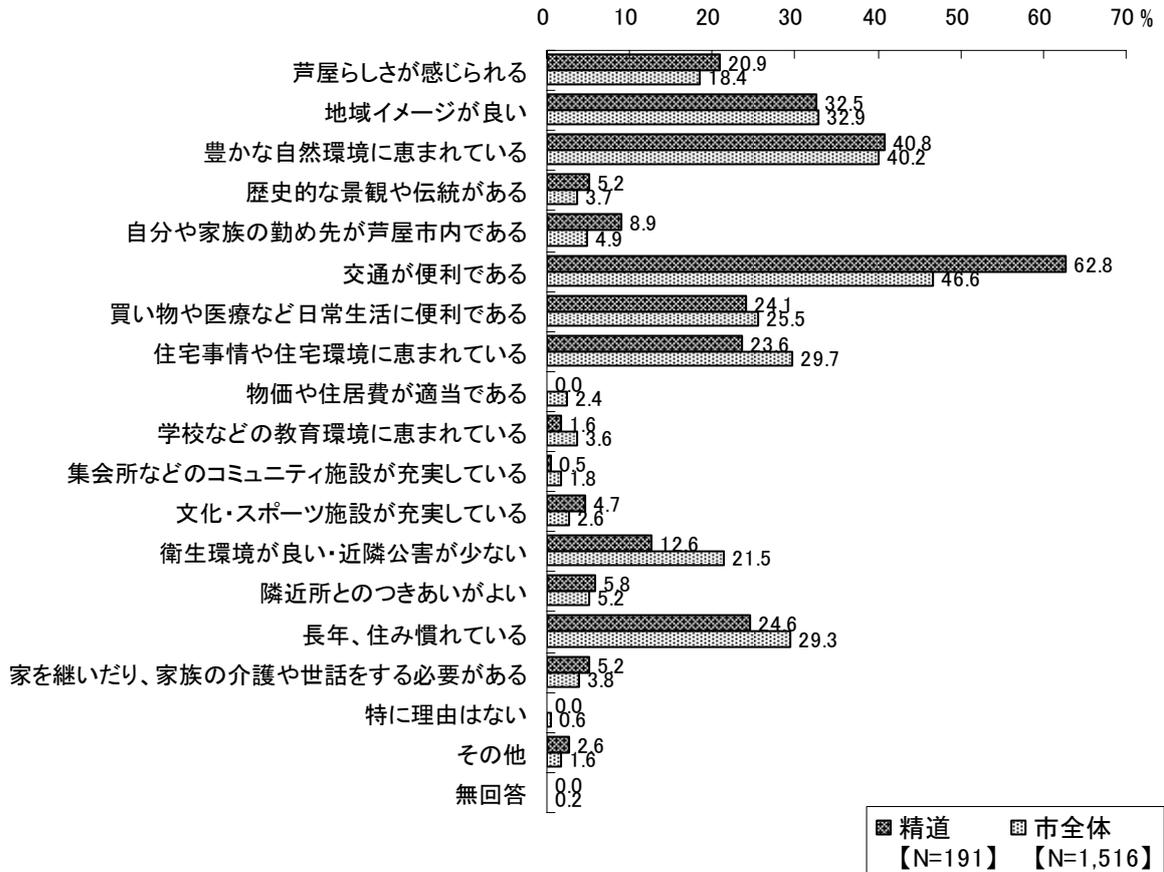


< 30年以上 >

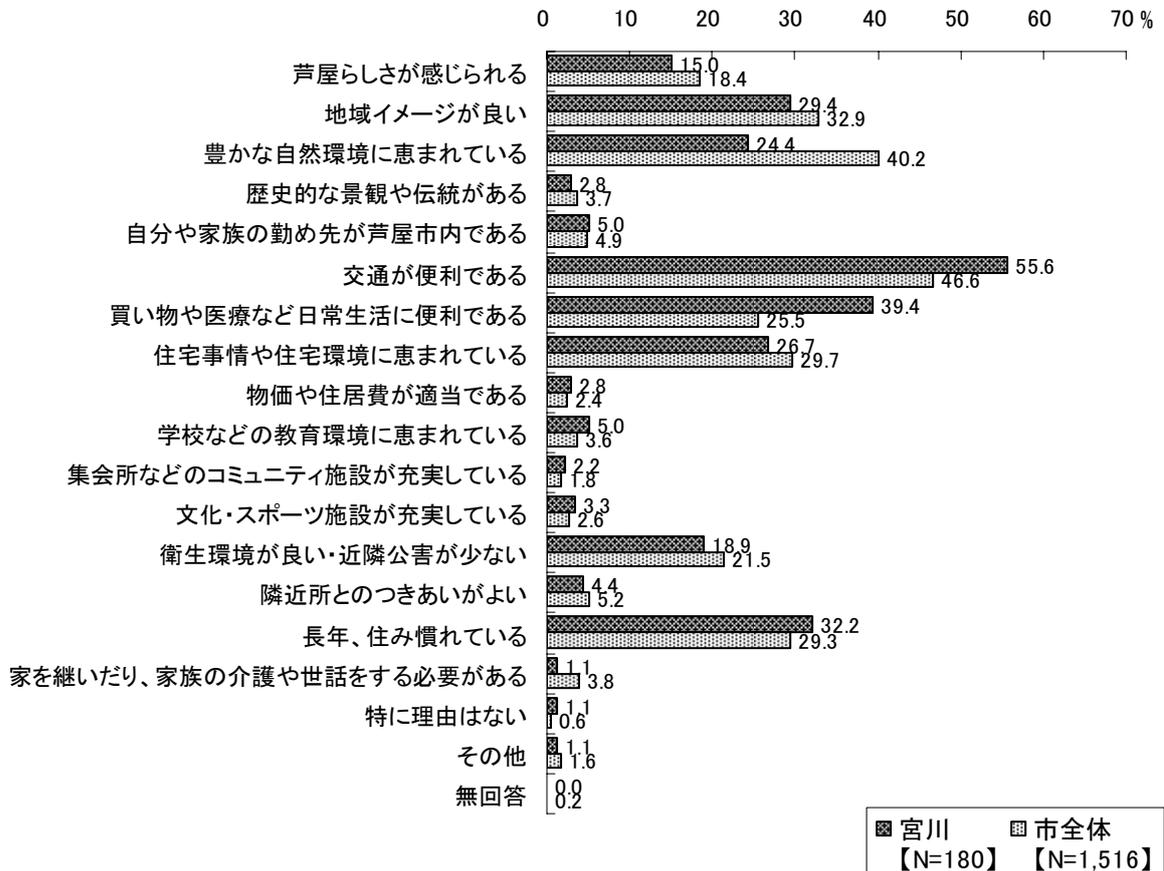


居住地別

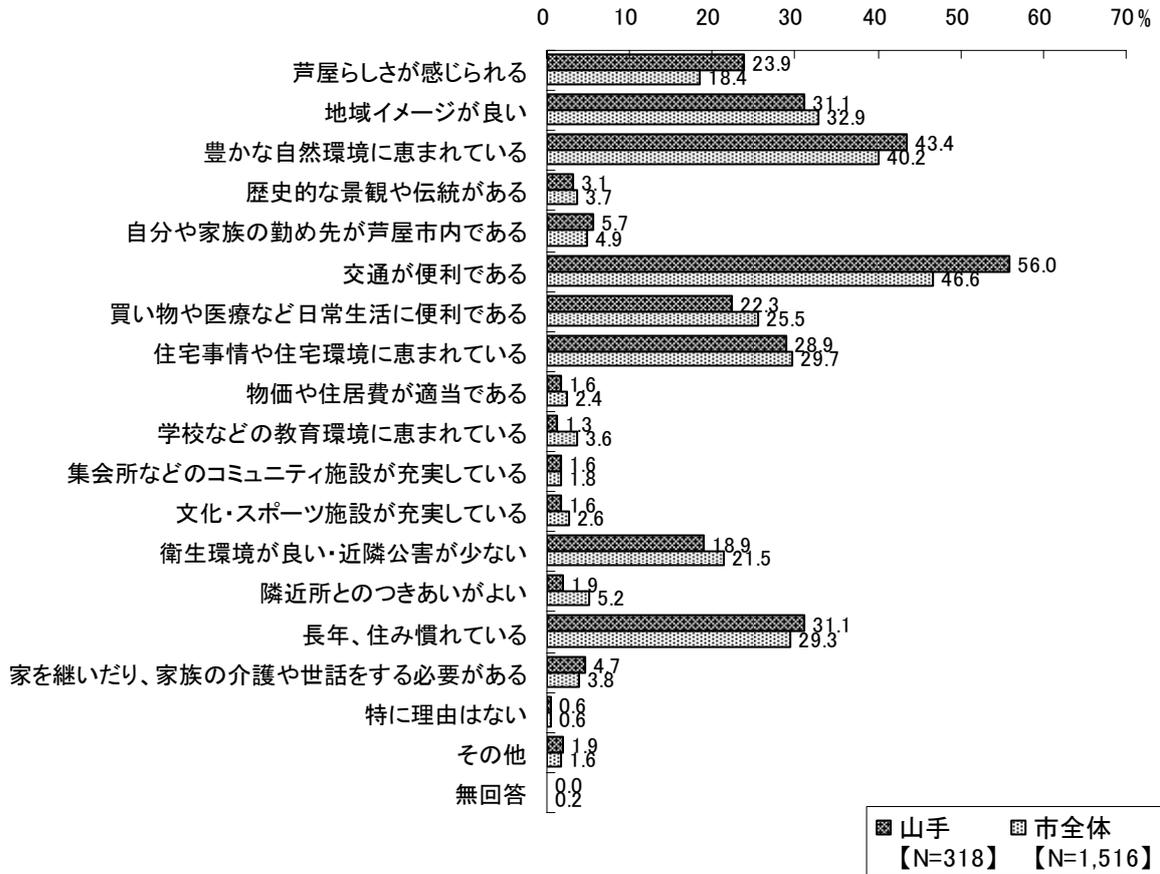
< 精道 >



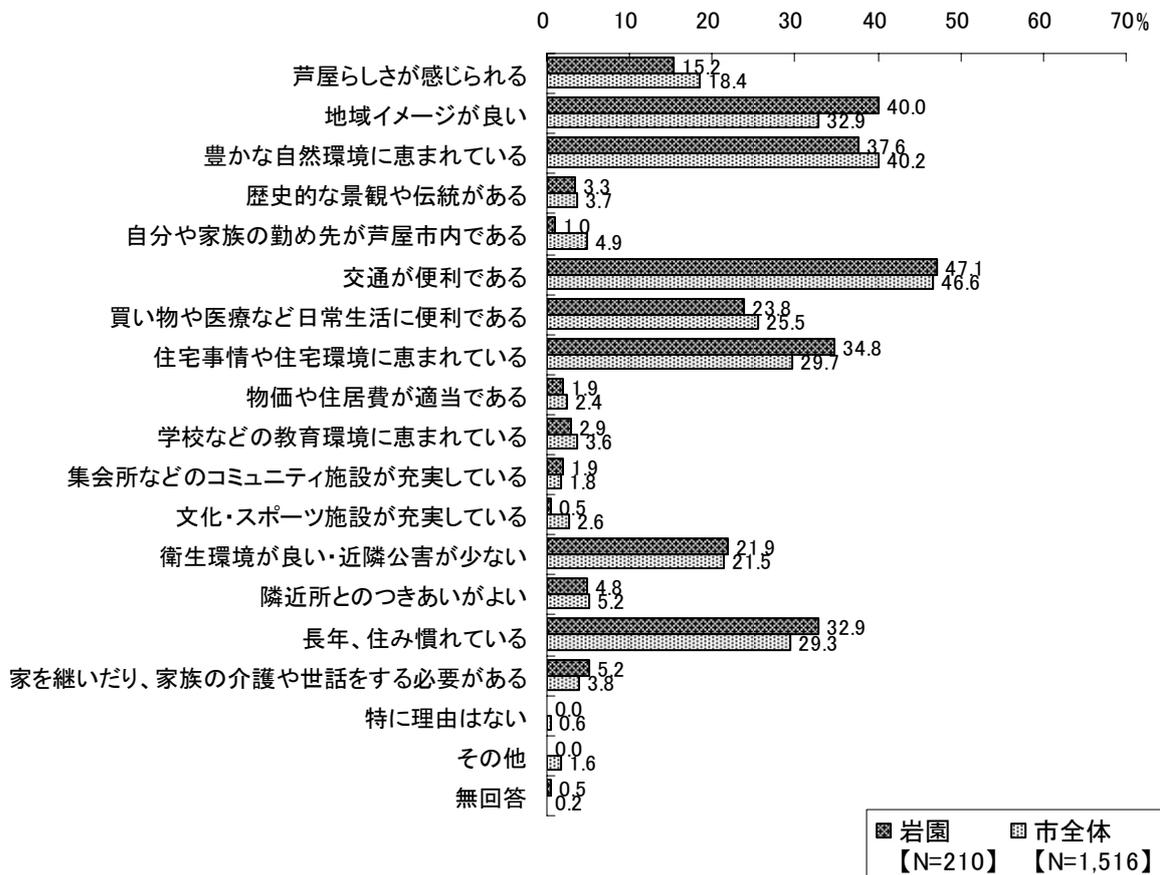
< 宮川 >



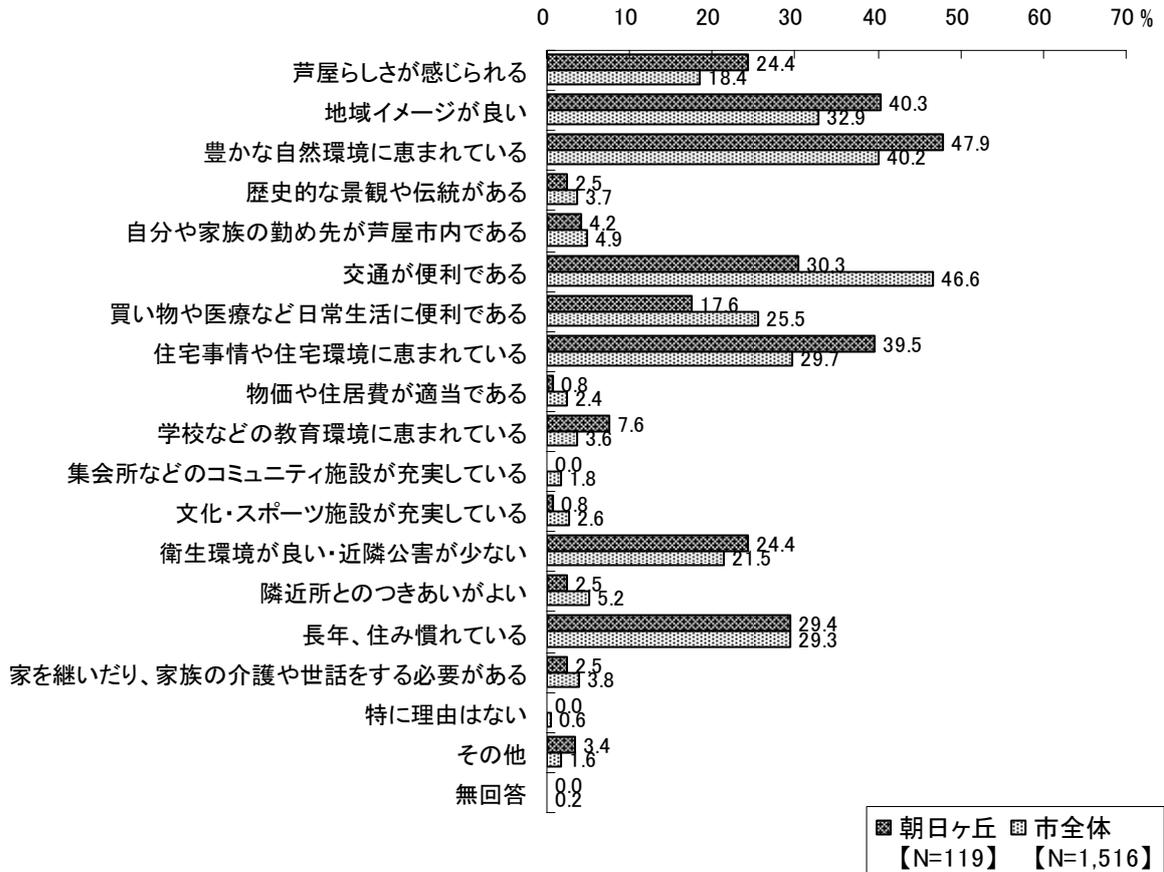
< 山手 >



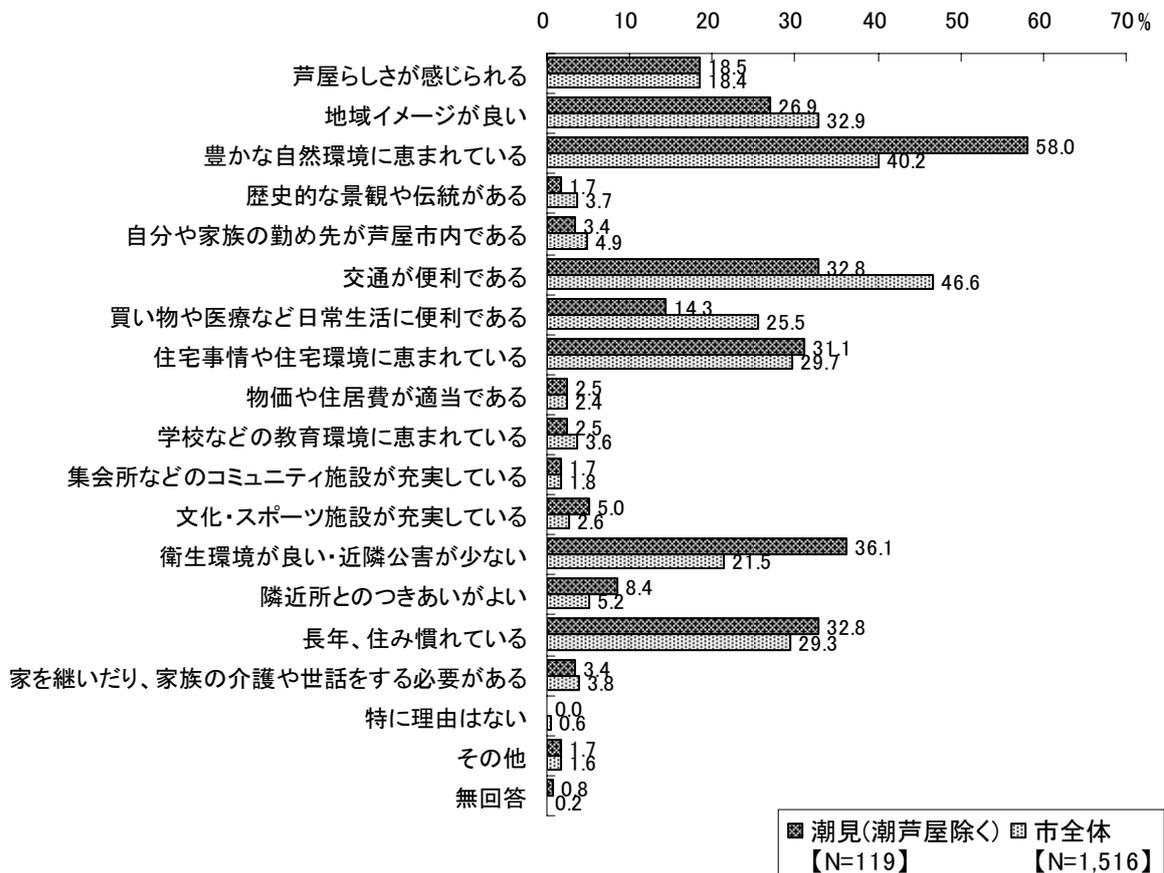
< 岩園 >



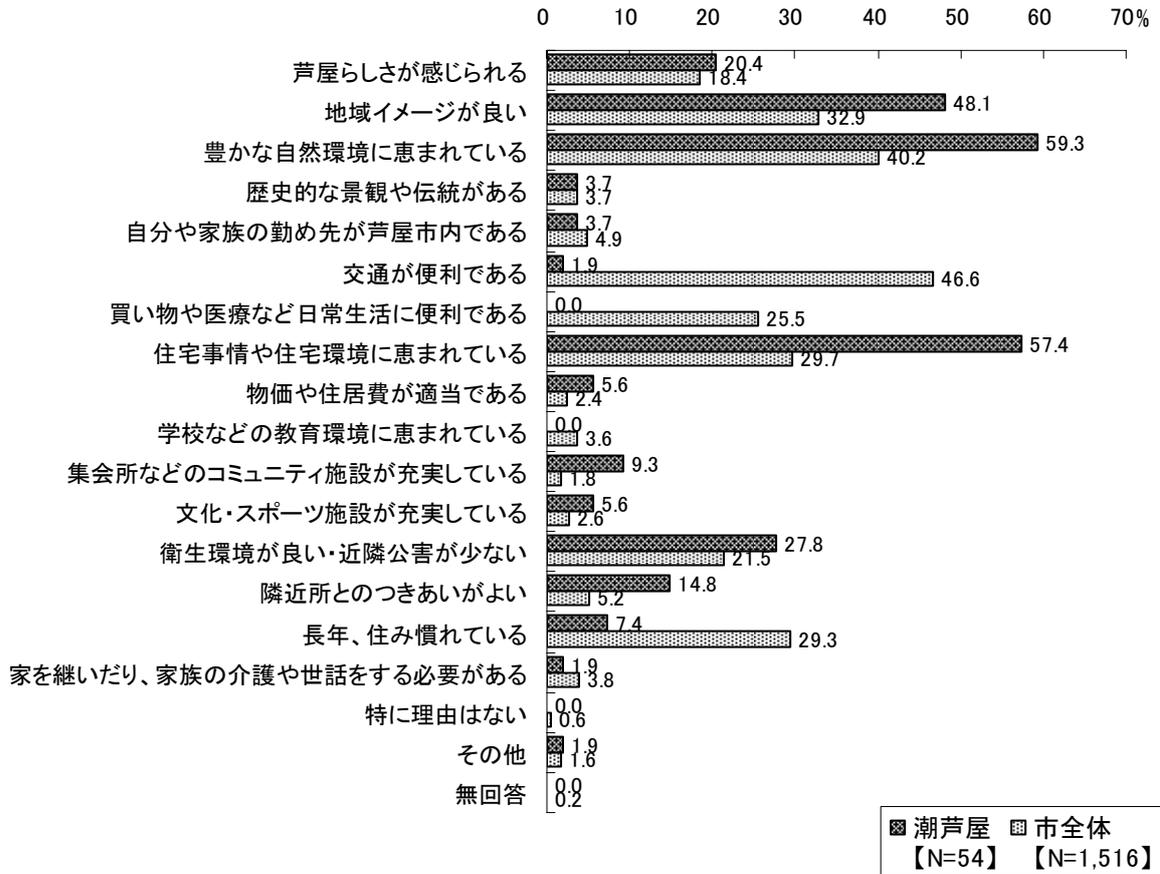
< 朝日ヶ丘 >



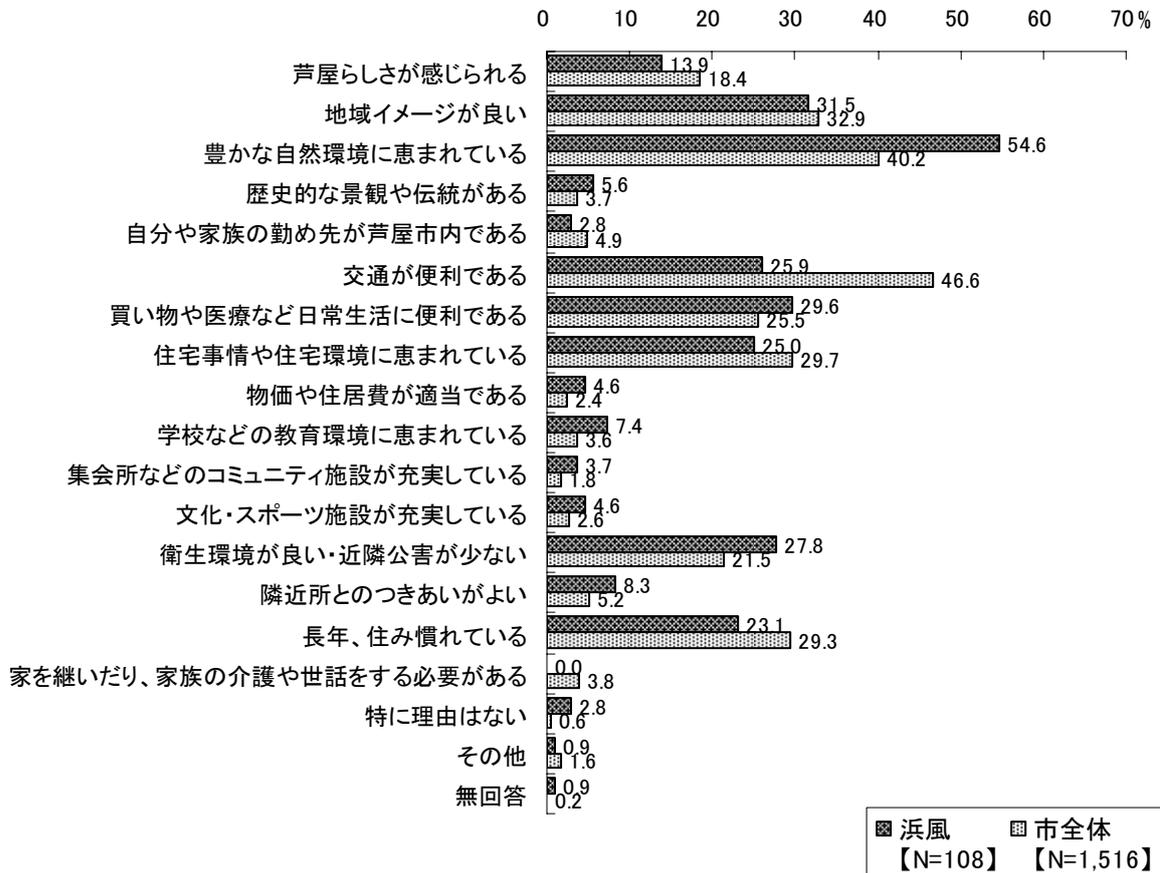
< 潮見(潮芦屋除く) >



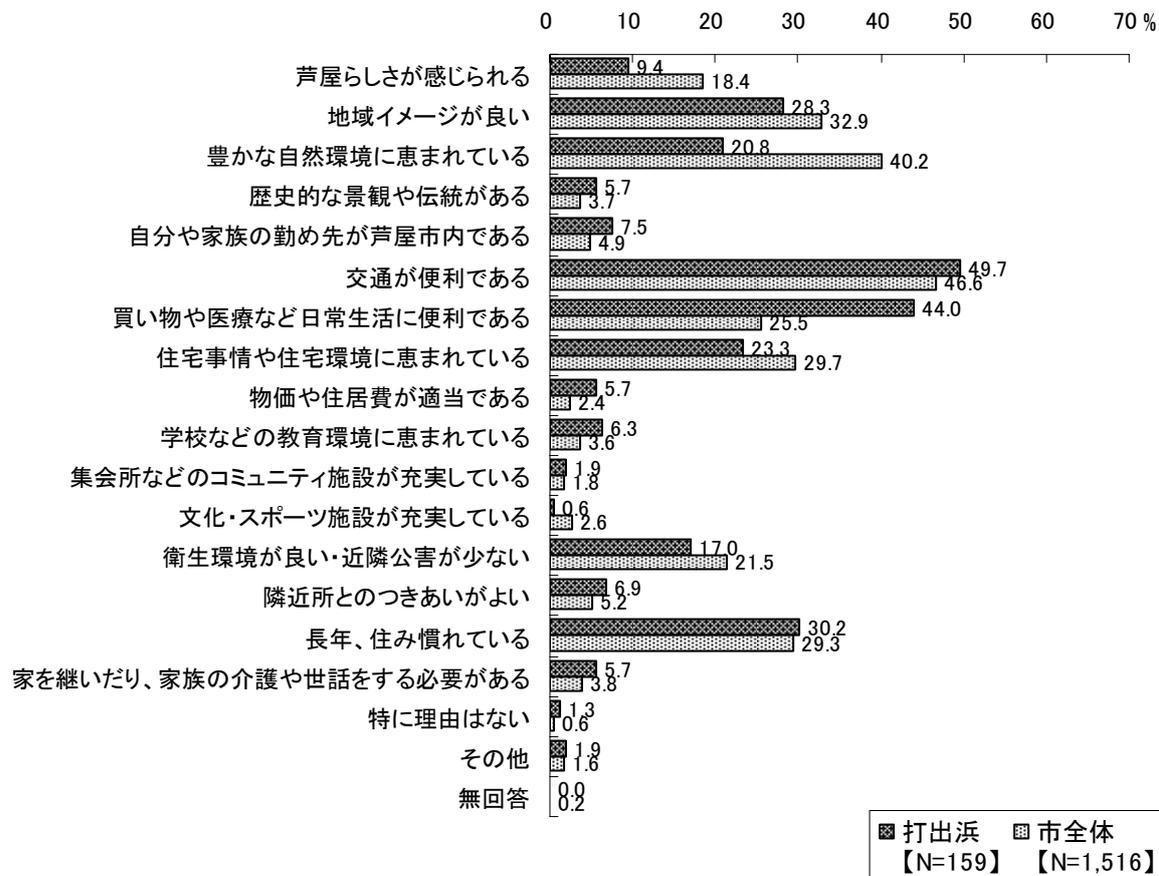
< 潮芦屋 >



< 浜風 >

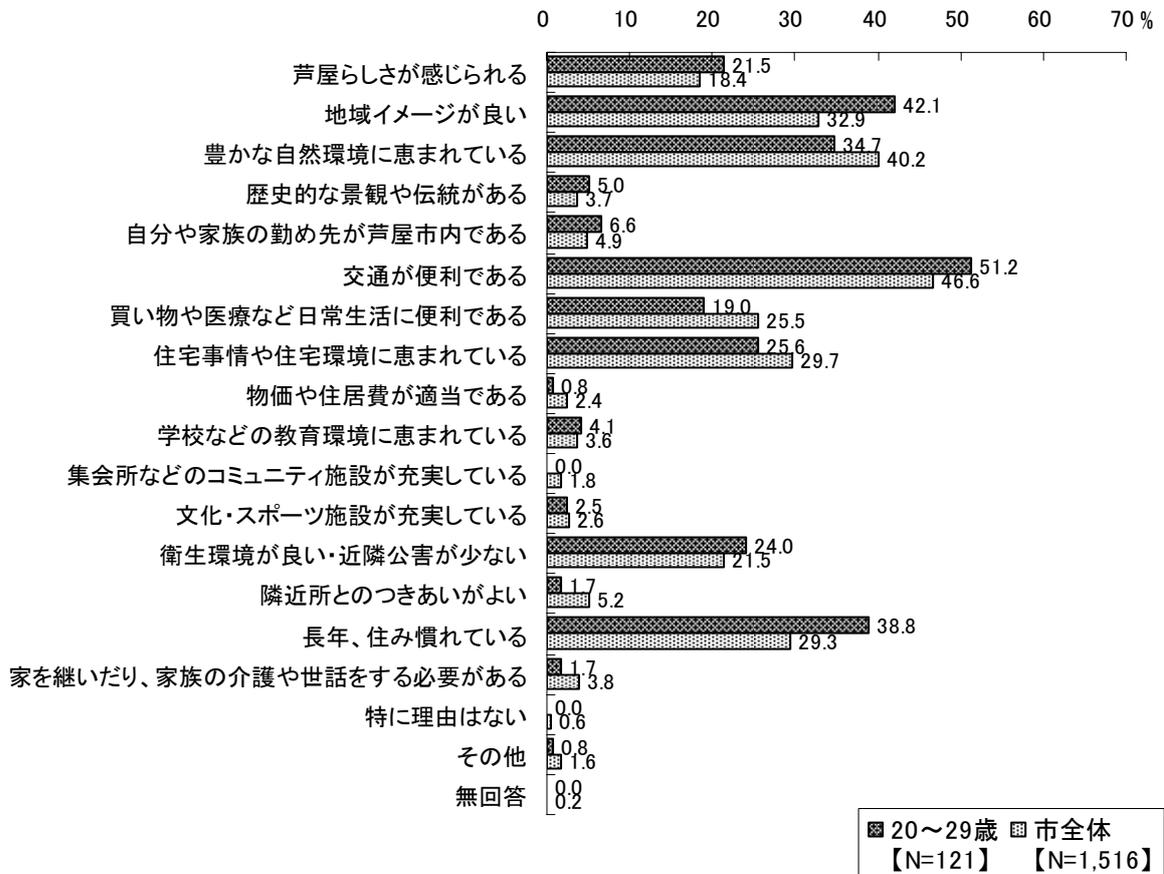


< 打出浜 >

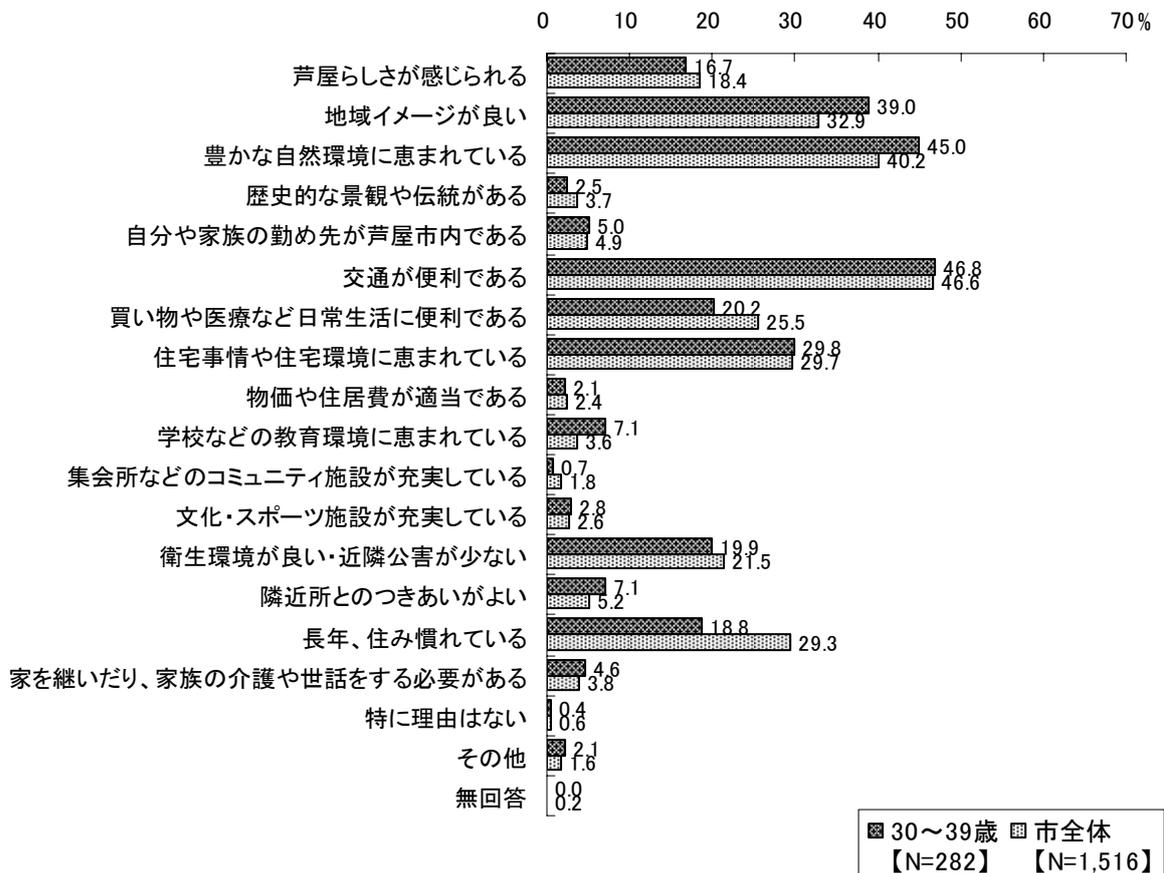


年齢別

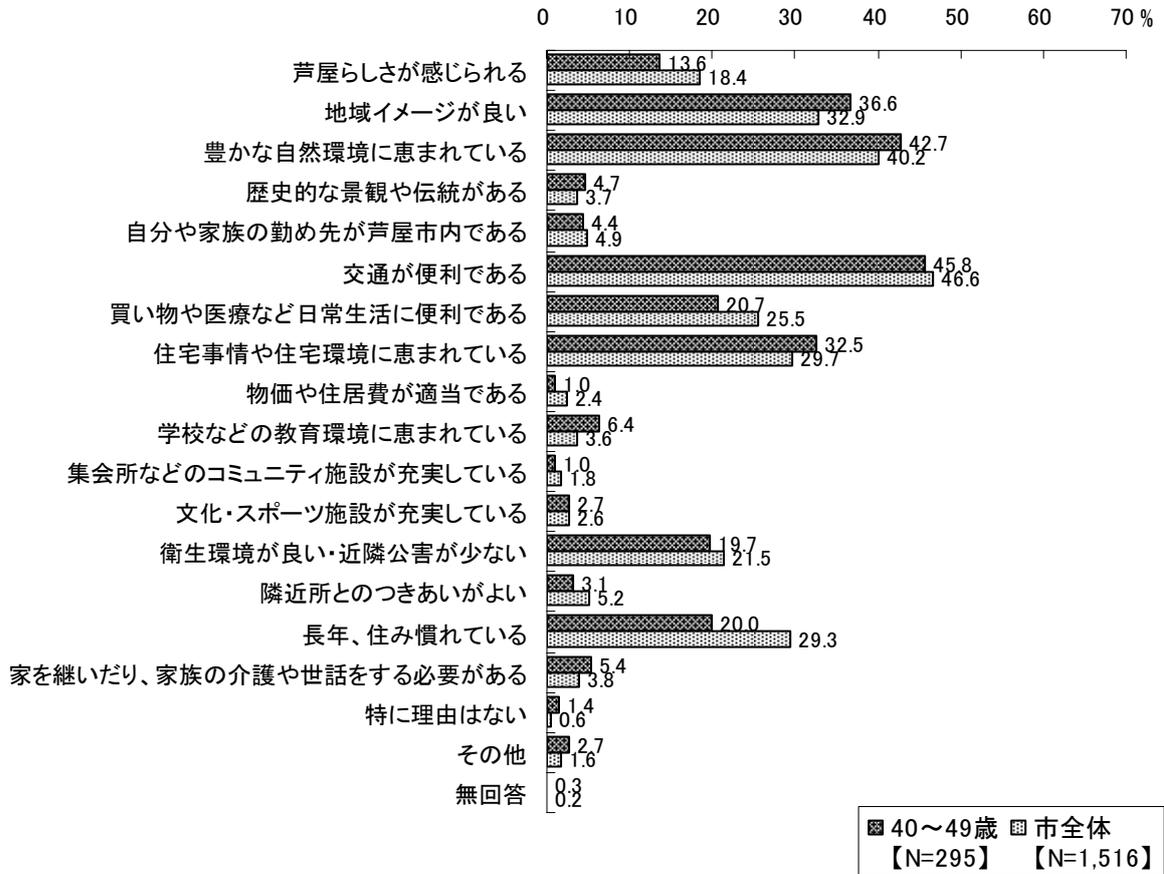
< 20 ~ 29 歳 >



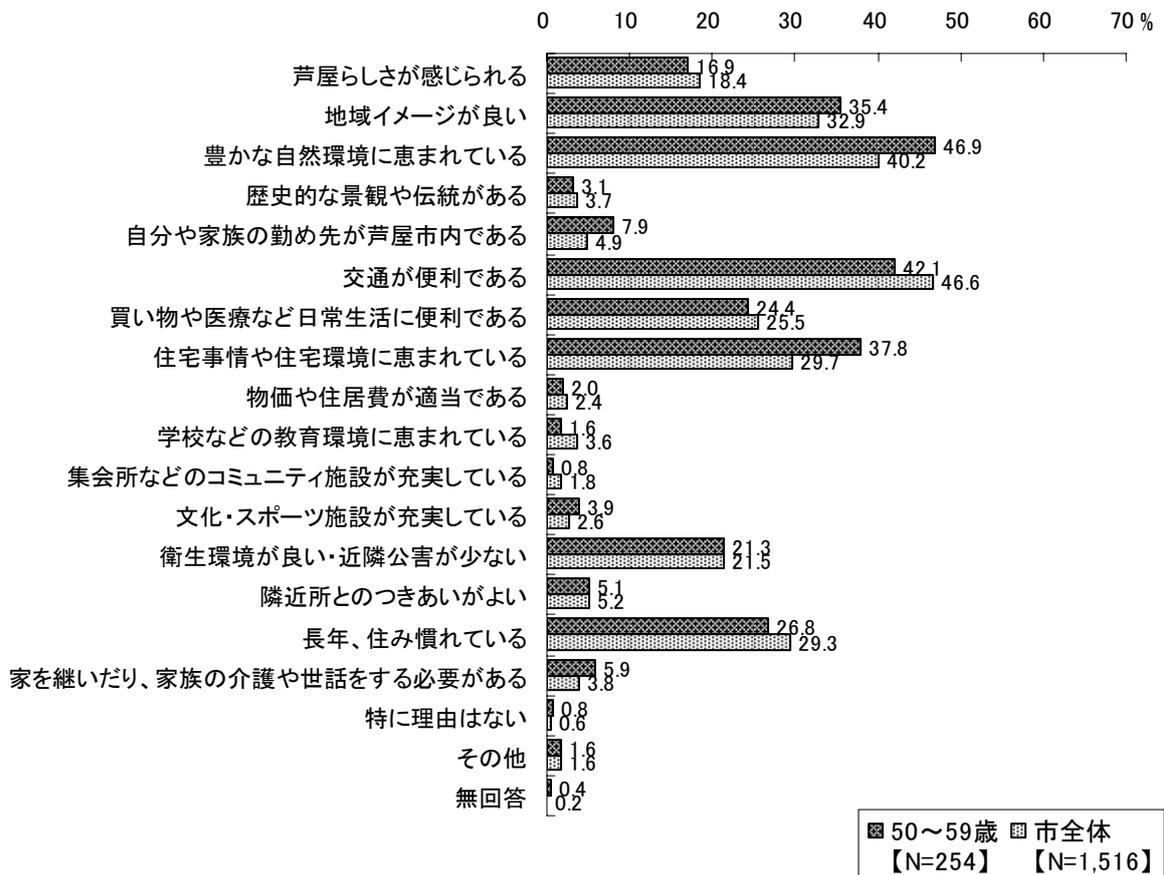
< 30 ~ 39 歳 >



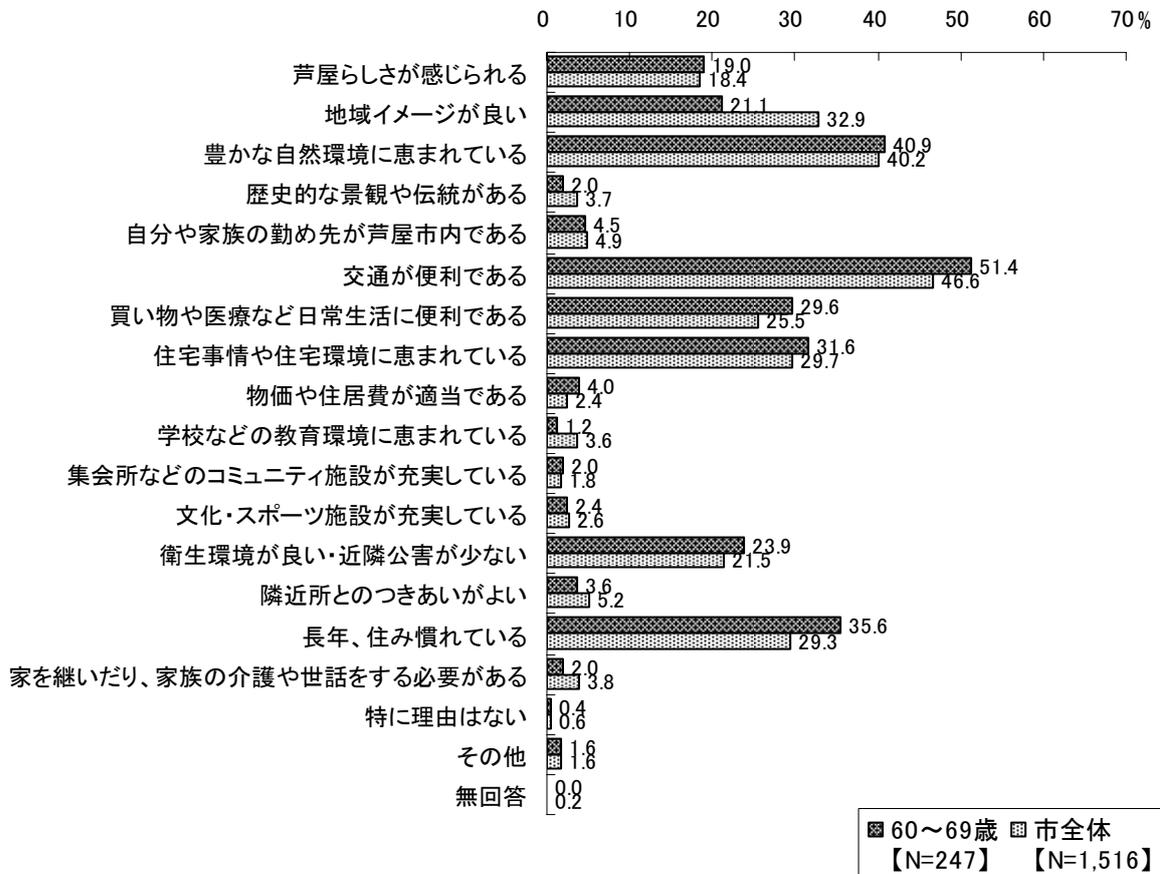
< 40 ~ 49 歳 >



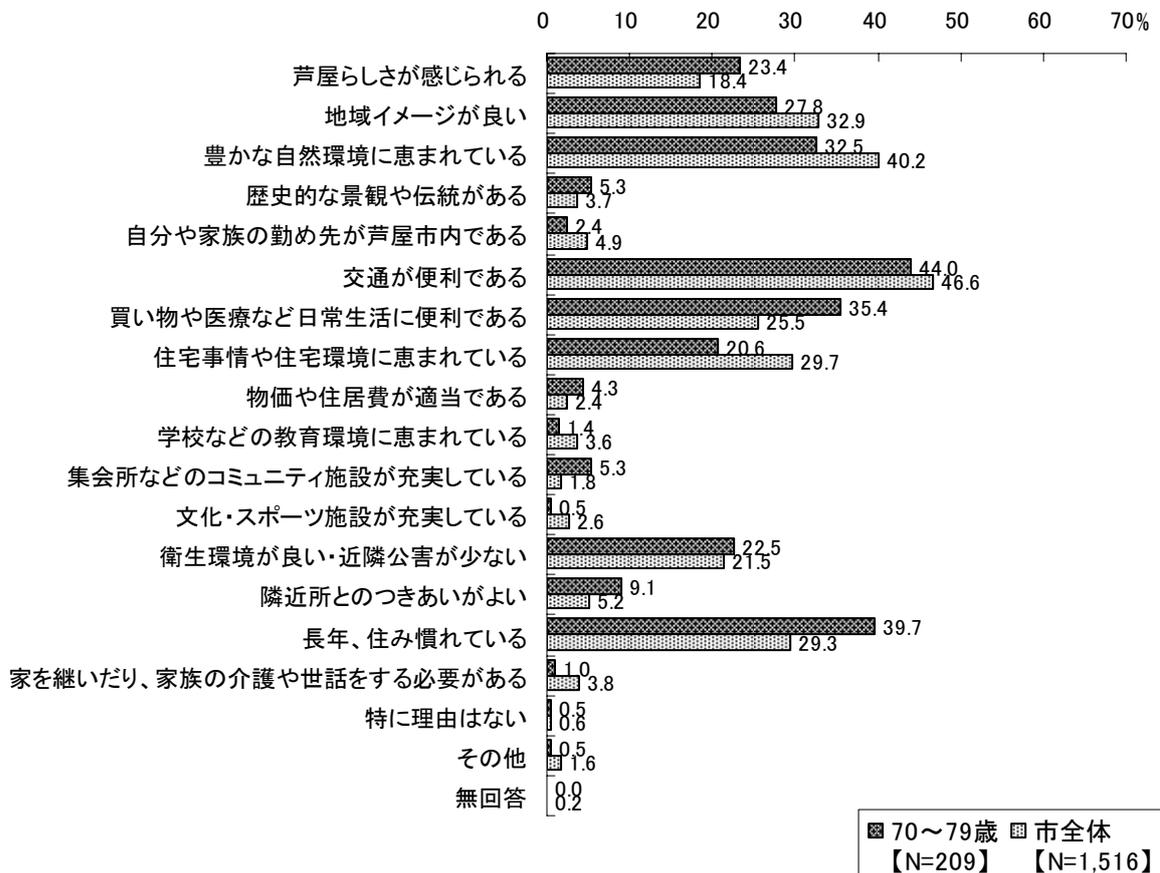
< 50 ~ 59 歳 >



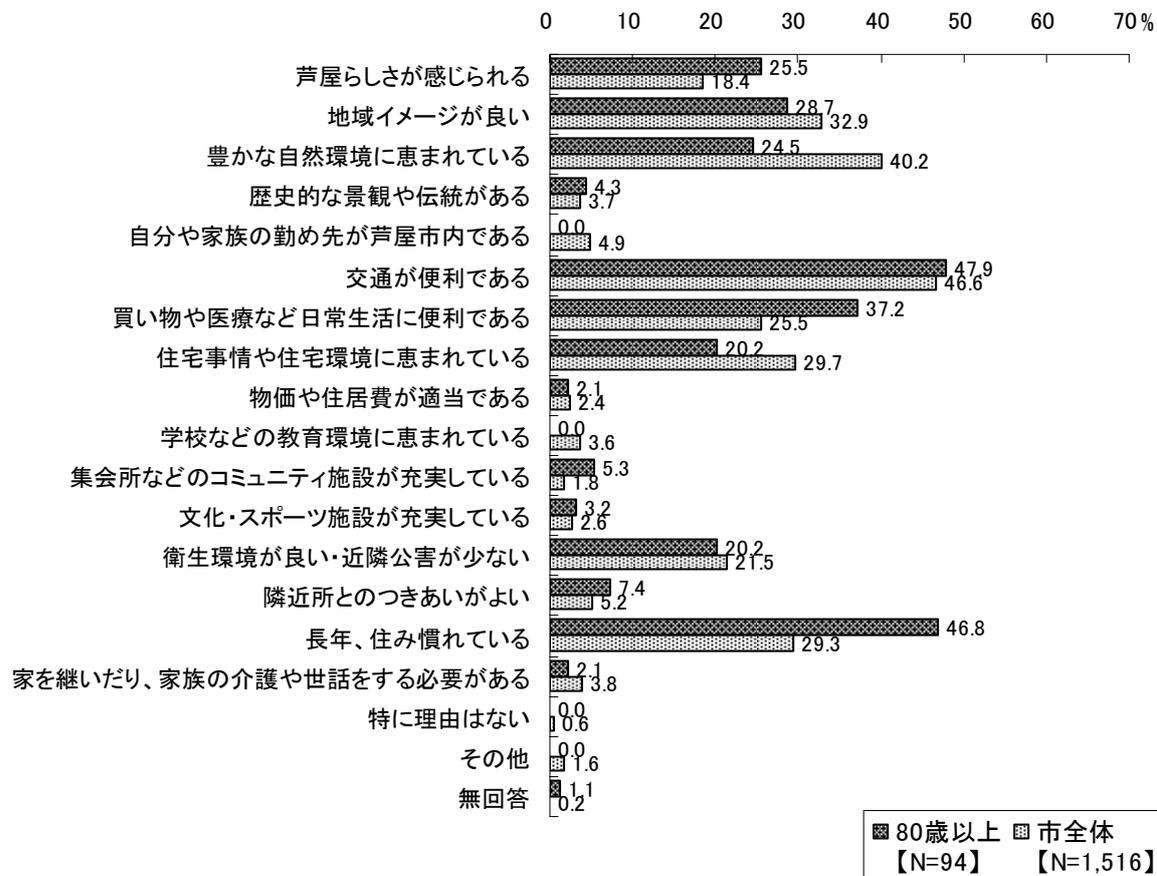
< 60～69歳 >



< 70～79歳 >



< 80 歳以上 >



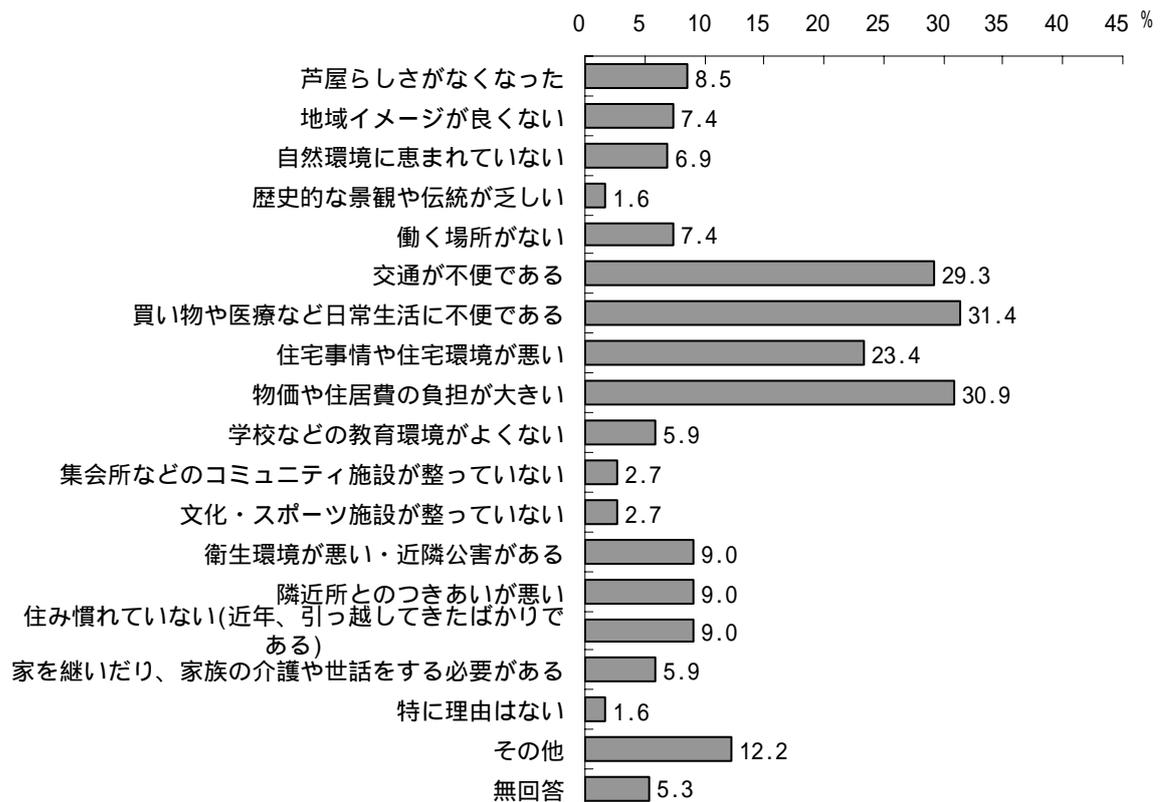
(5) 移転したい理由(3つまで)

『日常生活に不便』、『物価・住居費の負担が大きい』、『交通が不便』

問3で、「3. 移転したい(市内へ)」,「4. 移転したい(市外へ)」,と答えた方にお伺いします。

問5 移転したいと思われる理由を,次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。

【N = 188】



移転したい理由について、「買い物や医療など日常生活に不便である」が31.4%と最も多く、「物価や住居費の負担が大きい」が30.9%、「交通が不便である」が29.3%となっている。

その他意見

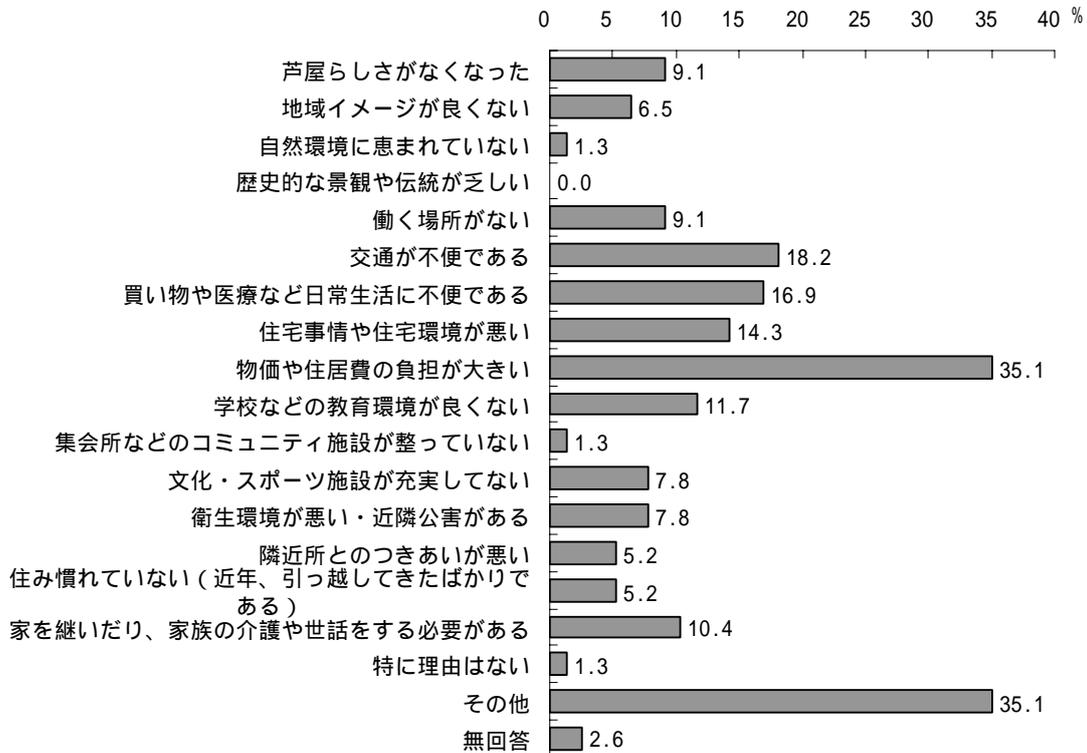
- ・転居したい(家が狭い, 賃貸だから, 良い物件が無い他)(12件)
- ・税金が高い(4件)
- ・線路沿いの騒音(2件)
- ・子育ての環境が良くない(保育園に入れないなど)(2件)
- ・帰郷したい(2件) ・冬の寒さ, 凍結(1件)
- ・退職のため(1件) ・あきてきた(1件)

過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 14 問 12 で「 4 . できれば移転したい（市外へ）」、「 6 . 必ず移転する（市外へ）」とお答えの方にお聞きします。

移転したいと思われる理由を、次の中から 3 つまで選んで 印をつけてください。

【 N = 77 】



平成 16 年度調査で 1 位であった「物価や住居費の負担が大きい」が今回の調査では 2 位となり、35.1%から 30.9%と 4.2 ポイント低下している。

2 位であった「交通が不便である」は今回の調査では 3 位となったが、18.2%から 29.3%と 11.1 ポイント上昇している。また、3 位であった「買い物や医療など日常生活に不便である」は今回の調査では 1 位となり、18.2%から 31.4%と 13.2 ポイント上昇している。

また、「学校などの教育環境が良くない」は 11.7%から 5.9%と 5.8 ポイント低下している。

芦屋市での居住年数別では、「買い物や医療など日常生活に不便である」を回答した人の割合は 10 年未満が市全体より多くなっており、「5 年以上 10 年未満」が 44.8%と最も高い。また、「物価や住居費の負担が大きい」も 10 年未満が市全体より多くなっており、「3 年未満」が 38.7%と最も高い。

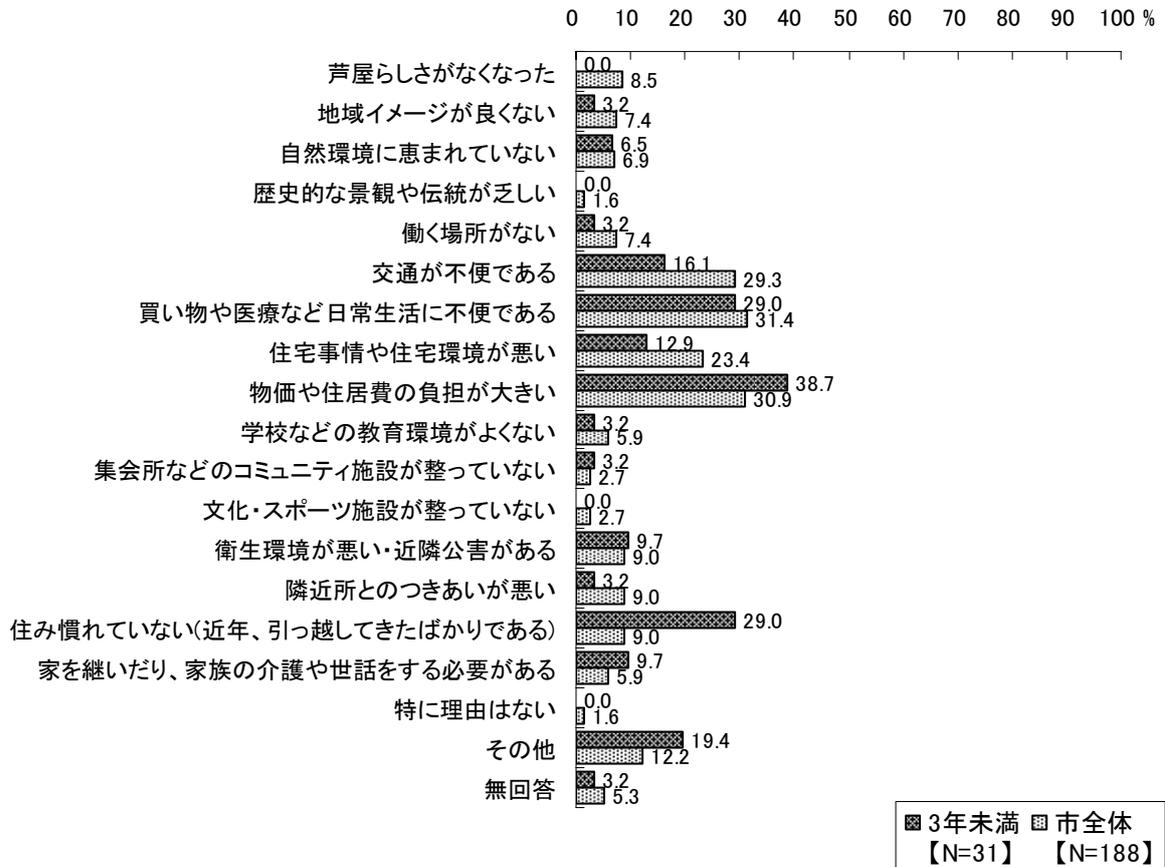
居住地別では、精道地区では「衛生環境が悪い・近隣公害がある」が 33.3%、宮川地区では「物価や住居費の負担が大きい」が 48.1%と、市全体よりも高くなっている。

また、「交通が不便である」、「買い物や医療など日常生活に不便である」は朝日ヶ丘地区、潮見(潮芦屋除く)地区、潮芦屋地区で高く、潮芦屋地区で「交通が不便である」と回答した人は 100.0%となっている。

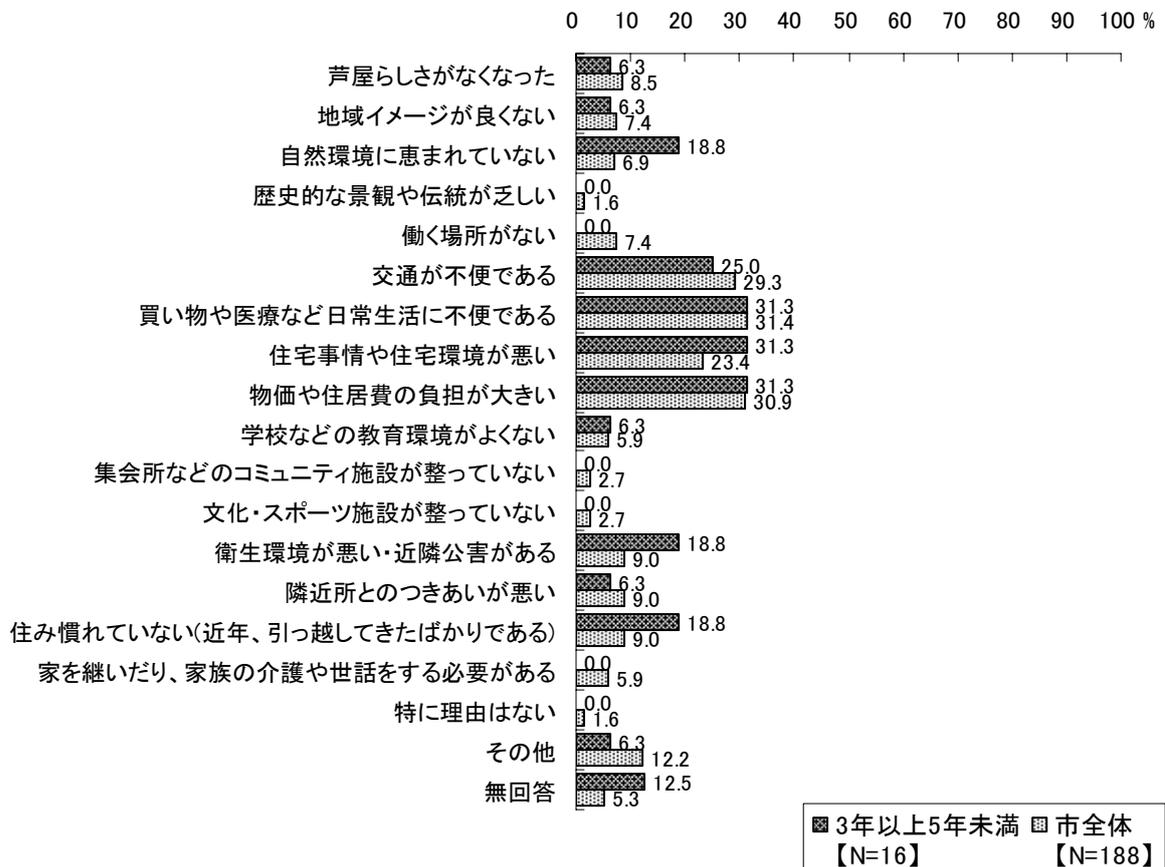
年齢別では、「芦屋らしさがなくなった」と回答した人が 20～29 歳は 3.3%、30～39 歳は 1.9%であるが、年齢階層が高くなるほど多くなり、80 歳以上は 33.3%となっている。

芦屋市での居住年数別

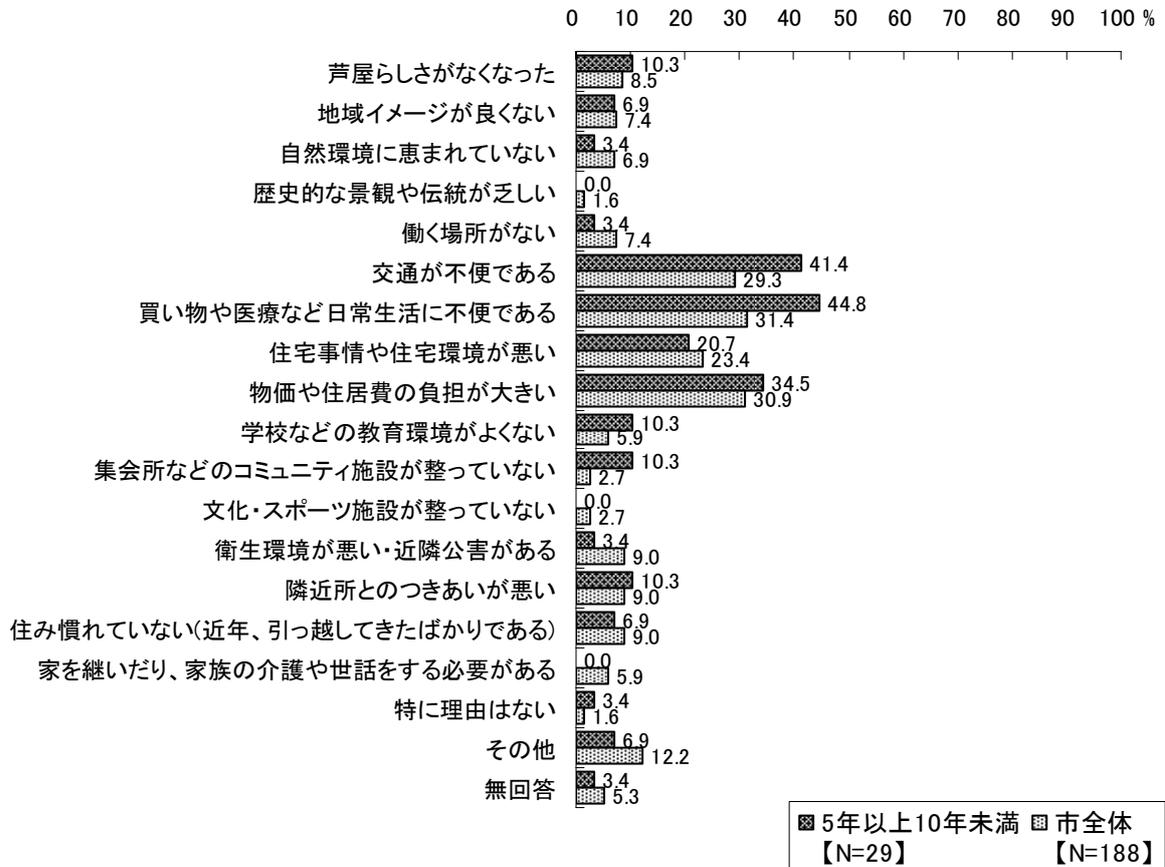
< 3年未満 >



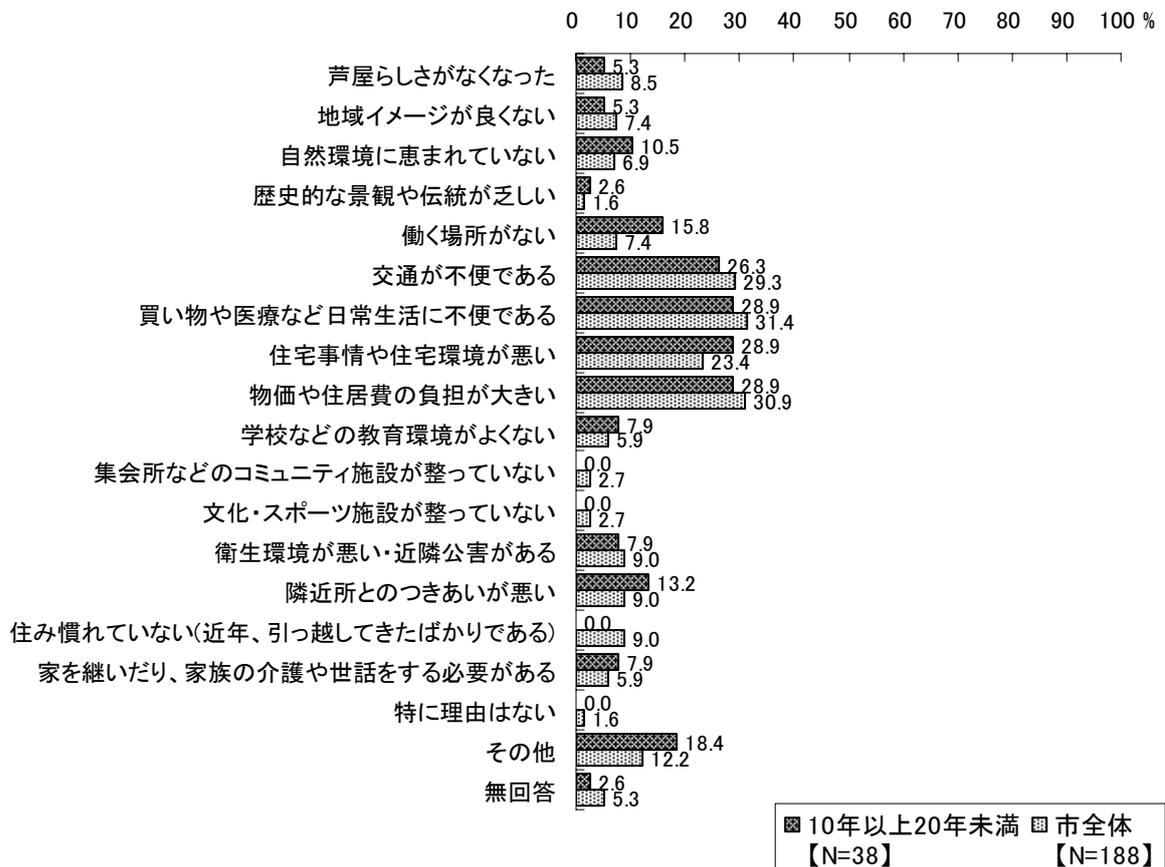
< 3年以上5年未満 >



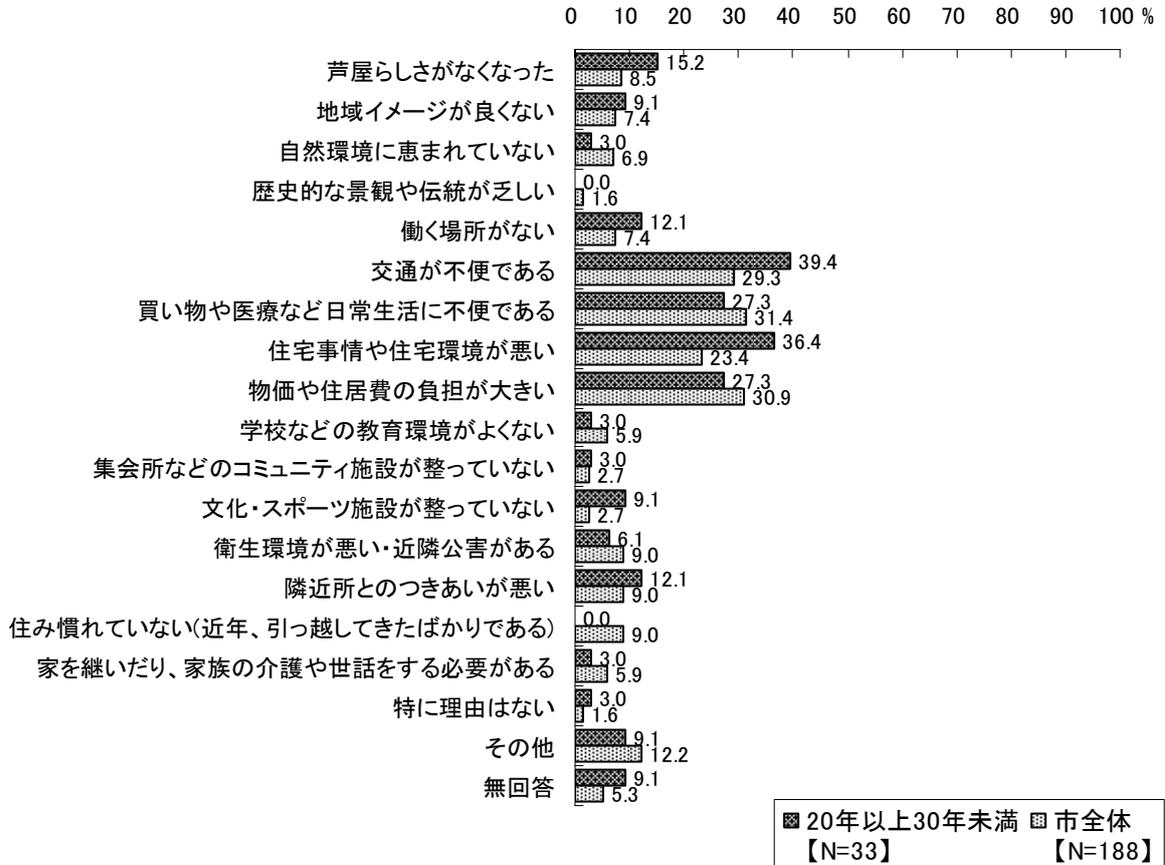
< 5年以上10年未満 >



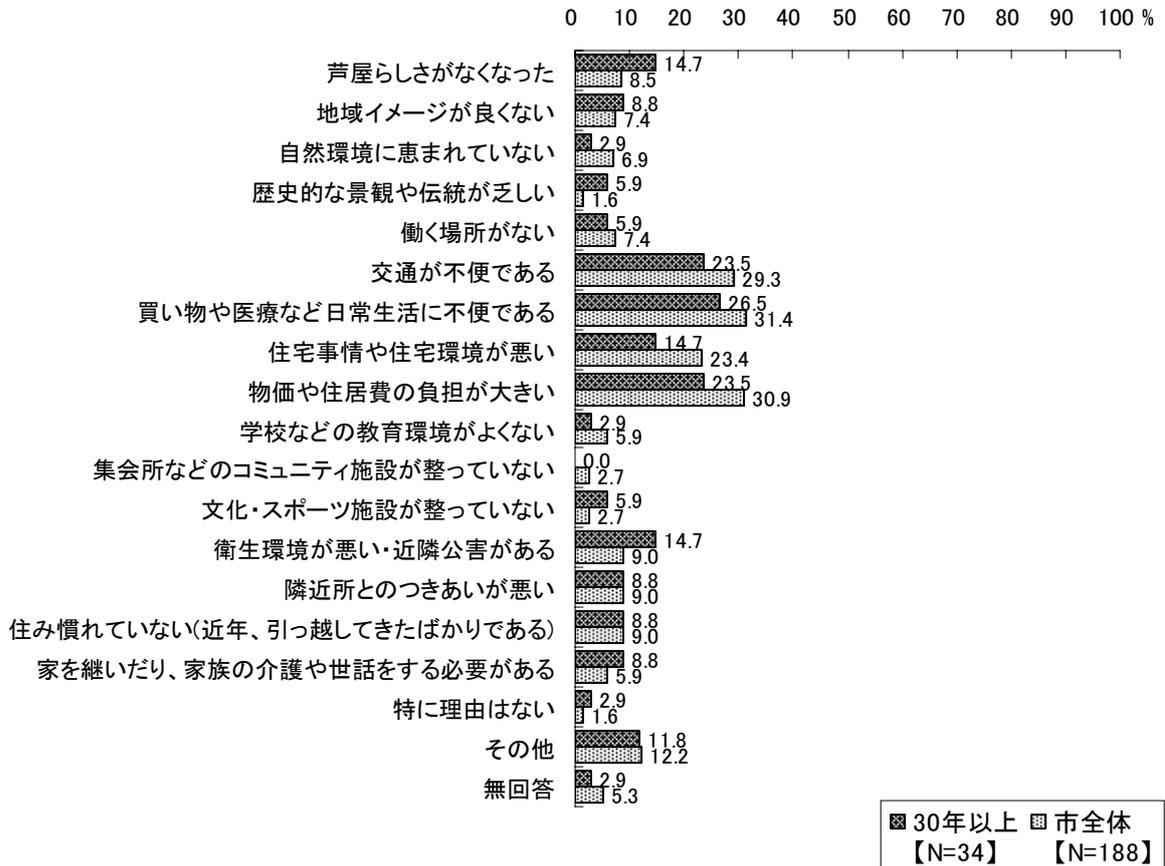
< 10年以上20年未満 >



< 20 年以上 30 年未満 >

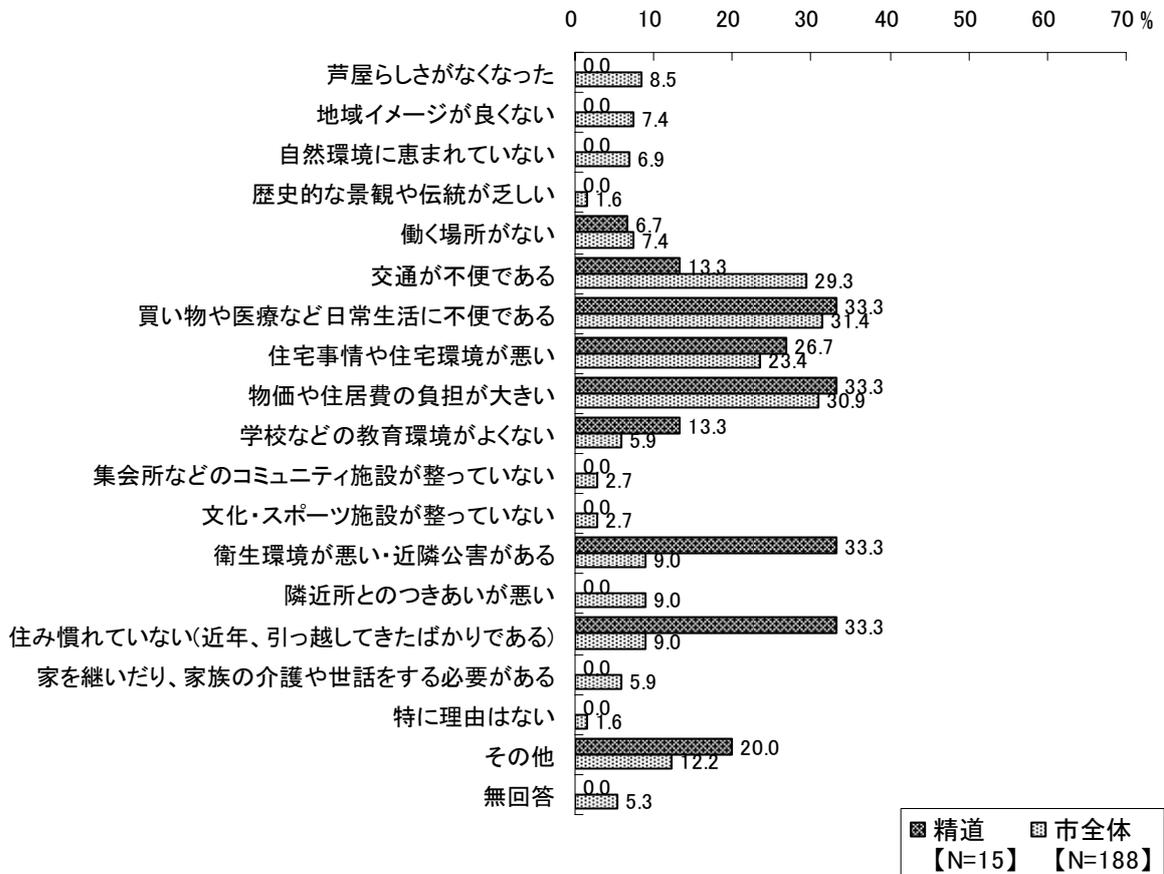


< 30 年以上 >

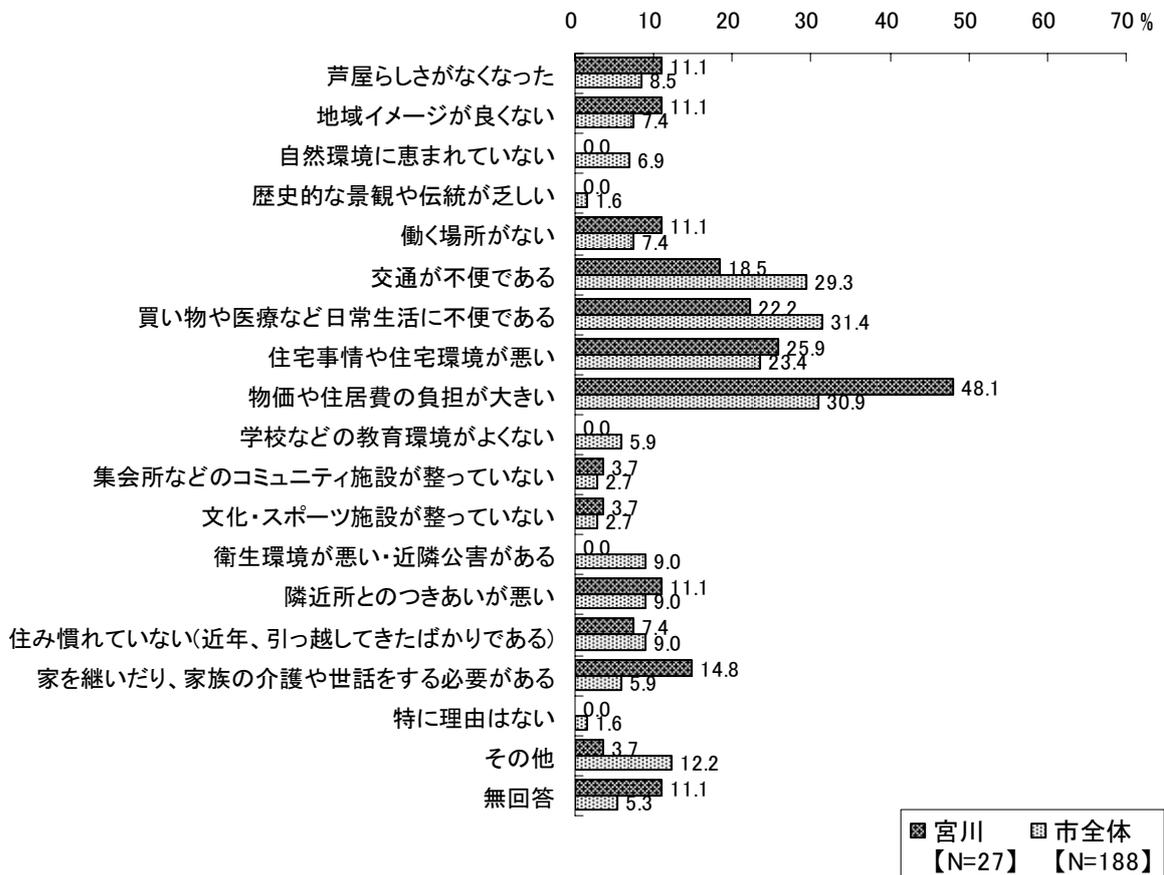


居住地別

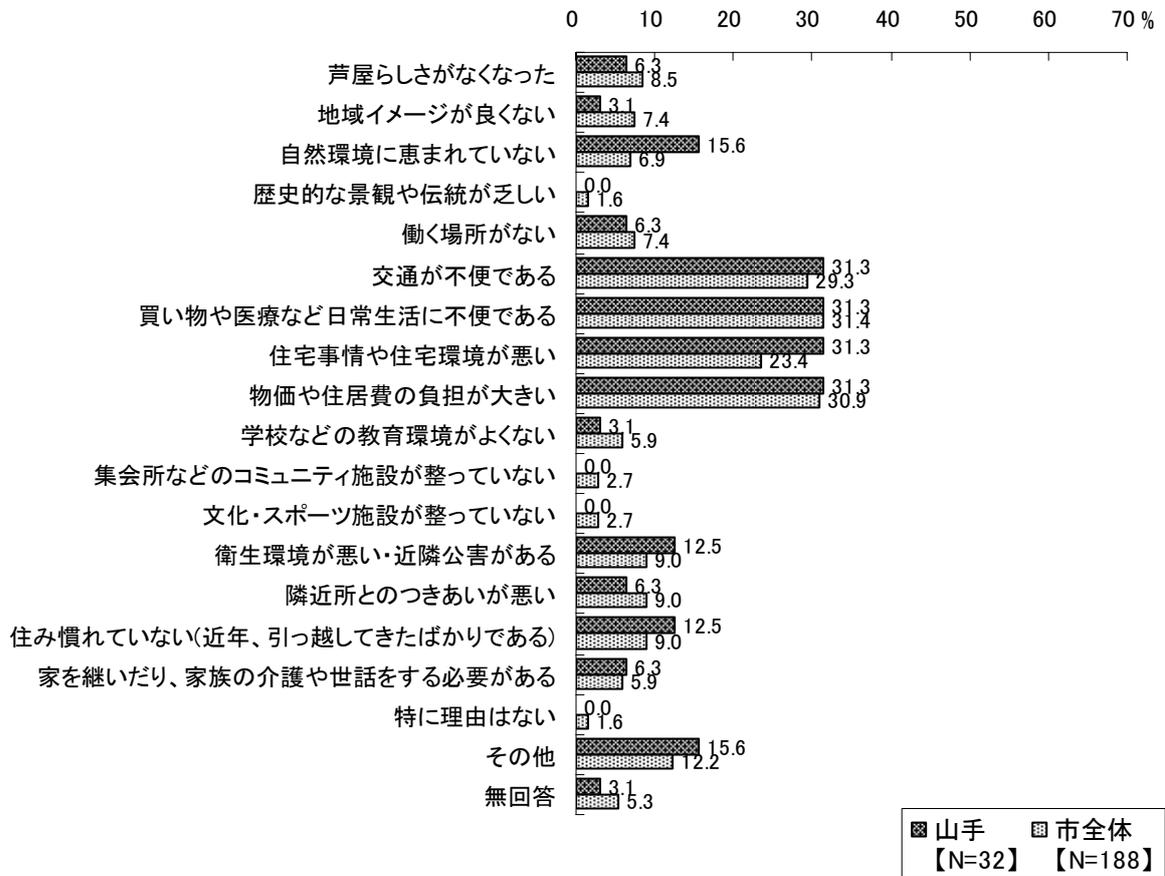
< 精道 >



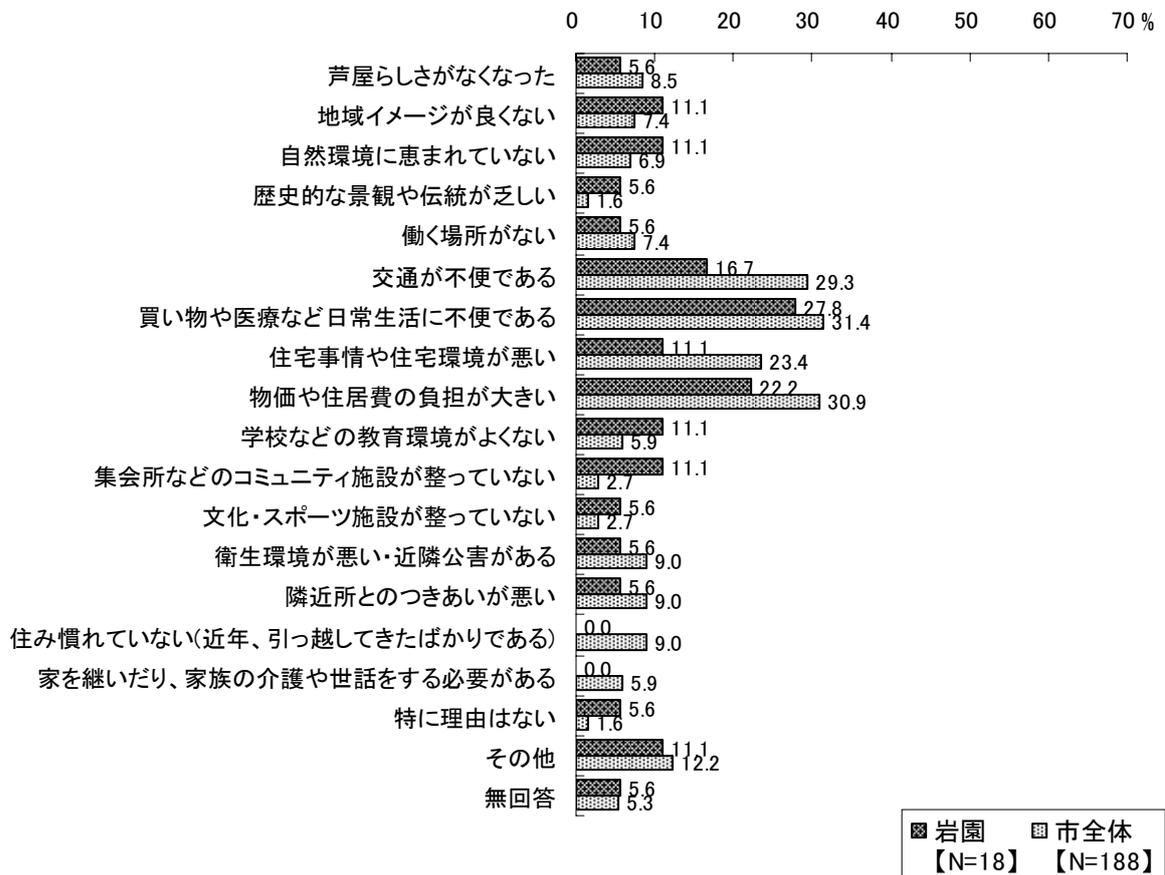
< 宮川 >



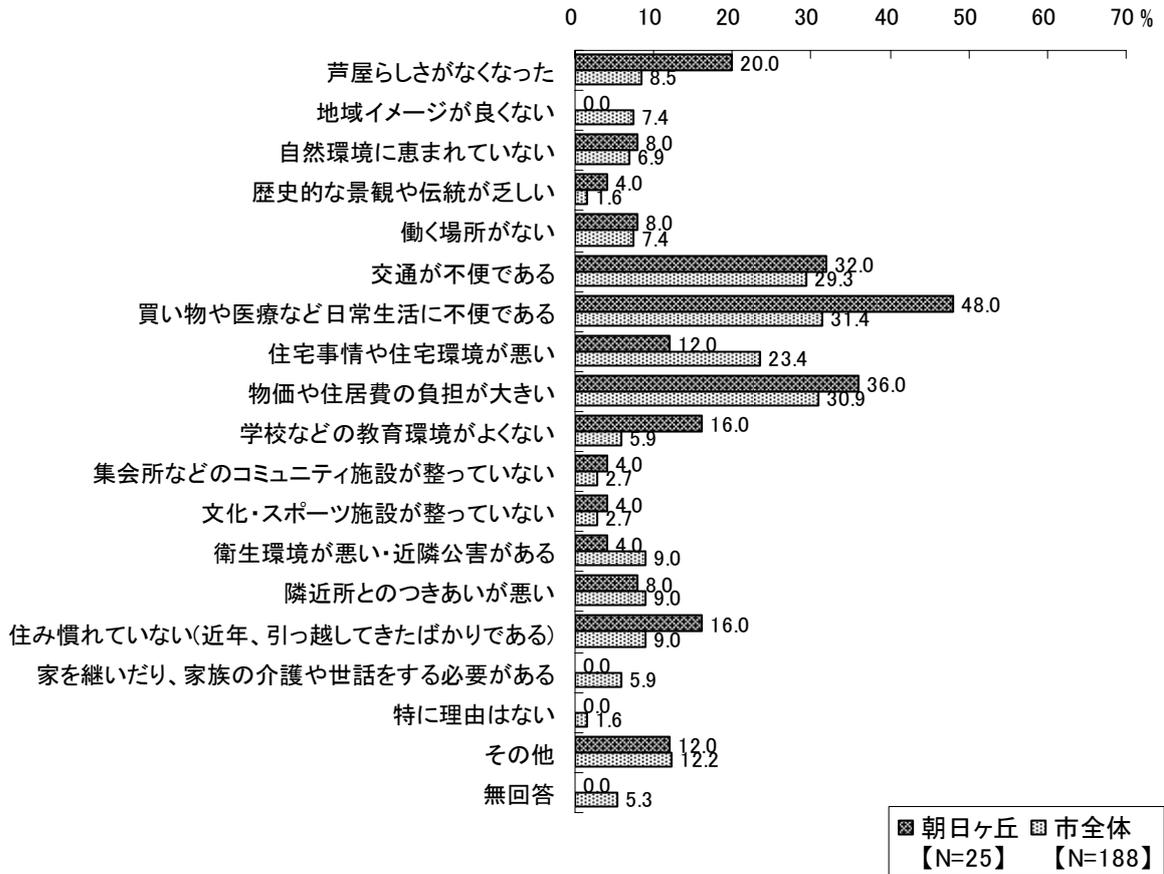
< 山手 >



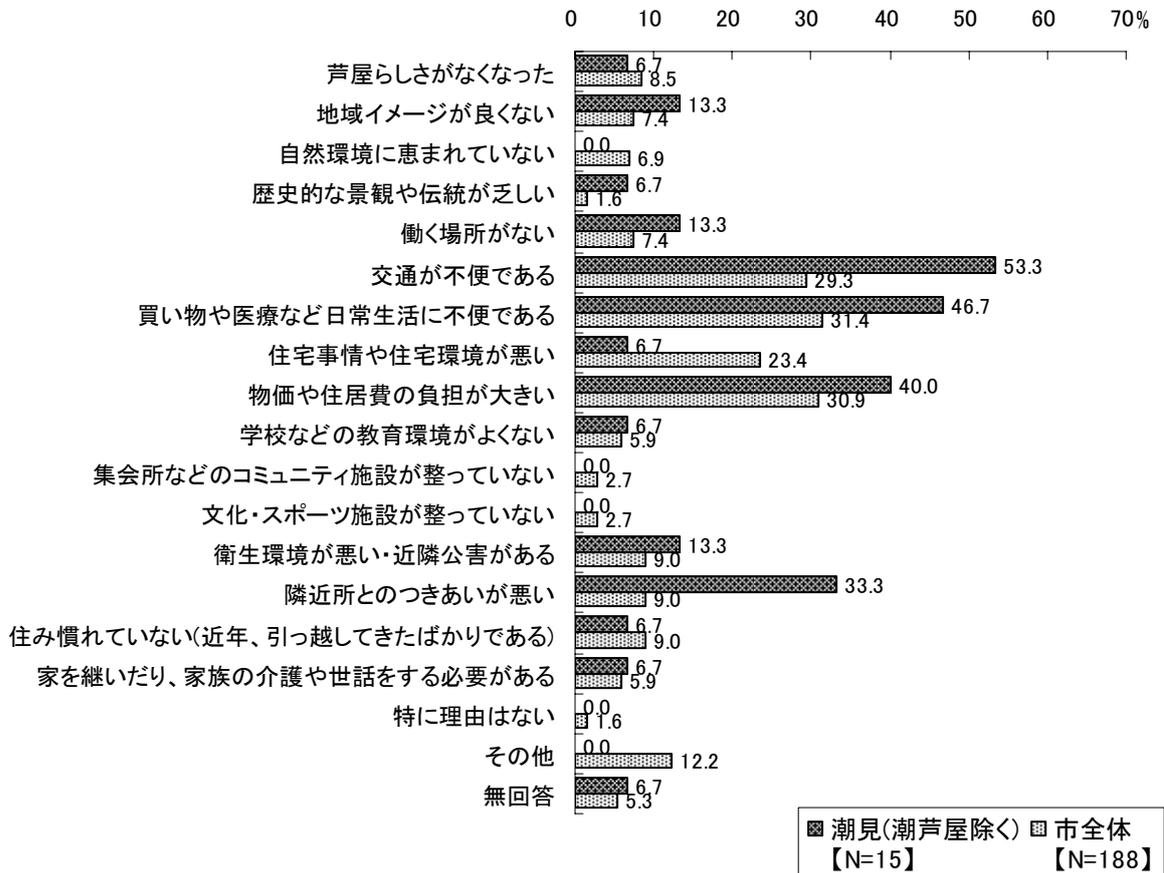
< 岩園 >



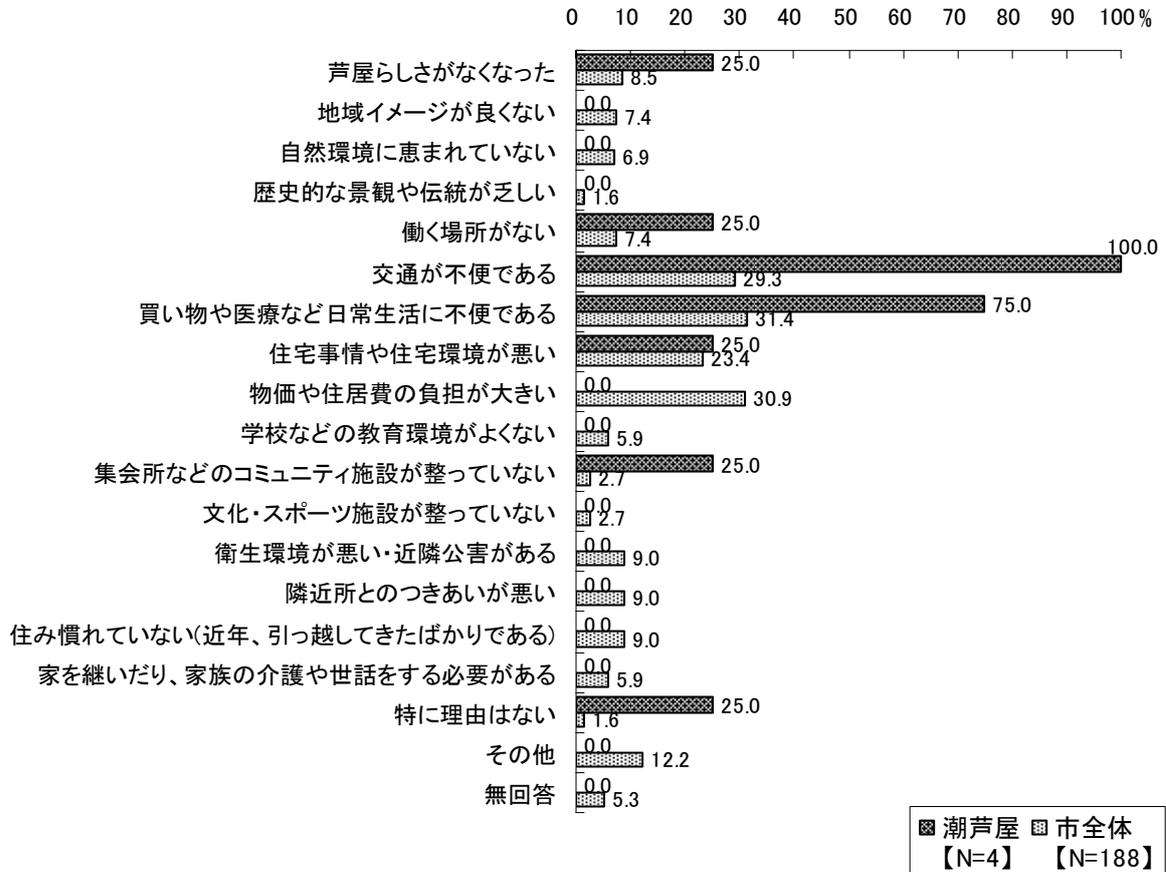
< 朝日ヶ丘 >



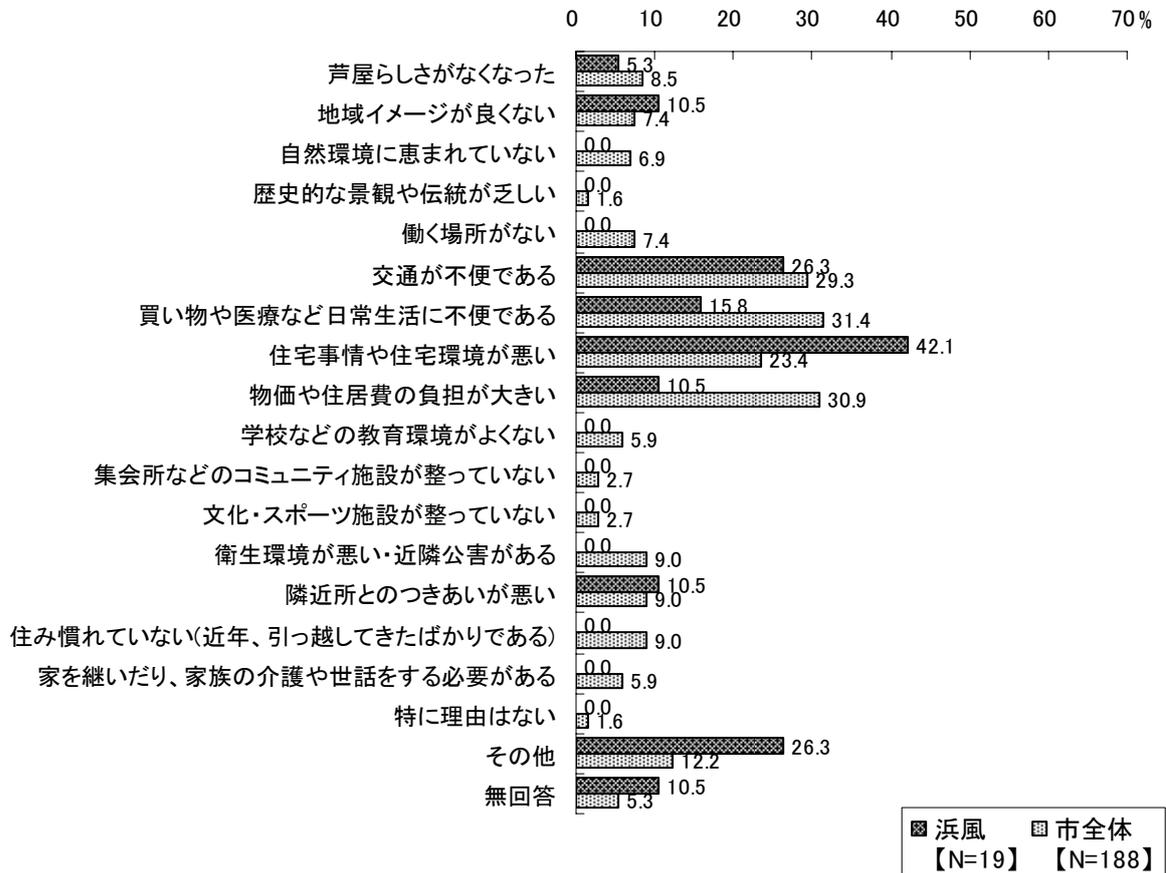
< 潮見(潮芦屋除く) >



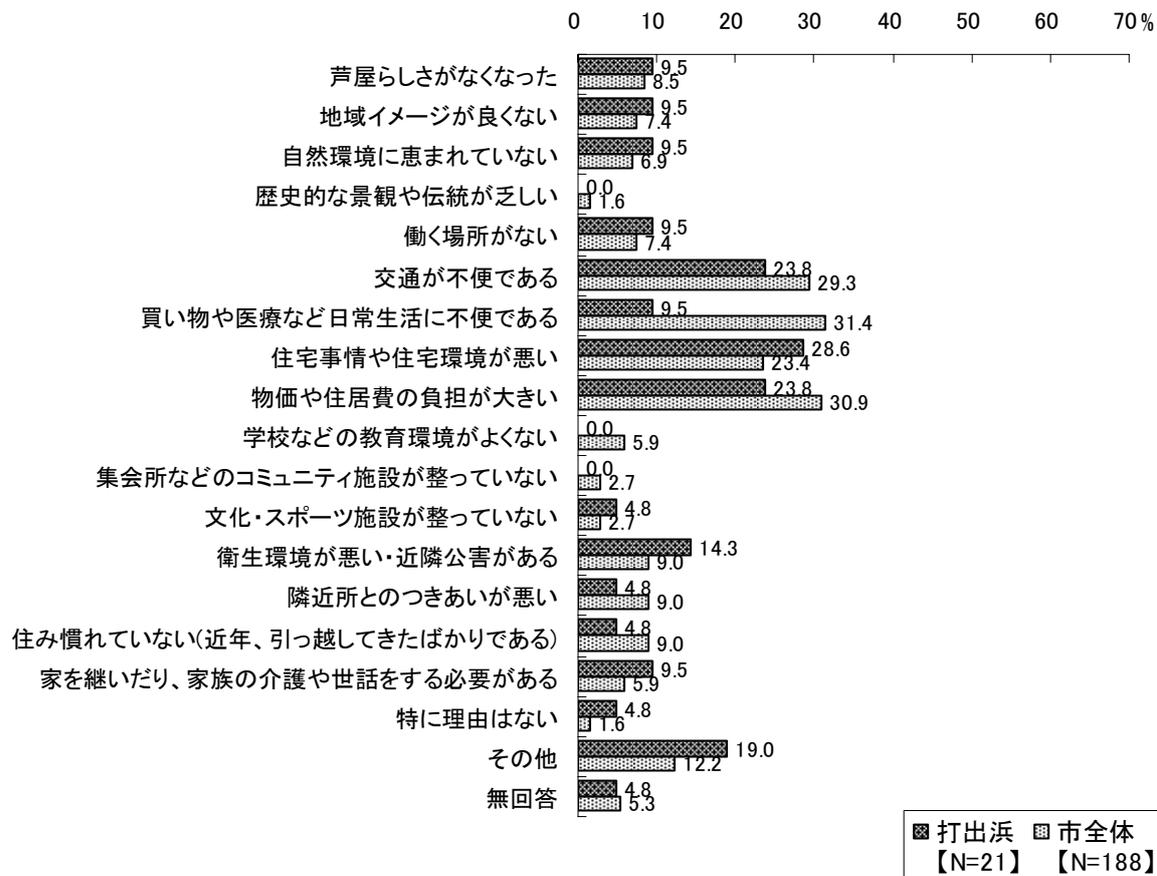
< 潮芦屋 >



< 浜風 >

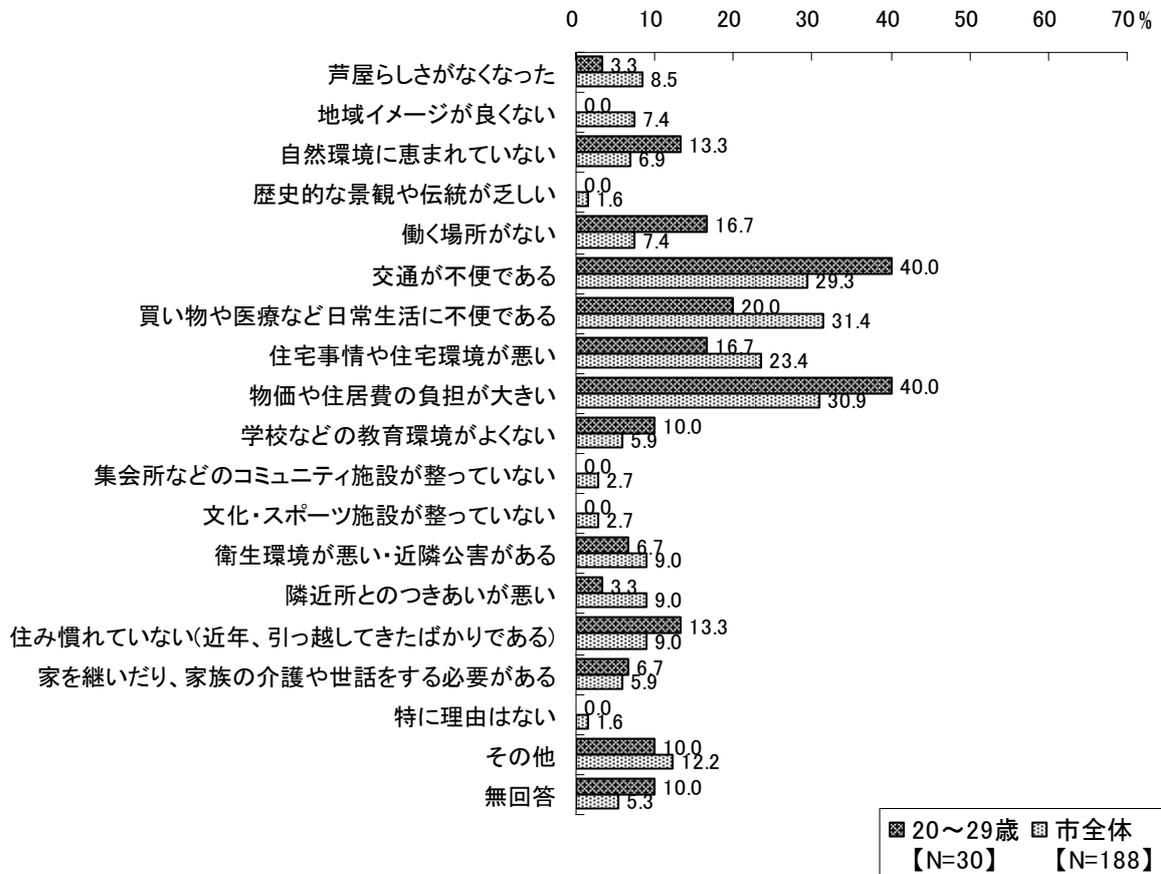


< 打出浜 >

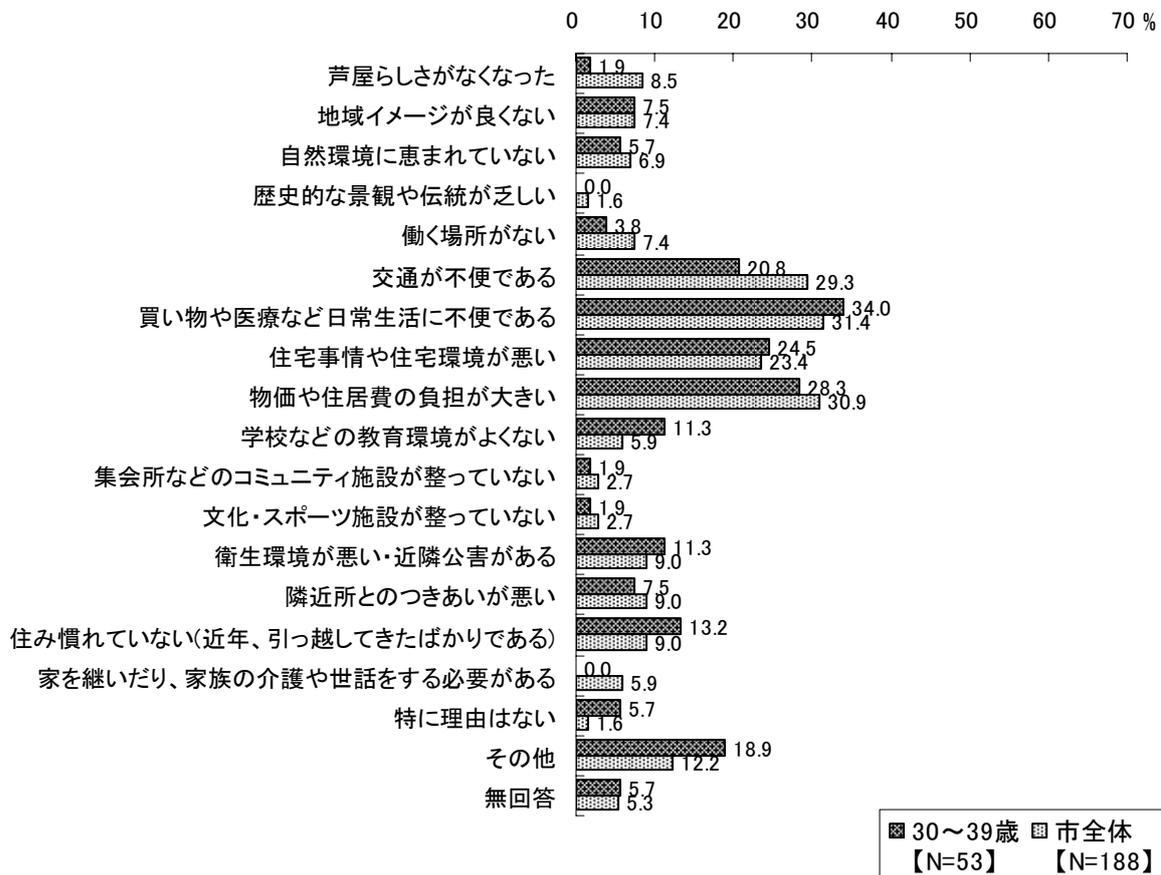


年齢別

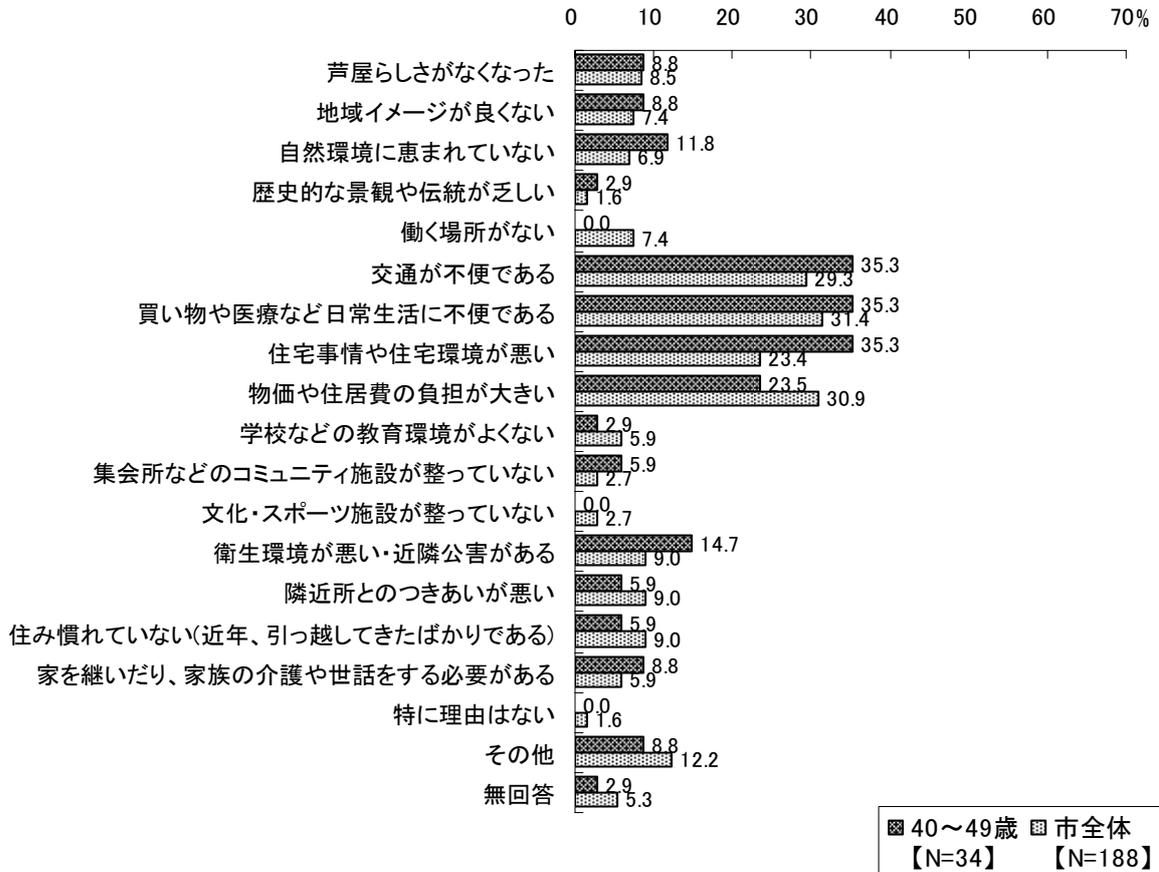
< 20 ~ 29 歳 >



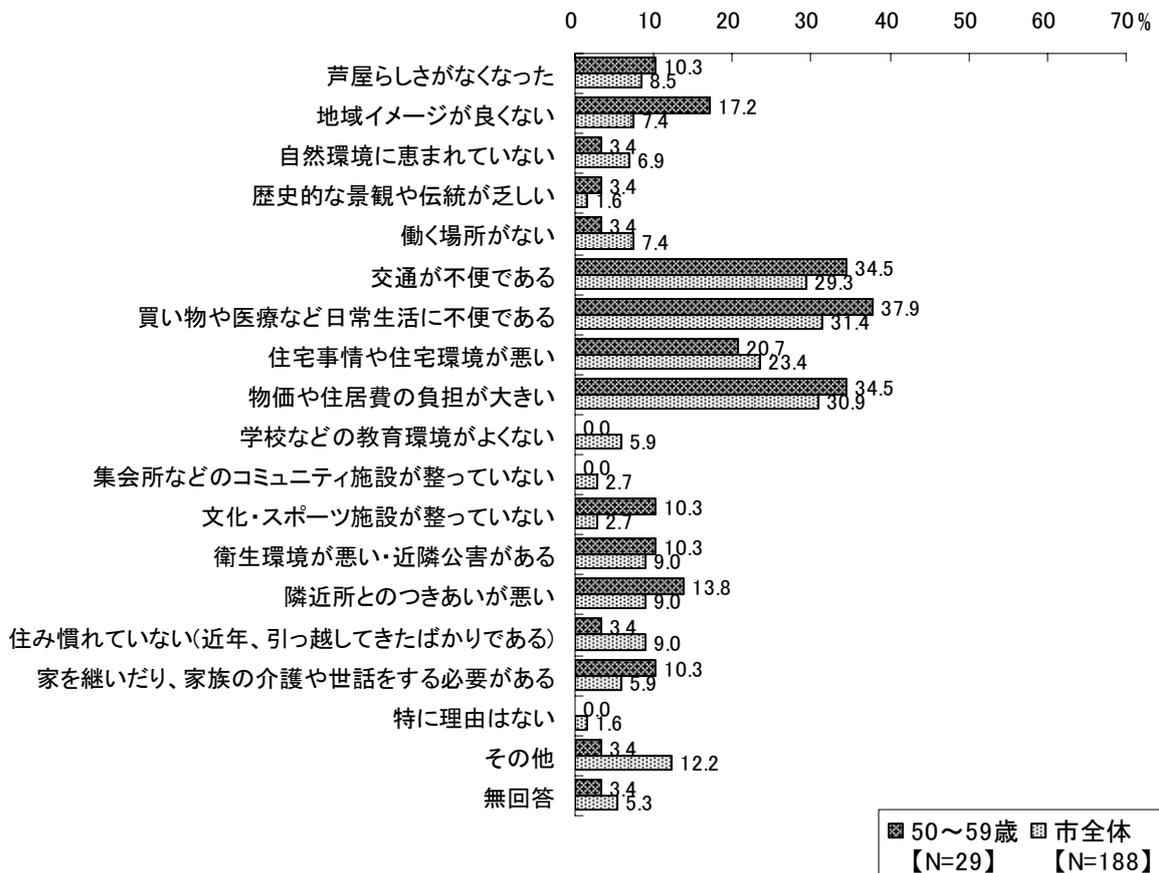
< 30 ~ 39 歳 >



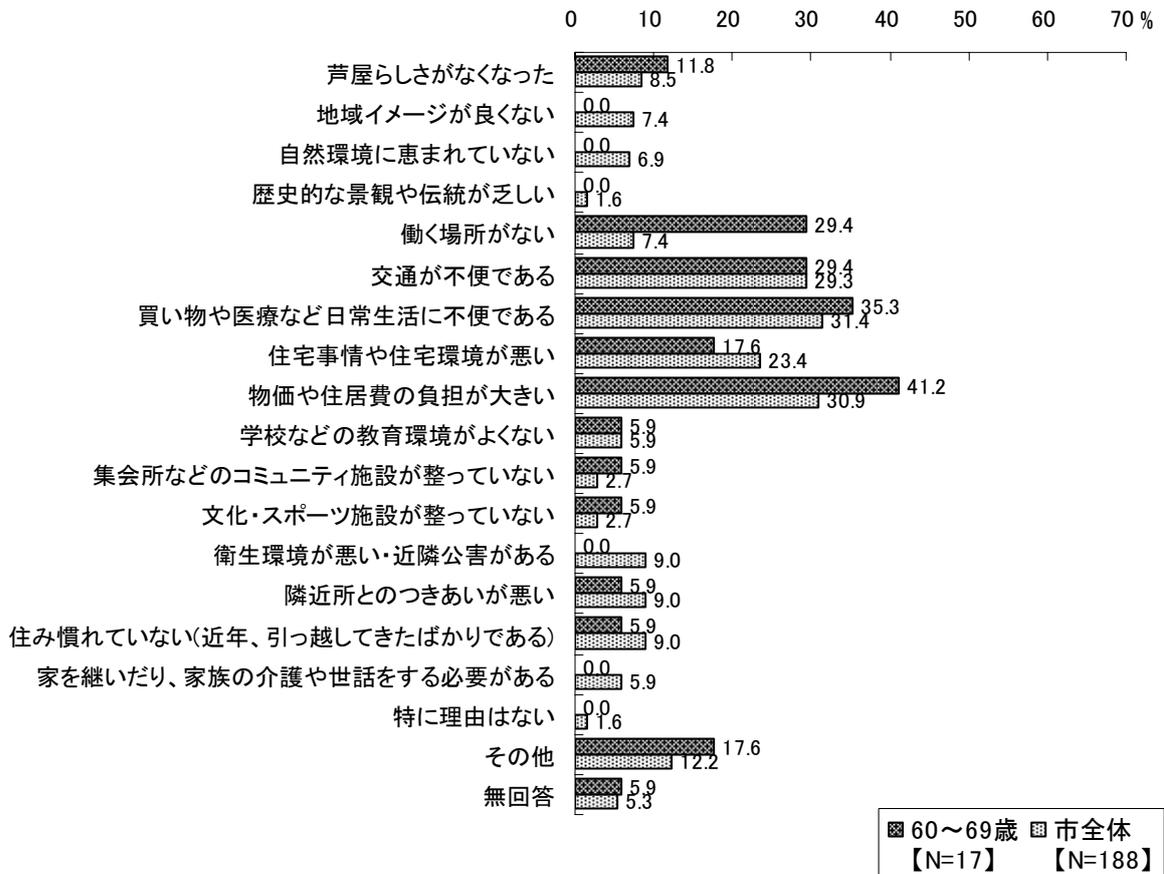
< 40～49歳 >



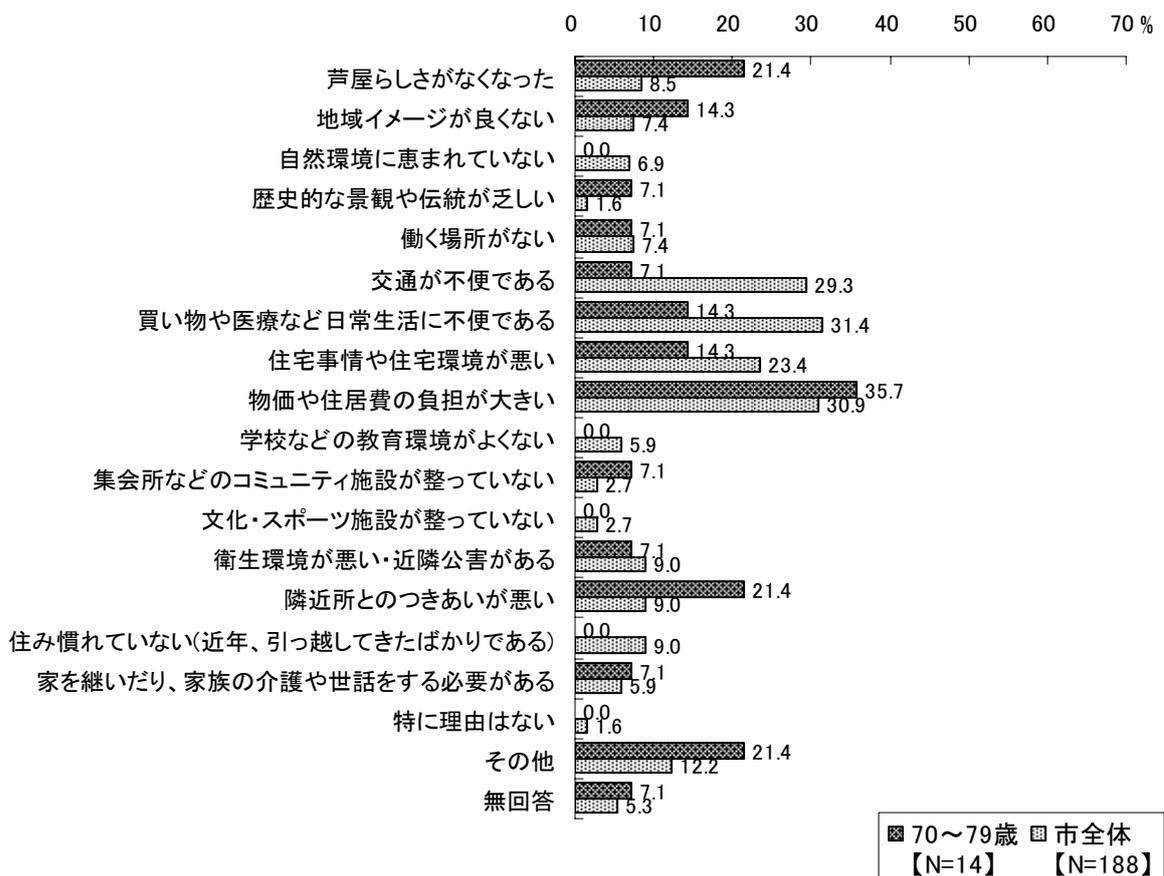
< 50～59歳 >



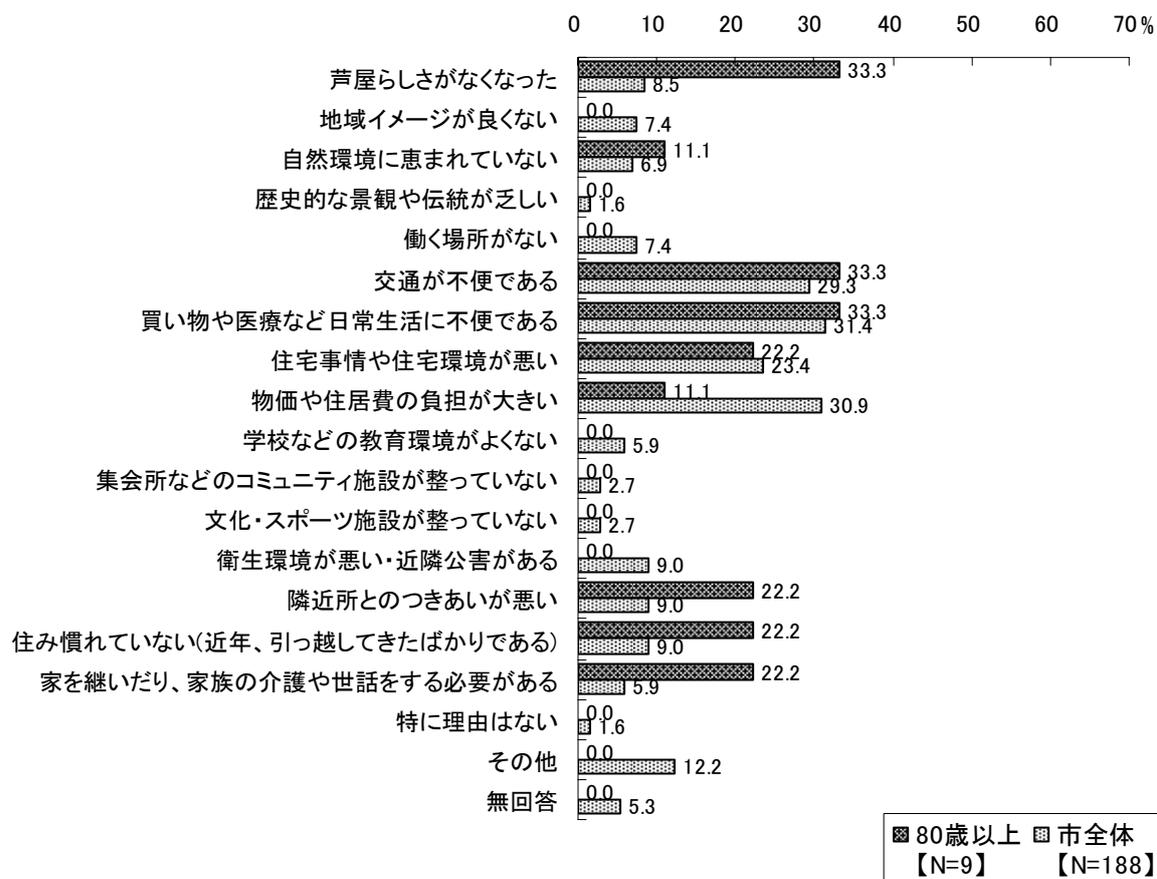
< 60～69歳 >



< 70～79歳 >



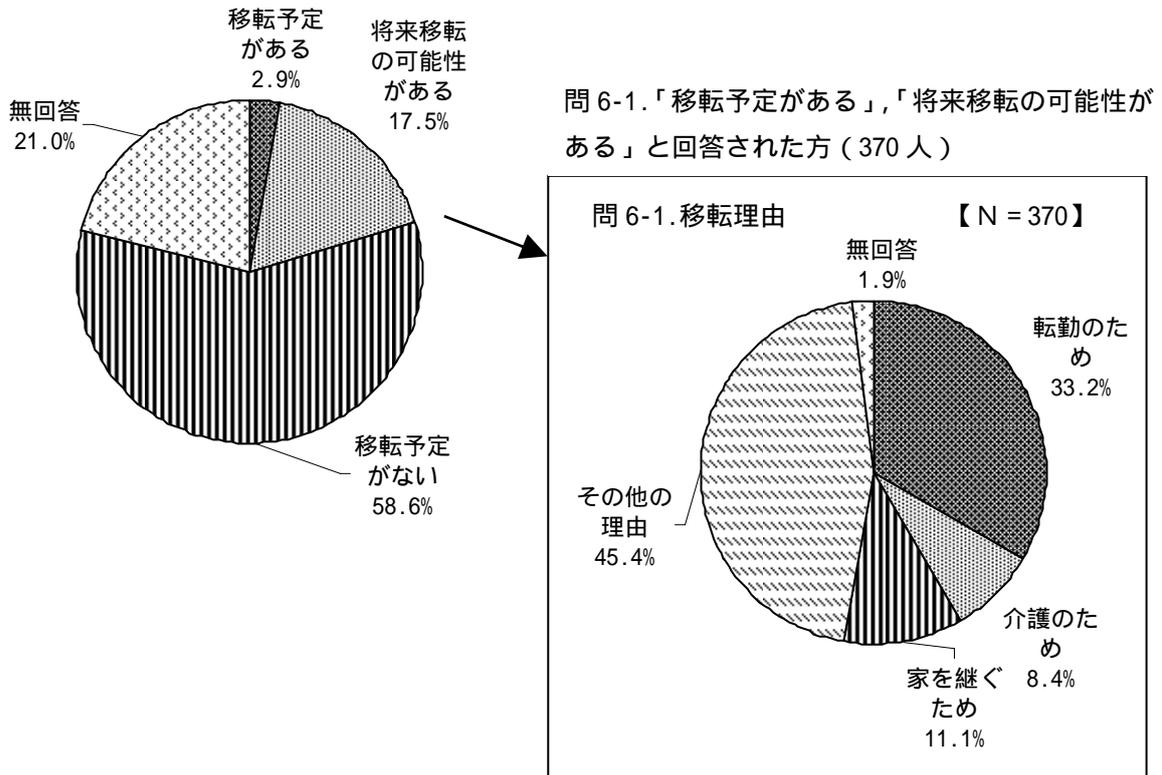
< 80 歳以上 >



(6) 芦屋市外への移転予定

約6割が移転予定がなく、移転予定がある人の理由は『転勤のため』

問6 芦屋市外に移転の予定がありますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



芦屋市外への移転予定について、「移転予定がない」が58.6%、「将来移転の可能性はある」が17.5%、「移転予定がある」が2.9%となっている。

移転理由について、「その他の理由」が45.4%、「転勤のため」が33.2%、「家を継ぐため」が11.1%となっている。

移転理由の「その他の理由」

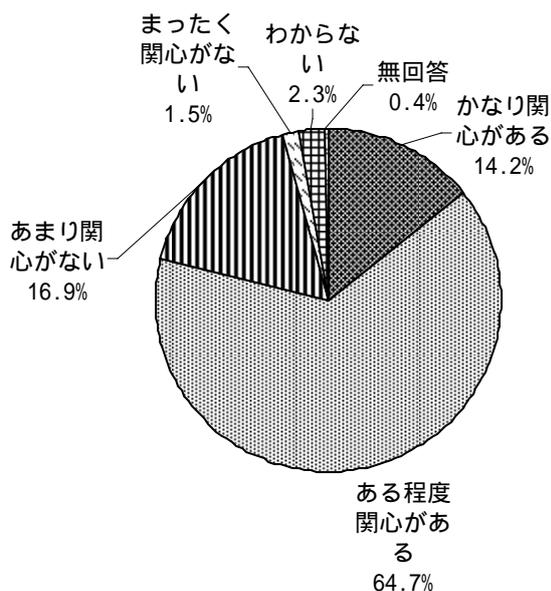
- ・結婚のため(24件)
- ・近隣との問題(騒音, 公害, 付き合いなど)(5件)
- ・家を建てる, 親と同居するなど(11件)
- ・入院, 介護が必要になったため, 老人ホームへ入居するためなど(3件)
- ・開業のため(1件)
- ・教育環境が良くないので(1件)
- ・経済的理由で(1件)
- ・買い物場所が少ないため(1件)
- ・芦屋から文化の香りがなくなってきたから(1件)

2. 地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについて

(1) 芦屋市内のできごとや動きに対する関心

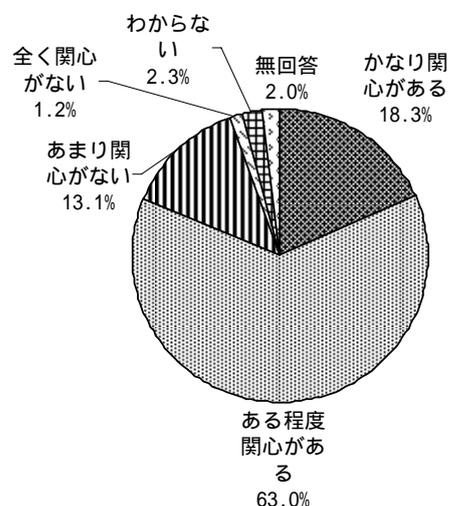
約8割の人が関心を持っている

問7 あなたは、芦屋市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



過去の調査結果（平成16年度調査）

問4 あなたは、芦屋市内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,203】



芦屋市内のできごとや動きについて、「ある程度関心がある」が64.7%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が16.9%となっている。

平成16年度調査と比較すると、「かなり関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心のある人」は81.3%から78.9%と2.4ポイント低下している。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心のない人」は14.3%から18.4%と4.1ポイント上昇している。

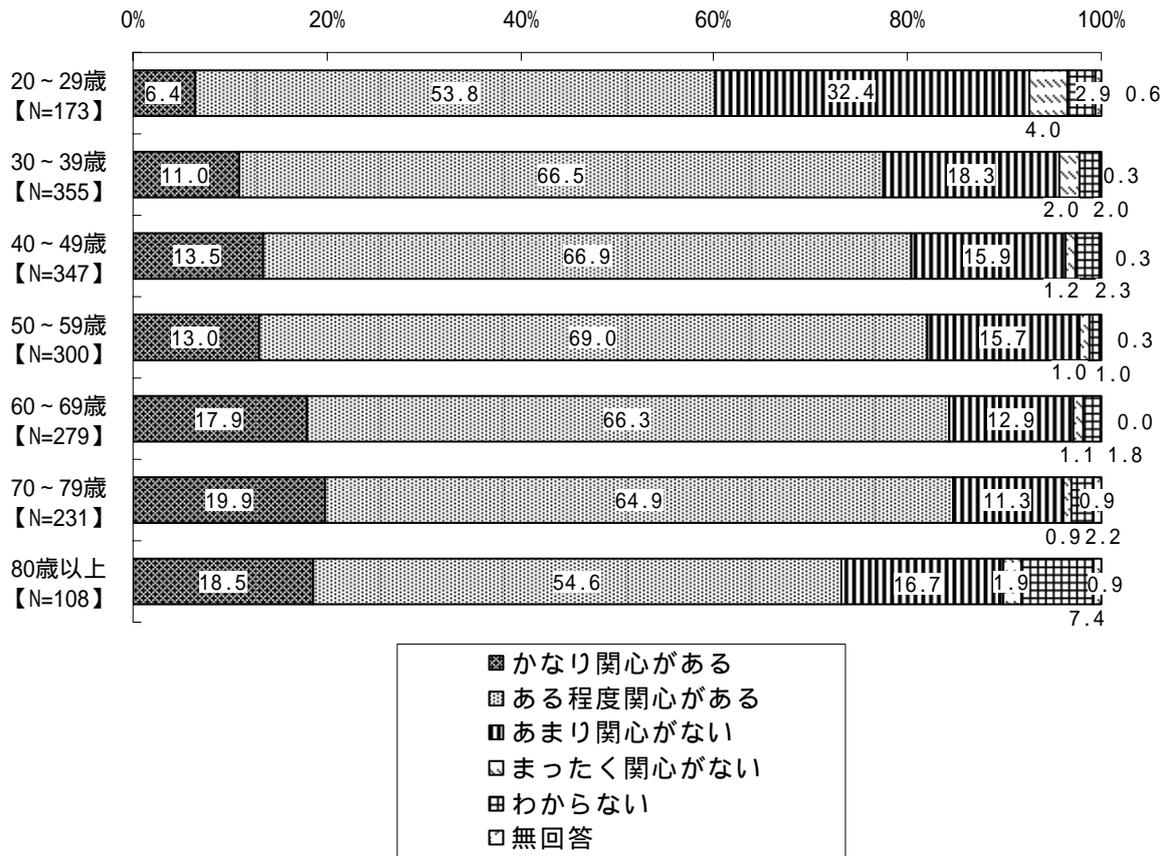
年齢別では、「関心のある人」は20～29歳で60.2%と最も少なく、その他の年齢層は7割を超えている。「かなり関心がある」と回答した人は20～29歳が6.4%と最も少なく、年齢層が高くなるほど多くなり、70～79歳では19.9%となっている。

芦屋市での居住年数別では、すべての居住年数で「関心のある人」は7割を超えているが、居住年数が長くなるほど「関心のある人」は多くなっている。

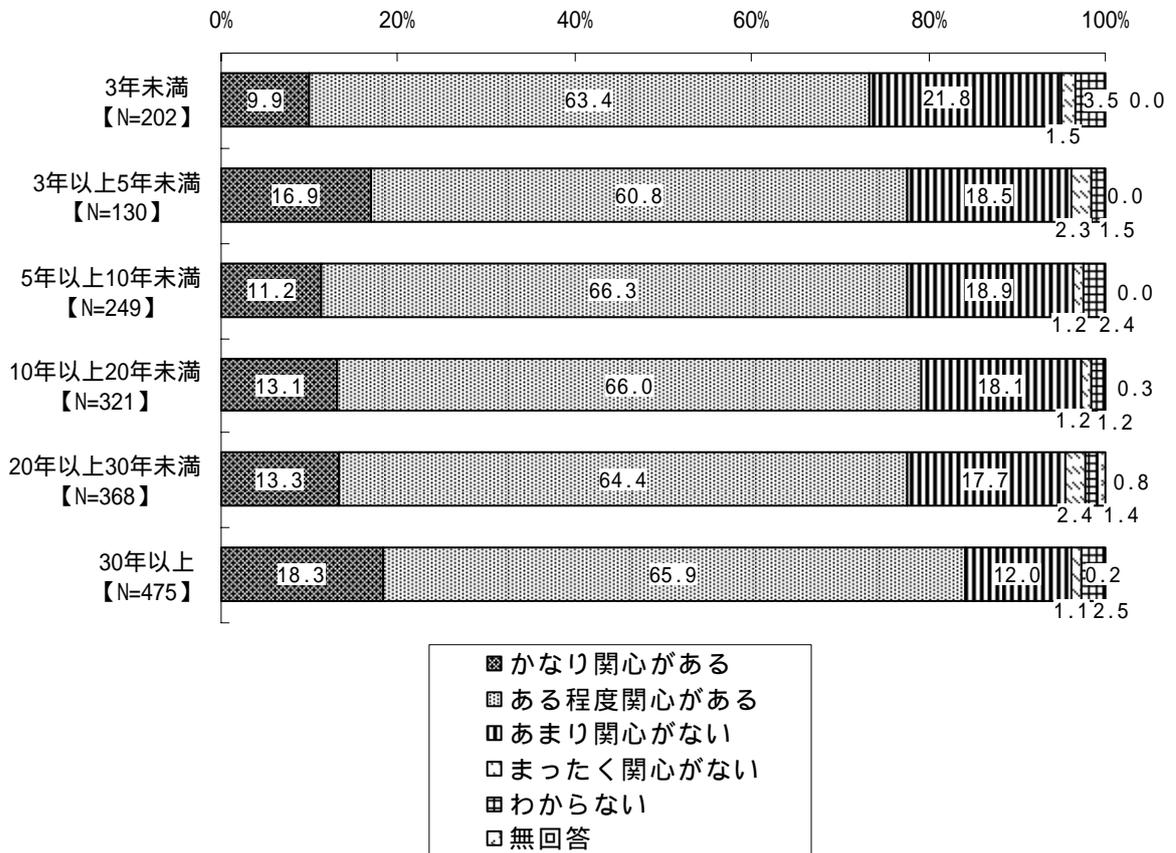
居住地別では、全ての居住地で「関心のある人」は7割を超え、居住地別の違いはあまり見られないが、「かなり関心がある」と回答した人は朝日ヶ丘地区が17.0%と最も多く、潮芦屋地区は8.3%と最も少なくなっている。

性別では、「関心のある人」は男性が78.1%、女性が79.7%と性別の違いは見られない。

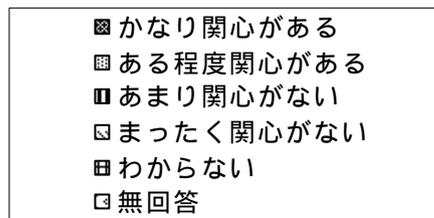
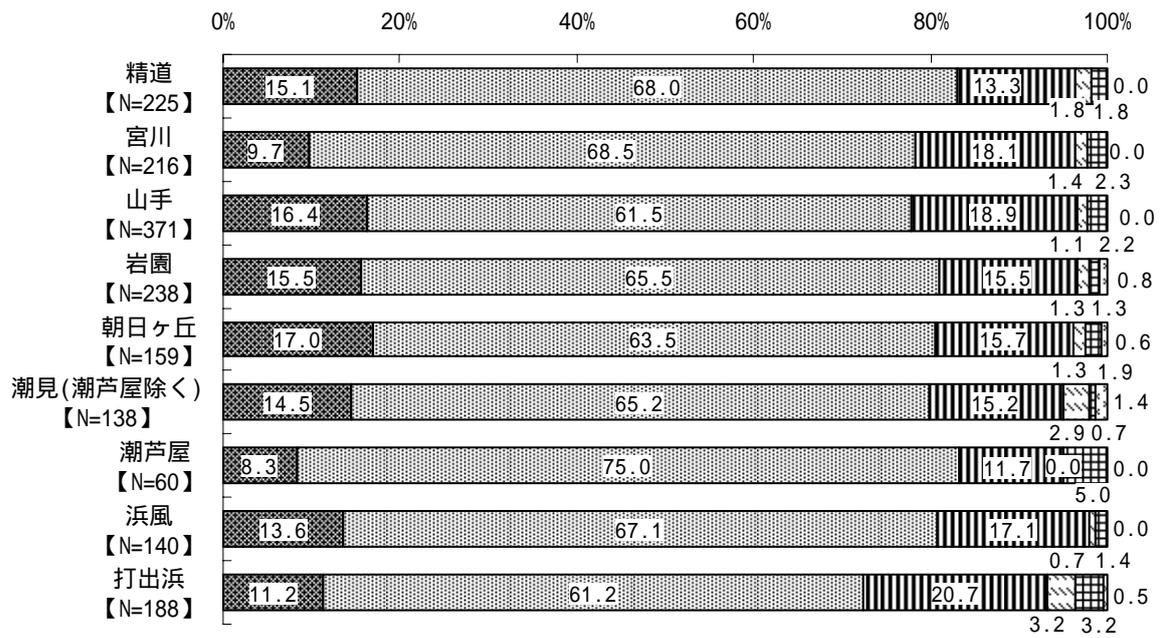
年齢別



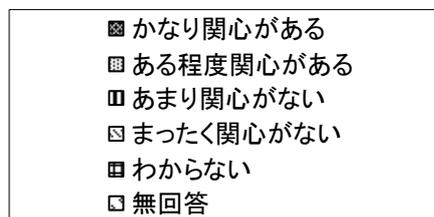
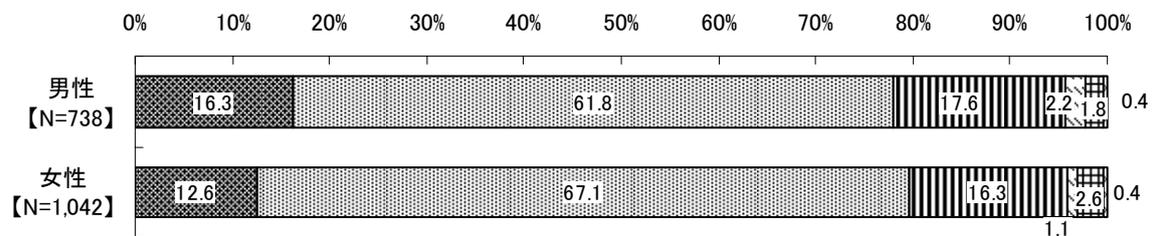
芦屋市での居住年数別



居住地別



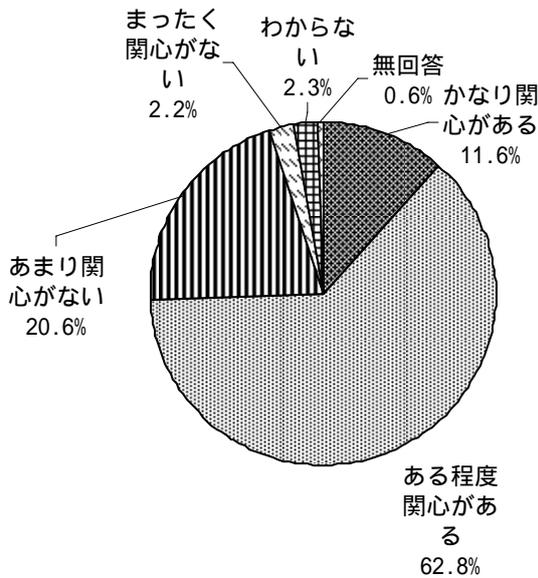
性別



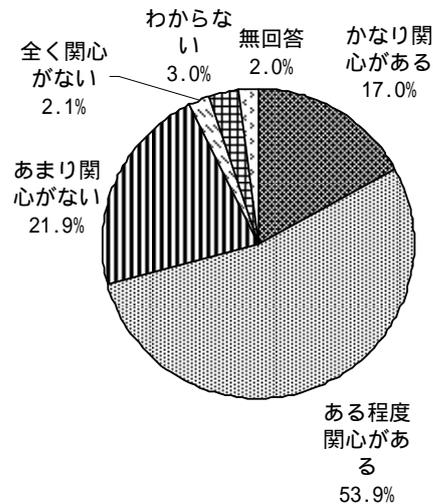
(2) 地域のできごとや動きに対する関心

7割を超える人が関心を持っている

問8 あなたは、地域内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



過去の調査結果（平成16年度調査）
問5 あなたは、地域（町内など）のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,203】



地域のできごとや動きについて、「ある程度関心がある」が62.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が20.6%となっている。

平成16年度調査と比較すると、「かなり関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心のある人」は70.9%から74.3%と3.4ポイント上昇している。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心のない人」は24.0%から22.8%と1.2ポイント低下している。

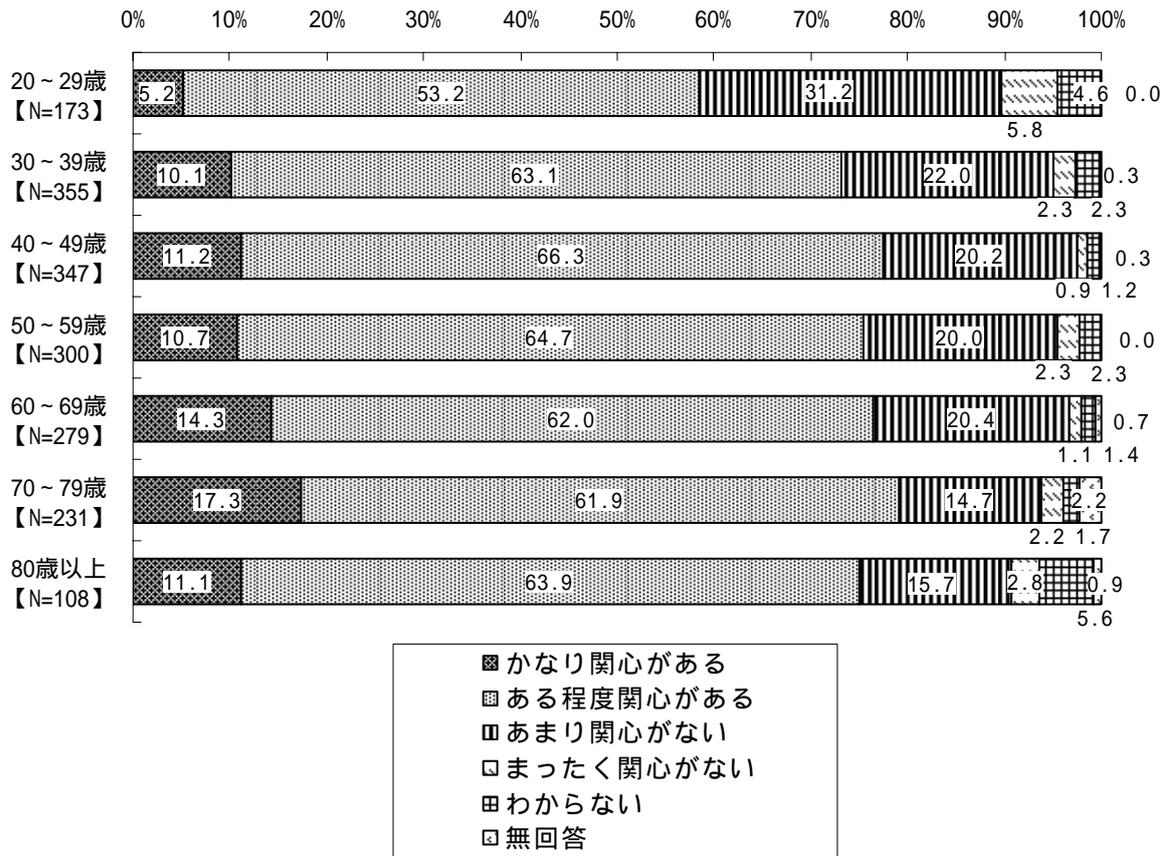
年齢別では、「関心のある人」は20～29歳で58.4%と最も少なく、その他の年齢層は7割を超えている。「かなり関心がある」と回答した人は20～29歳が5.2%と最も少なく、年齢層が高くなるほど多くなり、70～79歳では17.3%となっている。

芦屋市での居住年数別では、すべての居住年数で「関心のある人」は7割を超えているが、居住年数が長くなるほど「関心のある人」は多くなっている。

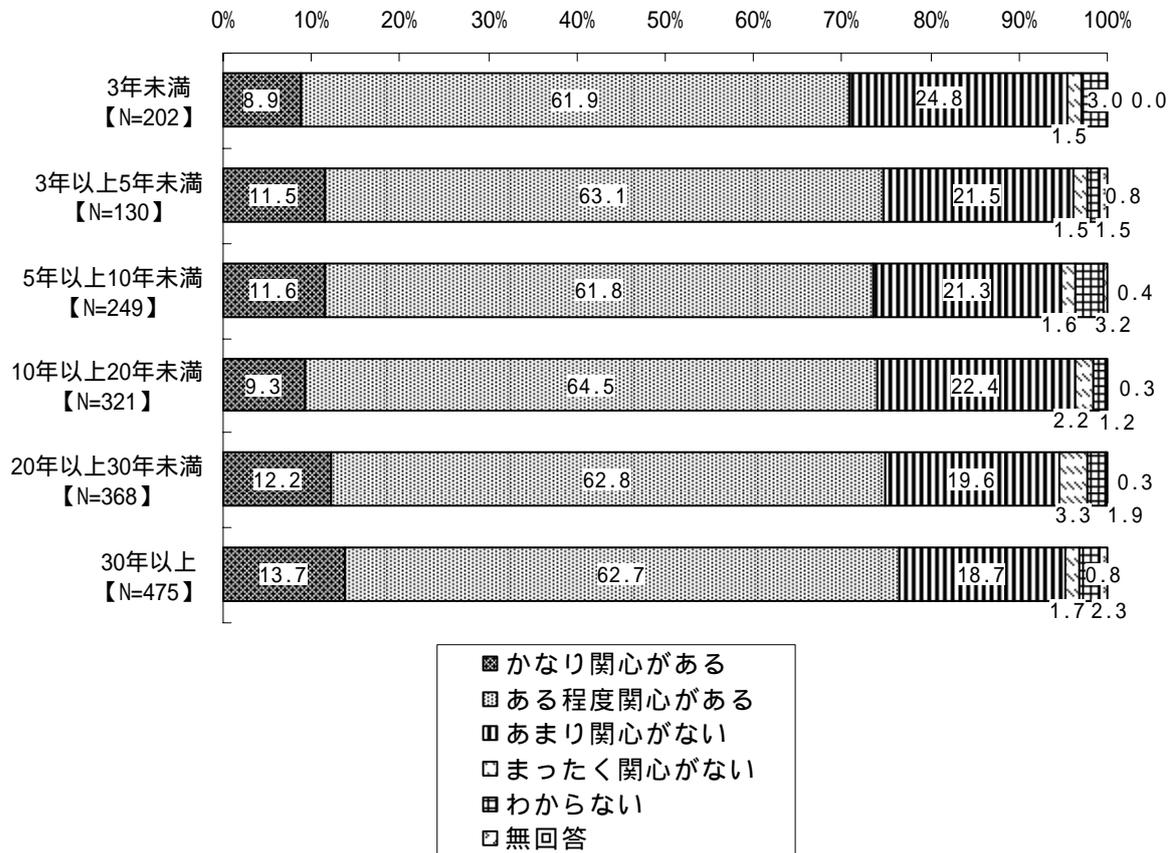
居住地別では、全ての居住地で「関心のある人」は7割を超え、違いはあまり見られないが、「かなり関心がある」と回答した人は山手地区が15.1%と最も多く、打出浜地区は6.4%と最も少なくなっている。朝日ヶ丘地区は「芦屋市全体のできごとに関心がある」と回答した人は17.0%と居住地区別では最も多かったが、「地域内のできごとに関心がある」と回答した人は8.8%と居住地区別で2番目に少なくなっている。

性別では、「関心のある人」は男性が73.5%、女性が75.2%と性別の違いは見られない。

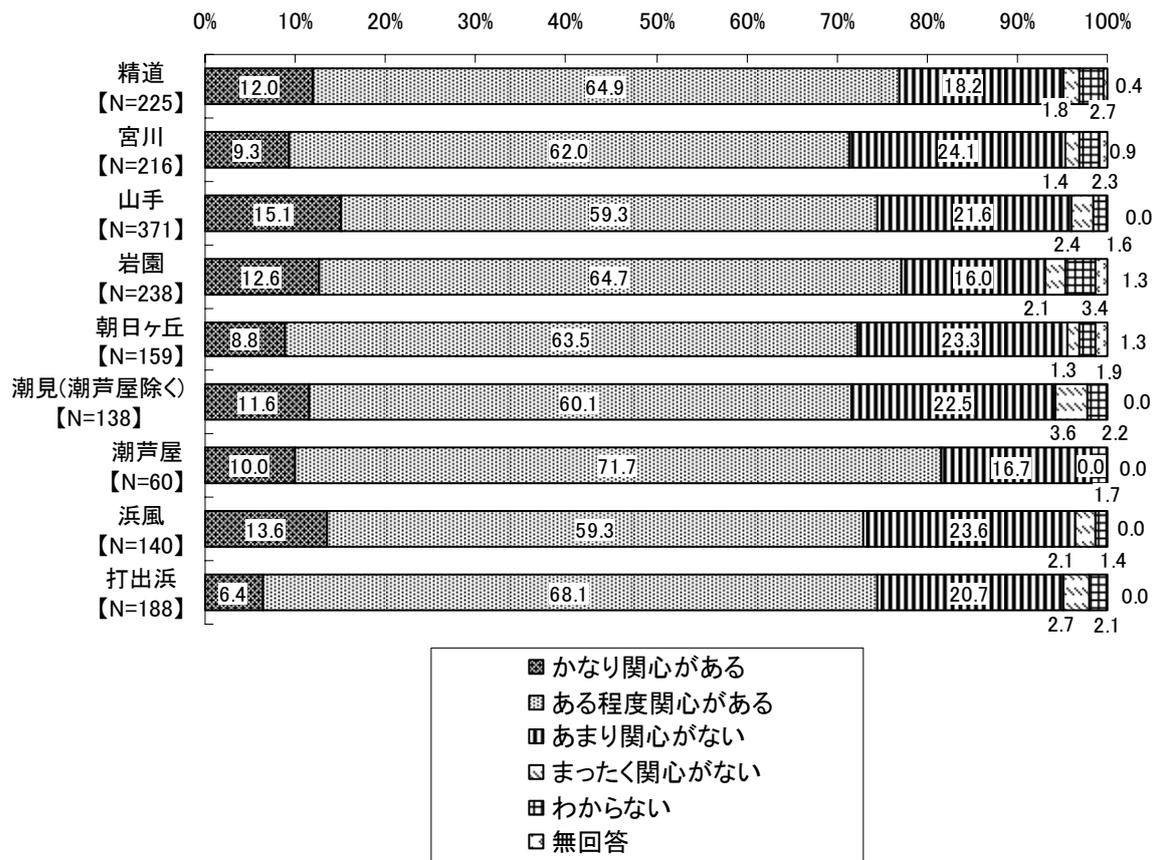
年齢別



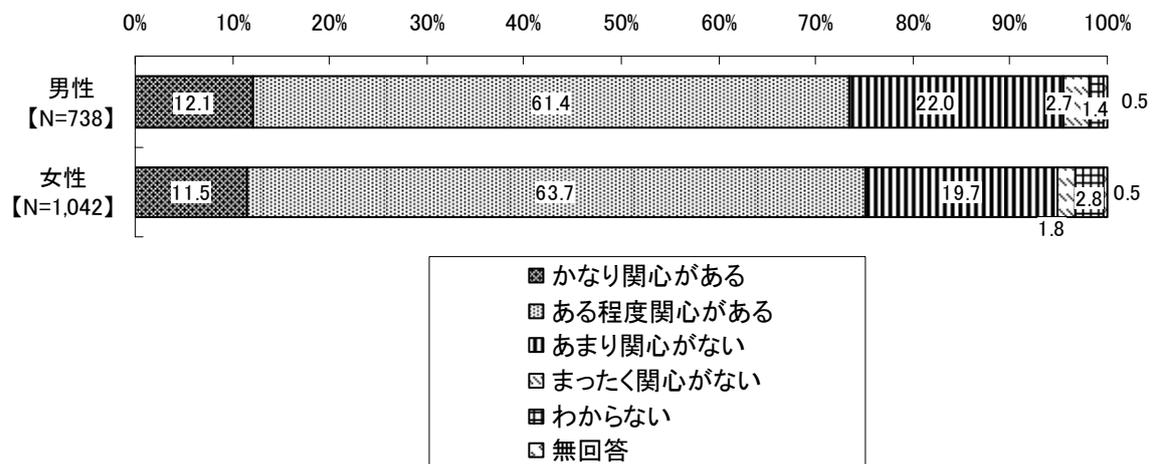
芦屋市での居住年数別



居住地別



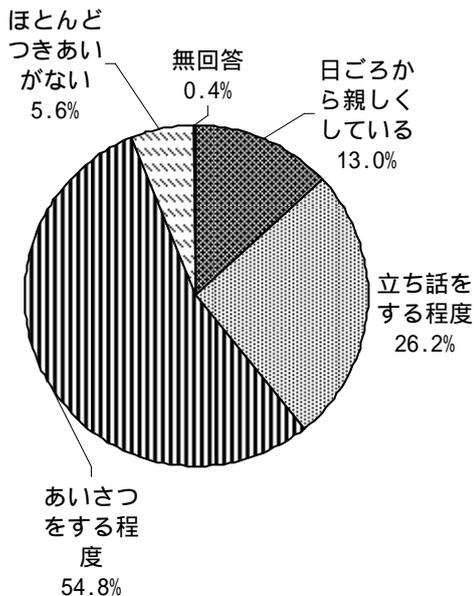
性別



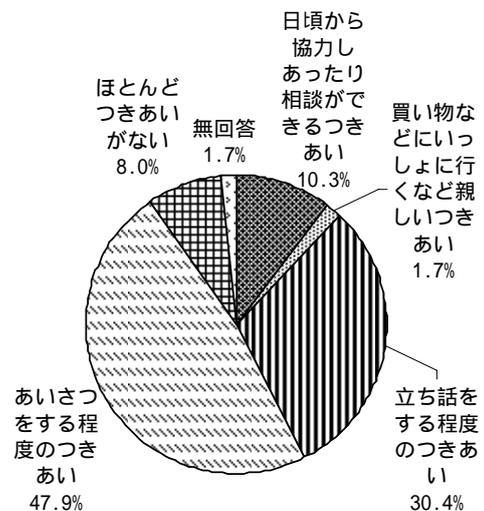
(3) 隣近所とのつきあいの程度

5割以上の人『あいさつをする程度』のつきあい

問9 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



過去の調査結果（平成16年度調査）
問6 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,203】



隣近所とのつきあいについて、「あいさつをする程度」が54.8%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が26.2%となっている。

平成16年度調査では、「あいさつをする程度のつきあい」が47.9%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあい」が30.4%となっているが、今回の調査でも類似の項目の回答が多くなっている。

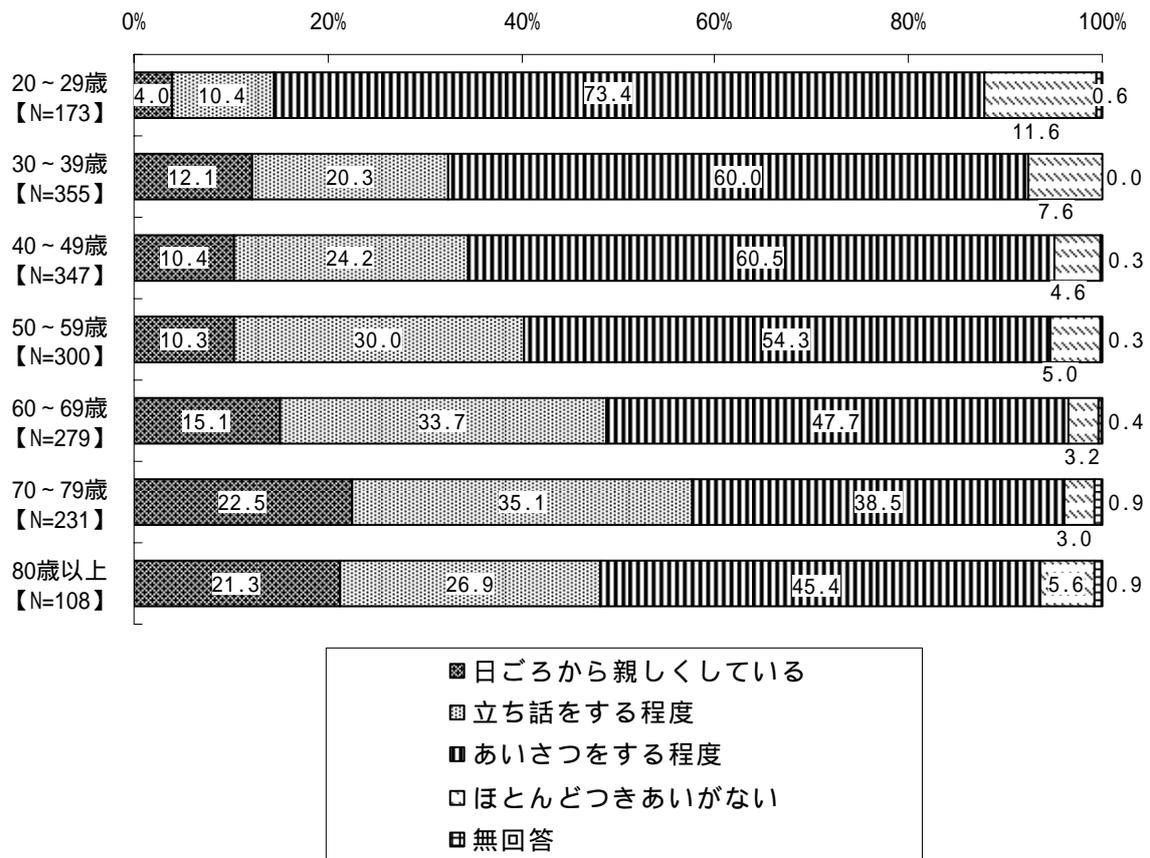
年齢別では、「日ごろから親しくしている」は70～79歳が22.5%と最も多く、高い年齢層での回答が多くなっている。「立ち話をする程度のつきあい」は低い年齢層で少なく、高い年齢層で多くなっている。「あいさつをする程度のつきあい」は20～29歳が73.4%と最も多く、低い年齢層での回答が多くなっている。

芦屋市での居住年数別では、「日ごろから親しくしている」は3年以上5年未満が3.8%と最も少ないのに対し、3年未満は10.9%と10年以上20年未満の9.7%より多い。逆に「ほとんどつきあいがいいない」は3年未満が11.9%と他の居住年数よりも多くなっている。

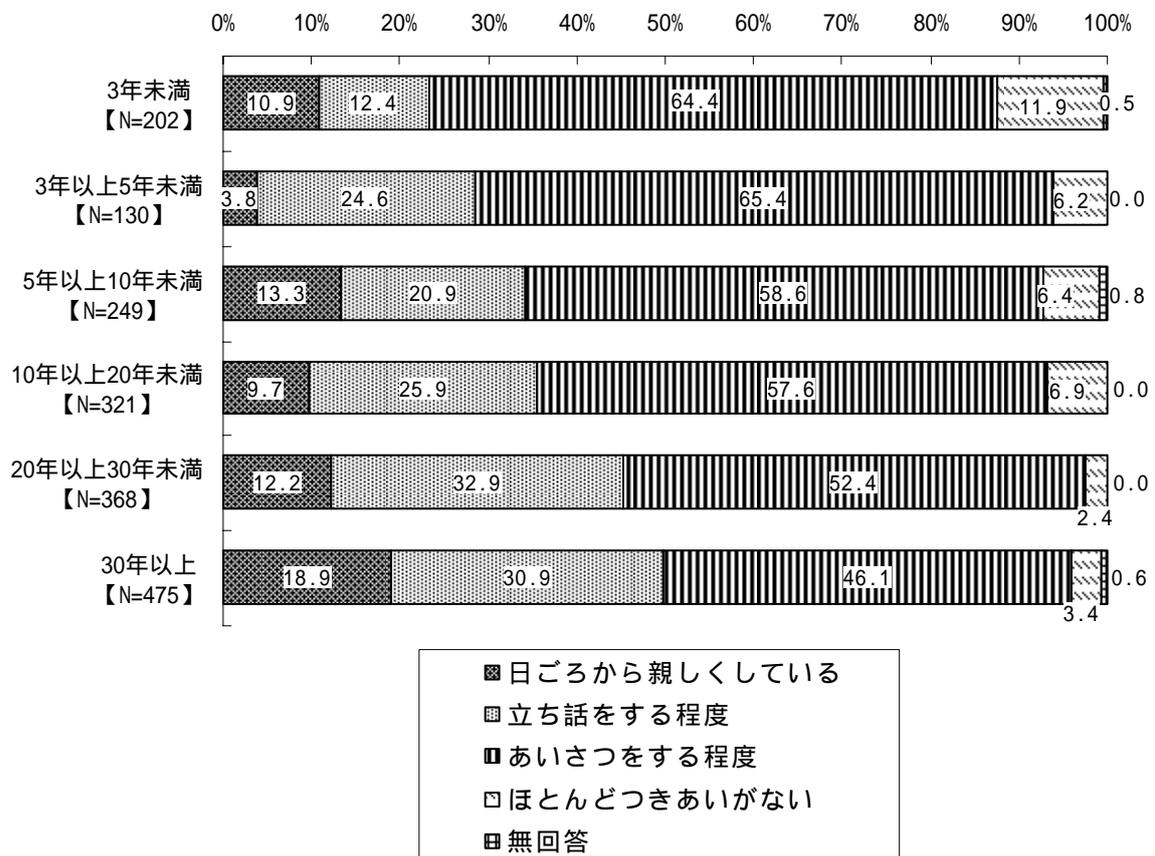
居住地別では、「日ごろから親しくしている」は打出浜地区が9.6%、潮芦屋地区は21.7%となっており、居住地による格差が見られる。

性別では、「日ごろから親しくしている」と「立ち話をする程度」は女性が多いのに対し、「あいさつをする程度」は男性が多くなっている。

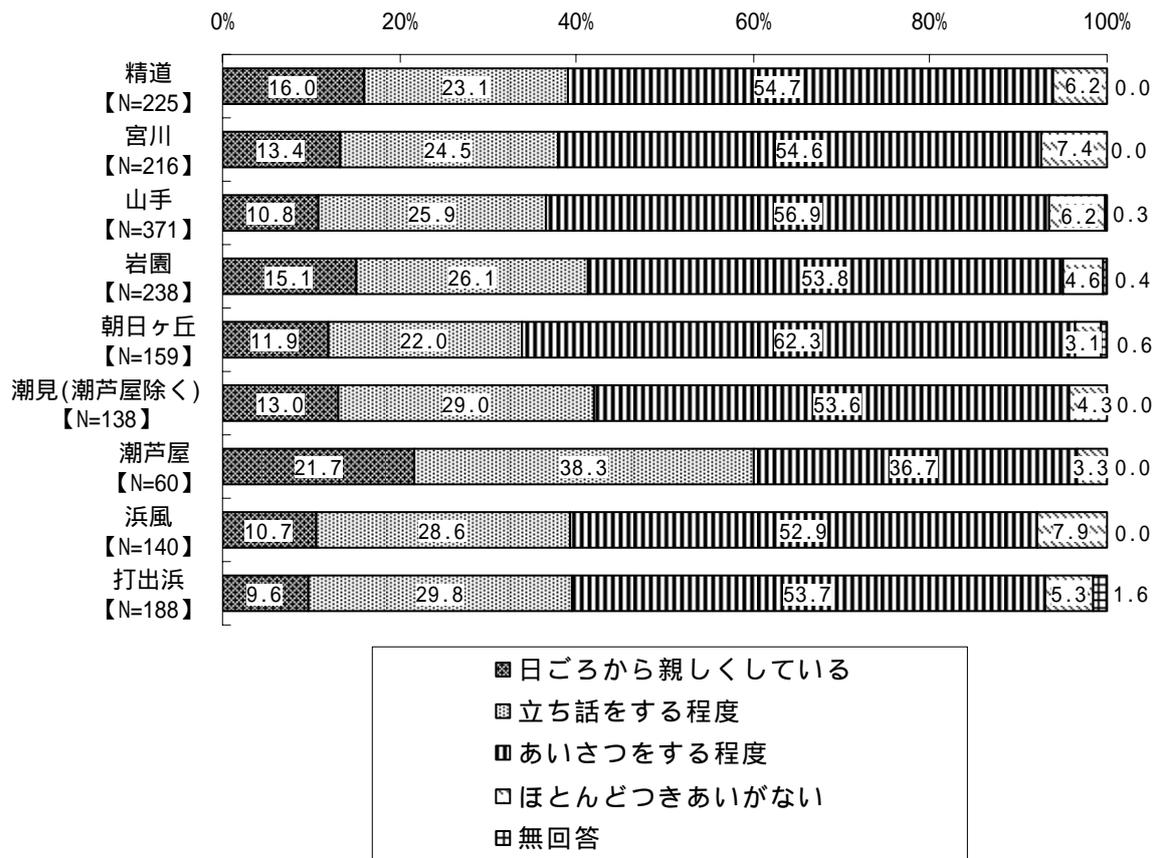
年齢別



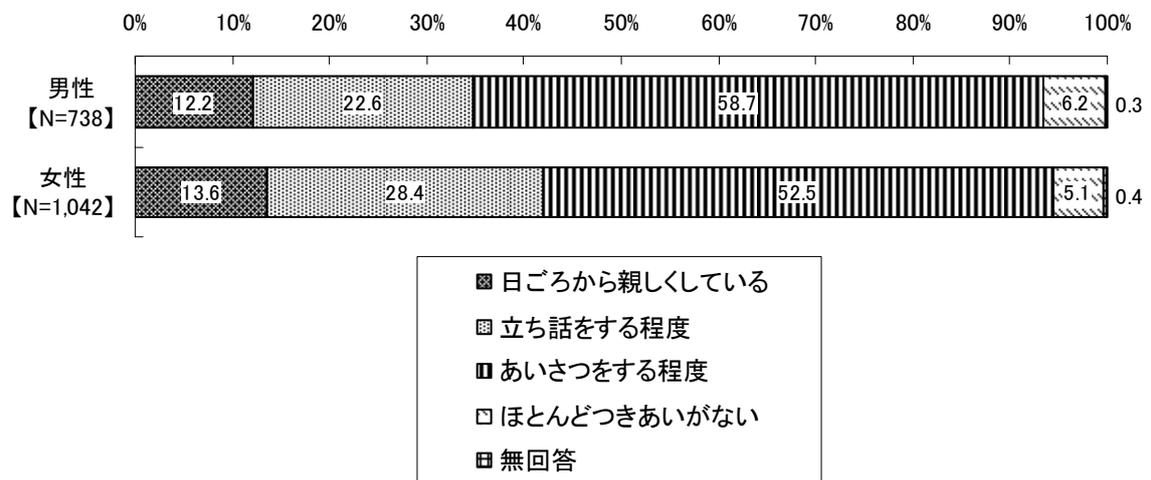
芦屋市での居住年数別



居住地別



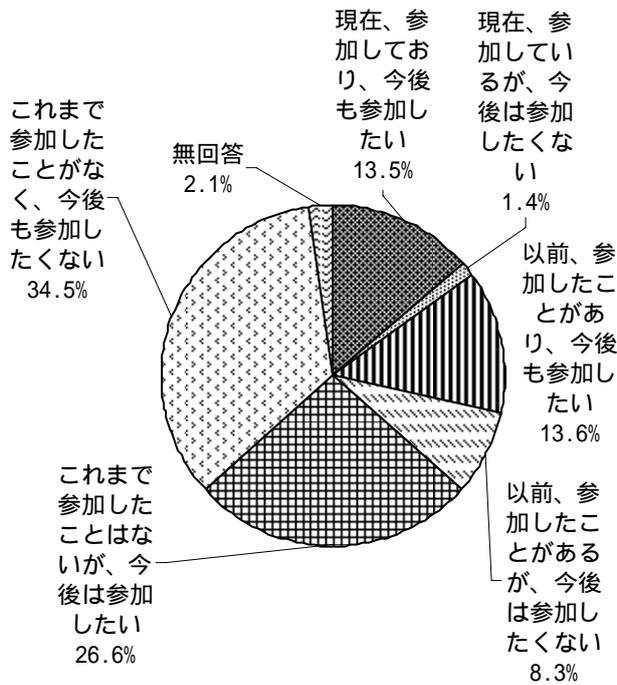
性別



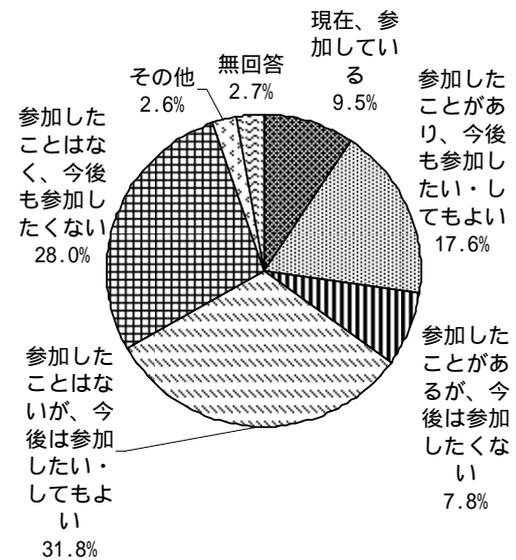
(4) 地域活動への参加意識

5割を超える人が今後の地域活動に参加意識を持っている

問 10 あなたは、お住まいの地域で、地域活動の機会があれば参加しますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。【N = 1,811】



過去の調査結果（平成 16 年度調査）
 問 7 あなたは、お住まいの地域の地域活動への参加について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んで 印をつけてください。【N = 1,203】



地域活動への参加意識について、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」が 34.5%と最も多く、次いで「これまで参加したことはないが、今後は参加したい」が 26.6%となっている。「現在参加している」と「以前、参加したことがある」を合わせた「参加したことがある人」は 36.8%であり、「これまで参加したことがない人」は 61.1%となっている。また、「現在、参加しており、今後も参加したい」、「以前、参加したことがあり、今後も参加したい」、「これまで参加したことはないが、今後は参加したい」を合わせた「参加意識を持っている人」は 53.7%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、「参加したことがある人」は 34.9%から 36.8%と 1.9 ポイント上昇しているが、「参加意識を持っている人」は「現在、参加している」、「参加したことがあり、今後も参加したい・してもよい」、「参加したことはないが、今後は参加したい・してもよい」を合わせた 58.9%から 53.7%

と5.2ポイント低下している。また、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」人は、28.0%から34.5%と6.5ポイント上昇している。

年齢別では、「参加したことがある人」は60～69歳が47.0%で最も多く、20～29歳は20.3%で最も少ない。「参加意識を持っている人」は40～49歳が60.5%で最も多く、20～29歳は41.6%で最も少ない。また、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」は20～29歳が46.2%、80歳以上が44.4%と多くなっている。

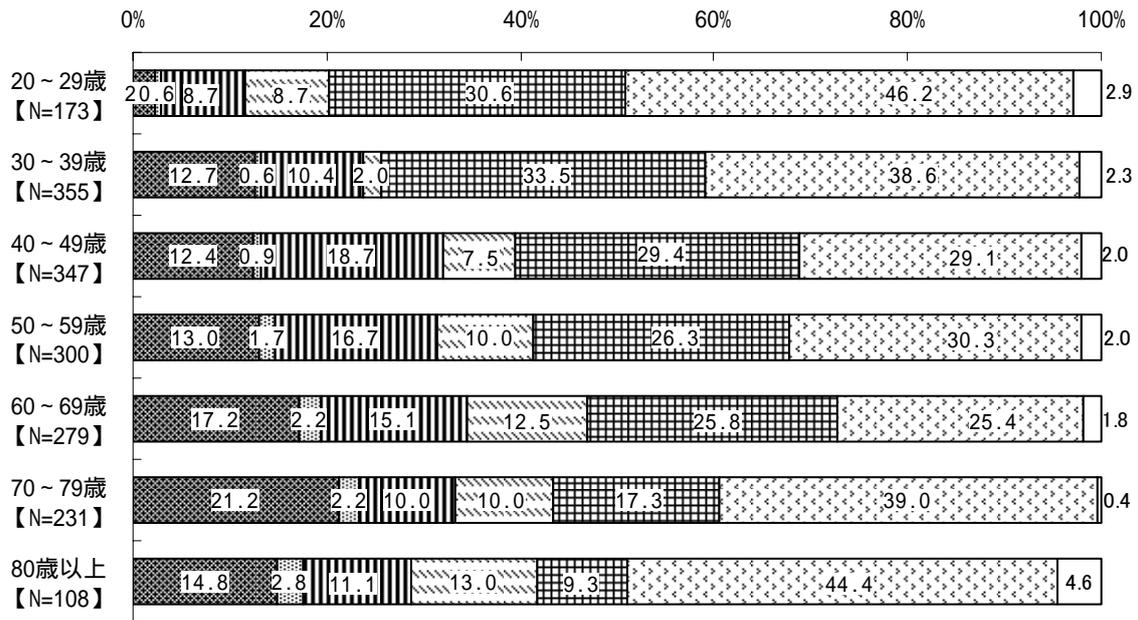
居住地別では、「参加したことがある人」は潮芦屋地区(53.3%)、潮見(潮芦屋除く)地区(52.8%)が多く、岩園地区(26.5%)、打出浜地区(27.6%)は少ない。「参加意識を持っている人」は潮芦屋地区(66.6%)、浜風地区(60.1%)で6割を超えており、岩園地区(49.2%)では5割未満となっている。また、「現在、参加しており、今後も参加したい」は潮芦屋地区が33.3%で他の居住地より最も多く、「以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない」は、潮見(潮芦屋除く)地区が15.9%で他の居住地より最も多くなっている。

住宅形式別では、「参加したことがある人」は「持ち家(戸建て・長屋建)」が47.9%で最も多く、「民間の賃貸住宅(マンション等)」は15.9%で最も少ない。「参加意識を持っている人」は「社宅・職員社宅」(60.0%)、「持ち家(分譲マンション等)」(57.5%)が多く、「その他」(33.4%)、「民間の賃貸住宅(戸建て・長屋建)」(34.0%)は少ない。また、「現在、参加しており、今後も参加したい」は、「社宅・職員社宅」が20.0%で他の住宅形式より最も多く、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」は「民間の賃貸住宅(戸建て・長屋建)」が52.0%で他の住宅形式より最も多い。

仕事別では、「現在参加している人」は「無職(年金生活者)」(22.7%)「営業主・会社経営」(18.4%)が多く、「学生」(2.2%)、「公務員」(7.7%)は少ない。また、「参加したことがある人」は「家事手伝い(農林漁業を含む)」(58.3%)、「無職(年金生活者)」(46.0%)が多く、「学生」(15.5%)、「公務員」(23.0%)は少ない。

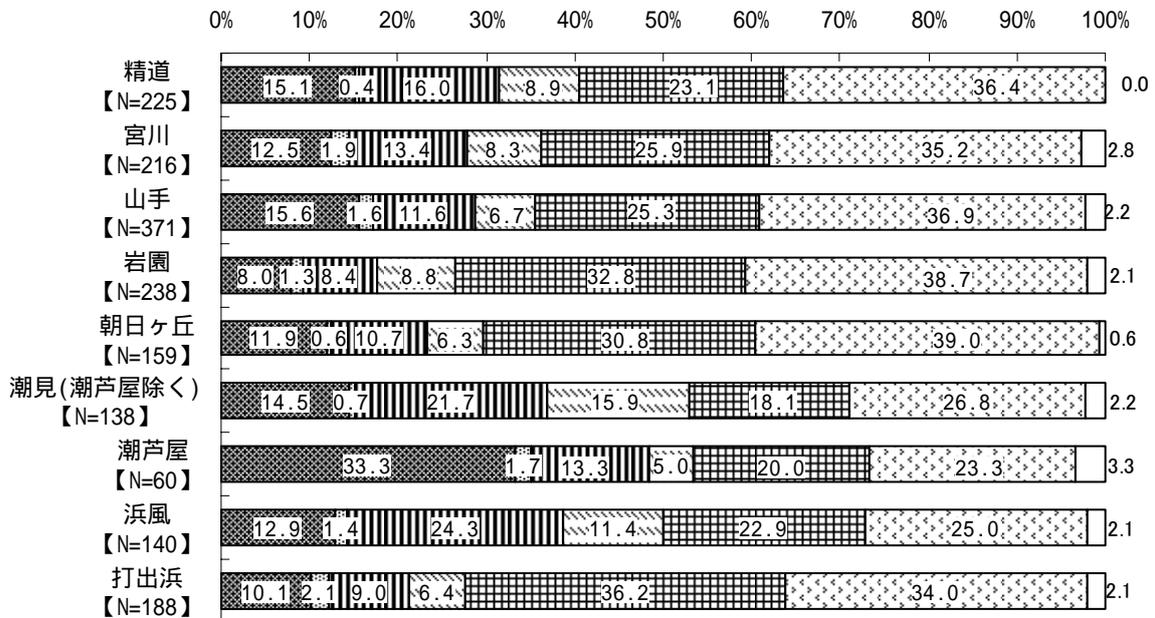
「参加意識を持っている人」は「公務員」(65.4%)、「専業主婦・主夫」(60.6%)が多く、「家事手伝い(農林漁業を含む)」(41.6%)、「自由業(弁護士・開業医・個人教師等)」(42.6%)は少ない。また、これまで参加したことがない人は「学生」(82.2%)、「公務員」(77.0%)が多く、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」は「自由業(弁護士・開業医・個人教師等)」が50.0%と最も多い。

年齢別



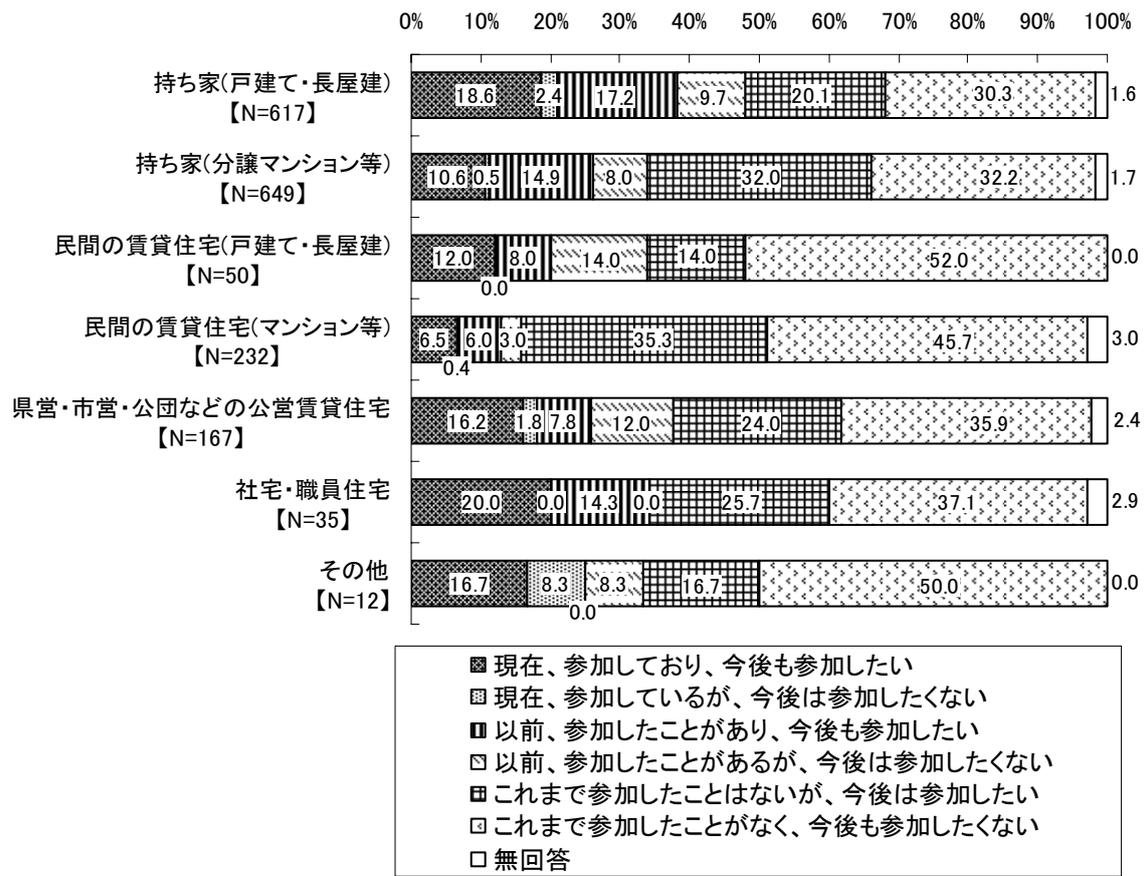
- 現在、参加しており、今後も参加したい
- ▣ 現在、参加しているが、今後は参加したくない
- ▤ 以前、参加したことがあり、今後も参加したい
- ▥ 以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない
- ▦ これまで参加したことはないが、今後は参加したい
- ▧ これまで参加したことがなく、今後も参加したくない
- 無回答

居住地別

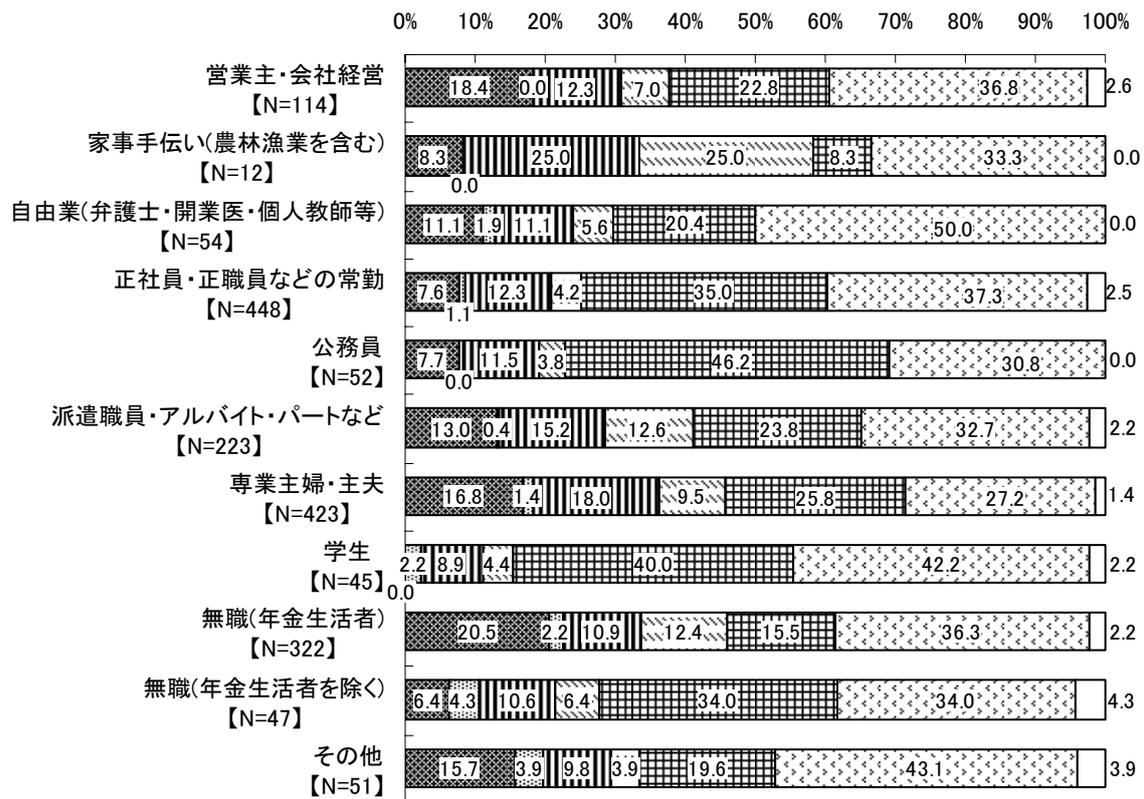


- 現在、参加しており、今後も参加したい
- ▣ 現在、参加しているが、今後は参加したくない
- ▤ 以前、参加したことがあり、今後も参加したい
- ▥ 以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない
- ▦ これまで参加したことはないが、今後は参加したい
- ▧ これまで参加したことがなく、今後も参加したくない
- 無回答

住宅形式別



仕事別



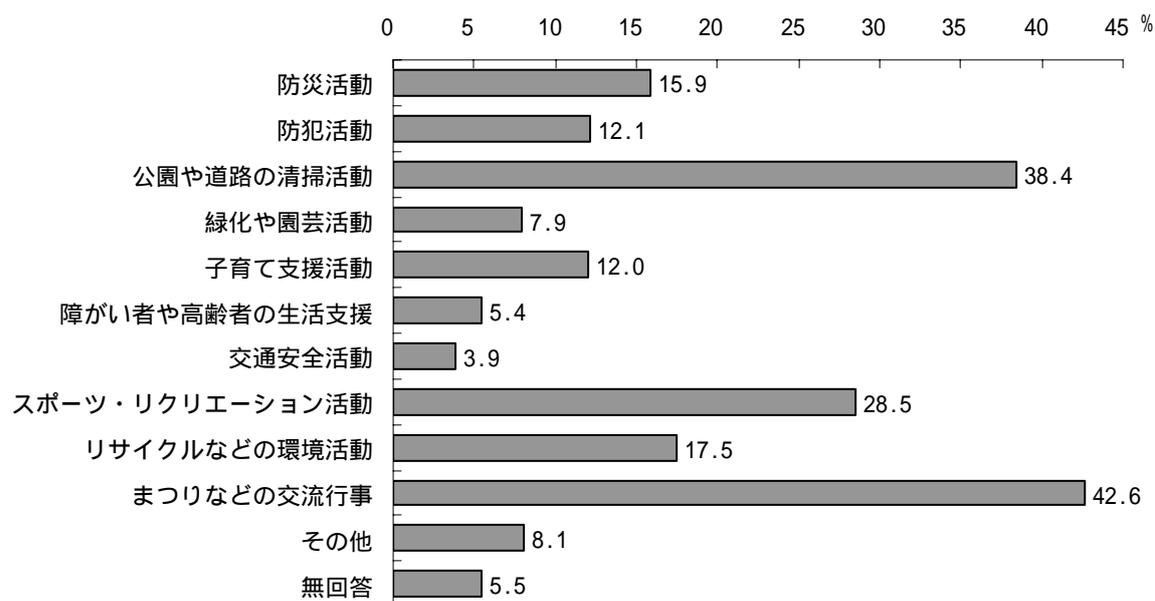
- 現在、参加しており、今後も参加したい
- ▣ 現在、参加しているが、今後は参加したくない
- ▤ 以前、参加したことがあり、今後も参加したい
- ▥ 以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない
- ▧ これまで参加したことはないが、今後は参加したい
- ▨ これまで参加したことがなく、今後も参加したくない
- 無回答

(5) 参加している地域活動テーマ(いくつでも)

『まつりなどの交流行事』, 『公園や道路の清掃活動』,
『スポーツ・リクリエーション活動』などへの参加が高い

問 10 で(回答番号 1 . 2 . 3 . 4 .) と回答された方にお伺いします。

問 10 - 1 どんな地域活動に参加していますか, または参加していましたか。次の中
からいくつでも選んで 印を付けてください。 【N = 667】



参加している・していた地域活動テーマについて, 「まつりなどの交流行事」
が 42.6% と最も多く, 次いで「公園や道路の清掃活動」が 38.4%, 「スポーツ・
リクリエーション活動」が 28.5% となっている。

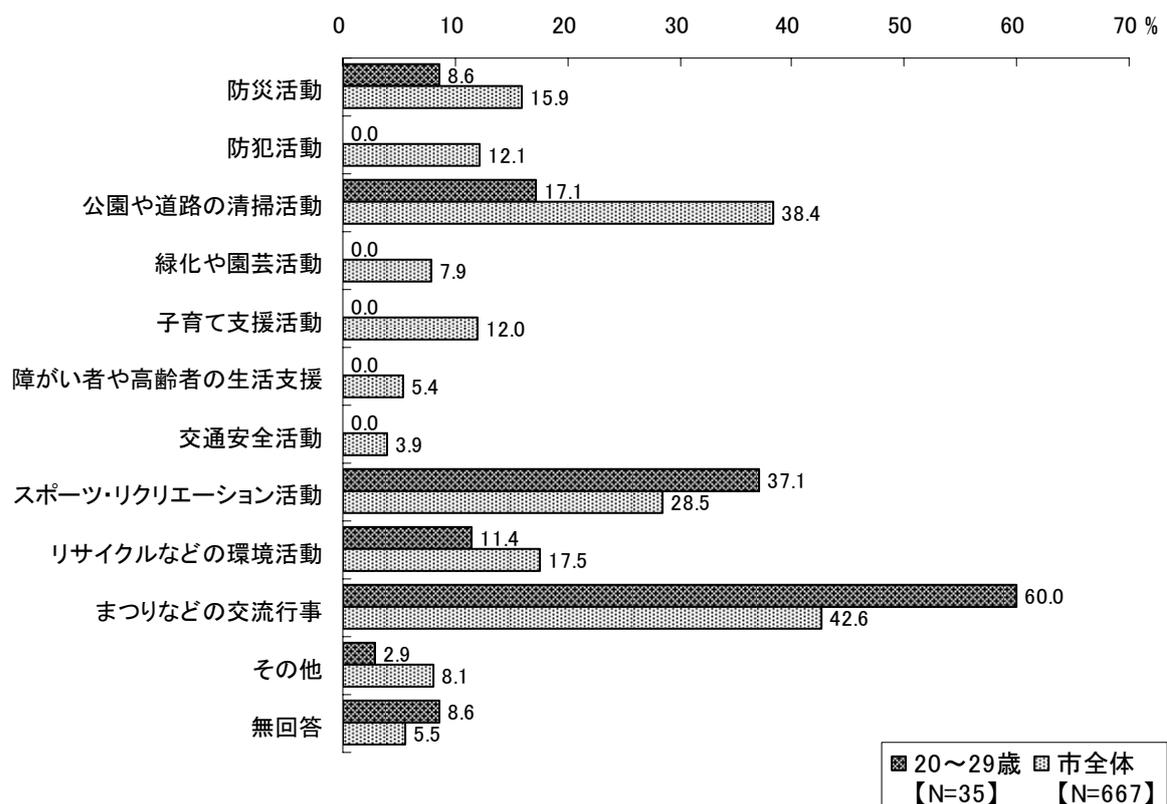
その他理由

- ・自治会, 町内会, 老人会, マンション理事会など地域団体の活動 (32 件)
- ・子ども会, P T A などの活動 (5 件)
- ・文化教室, イベントなど (4 件)
- ・ボランティアなど (行政ボランティア, 共同募金, ベルマーク) (3 件)
- ・その他の団体 (区画整理反対運動, 地区会議, 外郭団体) (3 件)
- ・その他 (まちづくり, 地域の福祉) (2 件)

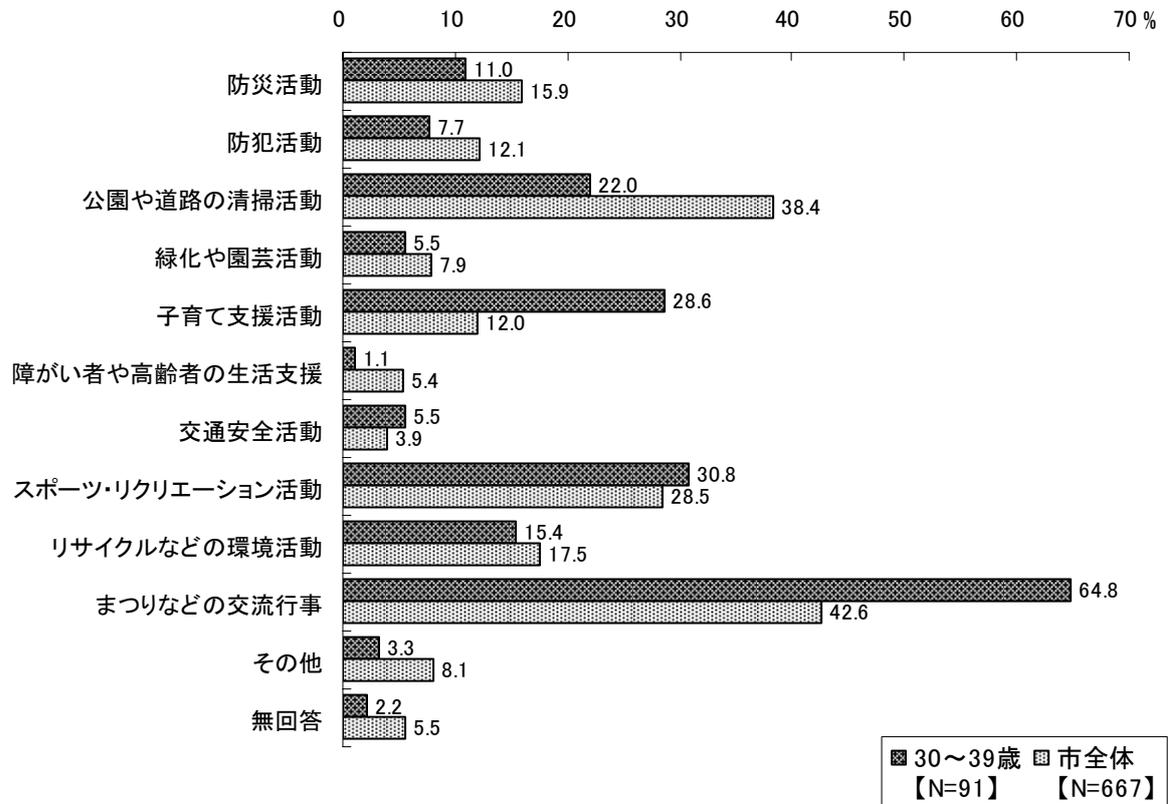
年齢別では、低い年齢層は「まつりなどの交流行事」、「スポーツ・リクリエーション活動」が市全体よりも多く、高い年齢層は「公園や道路の清掃活動」、「リサイクルなどの環境活動」、「防災活動」、「防犯活動」、「緑化や園芸活動」、「障がい者や高齢者の生活支援」が市全体よりも多くなっており、年齢別による参加している・していた地域活動テーマの偏りが見られる。特に20～29歳では「スポーツ・リクリエーション活動」、「まつりなどの交流行事」が市全体よりも多くなっているが、一方で「防犯活動」、「緑化や園芸活動」、「子育て支援活動」など0.0%の地域活動テーマがあり、最も大きな偏りとなっている。

「子育て支援活動」は30～39歳、40～49歳が市全体よりも多く、特に30～39歳は「まつりなどの交流行事」、「スポーツ・リクリエーション活動」に次ぐ多さになっている。

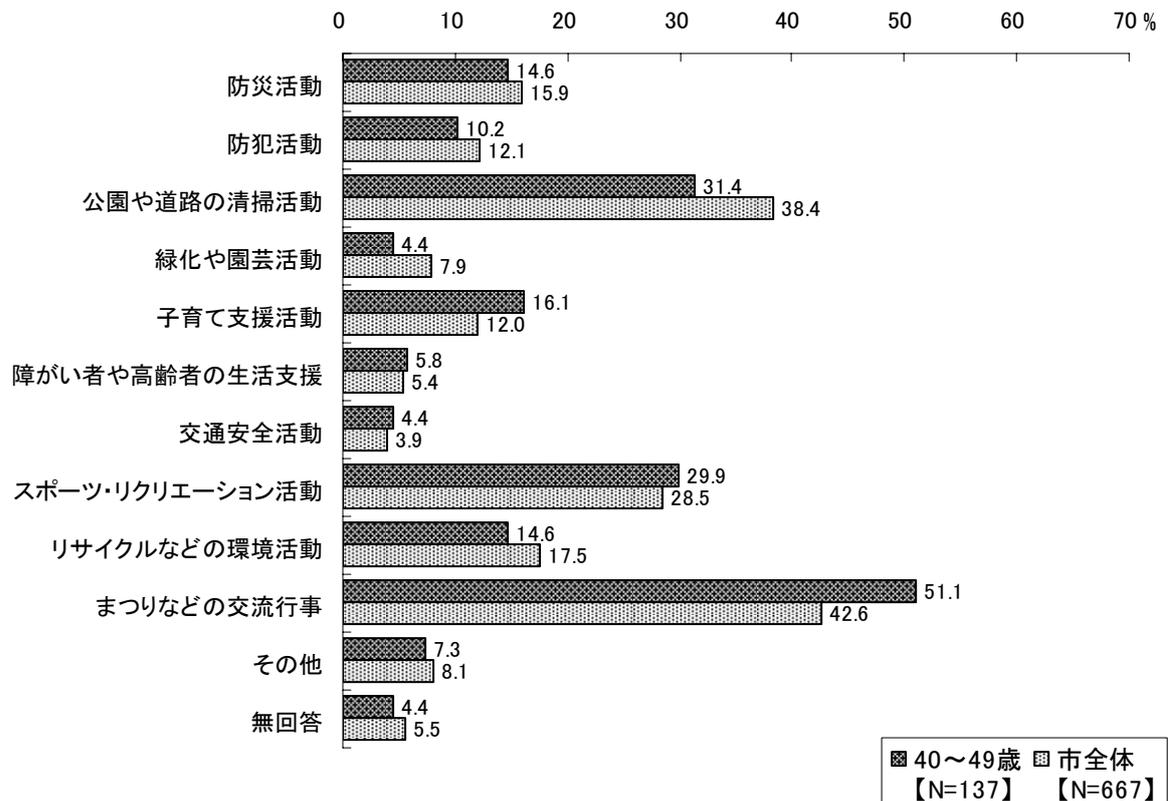
年齢別
< 20～29歳 >



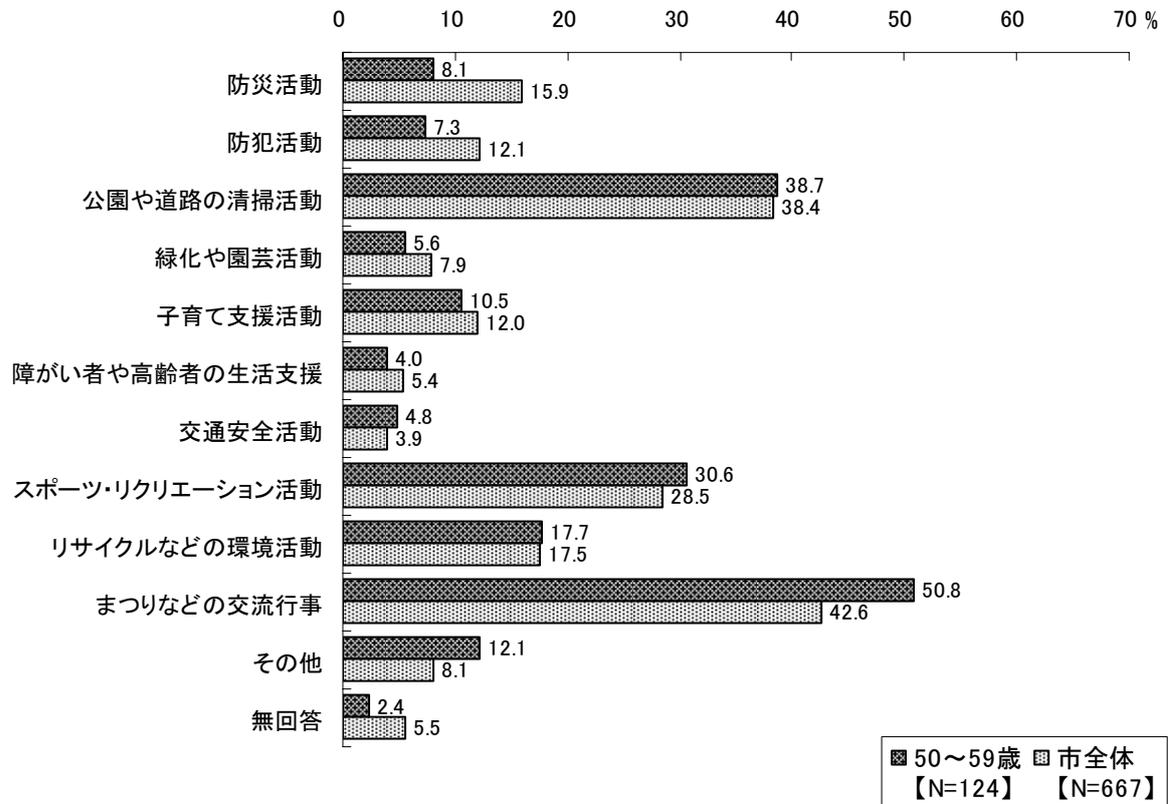
< 30～39歳 >



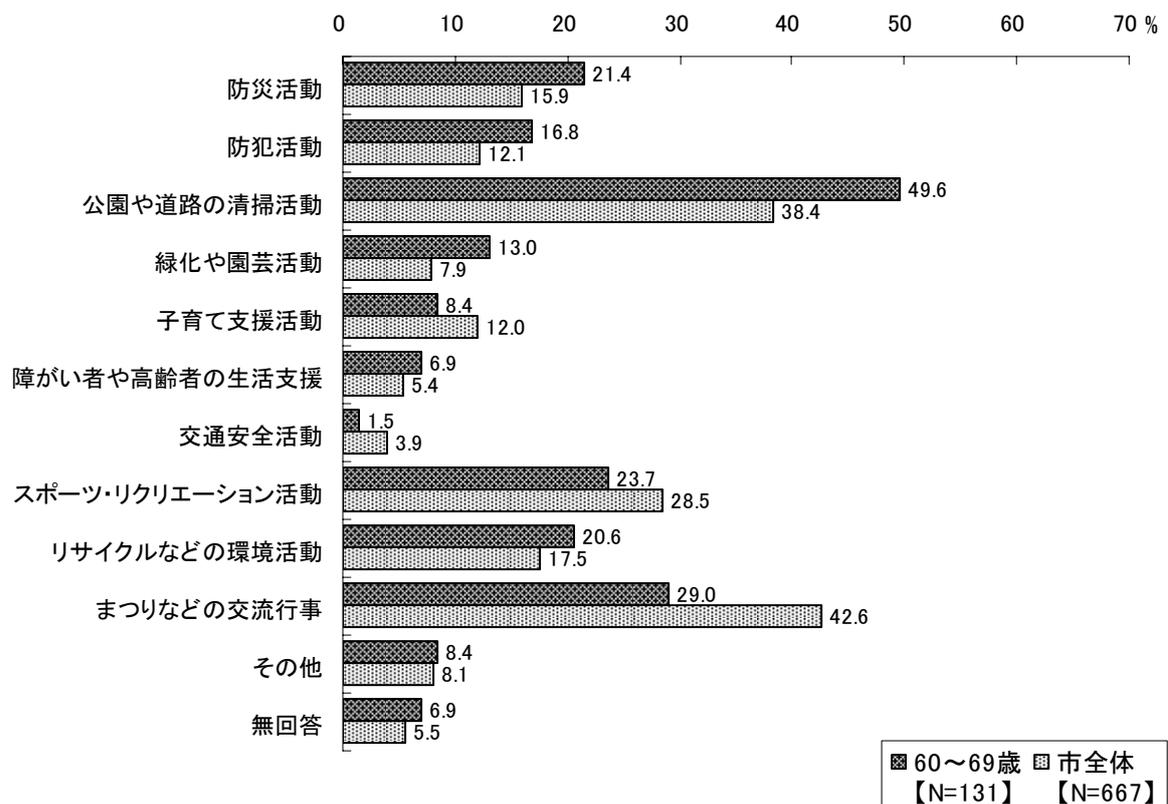
< 40～49歳 >



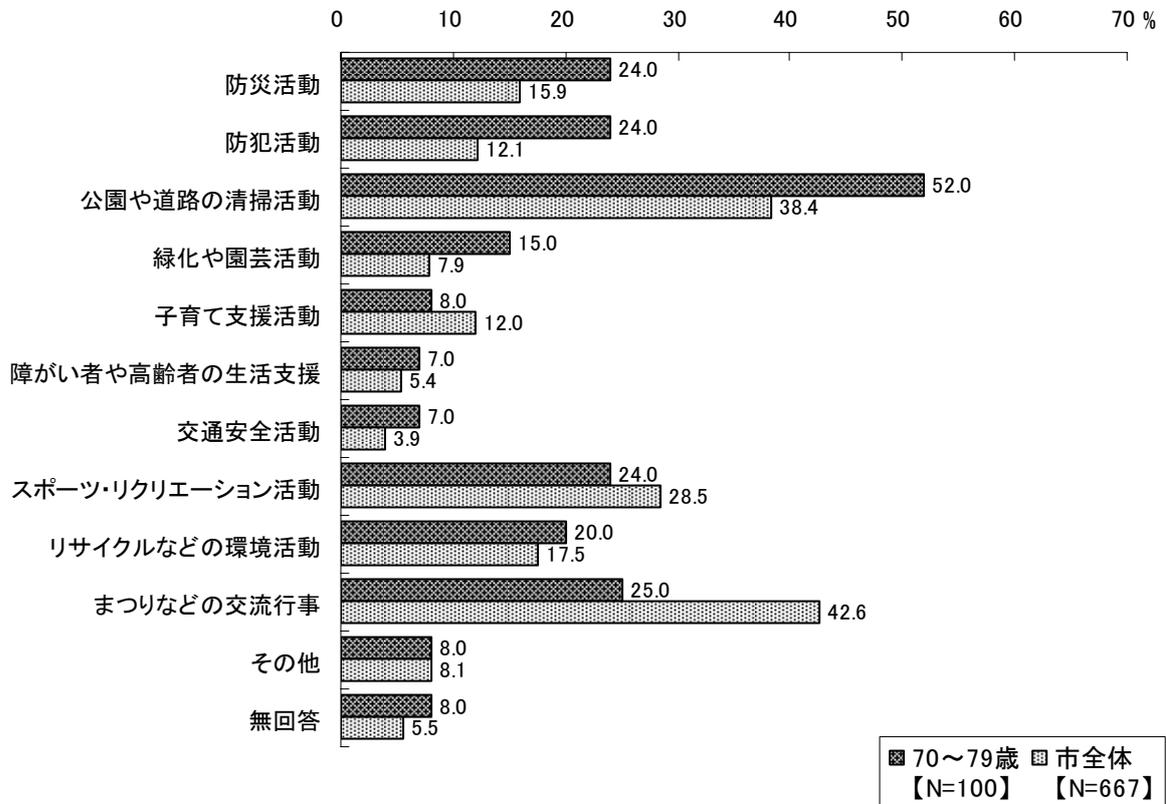
< 50 ~ 59 歳 >



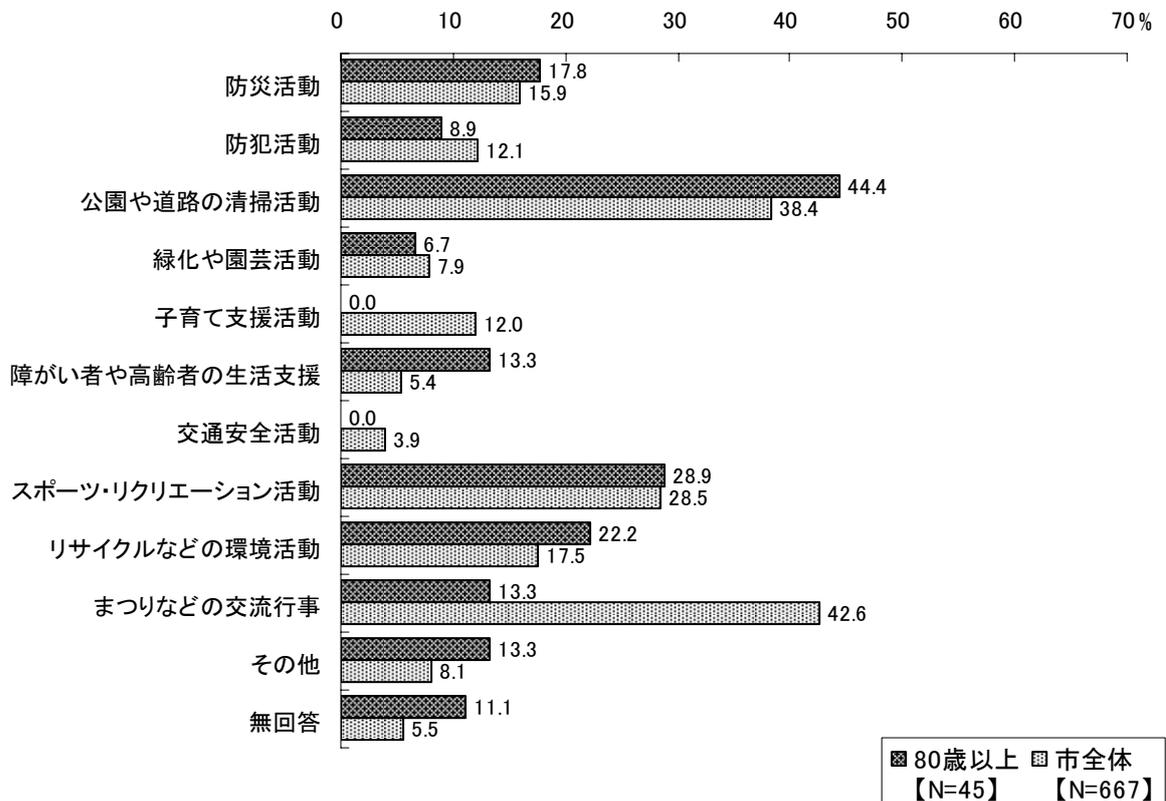
< 60 ~ 69 歳 >



< 70 ~ 79 歳 >



< 80 歳以上 >

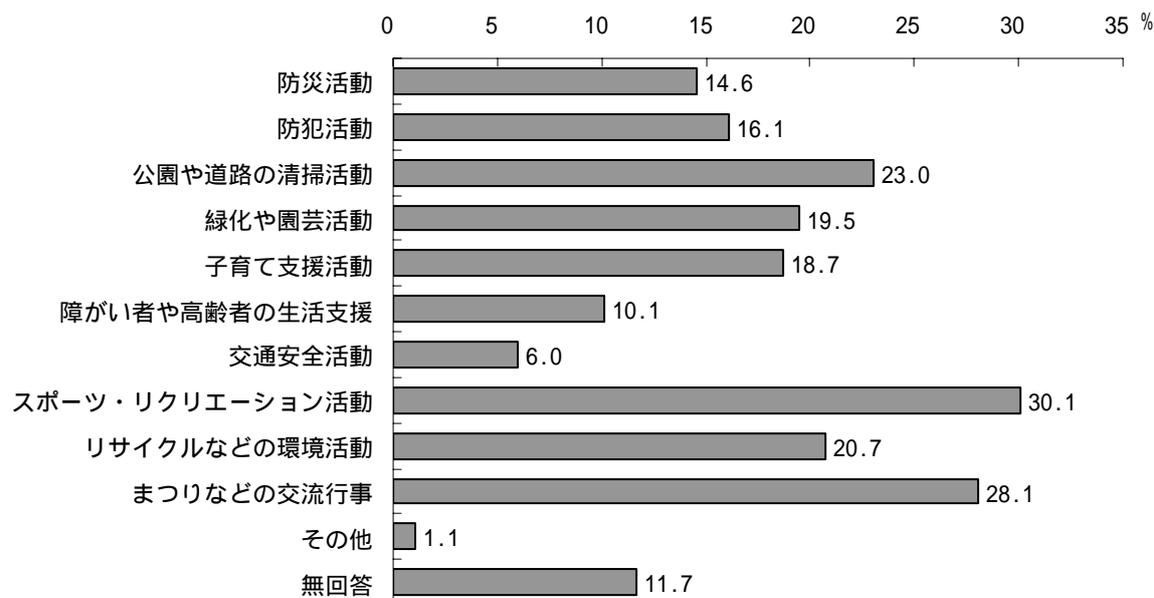


(6) 参加したい地域活動テーマ(3つまで)

参加を希望するテーマは、年齢や居住地区によって異なる

問10で「参加したい」(回答番号1・3・5)と回答された方にお伺いします。

問10-2 どのようなテーマであれば参加したいと思いますか。次の中から**3つ以内**で選び 印を付けてください。 【N=974】



参加したい地域活動テーマについて、「スポーツ・リクリエーション活動」が30.1%と最も多く、次いで「まつりなどの交流行事」が28.1%、「公園や道路の清掃活動」が23.0%となっている。

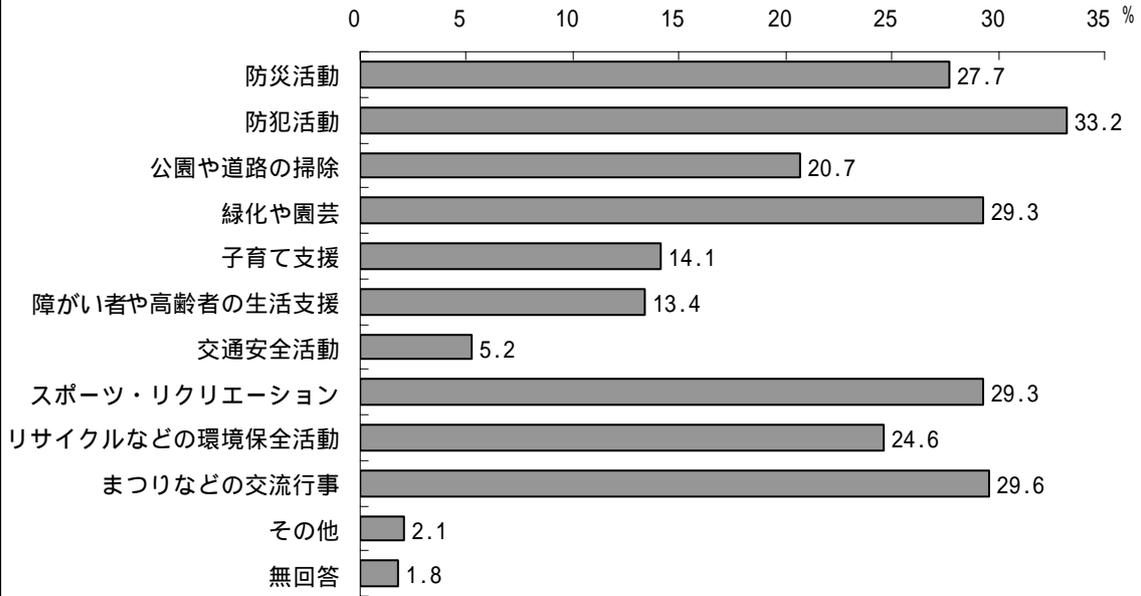
その他理由

- ・ 広報，宣伝，教育啓発
- ・ 文化
- ・ 自治会活動
- ・ 中高生対象の教育活動
- ・ まちづくり
- ・ ボランティア，傾聴，カウンセリング
- ・ ハイキング
- ・ 隣人祭のようなパーティー
- ・ 子供がもう少し大きくなればどんなことでも
- ・ 体力的に出来そうであればどんなことでも

過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 8 問 7 で「 4 . 参加したことはないが、参加したい・してもよい」とお答えの方にお聞きします。

どのようなテーマであれば参加してみたいと思いますか。次の中から 3 つまで選んで印をつけてください。 【 N = 382 】



平成 16 年度調査と比較すると、最も多かった「防犯活動」が 33.2% から 16.1% と 17.1 ポイント低下している。また、「防災活動」も 27.7% から 14.6% と 13.1 ポイント低下している。

年齢別では、「スポーツ・リクリエーション活動」は 80 歳以上を除くすべての年代で参加意識が高く、「まつりなどの交流行事」は低い年齢層、「公園や道路の清掃活動」は高い年齢層で参加意識が高くなっている。市全体と比較すると 20～29 歳は「まつりなどの交流行事」、「スポーツ・リクリエーション活動」、30～39 歳は「まつりなどの交流行事」、「子育て支援活動」、50～59 歳は「リサイクルなどの環境活動」、「緑化や園芸活動」、60～69 歳は「公園や道路の清掃活動」、「緑化や園芸活動」、80 歳以上は「防犯活動」、「防災活動」への参加意識が高く、40～49 歳は市全体と同様の傾向となっている。

また、「子育て支援活動」への参加意識は 30～39 歳が突出している。

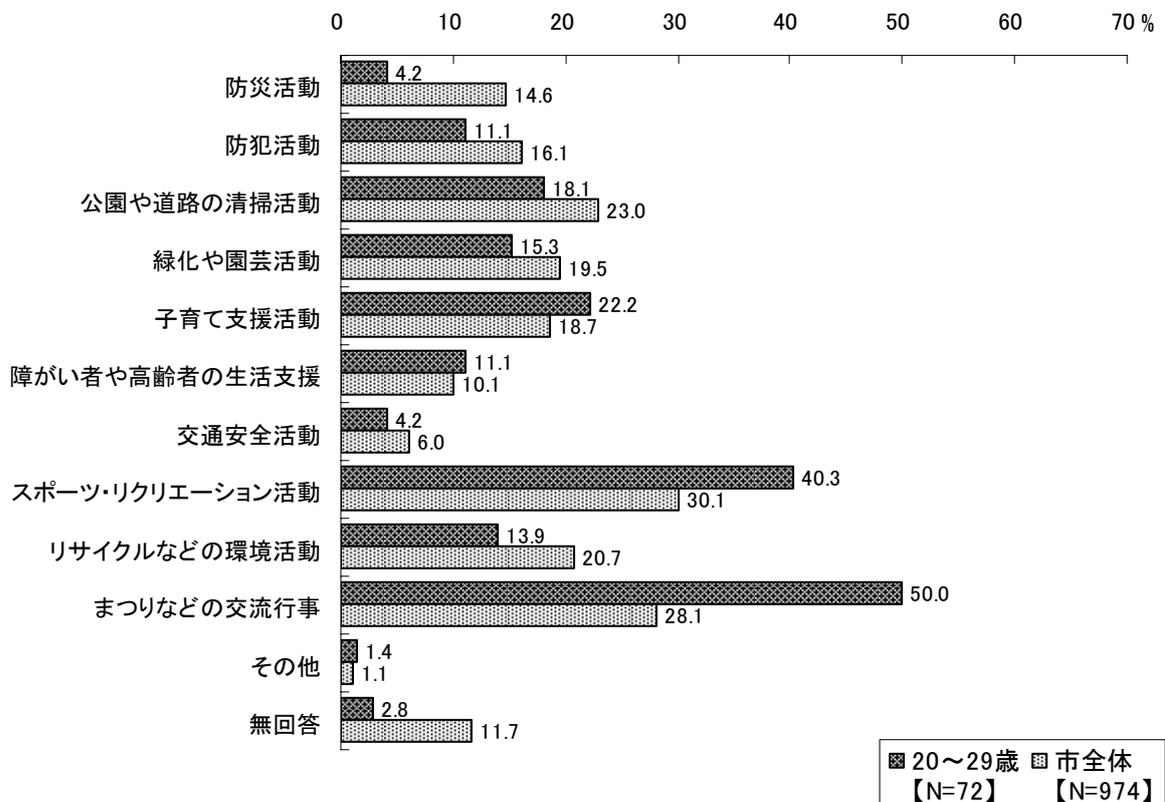
居住地別では、「防災活動」は精道地区，朝日ヶ丘地区，「公園や道路の清掃活動」は潮見(潮芦屋除く)地区，潮芦屋地区，「まつりなどの交流行事」は潮芦屋地区，打出浜地区の参加意識が市全体より高くなっている。

「防犯活動」は精道地区，山手地区，朝日ヶ丘地区の参加意識が市全体より高く，潮見(潮芦屋除く)地区，潮芦屋地区，浜風地区は市全体より低くなっている。

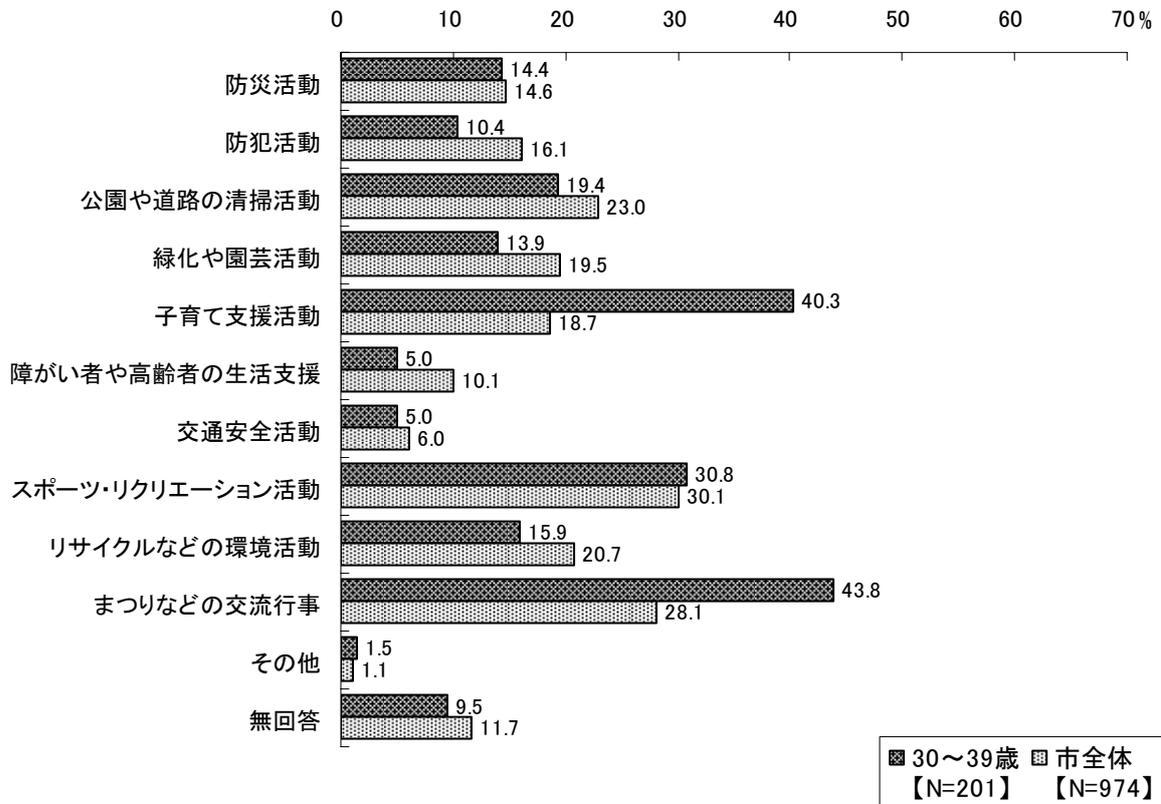
また，「スポーツ・リクリエーション活動」は浜風地区，打出浜地区の参加意識が市全体より高く，岩園地区は市全体より低くなっている。

年齢別

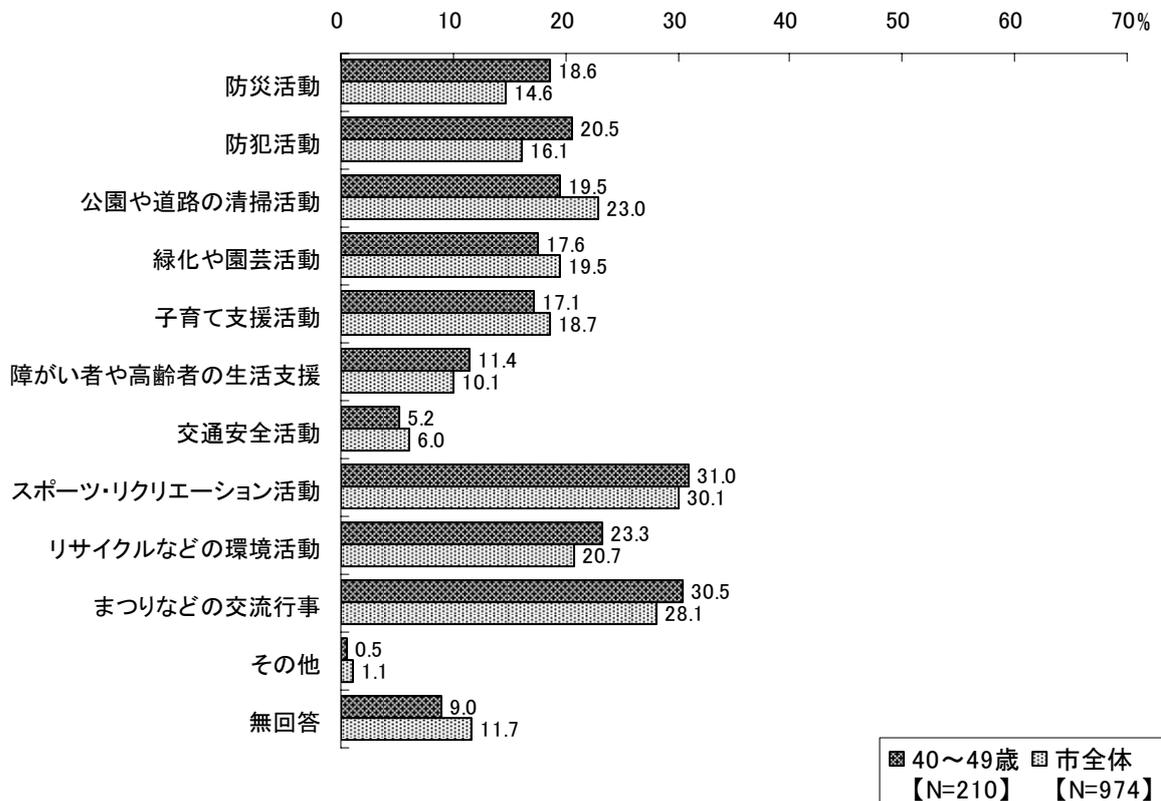
< 20～29歳 >



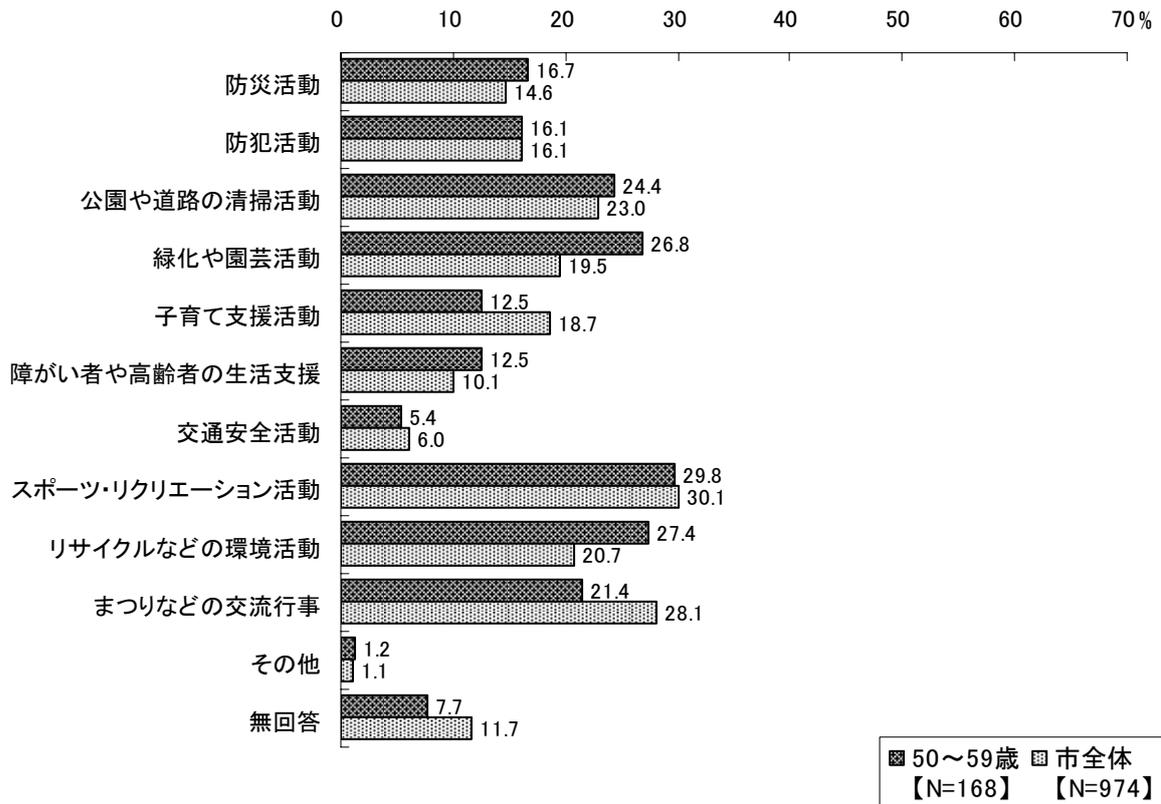
< 30～39歳 >



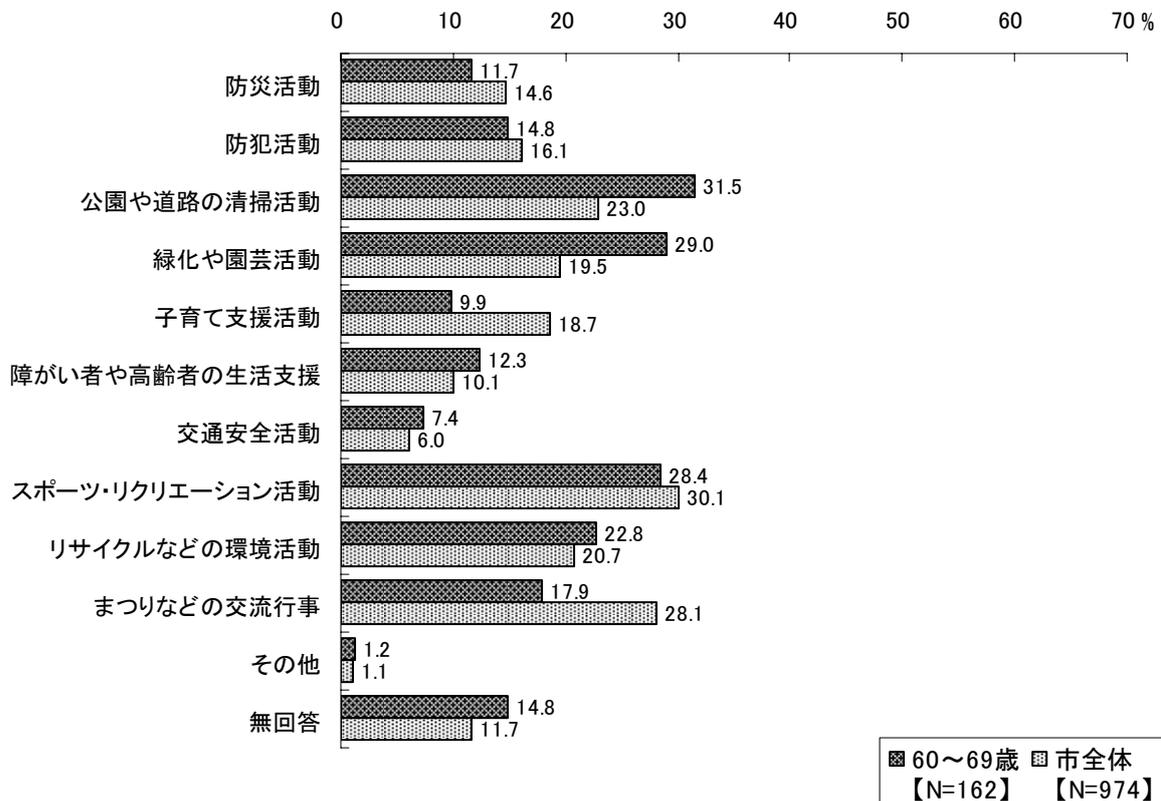
< 40～49歳 >



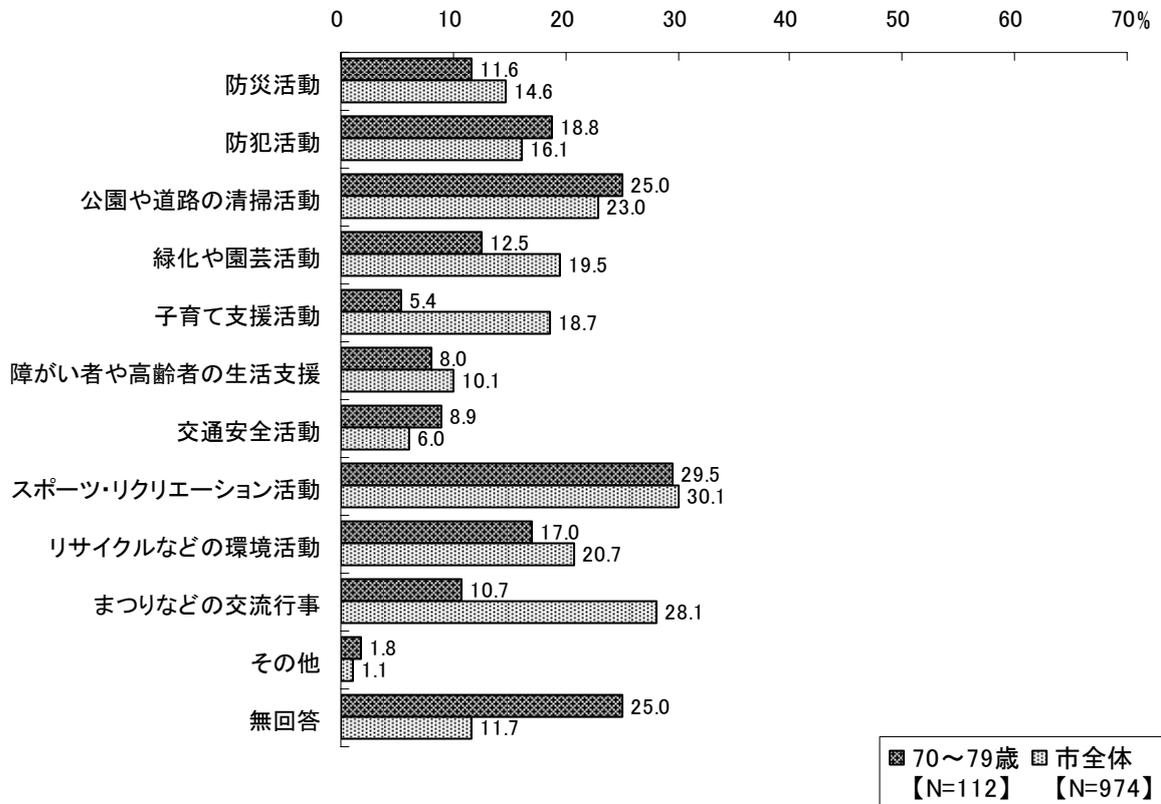
< 50 ~ 59 歳 >



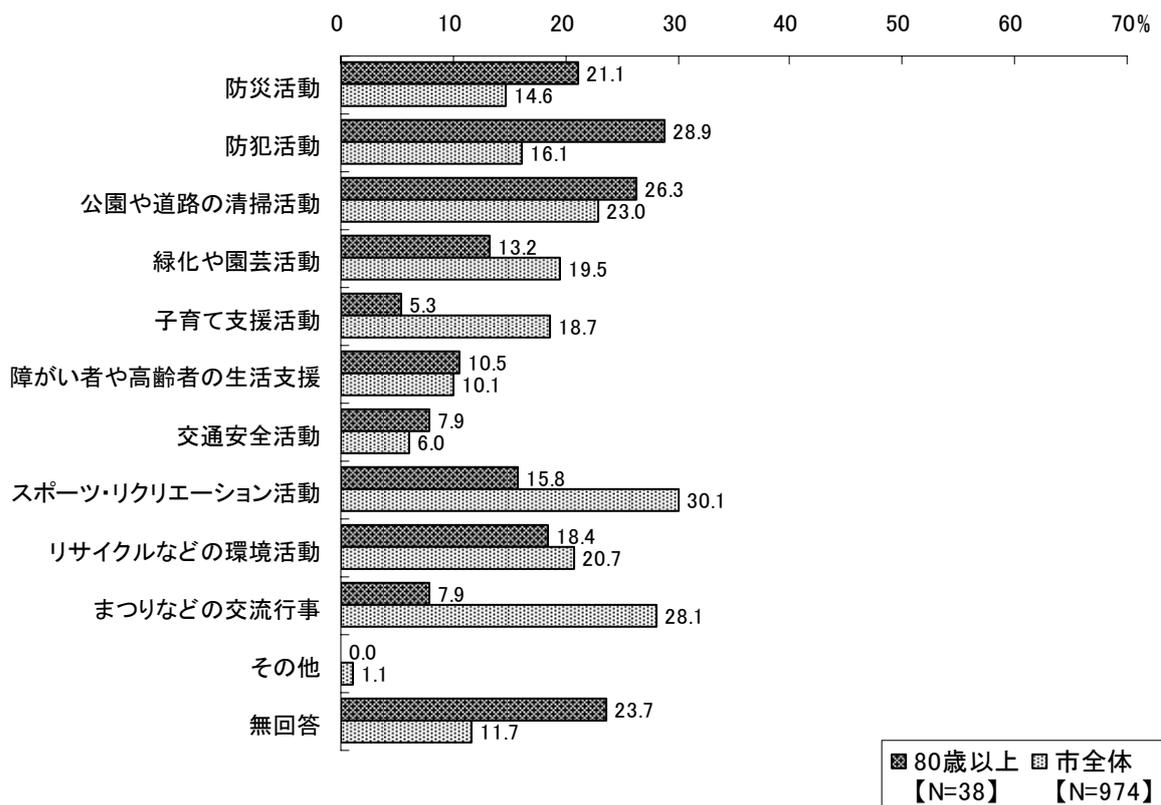
< 60 ~ 69 歳 >



< 70～79歳 >

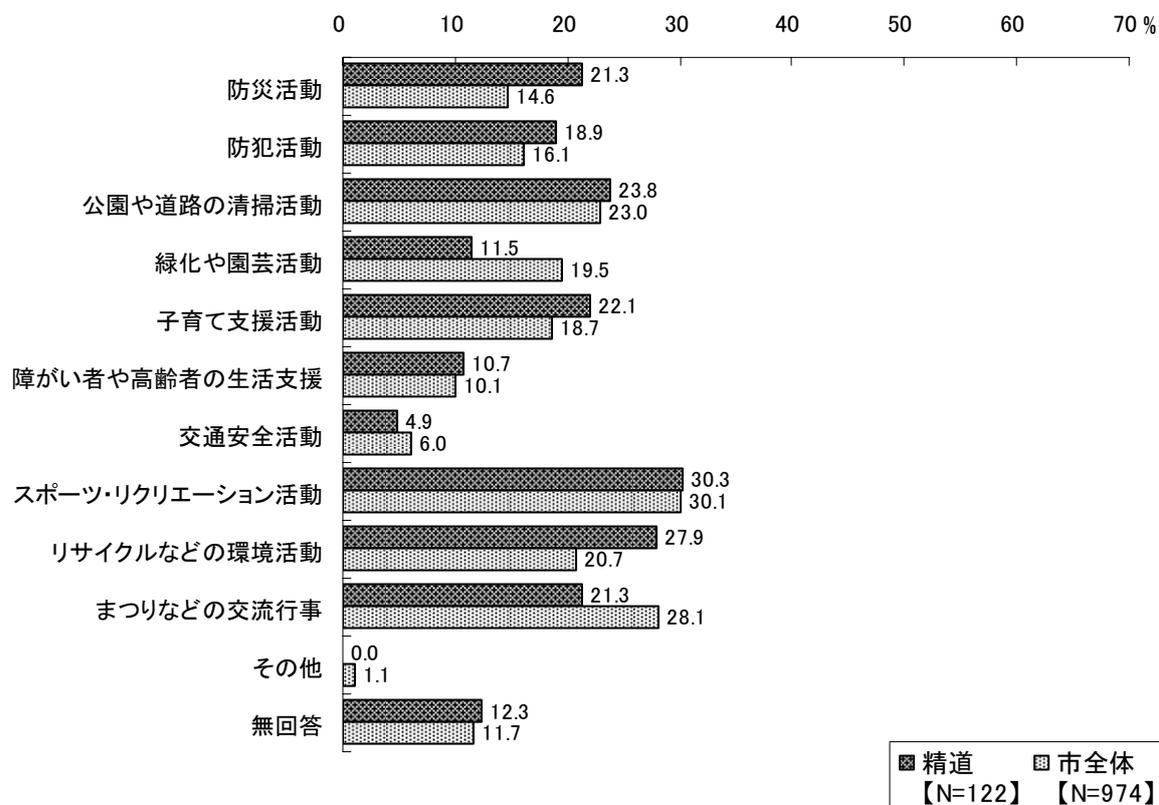


< 80歳以上 >

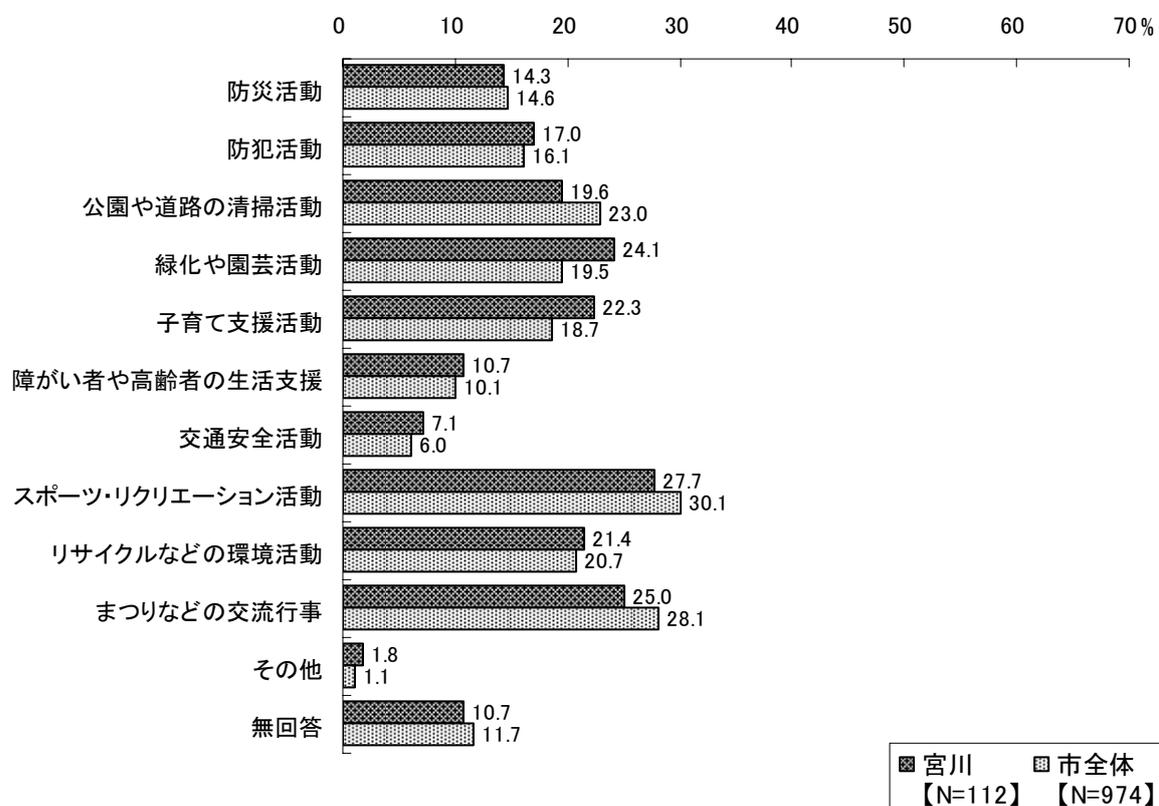


居住地別

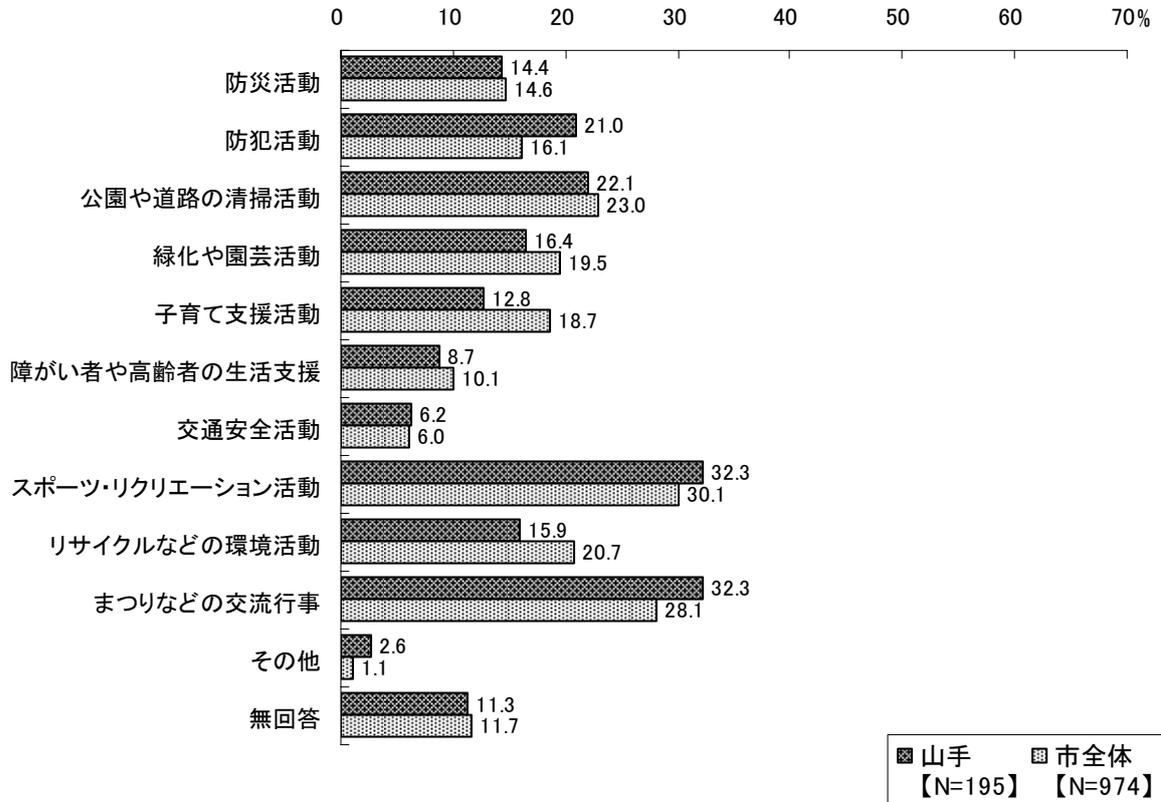
< 精道 >



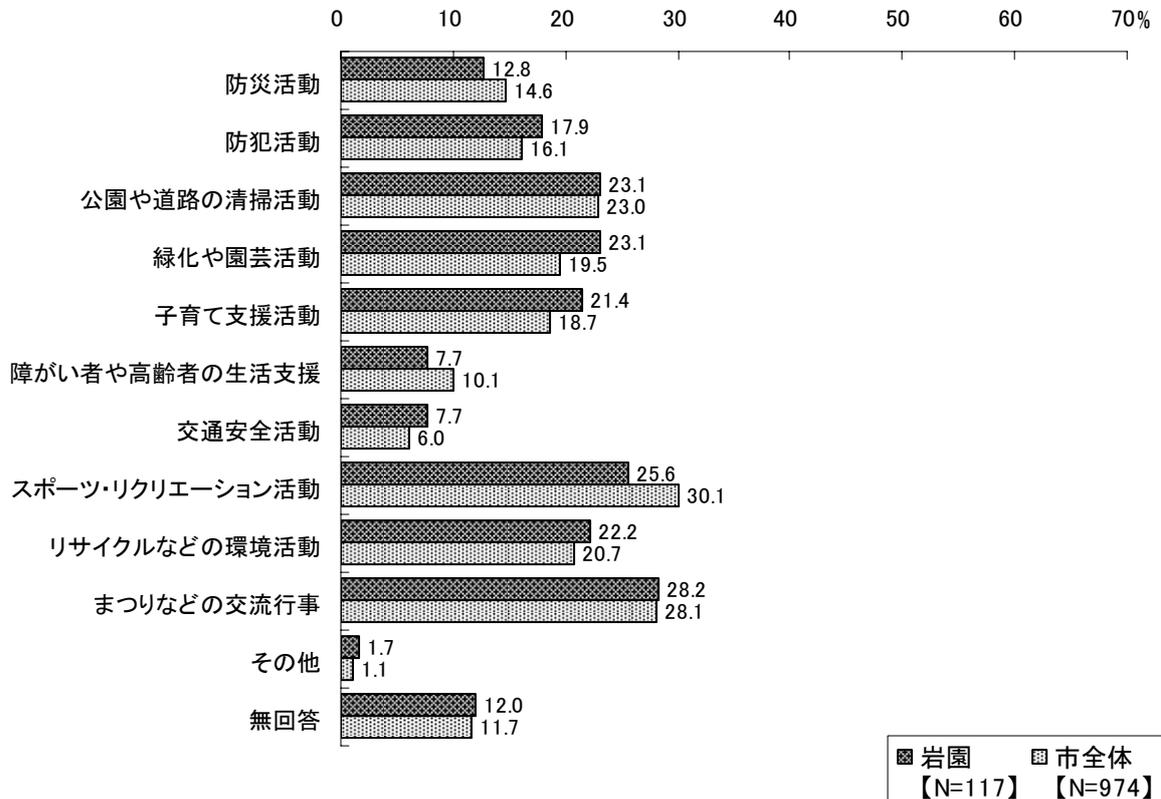
< 宮川 >



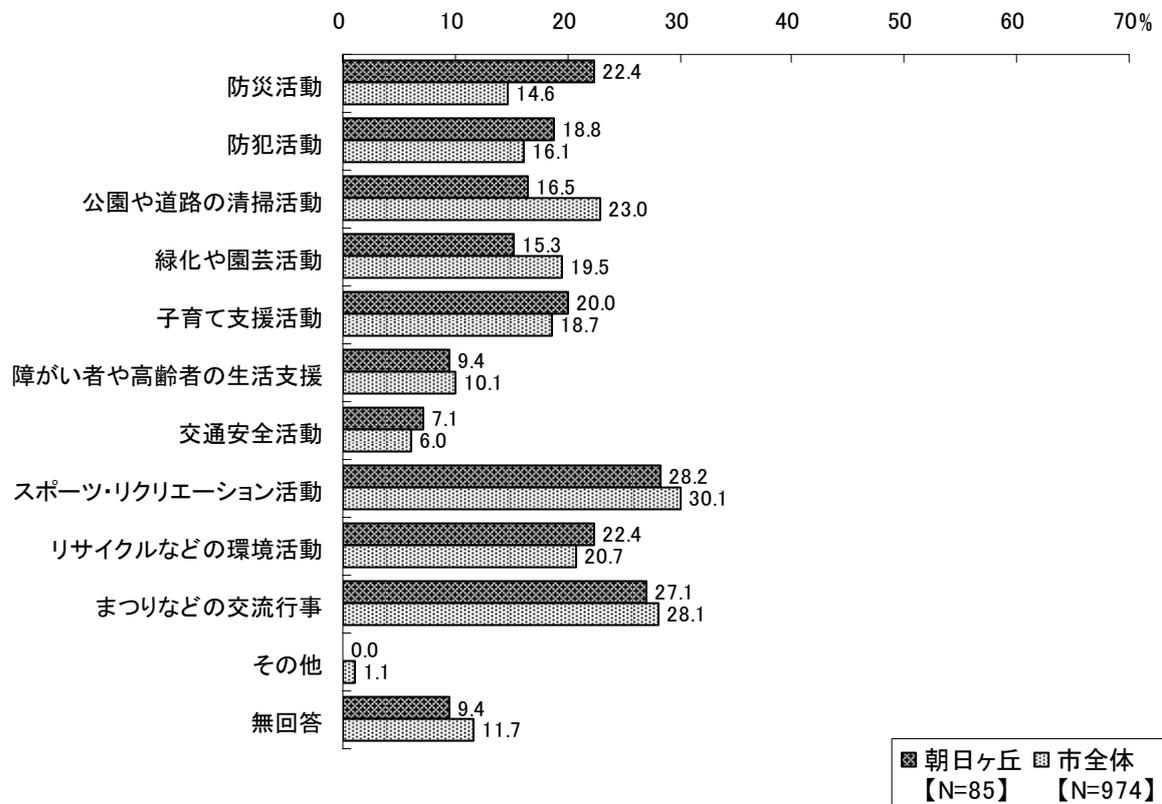
< 山手 >



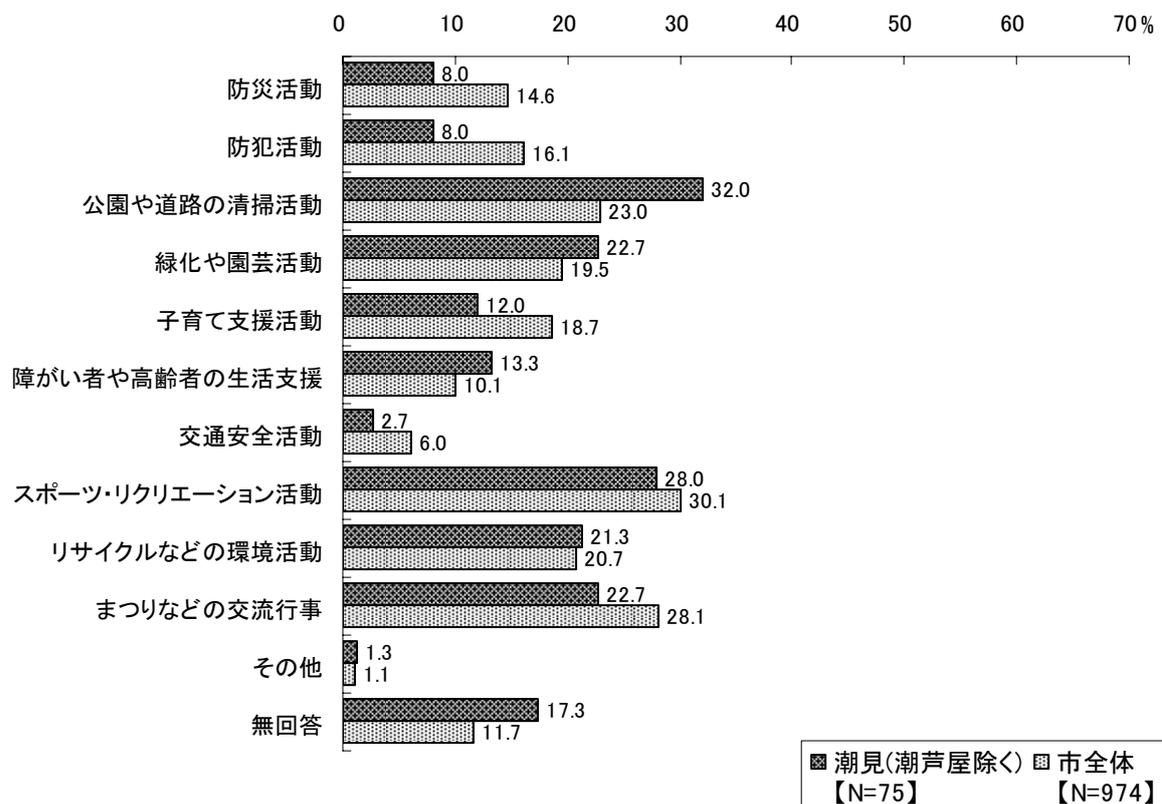
< 岩園 >



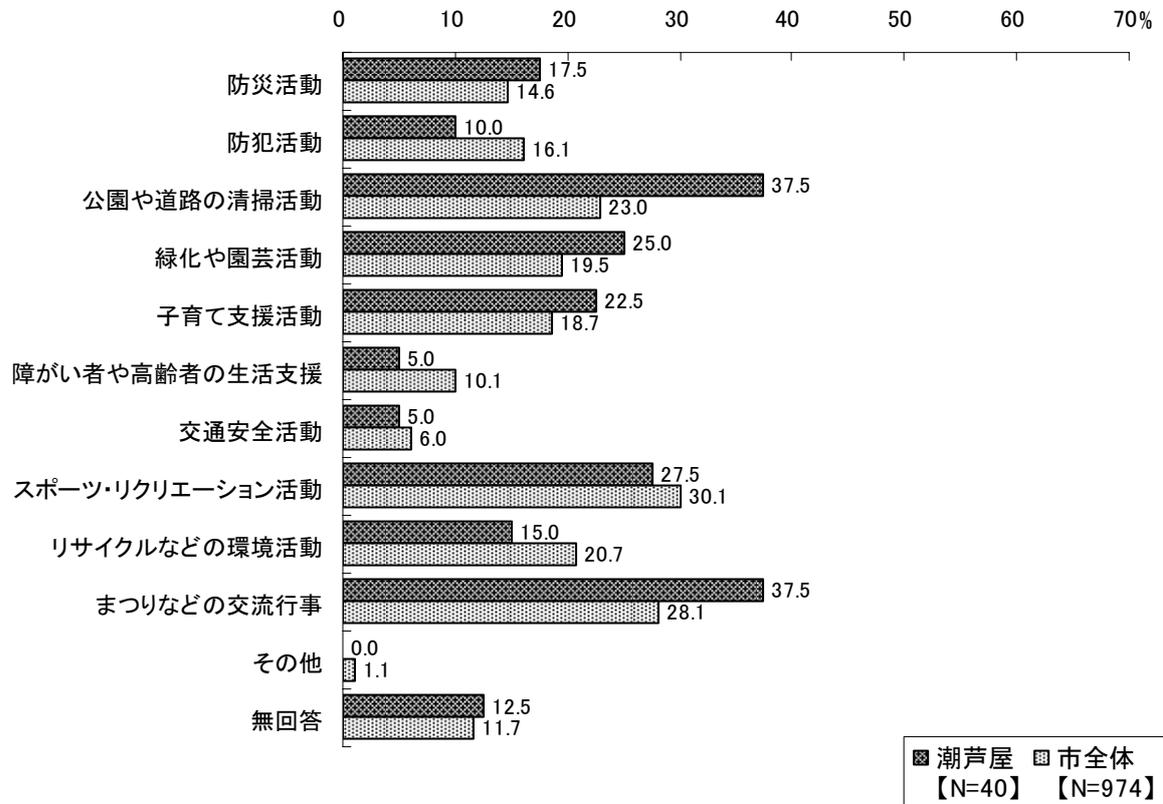
< 朝日ヶ丘 >



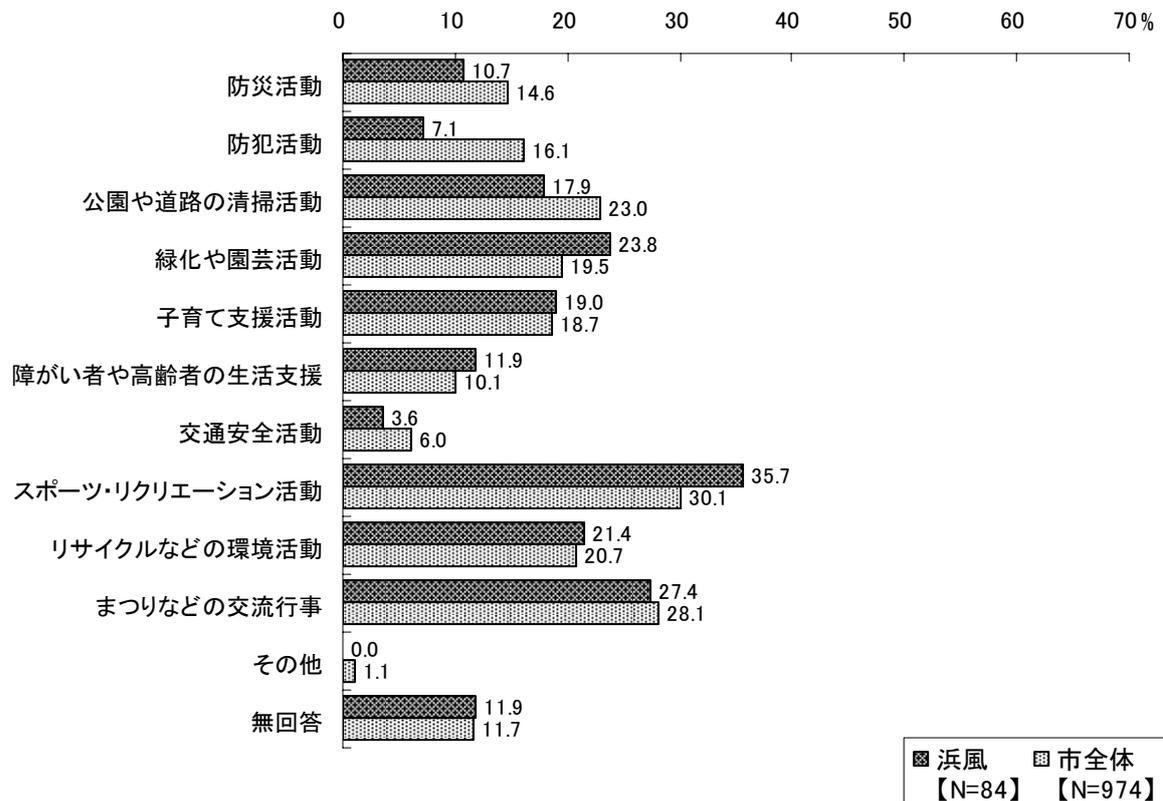
< 潮見(潮芦屋除く) >



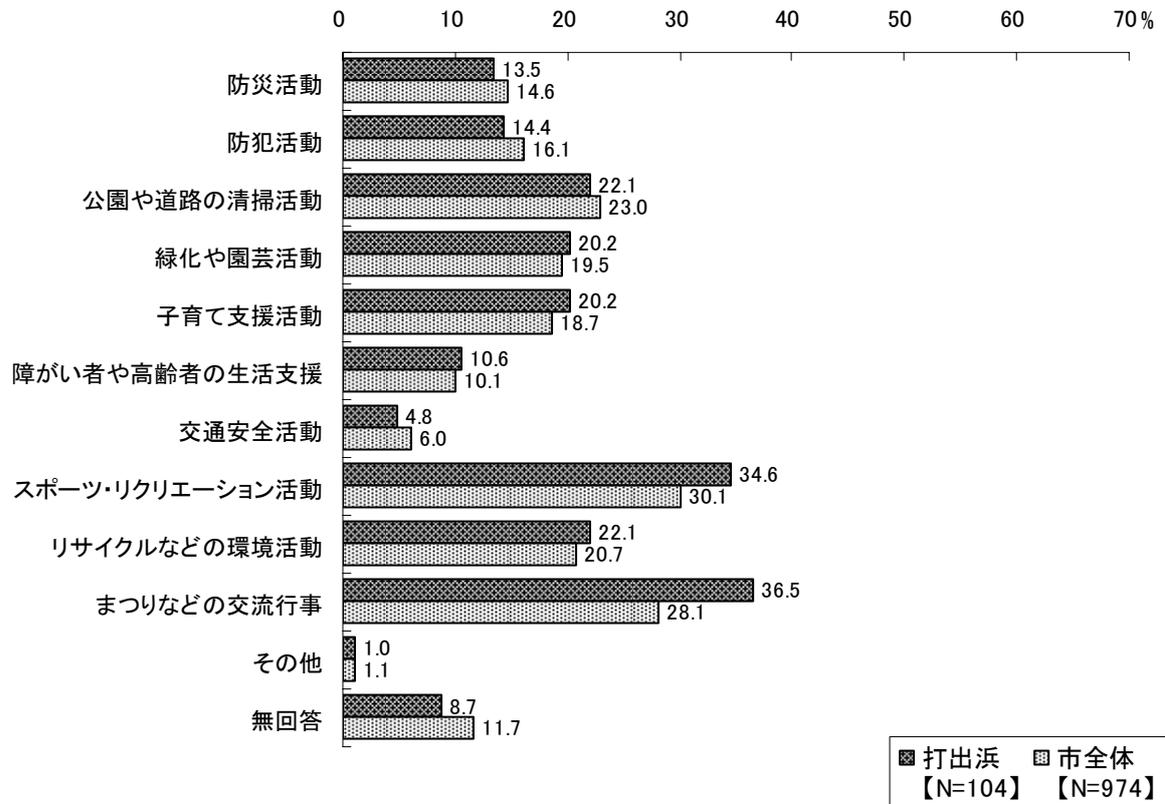
< 潮芦屋 >



< 浜風 >



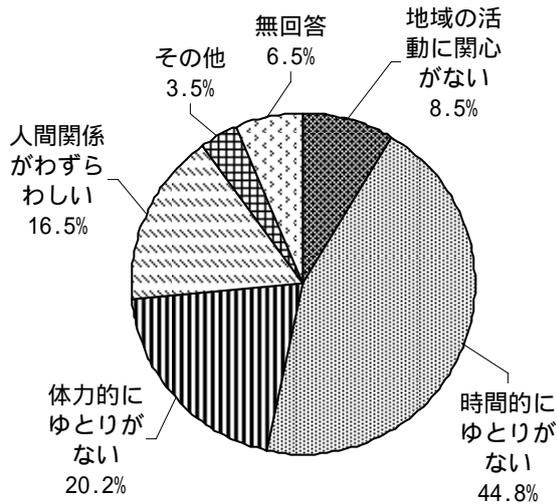
< 打出浜 >



(7) 地域活動に参加したくない理由

4割を超える人が『時間的にゆとりがない』

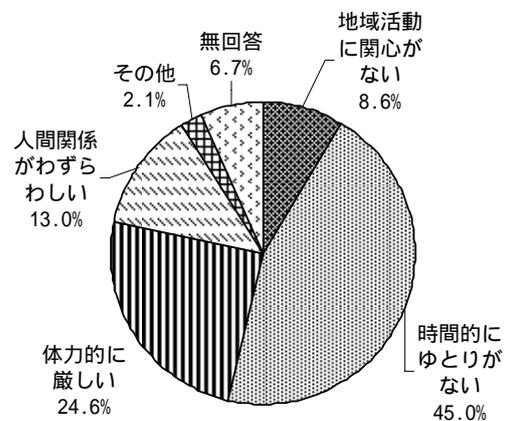
問10で「参加したくない」(回答番号2・4・6)と回答された方にお伺いします。
 問10-3 参加したくない主な理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 799】



過去の調査結果(平成16年度調査)

問9 問7で「3.参加したことがあるが、今後は参加したくない」、「5.参加したことはなく、今後も参加したくない」とお答えの方にお聞きします。

参加したくない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印をつけてください。 【N = 431】



地域活動に参加したくない理由は、「時間的にゆとりがない」が44.8%と最も多く、次いで「体力的にゆとりがない」が20.2%となっている。

居住地別では、「時間的にゆとりがない」は精道地区、潮芦屋地区が5割以上、「体力的にゆとりがない」は精道地区、山手地区、岩園地区、朝日ヶ丘地区が2割以上と多い。

年齢別では、「時間的にゆとりがない」は20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳が5割以上と多く、80歳以上では「体力的にゆとりがない」が84.9%で最も多くなっている。

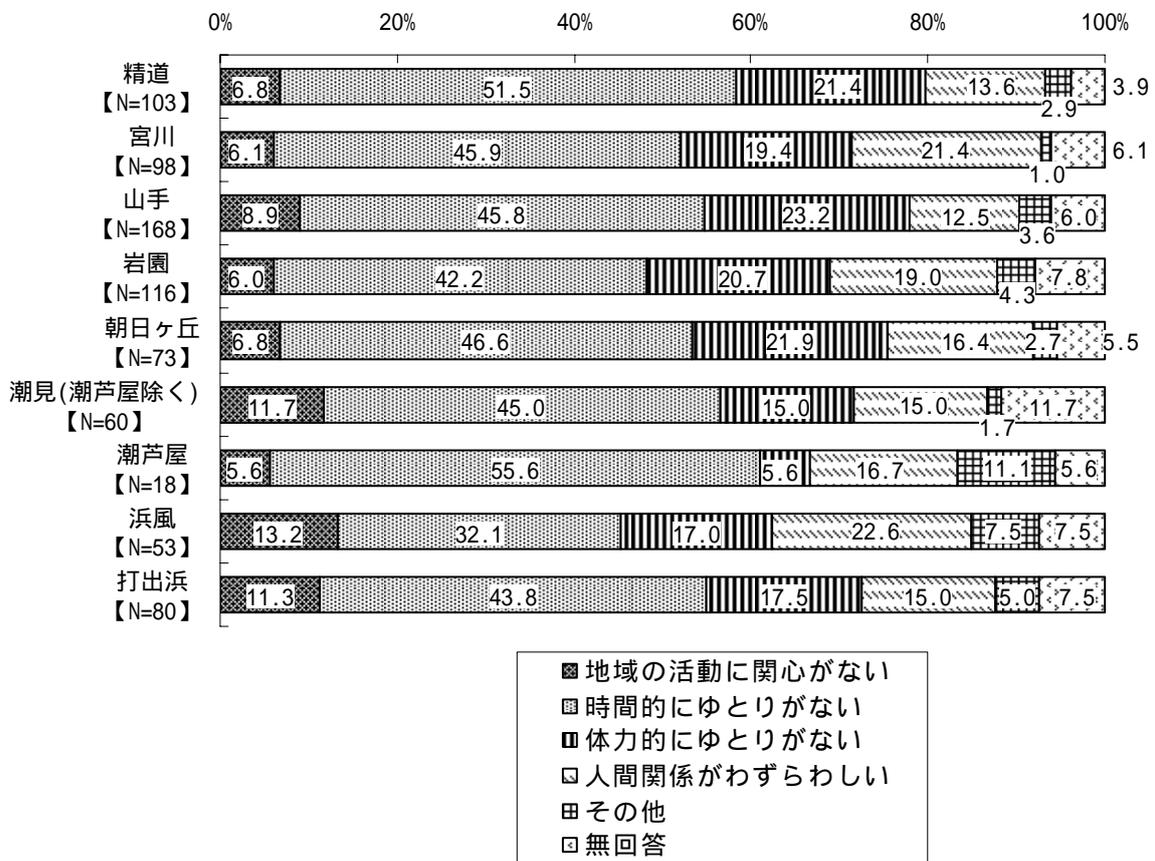
性別では、「地域の活動に関心がない」、「時間的にゆとりがない」が男性は多く、「体力的にゆとりがない」、「人間関係がわずらわしい」が女性は多くなっている。

仕事別では、「時間的にゆとりがない」は公務員，学生が7割以上と多いのに対し，無職(年金生活者)は1割未満と低く，「体力的にゆとりがない」は逆の傾向となっている。

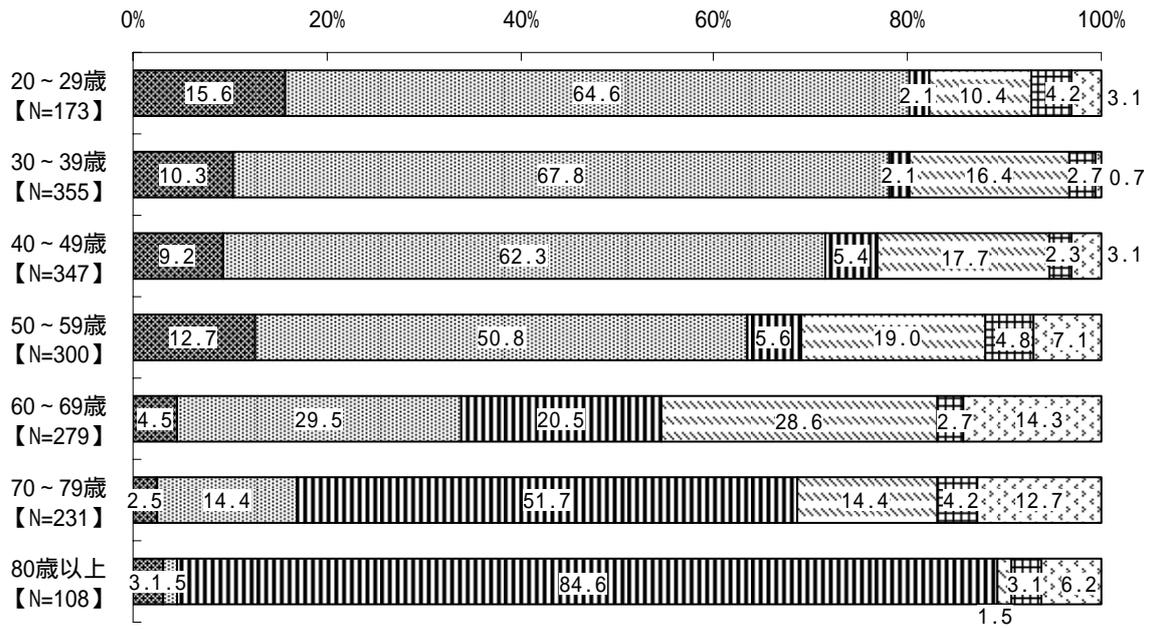
その他理由

- ・病気，介護などの個人的事情で参加できない(5件)
- ・都合が合わない(4件) ・参加したい活動がない。(3件)
- ・高齢のため(3件) ・転居・転勤のため(3件)
- ・近隣との付き合いがない(2件)
- ・参加したくても情報が手に入らない(1件) ・面倒くさい(1件)
- ・区域が嫌だから(1件)

居住地別

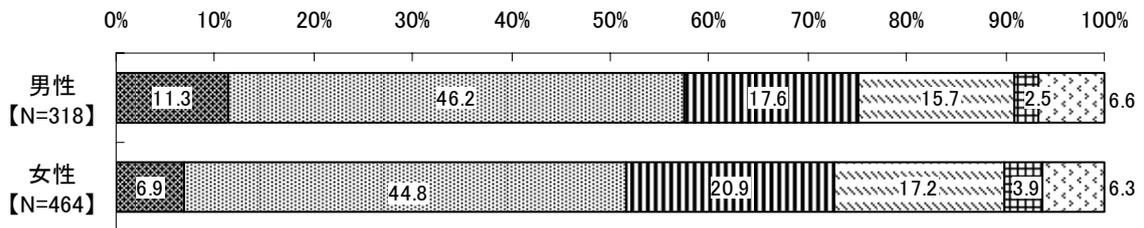


年齢別



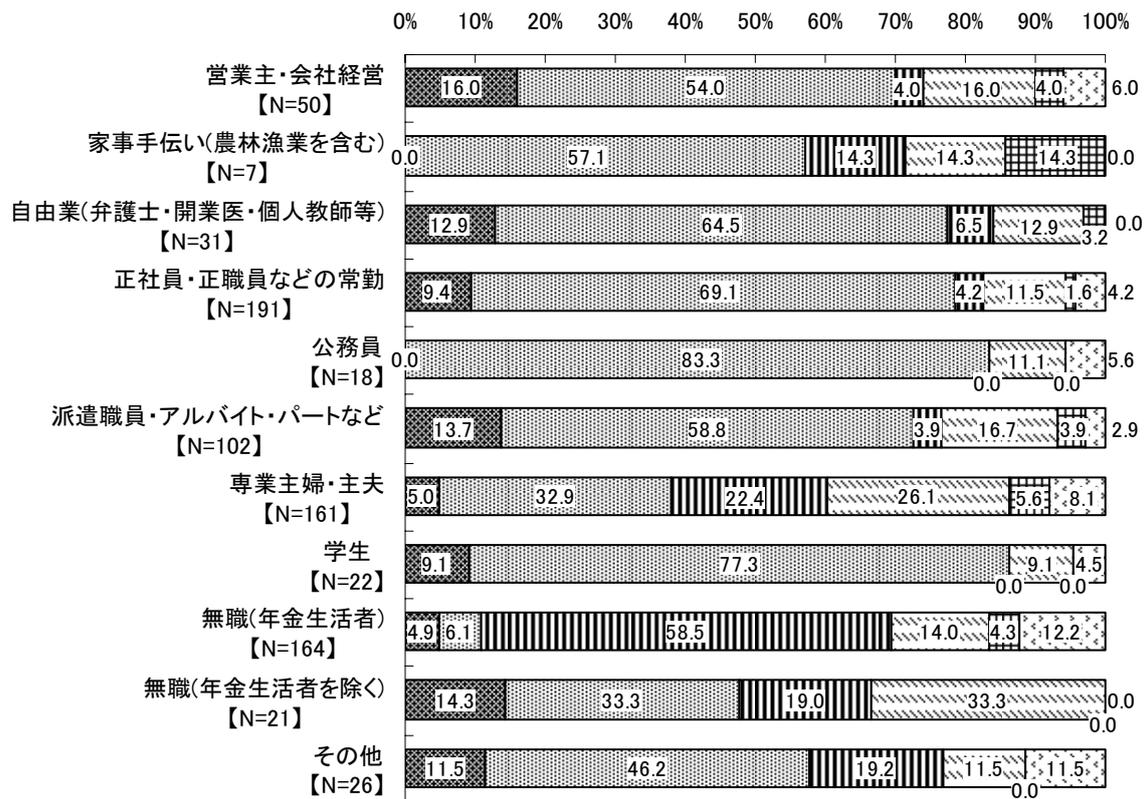
- 地域への活動に関心がない
- ▨ 時間的にゆとりがない
- ▩ 体力的にゆとりがない
- ▧ 人間関係がわずらわしい
- ▦ その他
- 無回答

性別



- 地域への活動に関心がない
- ▨ 時間的にゆとりがない
- ▩ 体力的にゆとりがない
- ▧ 人間関係がわずらわしい
- ▦ その他
- 無回答

仕事別



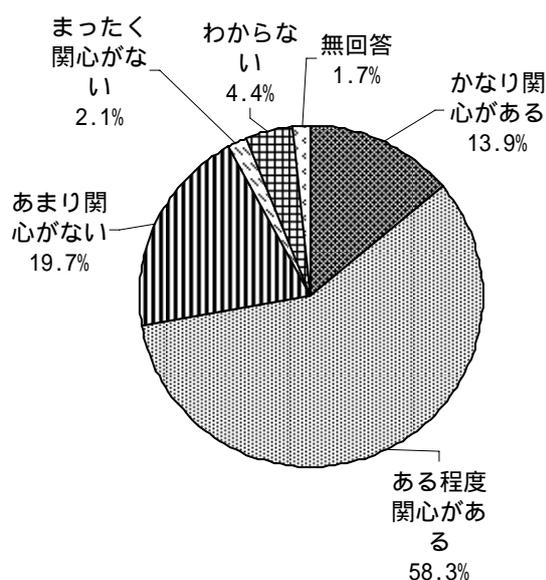
- 地域への活動に関心がない
- ▨ 時間的にゆとりがない
- ▩ 体力的にゆとりがない
- ▧ 人間関係がわずらわしい
- ▤ その他
- 無回答

3 . 芦屋市政への考え

(1) 芦屋市政への関心

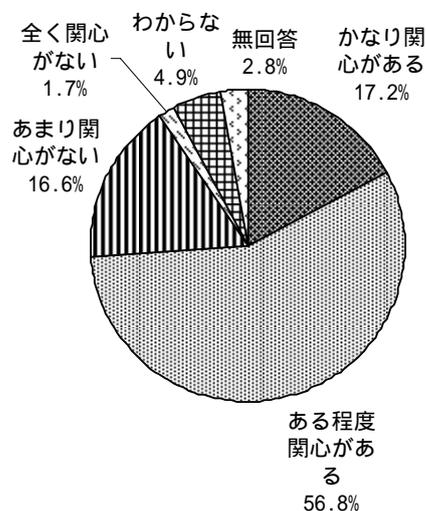
7割を超える人が関心を持っている

問 11 あなたは、市の行政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 16 あなたは、芦屋市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで 印をつけてください。 【N = 1,203】

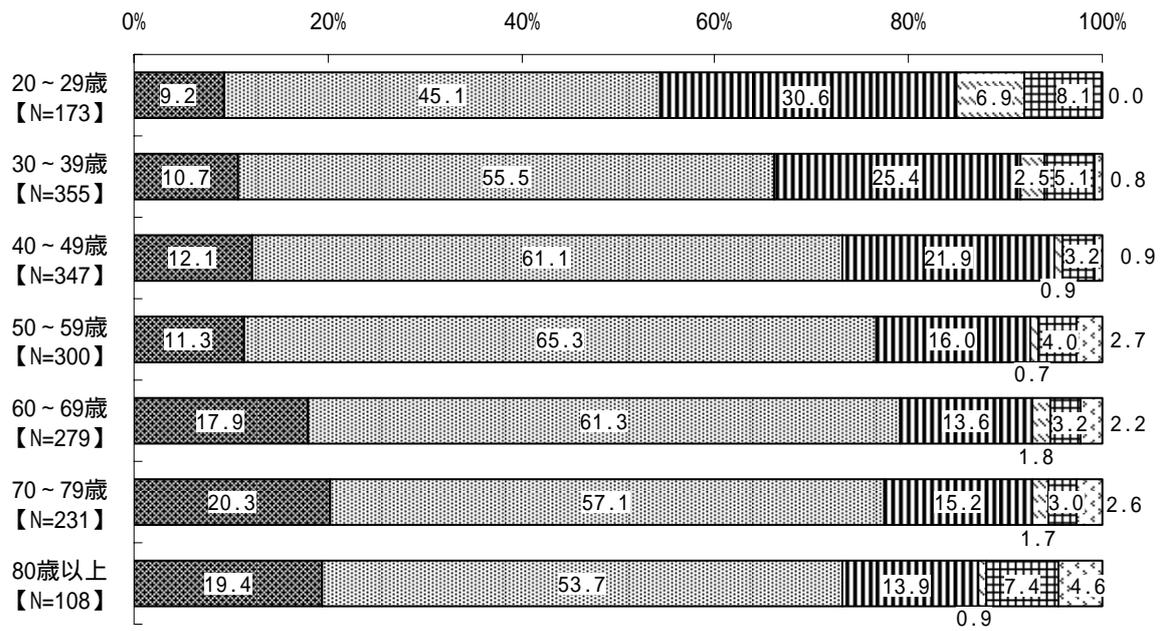


芦屋市政への関心では、「ある程度関心がある」が58.3%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が19.7%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、「かなり関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心のある人」は74.0%から72.1%と1.9ポイント低下している。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心のない人」は18.3%から21.8%と3.5ポイント上昇している。

年齢別では、「関心のある人」は20～29歳が54.3%と最も少なく、その他の年齢層は6割を超えている。

年齢別

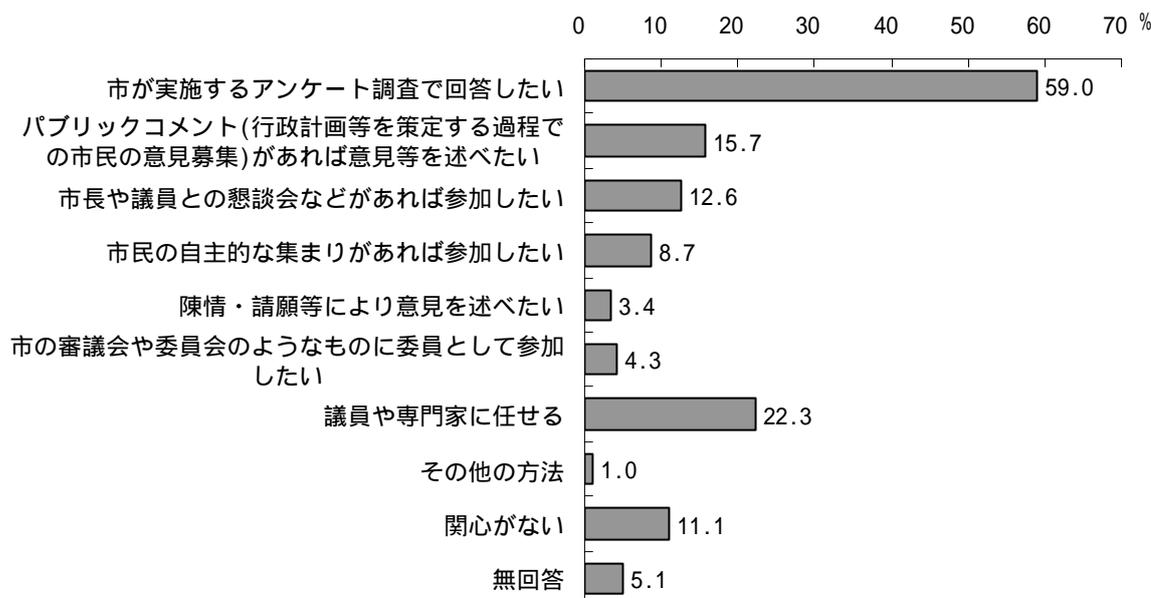


- かなり関心がある
- ある程度関心がある
- あまり関心がない
- まったく関心がない
- わからない
- 無回答

(2) 芦屋市政への意見の反映(いくつでも)

約6割の人が『市が実施するアンケート調査で回答したい』

問 12 あなたは、市の行政への参加についてどのようにお考えですか。次の中からいくつでも選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



芦屋市政への意見の反映について、「市が実施するアンケート調査で回答したい」が59.0%と最も多く、次いで「議員や専門家に任せる」が22.3%、「パブリックコメント(行政計画等を策定する過程での市民の意見募集)があれば意見等を述べたい」が15.7%となっている。

その他の方法

広報を利用(2件)

- ・市議が配るパンフレットを読んでいる
- ・市の広報を丹念に読んでいる

意見交換会などへの参加(3件)

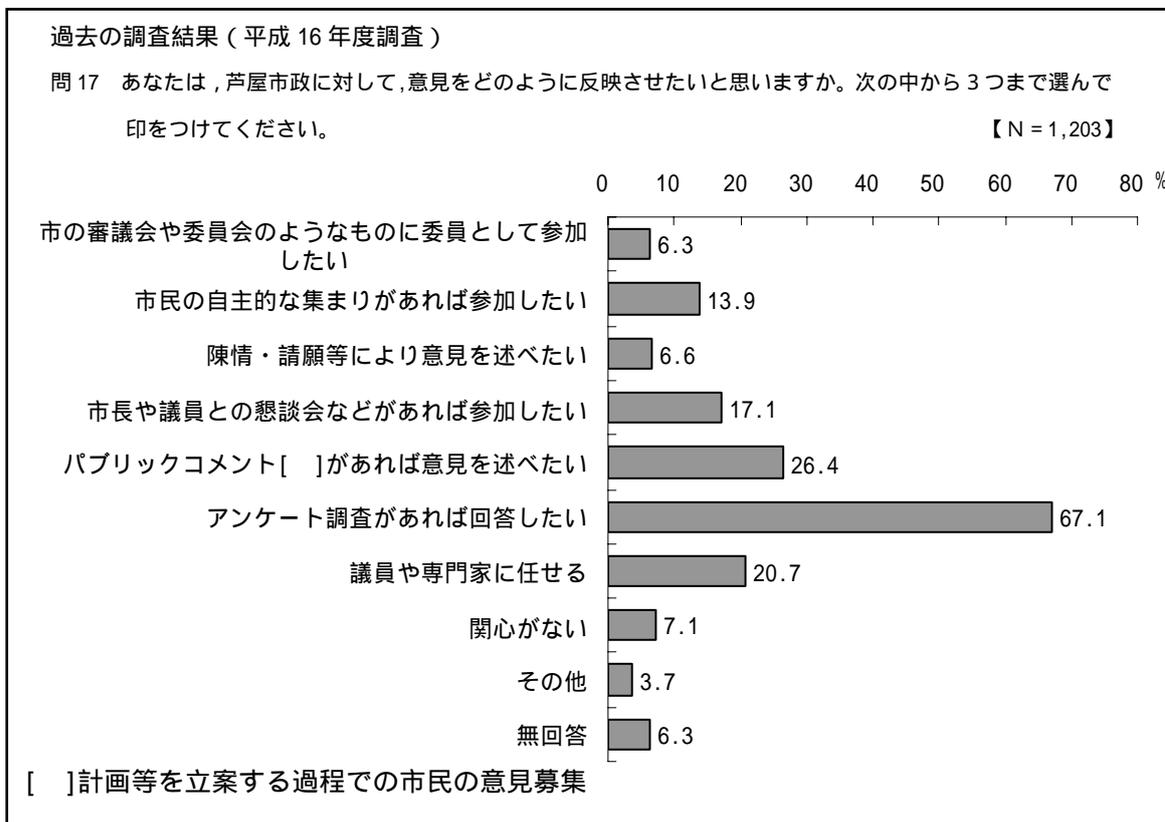
- ・市民と専門の有識者による討論会を設立してはどうか
- ・地区の集まり等
- ・広報あしやに読者のお便りコーナーを掲載し、市民の意見交換の場としてはどうか。

意見を出す（7件）

- ・意見箱などあれば出すかも。
- ・メールでの意見募集，アンケートなど
- ・市長，議員，市職員に直接相談
- ・年配者よりも若い人の意見を聞くべき

その他（6件）

- ・自分と直接関わる状況下に置かれた場合はケースバイケースで。
- ・特に思いつかないが，地域に貢献したい
- ・仕事しているので時間ができたら考えたい
- ・歩行が十分でないので参加は無理
- ・議員が多すぎる



平成16年度調査と比較すると、今回の調査では「3つまで選んで 印をつける」から「いくつでも選んで 印をつける」に設問を変更したことが影響したのか、全体的に回答率が低くなっている。

最も多かった「アンケート調査があれば回答したい」は67.1%から59.0%と8.1ポイント低下し、次に多かった「パブリックコメントがあれば意見を述べたい」は26.4%から15.7%と10.7ポイントの低下となっている。一方、今回の

調査で2番目に多い「議員や専門家に任せる」は20.7%から22.3%、「関心がない」は7.1%から11.1%と上昇し、自ら回答する・参加する・意見を述べる以外の2項目が上昇する結果となっている。

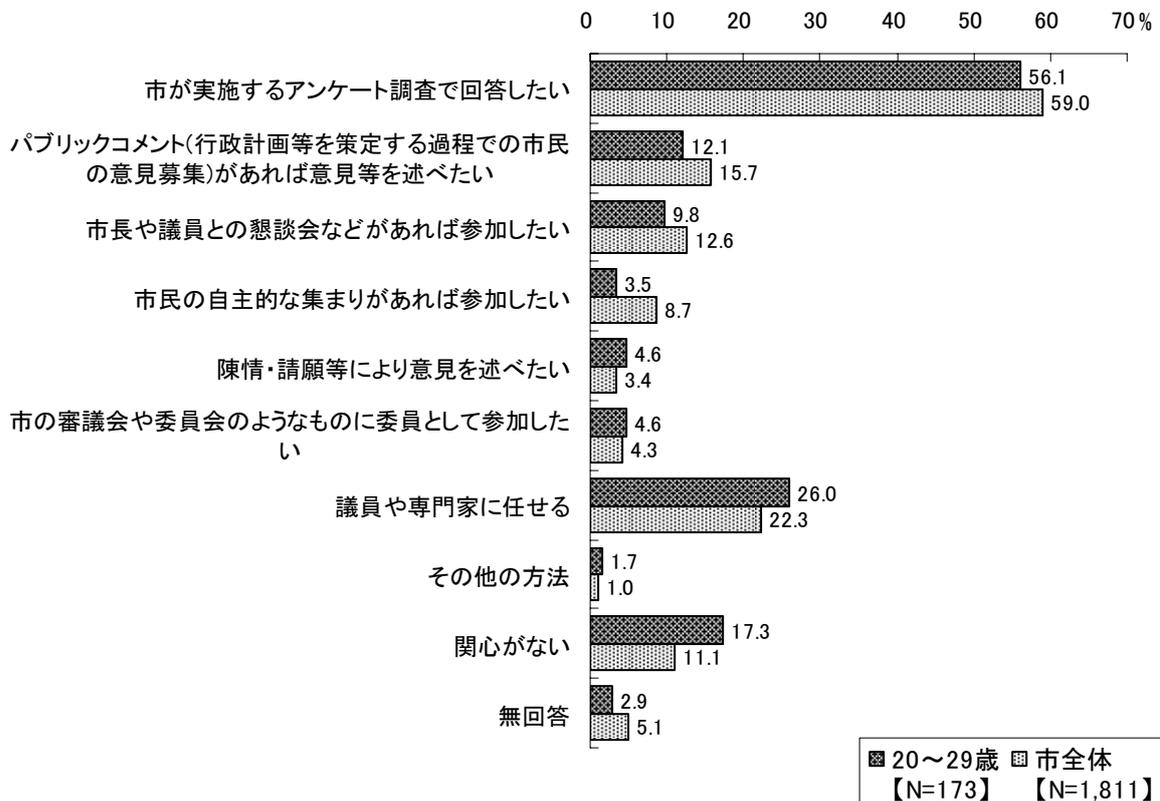
年齢別では、「市が実施するアンケート調査で回答したい」は30～39歳、40～49歳、50～59歳、「パブリックコメントがあれば意見などを述べたい」は30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳が市全体よりも高くなっている。

「市長や議員との懇談会などがあれば参加したい」は60～69歳、70～79歳、「市民の自主的な集まりがあれば参加したい」は50～59歳、60～69歳、70～79歳、「市の審議会や委員会のようなものに委員として参加したい」は50～59歳が市全体よりも高くなっている。

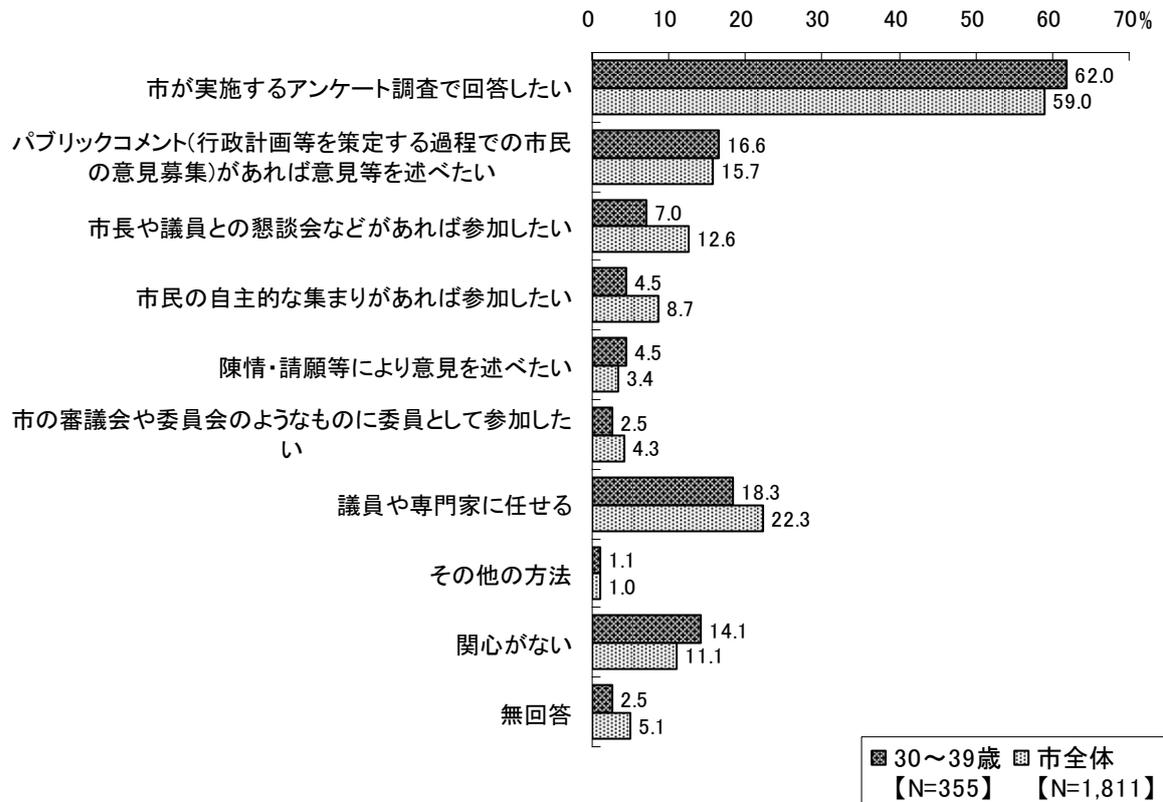
また、「議員や専門家に任せる」は20～29歳、70～79歳、80歳以上、「関心がない」は20～29歳、30～39歳、80歳以上が市全体よりも高くなっている。

年齢別

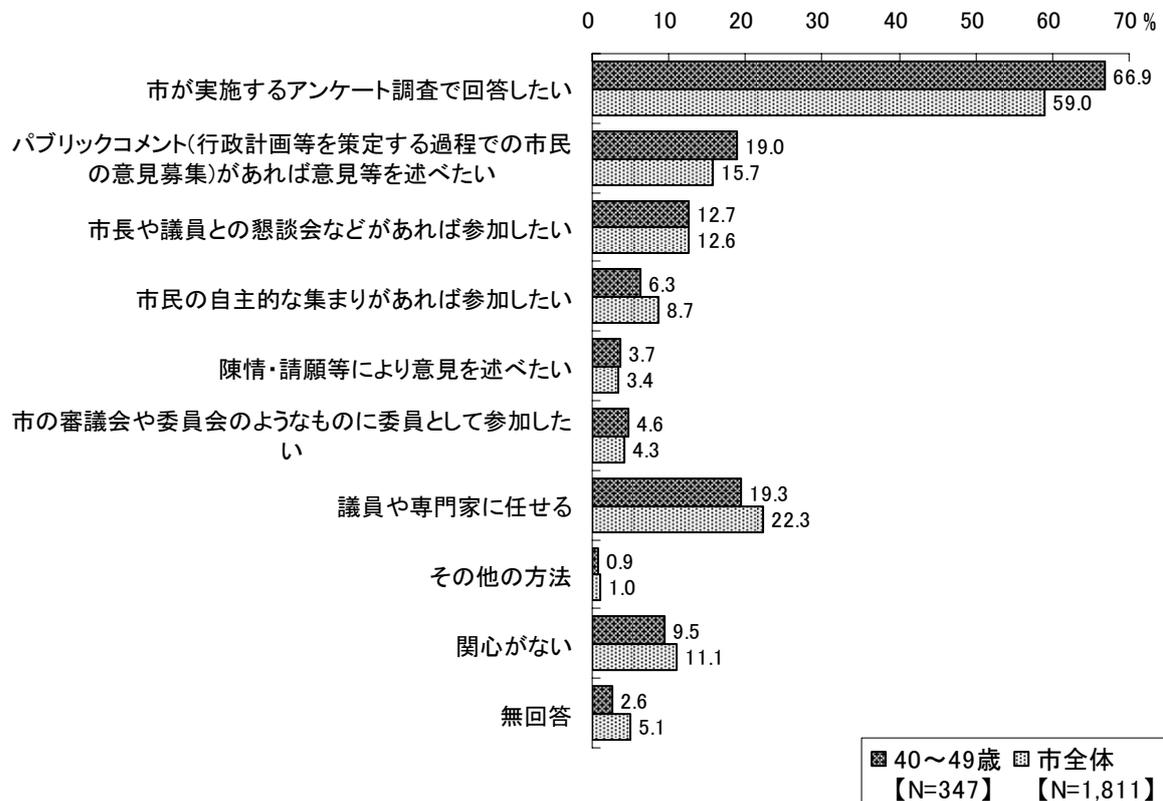
< 20～29歳 >



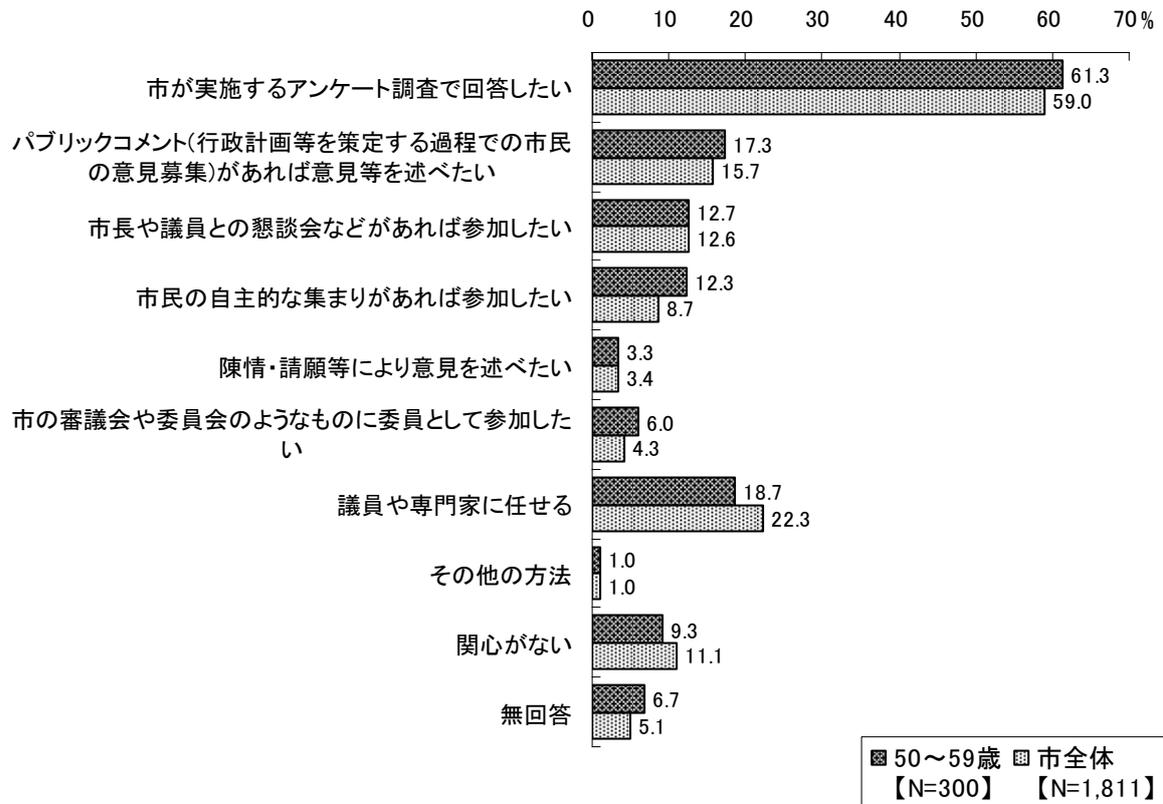
< 30～39歳 >



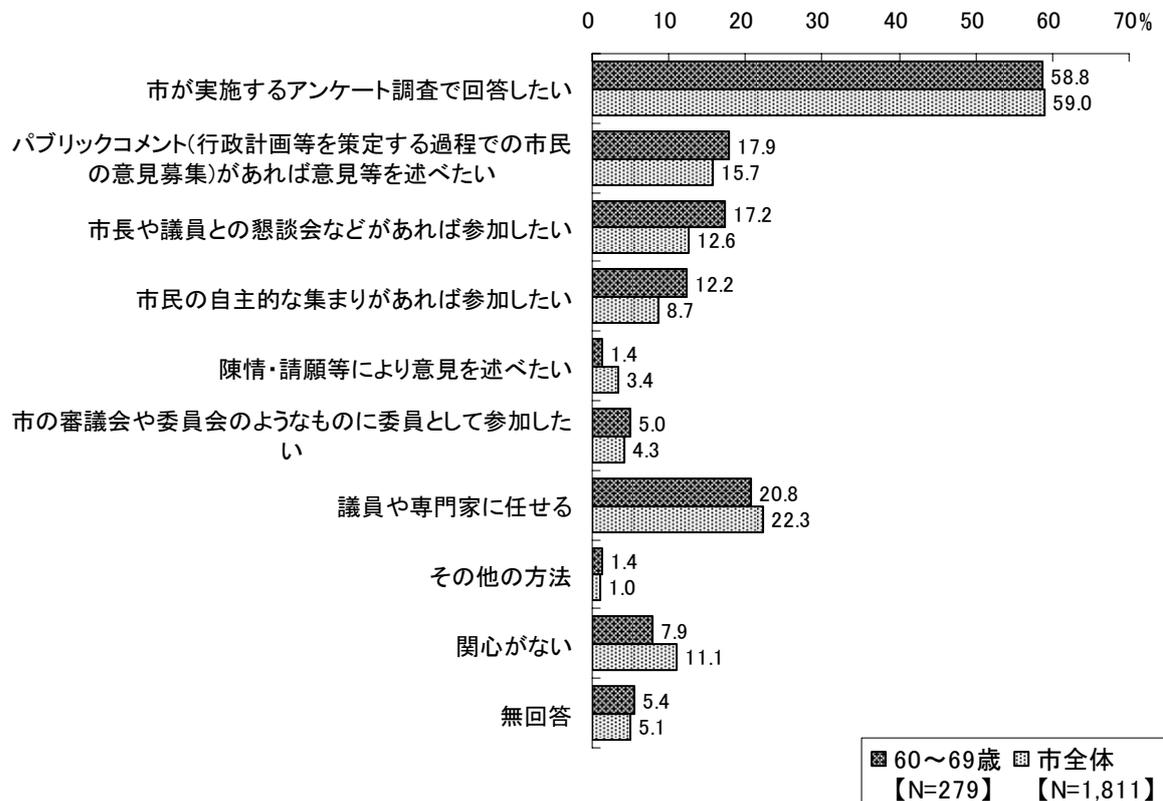
< 40～49歳 >



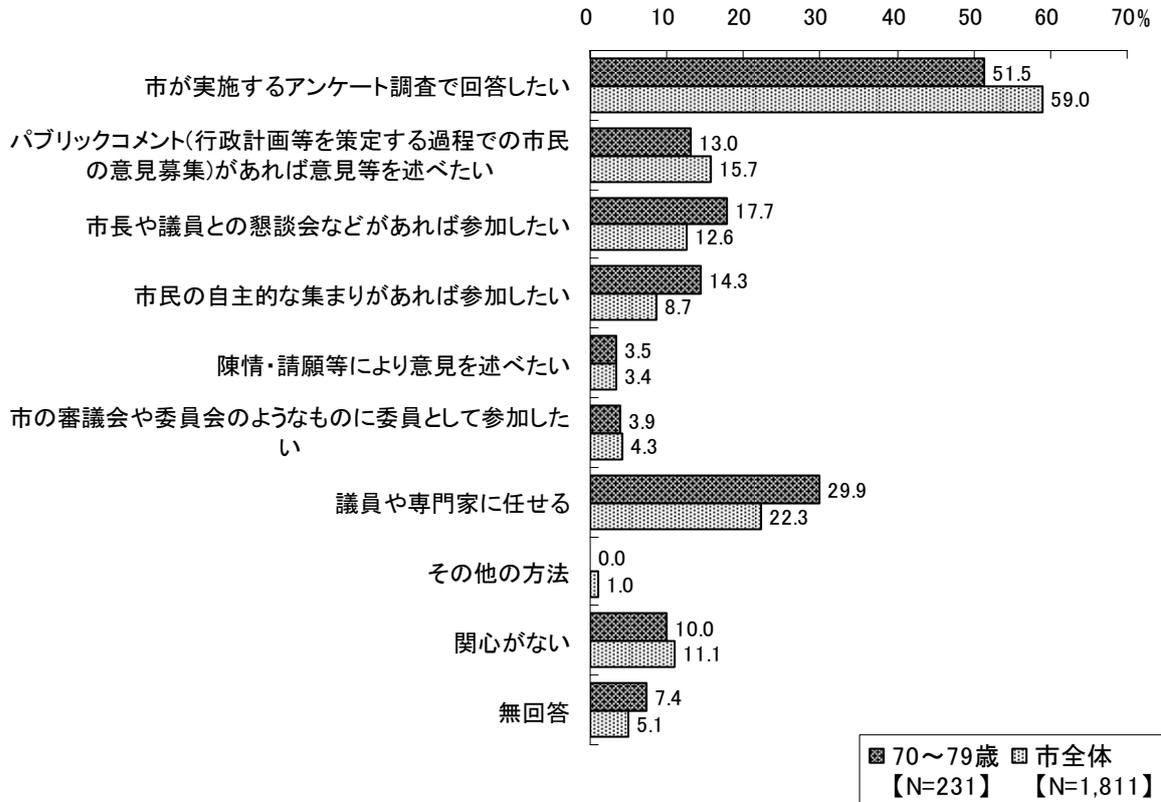
< 50～59歳 >



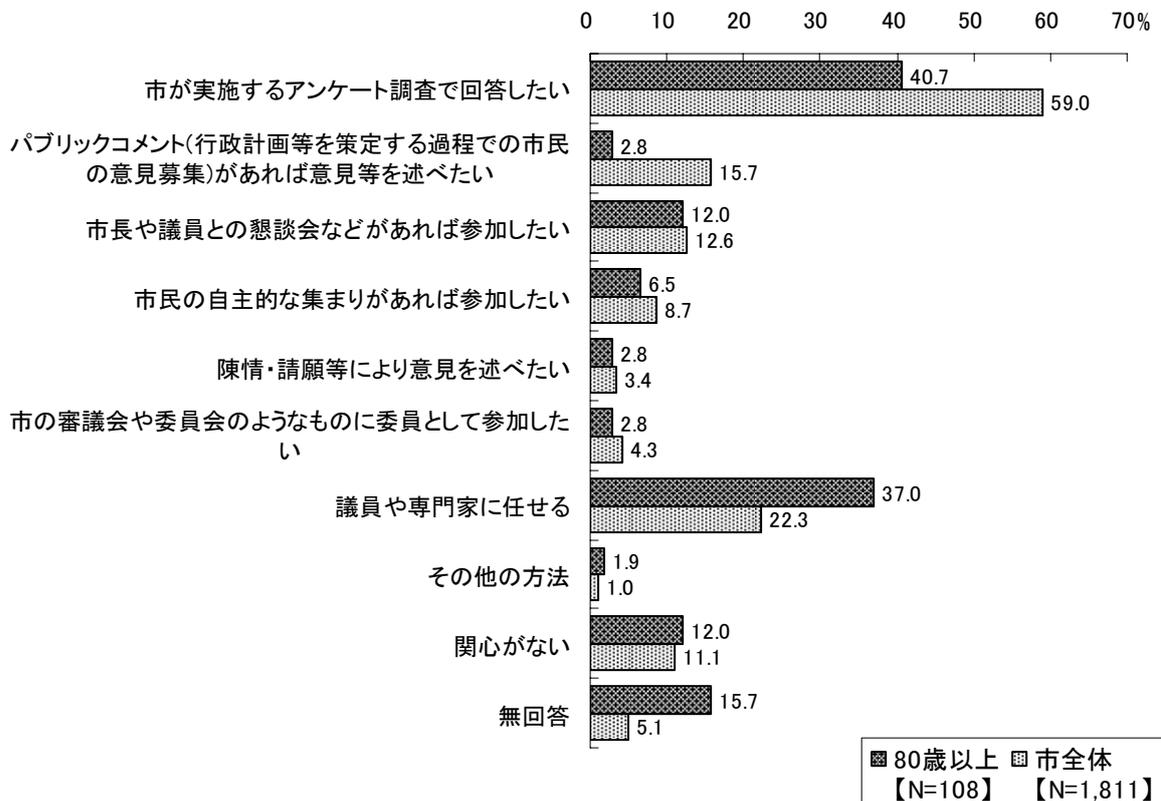
< 60～69歳 >



< 70 ~ 79 歳 >



< 80 歳以上 >



(3) 第3次芦屋市総合計画に基づく取り組みについて

**2割以上の方が『景観の美しいまちづくり』に充分である、
5割以上の方が『保健・医療・福祉の連携』にもっと力を入れてほしい**

問13 a～vの各項目は、第3次芦屋市総合計画（まちづくりの指針として平成13年度にスタート）に基づく取り組みです。

あなたは、それぞれの取り組みについてどのようなご感想をお持ちですか。また、今後はどのような期待をお持ちですか。

a～vの各項目について、それぞれ数字を1つだけ選んで 印を付けてください。

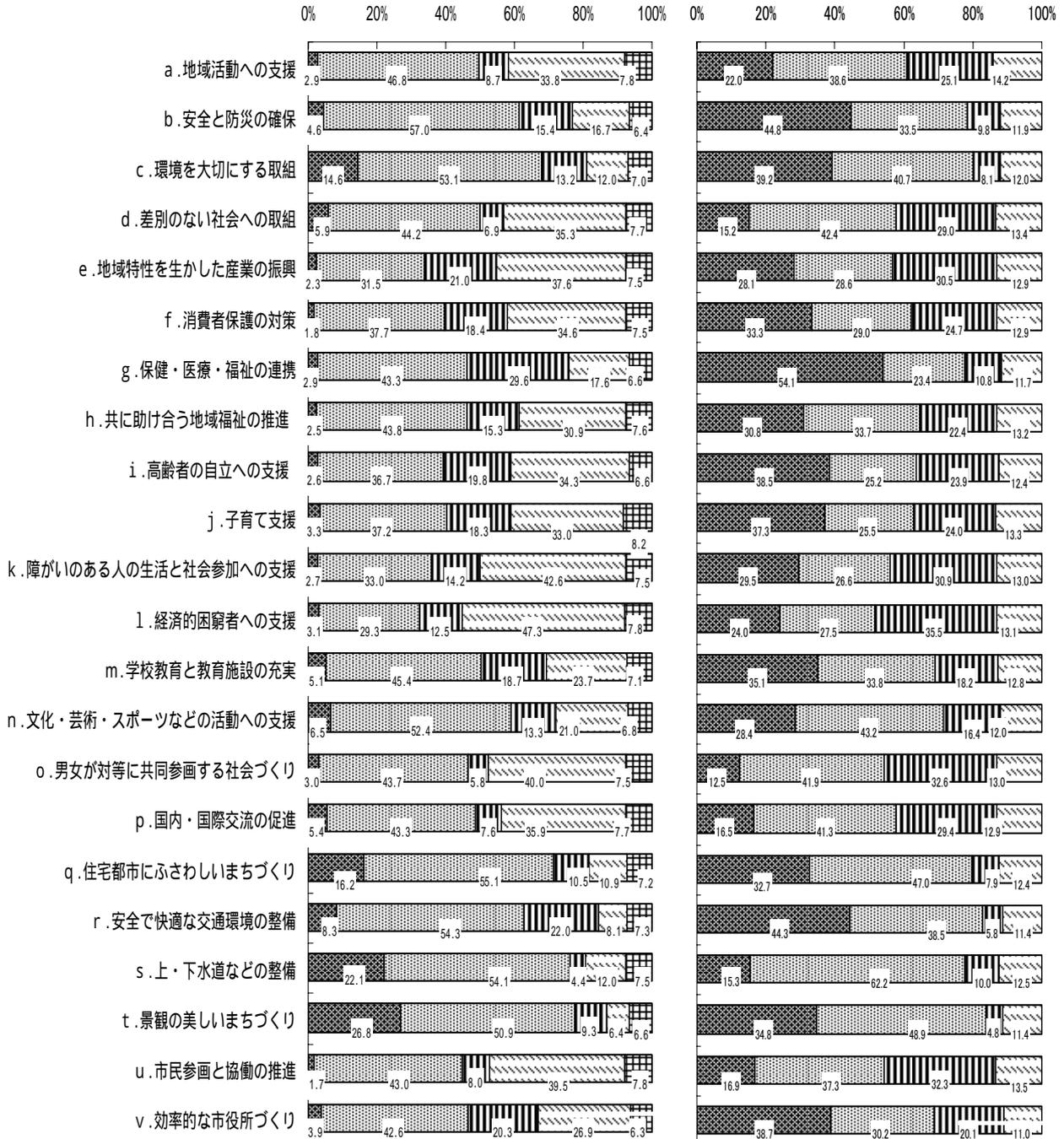
【N=1,811】

第3次芦屋市総合計画に基づく取り組みについて、現在までの取り組みへのご感想では、「充分である」と回答した項目は「景観の美しいまちづくり」が26.8%と最も高く、次いで「上・下水道などの整備」が22.1%、「住宅都市にふさわしいまちづくり」が16.2%となっている。また、「不十分である」と回答した項目は「保健・医療・福祉の連携」が29.6%と最も高く、次いで「安全で快適な交通環境の整備」が22.0%、「地域特性を生かした産業の振興」が21.0%となっている。

今後の取り組みへの期待では、「もっと力を入れて欲しい」と回答した項目は「保健・医療・福祉の連携」が54.1%と最も高く、次いで「安全と防災の確保」が44.8%、「安全で快適な交通環境の整備」が44.3%となっている。また、「これまでと同程度」と回答した項目は「上・下水道などの整備」が62.2%と最も高く、次いで「景観の美しいまちづくり」が48.9%、「住宅都市にふさわしいまちづくり」が47.0%となっている。

[現在までの取り組みへのご感想]

[今後の取り組みへの期待]



■ 充分である ■ 普通 ■ 不十分である ■ わからない ■ 無回答

■ もっと力を入れて欲しい ■ これまでと同程度 ■ わからない ■ 無回答

【現在までの取り組みへのご感想】と【今後の取り組みへの期待】

第3次芦屋市総合計画に基づく取組の項目ごとに、【現在までの取り組みへのご感想】で「充分である」・「普通」・「不十分である」・「わからない」と回答した人が、【今後の取り組みへの期待】で「もっと力を入れて欲しい」・「これまでと同程度」・「わからない」・「無回答」のどの項目を回答したかを明らかにした。

「充分である」と回答した人は、すべての取組の項目で「これまでと同程度」が6割を超えており、「子育て支援」、「国内・国際交流の促進」、「上・下水道などの整備」では8割を超えている。

また、「充分である」にもかかわらず「もっと力を入れて欲しい」と回答した人は、「市民参画と協働の推進」(23.3%)、「景観の美しいまちづくり」(22.9%)、「住宅都市にふさわしいまちづくり」(21.1%)、「共に助け合う地域福祉の推進」(20.0%)、「効率的な市役所づくり」(20.0%)が多く、2割を超えている。

「普通」と回答した人は、「保健・医療・福祉の連携」を除くすべての項目で「もっと力を入れて欲しい」よりも「これまでと同程度」の割合が多く、「保健・医療・福祉の連携」のみ「もっと力を入れて欲しい」の割合が多くなっている。

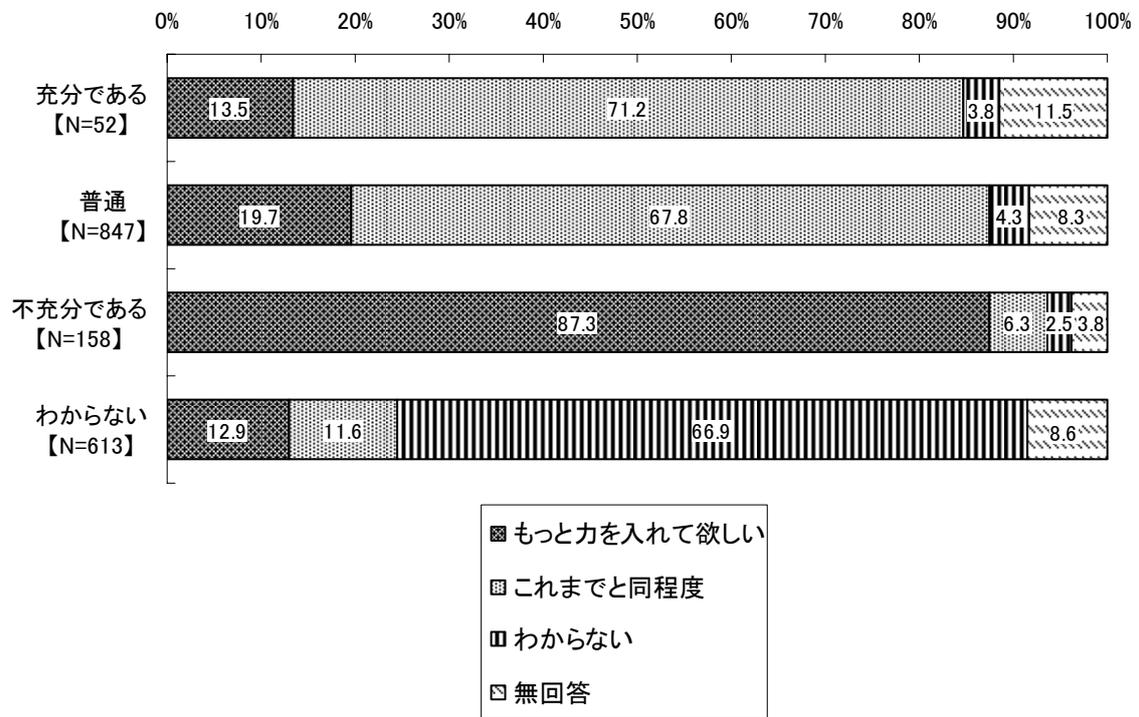
「もっと力を入れて欲しい」と回答した人は「保健・医療・福祉の連携」(46.0%)、「安全と防災の確保」(42.1%)が多く、4割を超えている。

「不十分である」と回答した人は、すべての取組の項目で「もっと力を入れて欲しい」が6割を超えており、「男女が対等に共同参画する社会づくり」(69.5%)、「差別のない社会への取組」(79.2%)、「国内・国際交流の促進」(79.7%)を除く取組の項目で8割を超えている。

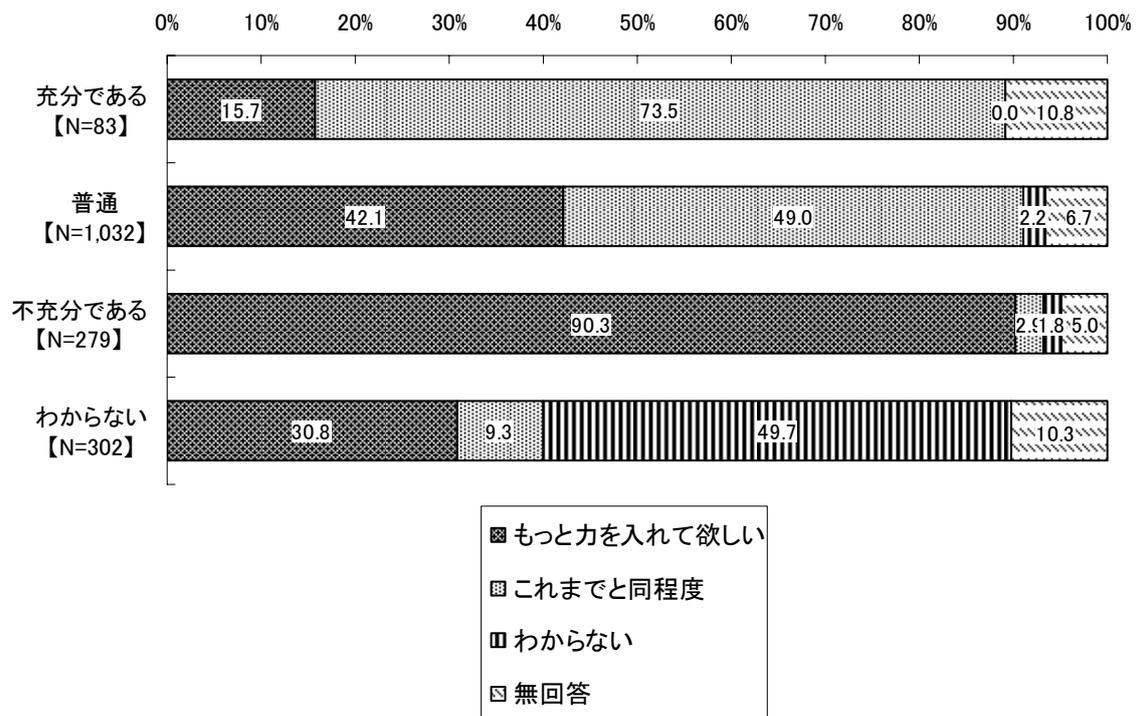
「わからない」と回答した人は、すべての取組の項目で【今後の取り組みへの期待】についても「わからない」が最も多くなっているが、ほとんどの取組の項目で「もっと力を入れて欲しい」が2番目に多くなっている。

「もっと力を入れて欲しい」と回答した人は「安全と防災の確保」(30.8%)、「保健・医療・福祉の連携」(29.5%)、「環境を大切に取る取組」(28.9%)が多い。

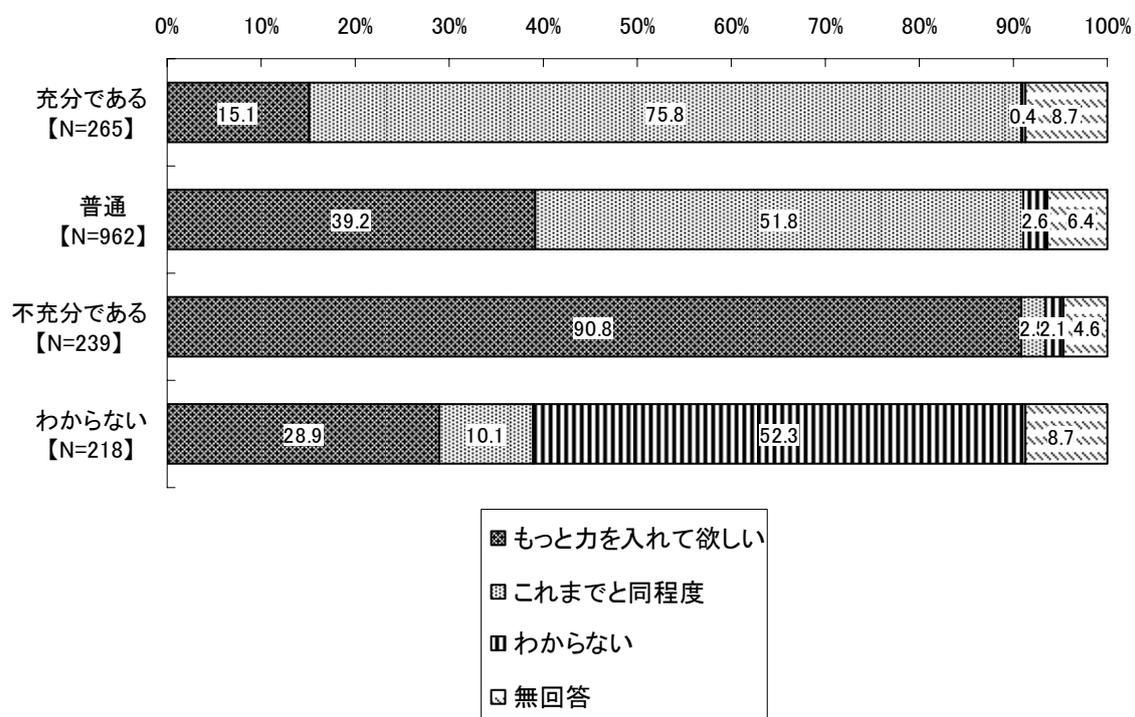
a. 地域活動への支援



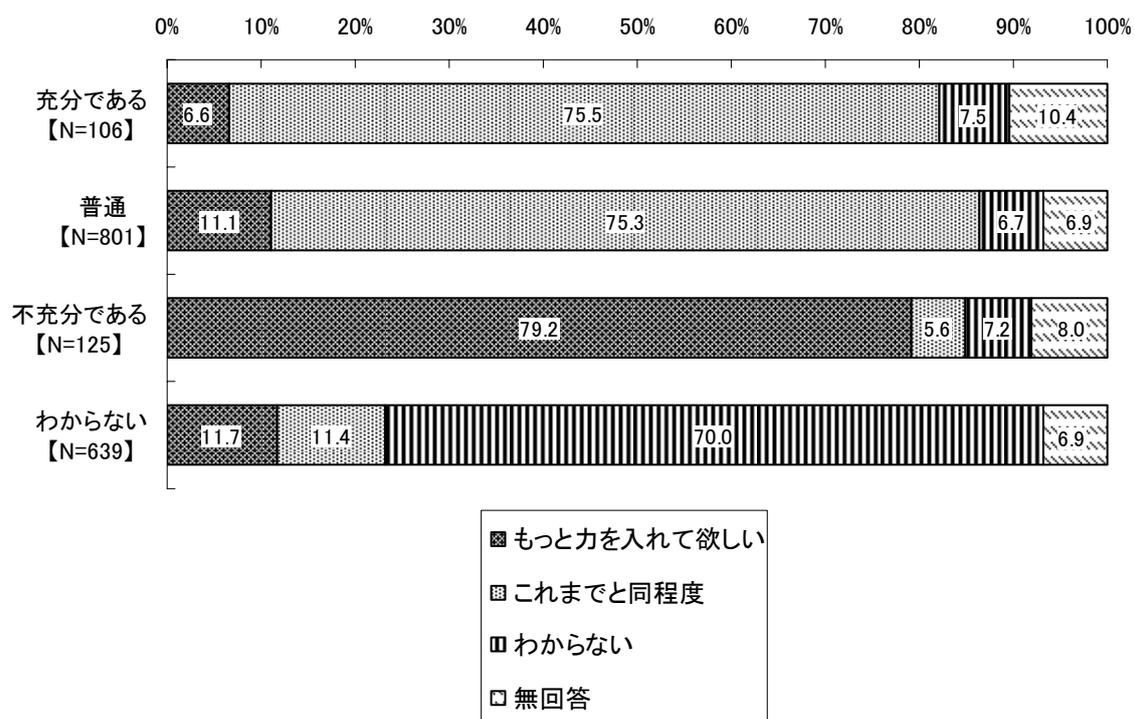
b. 安全と防災の確保



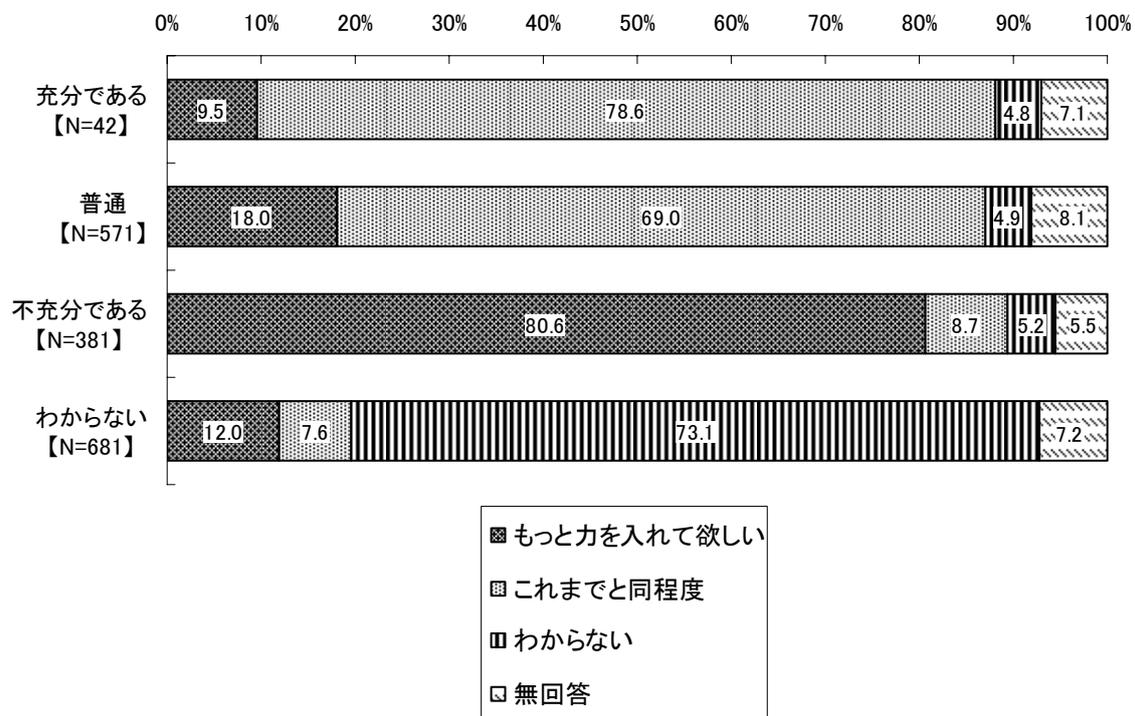
c. 環境を大切に取る取組



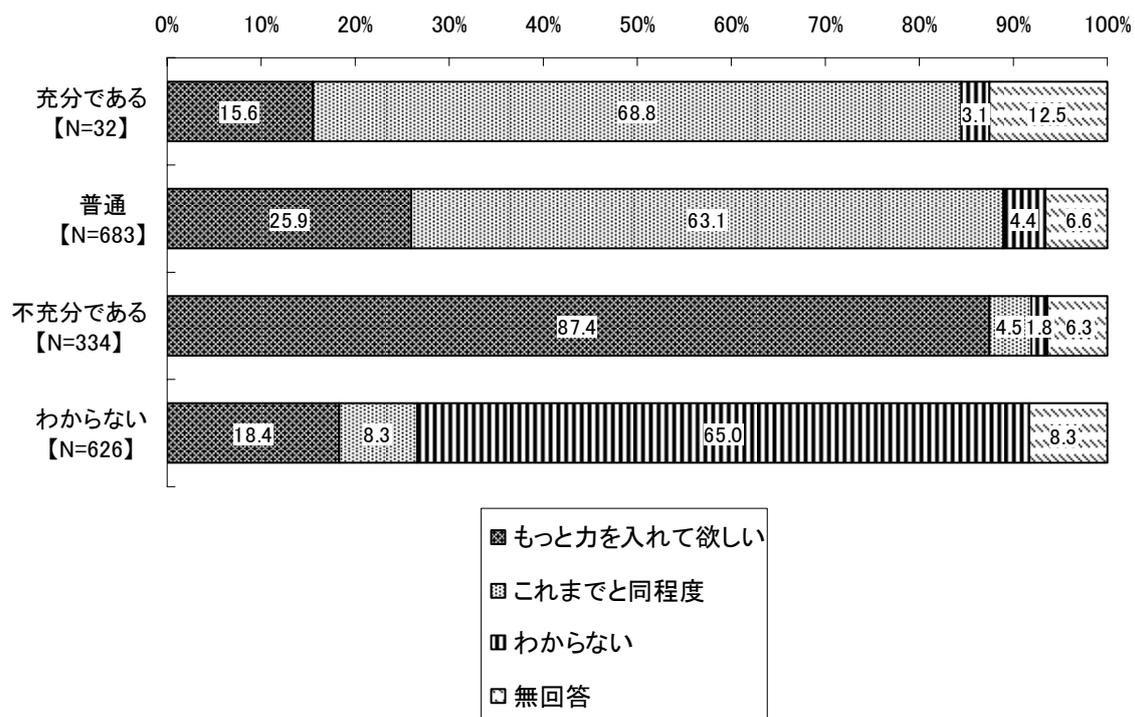
d. 差別のない社会への取組



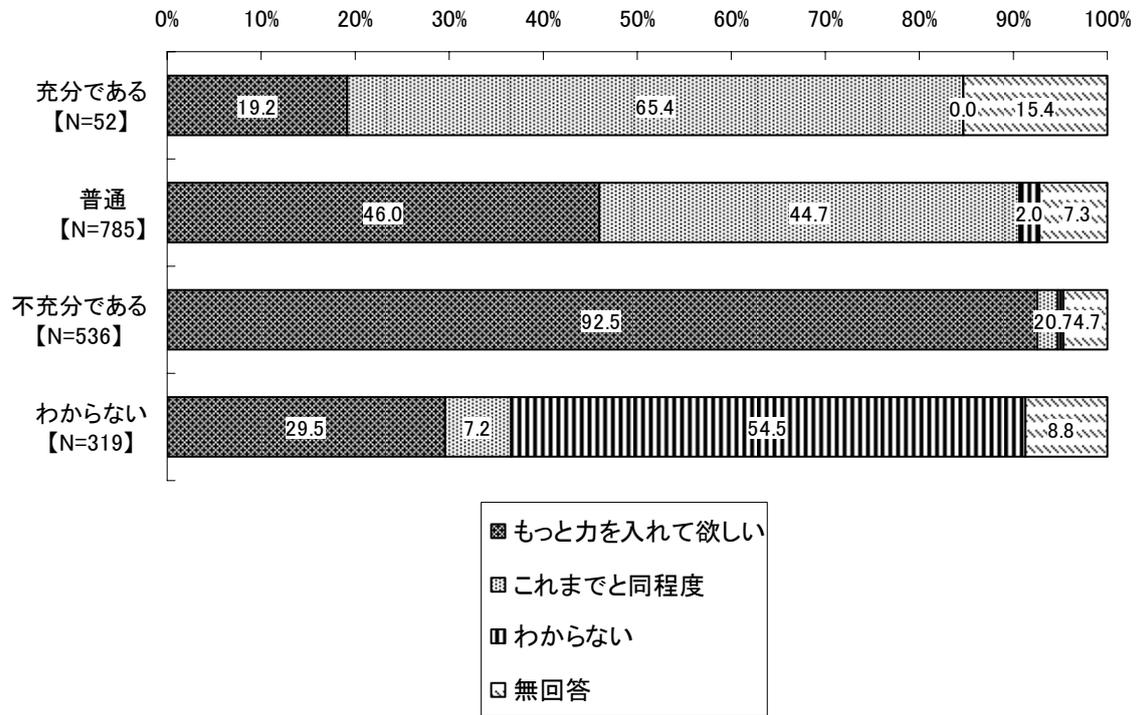
e. 地域特性を生かした産業の振興



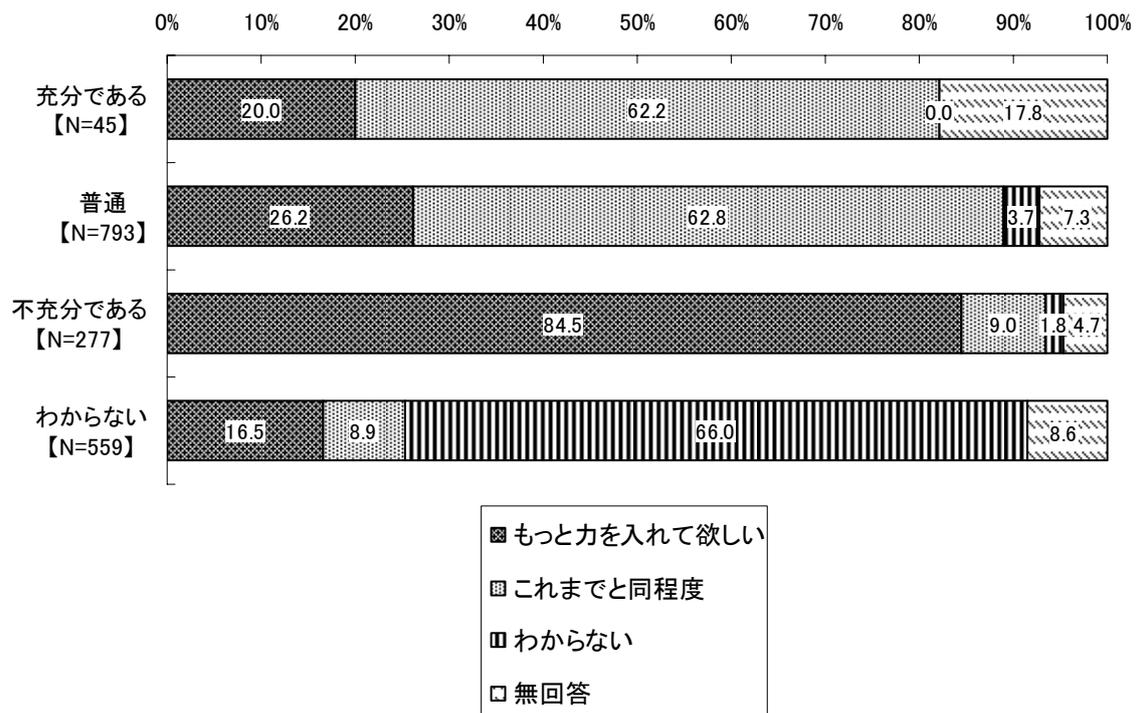
f. 消費者保護の対策



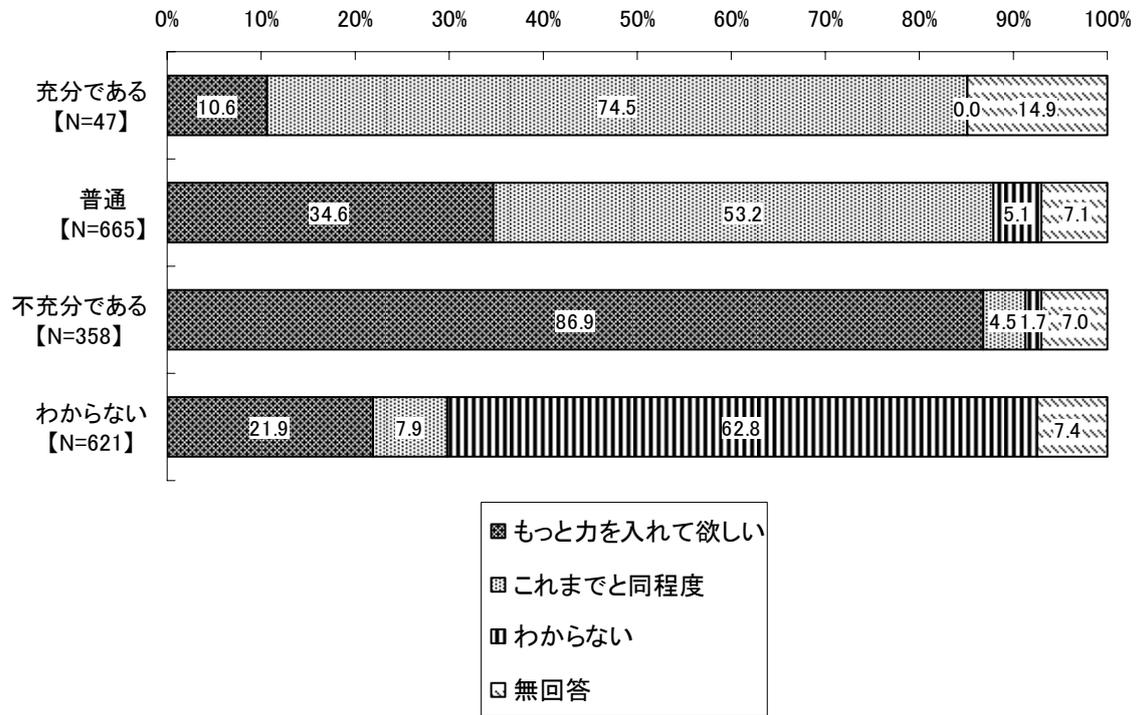
g. 保健・医療・福祉の連携



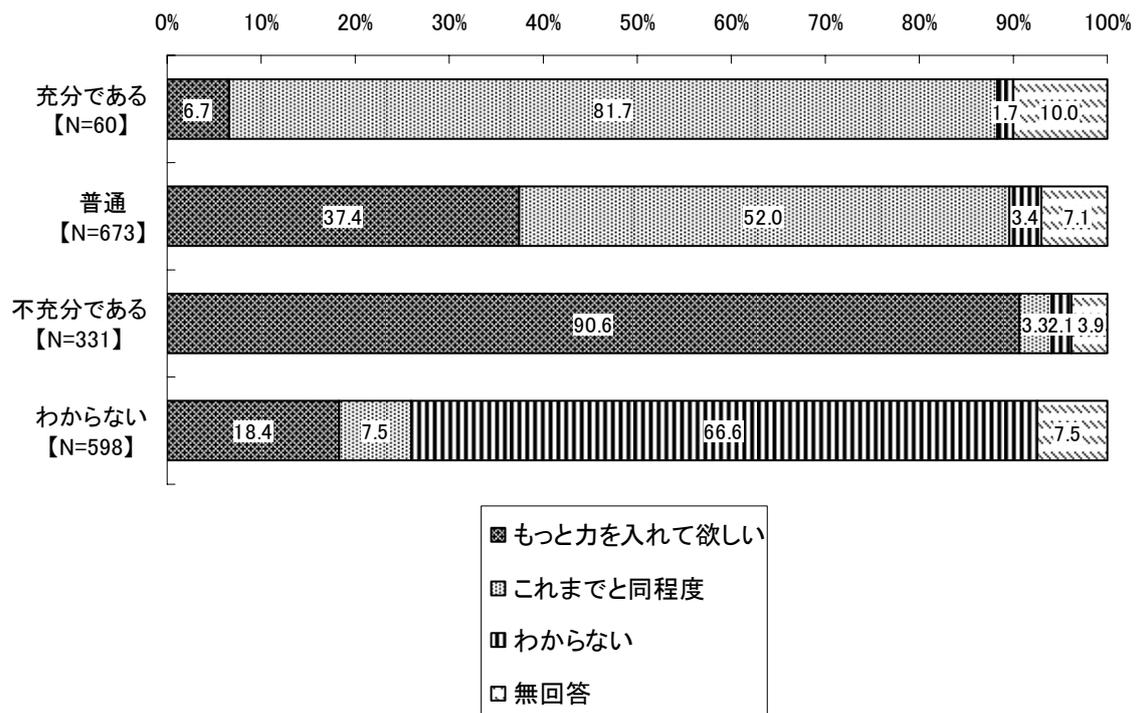
h. 共に助け合う地域福祉の推進



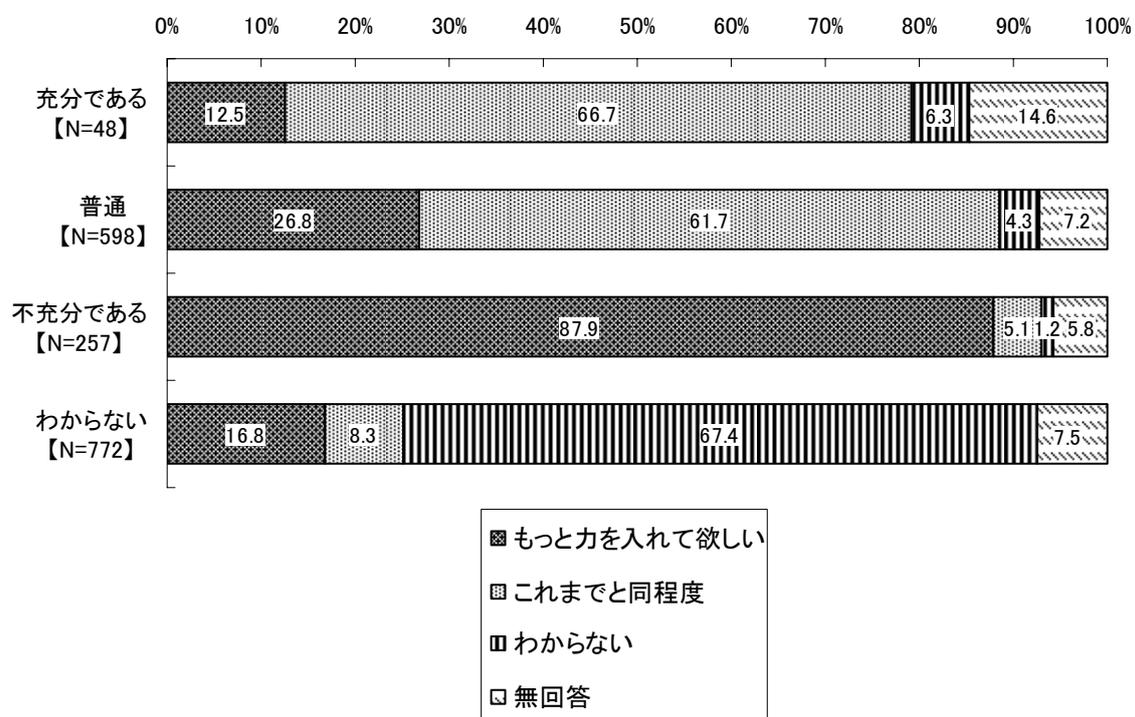
i. 高齢者の自立への支援



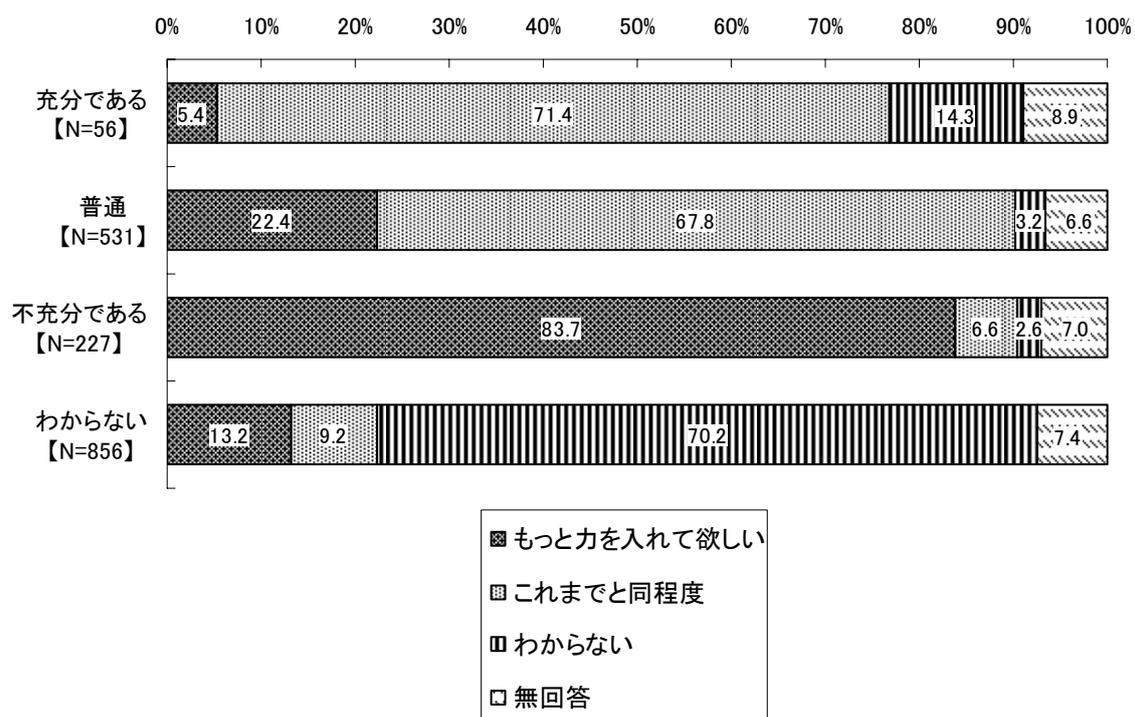
j. 子育て支援



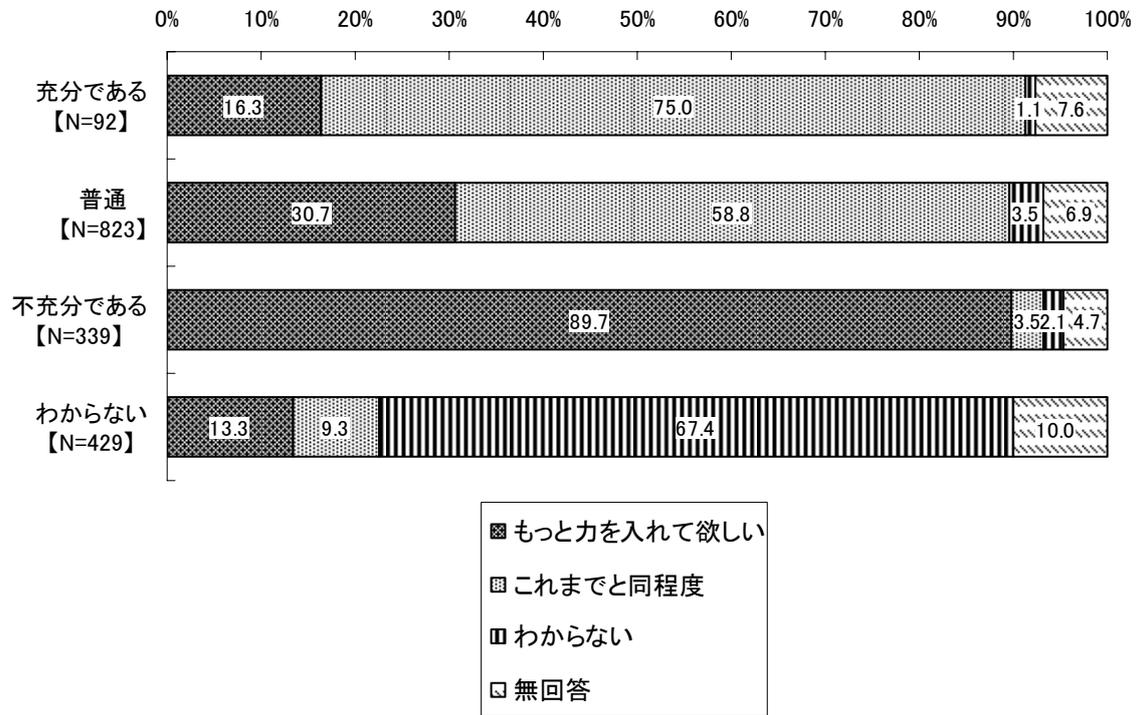
k. 障がいのある人の生活と社会参加への支援



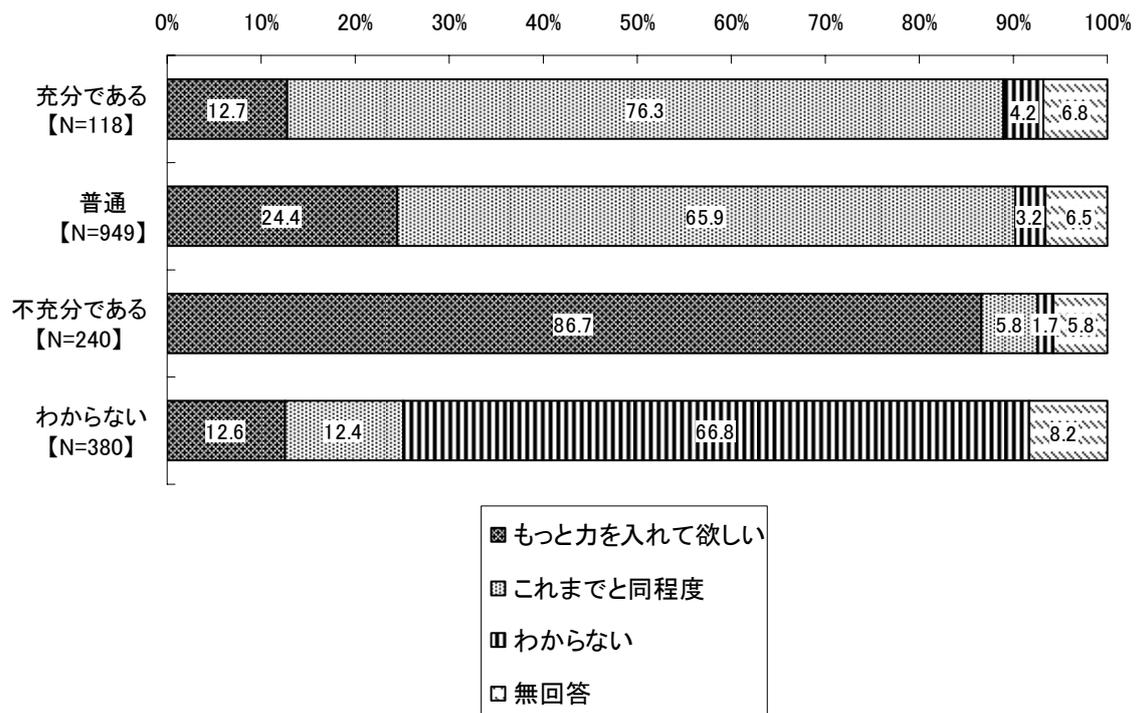
l. 経済的困窮者への支援



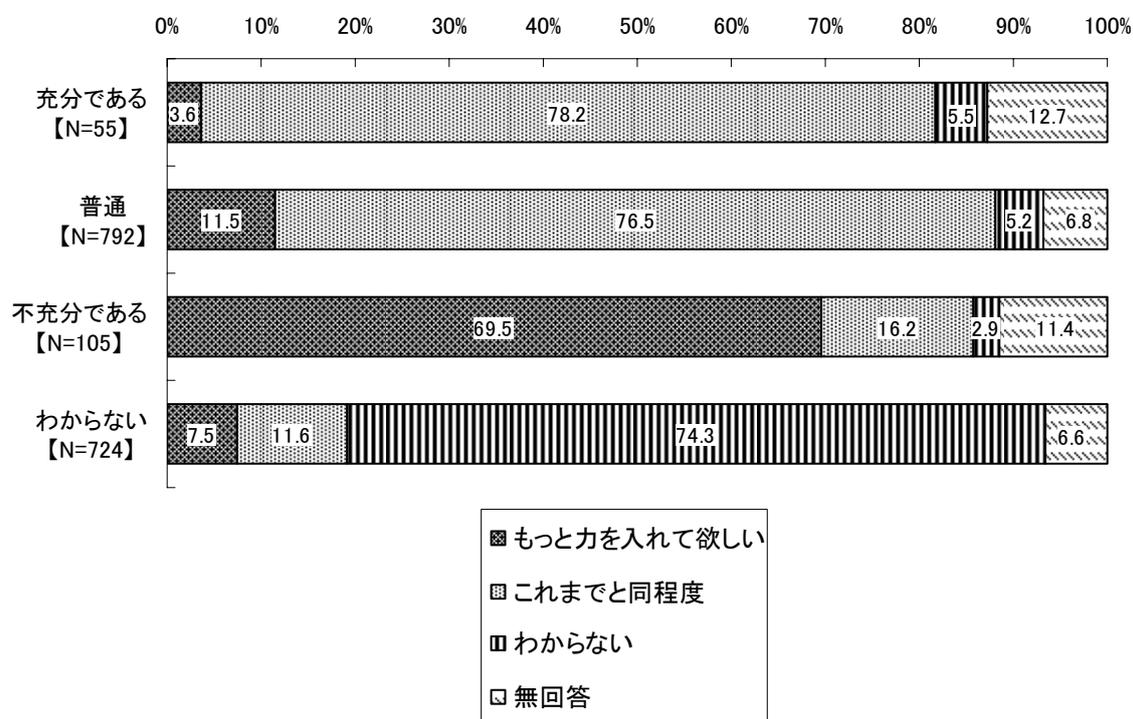
m. 学校教育と教育施設の充実



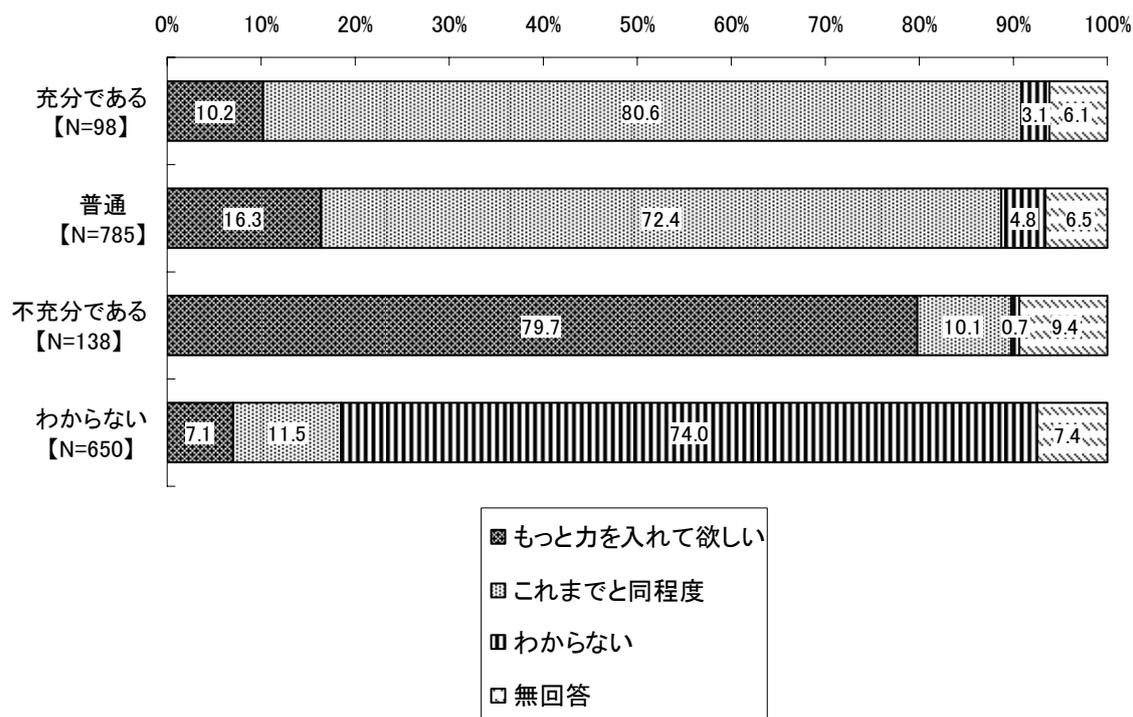
n. 文化・芸術・スポーツなどの活動への支援



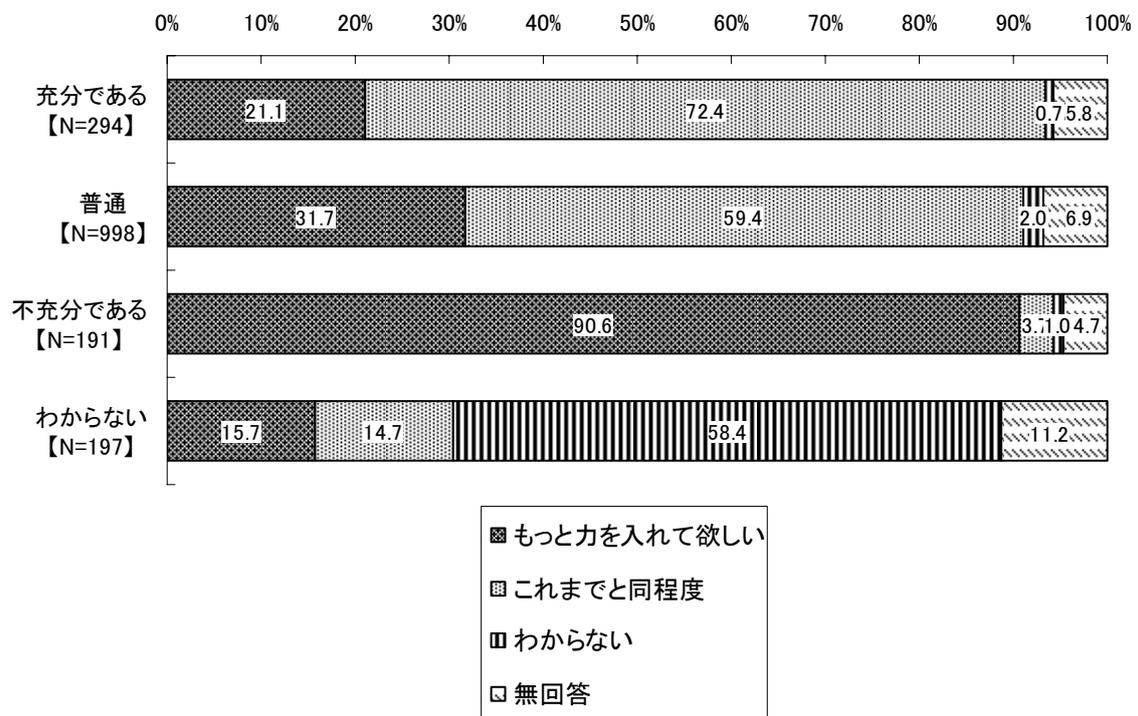
o. 男女が対等に共同参画する社会づくり



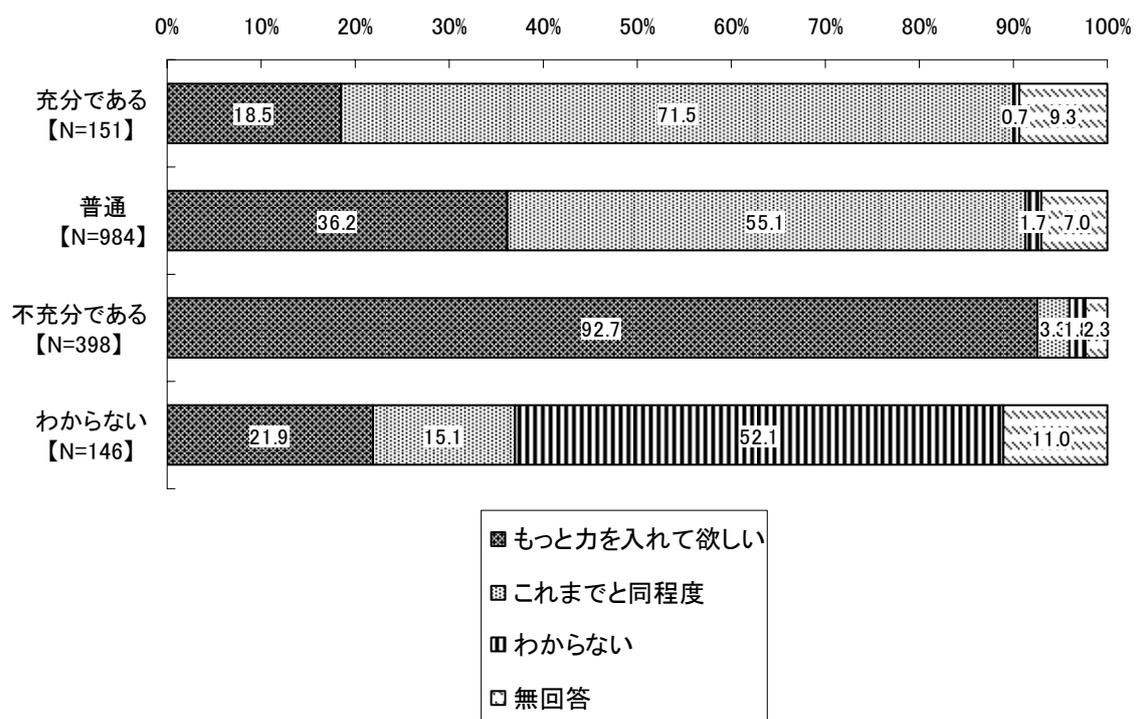
p. 国内・国際交流の促進



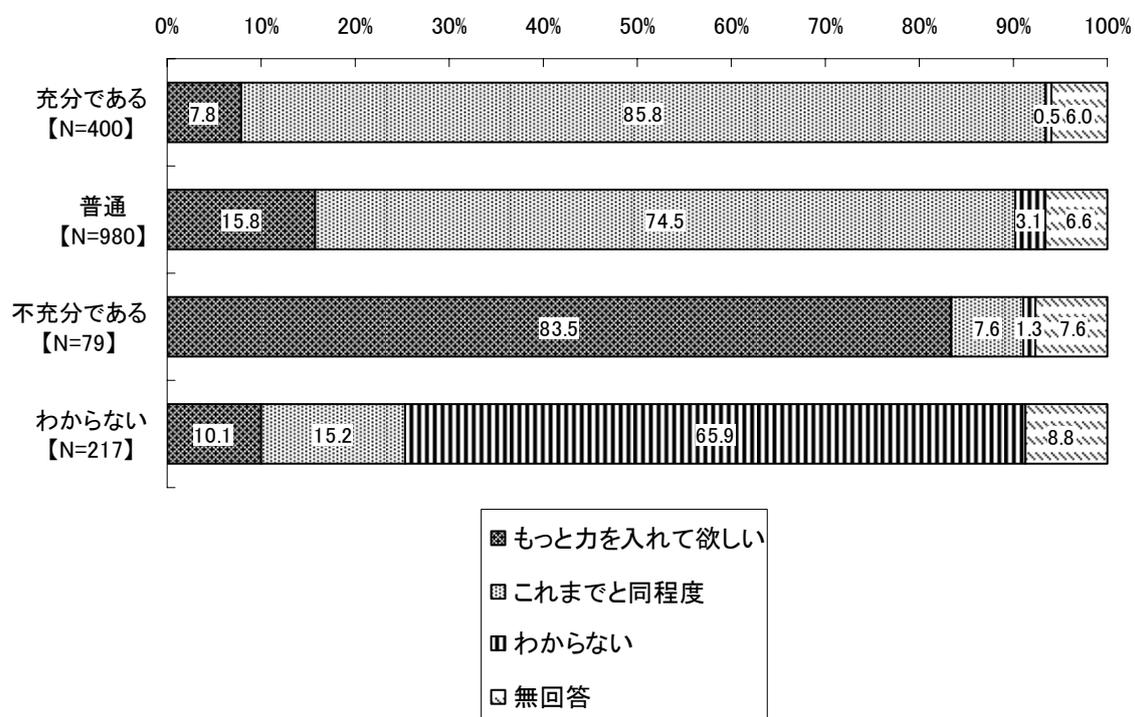
q. 住宅都市にふさわしいまちづくり



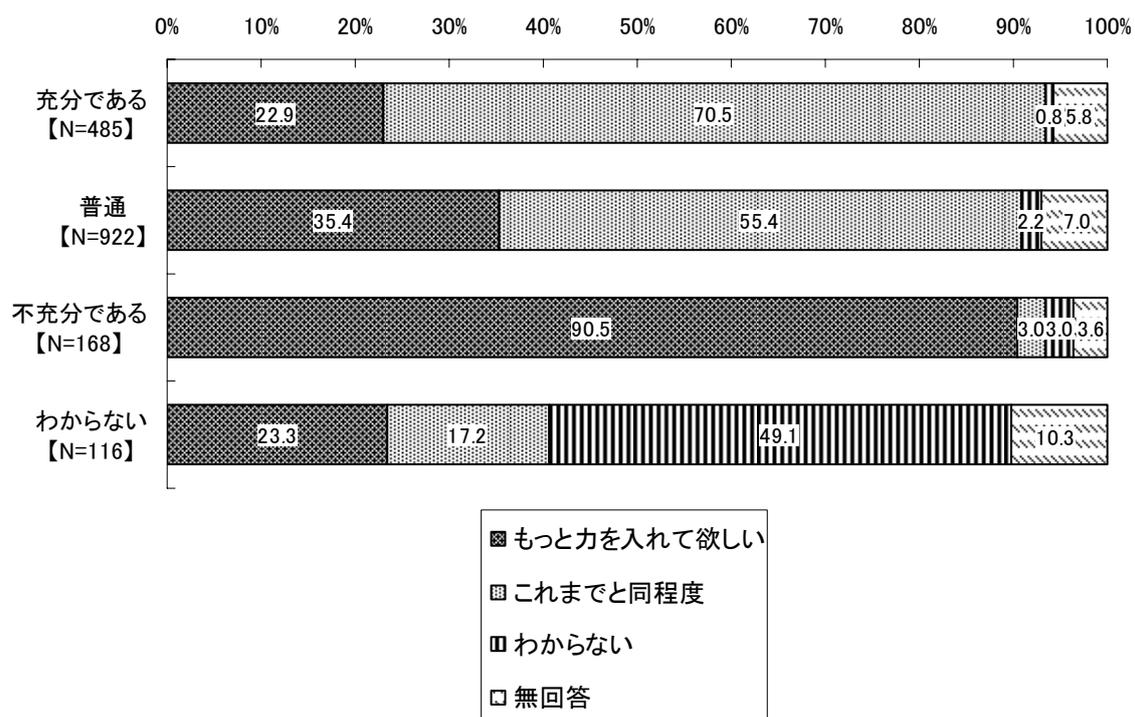
r. 安全で快適な交通環境の整備



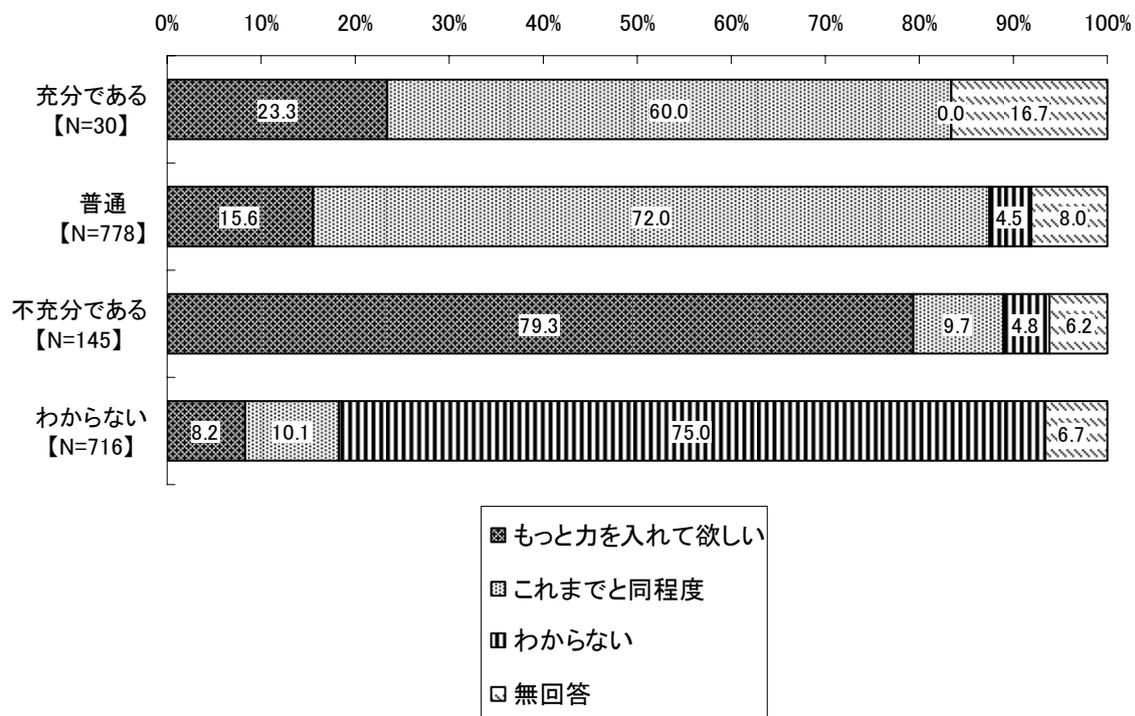
s. 上・下水道などの整備



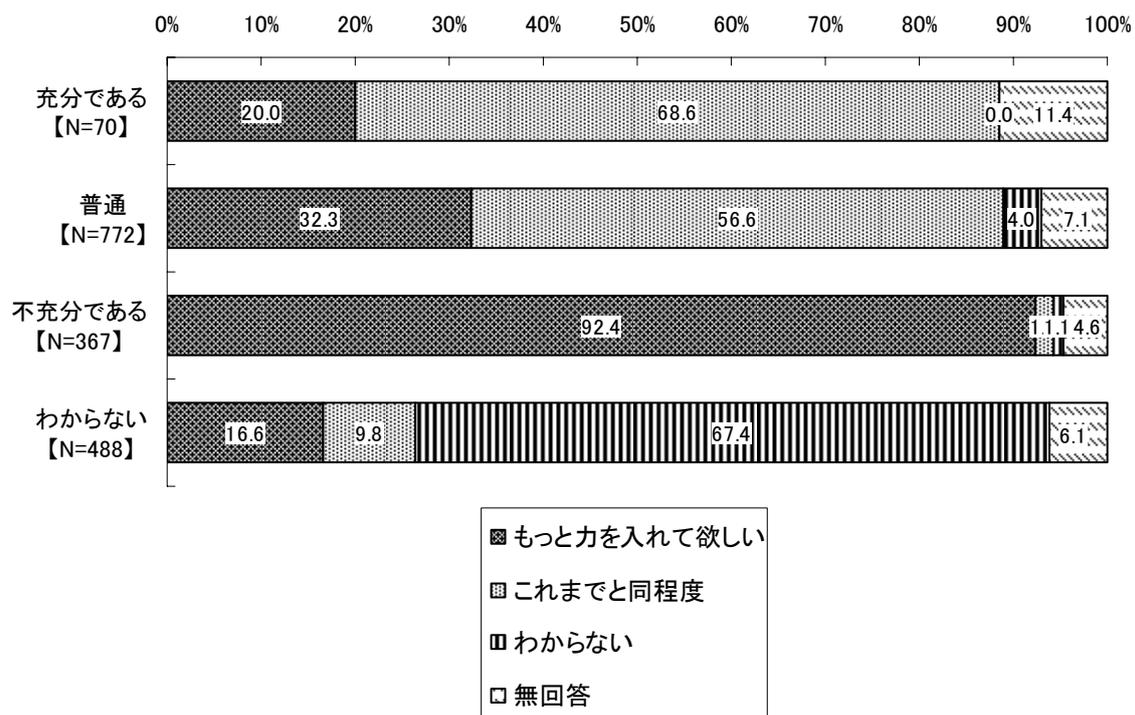
t. 景観の美しいまちづくり



u. 市民参画と協働の推進



v. 効率的な市役所づくり



「もっと力を入れて欲しい」の割合が高い項目についての分析

第3次芦屋市総合計画に基づく取り組みの項目のうち、【今後の取り組みへの期待】で「もっと力を入れて欲しい」と回答した人の割合が高い「保健・医療・福祉の連携」(54.1%)、「安全と防災の確保」(44.8%)、「安全で快適な交通環境の整備」(44.3%)について、更に年齢別、居住地別及び家族構成別の分析を行った。

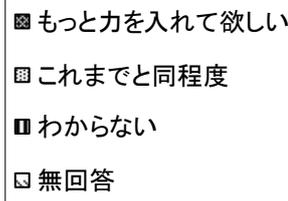
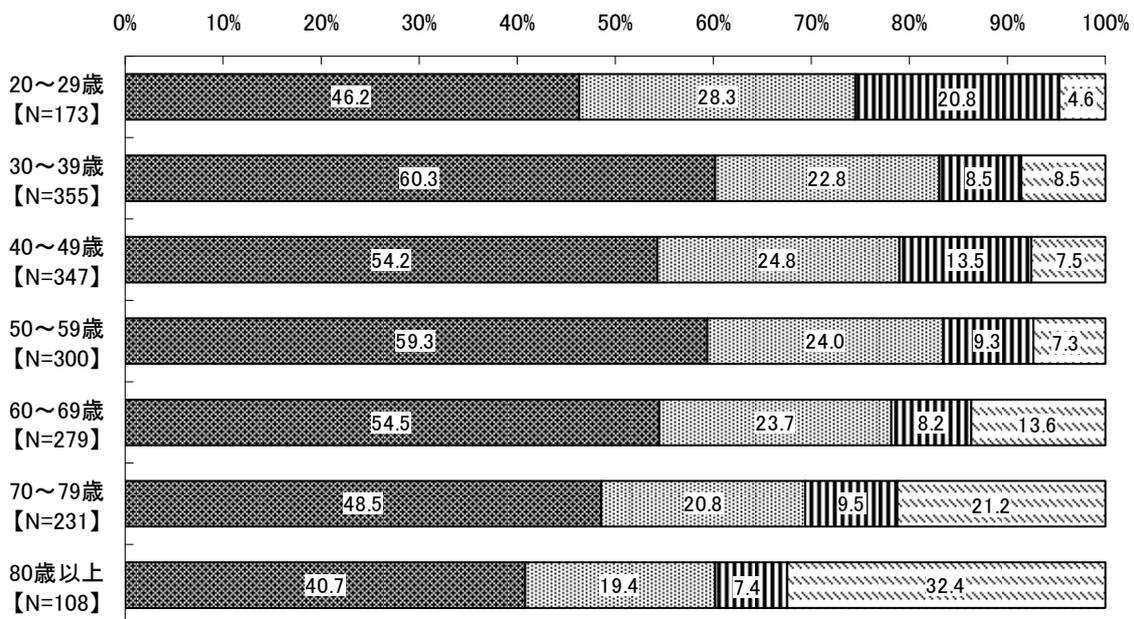
g. 保健・医療・福祉の連携

年齢別では、「もっと力を入れて欲しい」は30歳代から60歳代が市全体を超えており、30～39歳が60.3%と最も多い。また、80歳以上が40.7%と最も少なく、次いで20～29歳が46.2%となっている

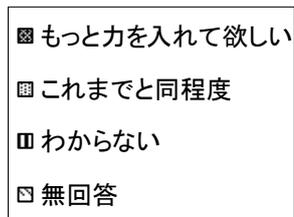
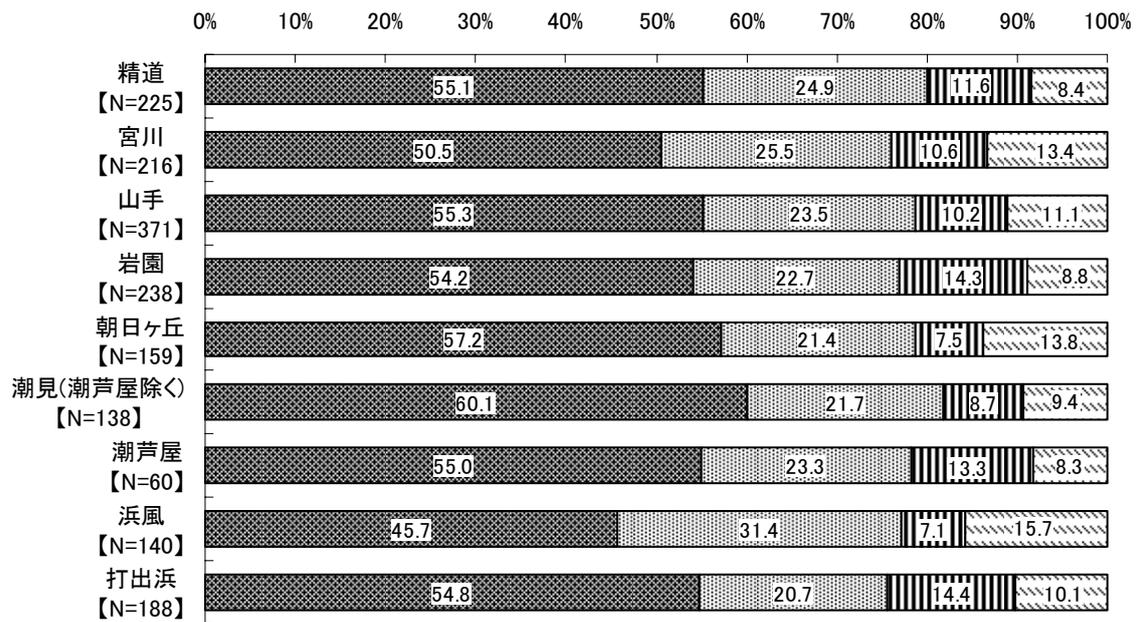
居住地別では、「もっと力を入れて欲しい」は浜風地区を除くすべての居住地で5割を超えており、潮見(潮芦屋除く)が60.1%と最も多い。浜風地区は45.7%と最も少なく、「これまでと同程度」は31.4%とこの居住地だけが3割を超えている。

家族構成別では、「もっと力を入れて欲しい」は「自分だけ」が44.6%と最も少なく、その他の家族構成は5割を超えている。

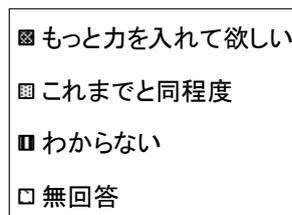
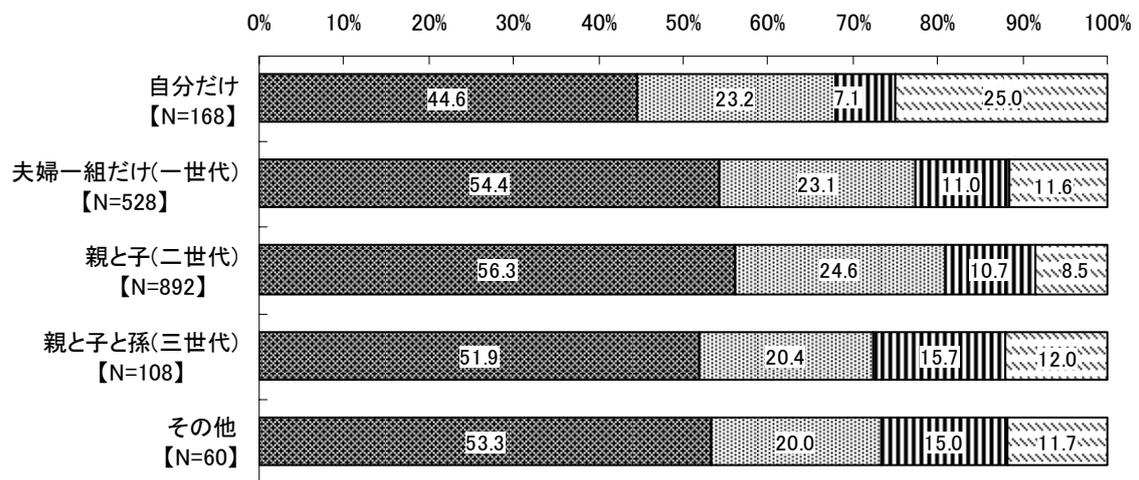
年齢別



居住地別



家族構成別



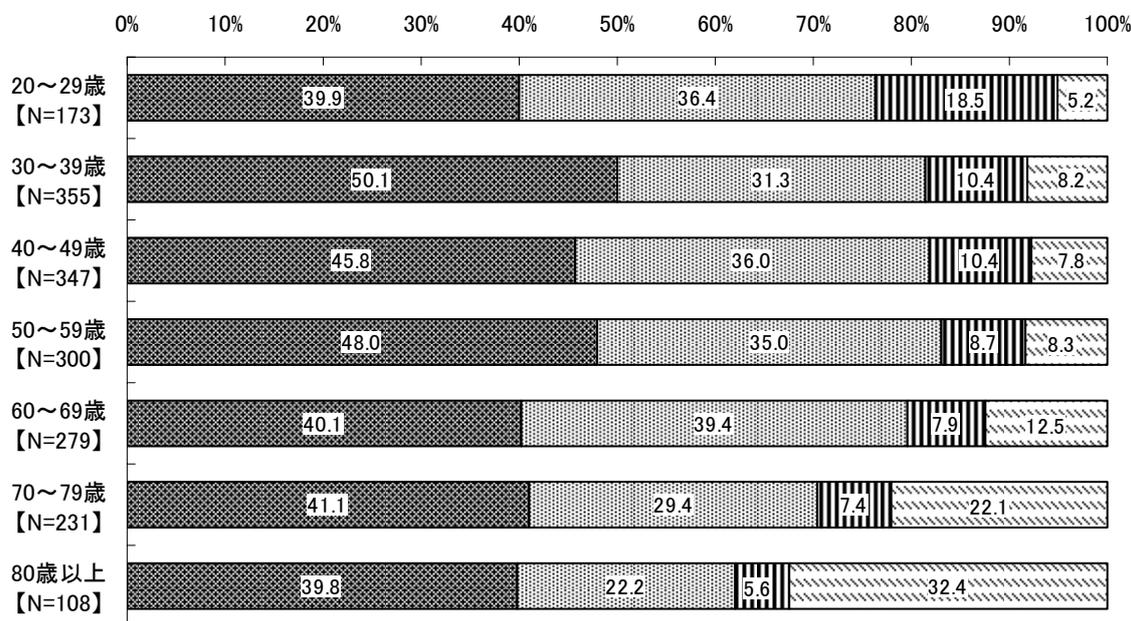
b. 安全と防災の確保

年齢別では、「もっと力を入れて欲しい」は30歳代から50歳代が市全体を超えており、30～39歳が50.1%と最も多い。また、80歳以上が39.8%と最も少なく、次いで20～29歳が39.9%となっている。「これまでと同程度」は60～69歳が39.4%と最も多い。

居住地別では、潮芦屋地区、浜風地区を除くすべての居住地で「もっと力を入れて欲しい」と回答した人が多くなっている。山手地区が49.9%と最も多く、浜風地区は33.6%と最も少ない。潮芦屋地区、浜風地区は「もっと力を入れて欲しい」よりも「これまでと同程度」と回答した人が多く、潮芦屋地区は「これまでと同程度」が51.7%とこの地区のみ5割を超えている。

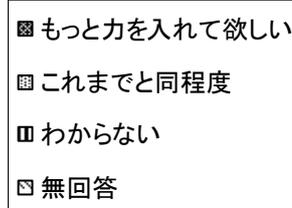
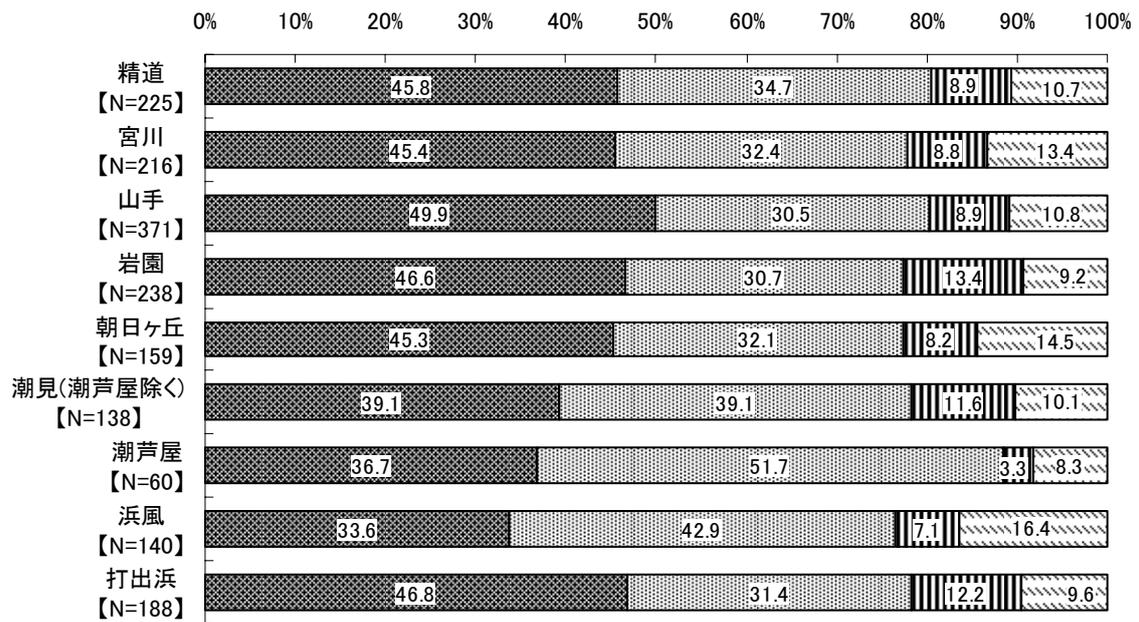
家族構成別では、「もっと力を入れて欲しい」は「自分だけ」が33.9%と最も少なく、その他の家族構成は4割を超えている。

年齢別

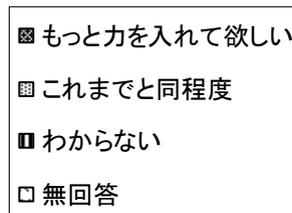
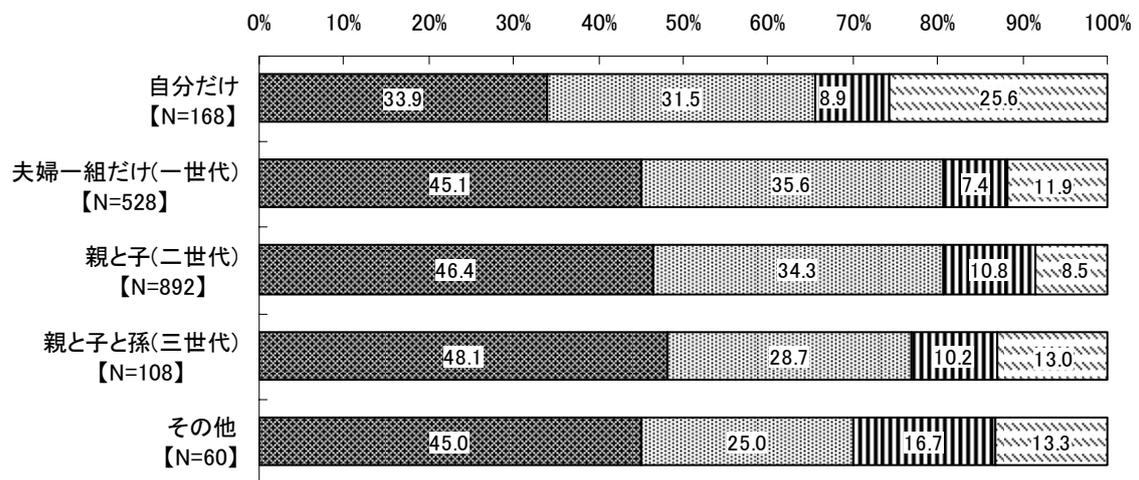


- もっと力を入れて欲しい
- これまでと同程度
- わからない
- 無回答

居住地別



家族構成別



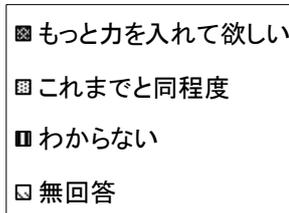
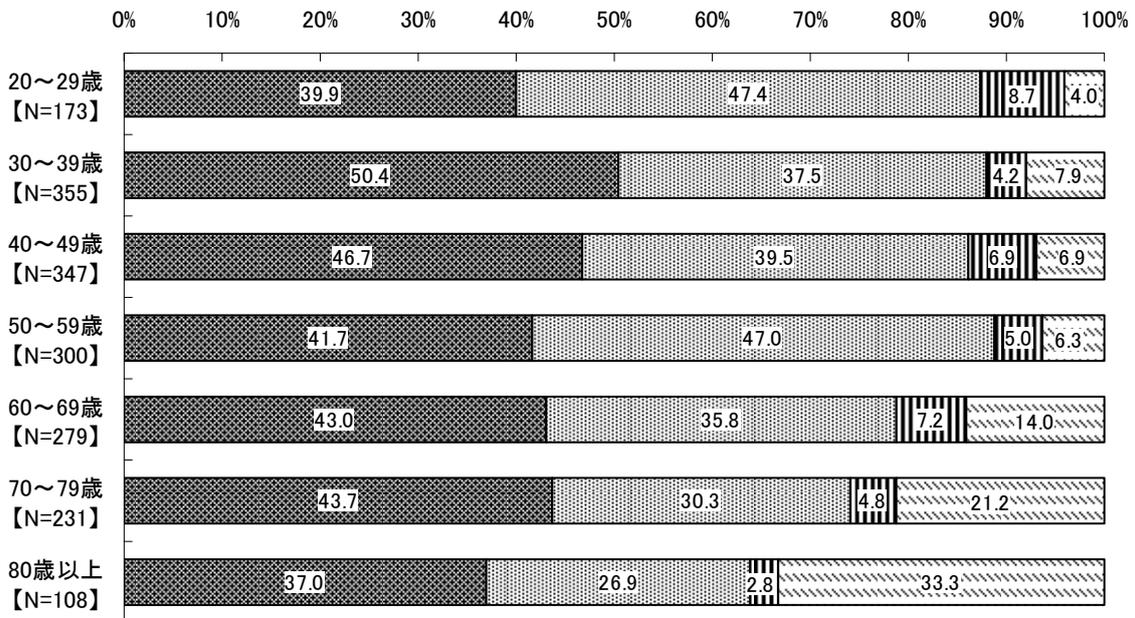
r.安全で快適な交通環境の整備

年齢別では、「もっと力を入れて欲しい」は30～39歳，40～49歳が市全体を超えており，30～39歳が50.4%と最も多い。また，80歳以上が37.0%と最も少なく，次いで20～29歳が39.9%となっている。また，20～29歳，50～59歳は，「もっと力を入れて欲しい」よりも「これまでと同程度」の回答が多く，20～29歳は47.4%，50～59歳は47.0%となっている。

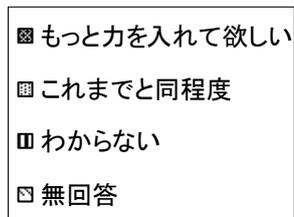
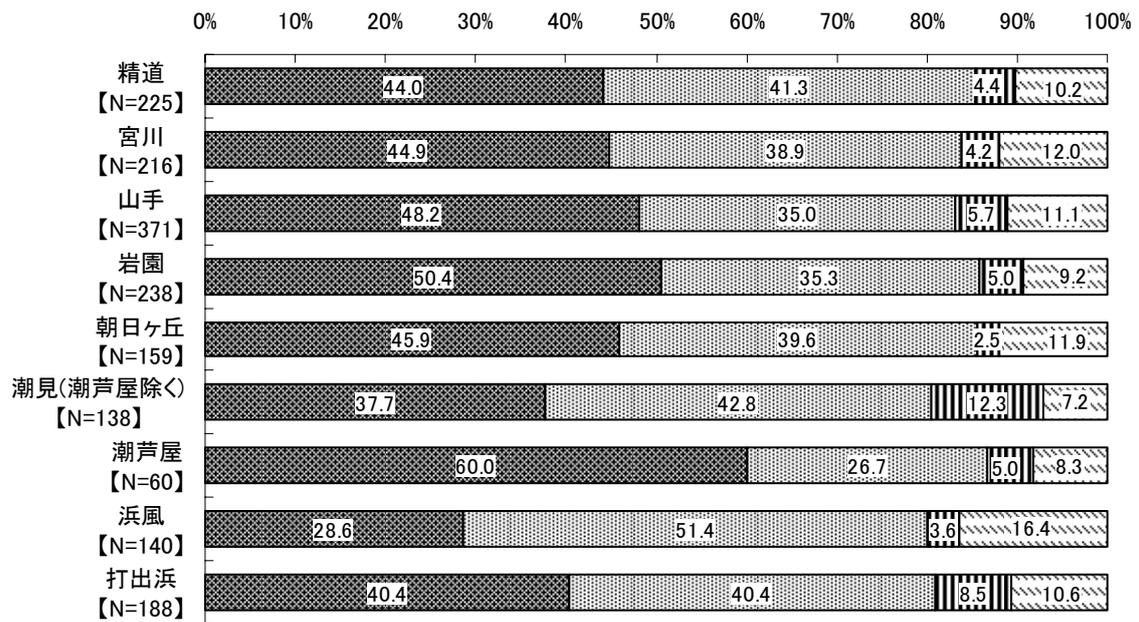
居住地別では，潮見（潮芦屋除く）地区，浜風地区を除くすべての居住地で「もっと力を入れて欲しい」と回答した人が多くなっている。潮芦屋地区が60.0%と最も多く，浜風地区は28.6%と最も少ない。潮見（潮芦屋除く）地区，浜風地区は「もっと力を入れて欲しい」よりも「これまでと同程度」と回答した人が多く，浜風地区は「これまでと同程度」が51.4%とこの居住地だけが5割を超えている。

家族構成別では，「もっと力を入れて欲しい」は「その他」が35.0%と最も少なく，次いで「自分だけ」が36.9%となっている。その他の家族構成は4割を超えている。

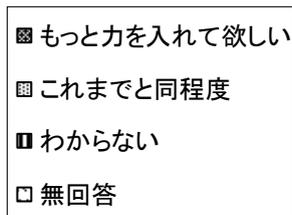
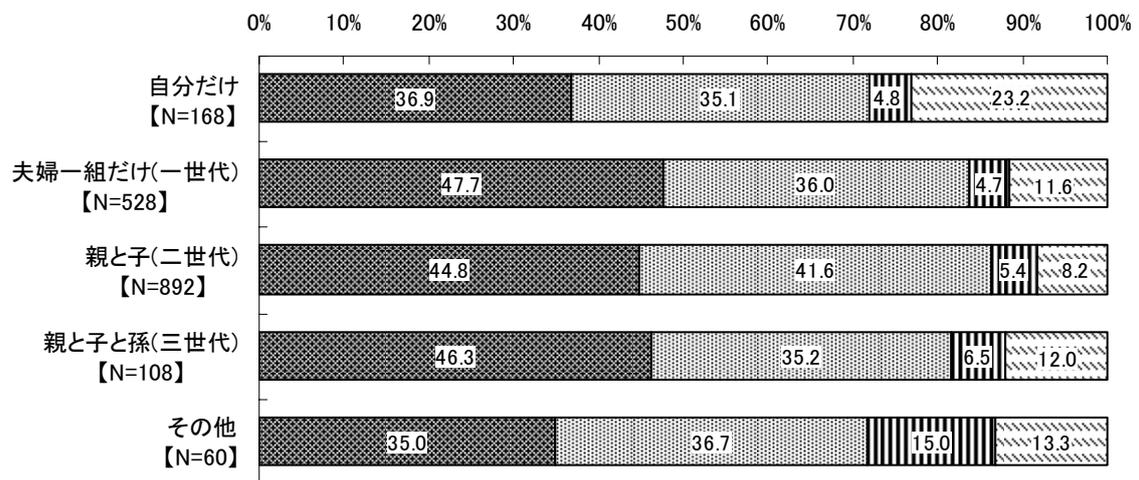
年齢別



居住地別



家族構成別



問 13. 取り組みへの意見

< 生活環境 >

地域活動への支援（3件）

- ・高齢者に集会所を解放して欲しい。
- ・車の入らない市民の集まれる広場が欲しい。

安全と防災の確保（30件）

- ・治安の維持強化。防犯対策，パトロールの強化など。
- ・街灯を増やして欲しい。
- ・災害時危険箇所などの防災対策。（奥池までの山道など）
- ・食の安全強化。

環境を大切にす取り組み（21件）

- ・43号線や阪神高速の防音，公害対策
- ・公道の美化（タバコやゴミのポイ捨て対策）
- ・川や海の美化。自然の復活，野生動物の保護。
- ・ペットの糞尿処理についてのルール徹底
- ・ゴミの分別回収・回収回数の見直し
- ・春秋のクリーン作戦をもっと充実したほうが良い。回数を増やす，雨天中止をやめて予備日を設けるなど。
- ・環境や人に優しい取り組みのための市民意識の掘り起こし
- ・芦屋浜，潮芦屋地区などの異臭対策
- ・景観だけでなく本当の自然がある芦屋独自のまちづくりを。

地域特性を生かした産業の振興（8件）

- ・企業誘致など。住環境に近い働き口を創出する。
- ・交通利便性を生かして，サービス系企業の誘致を。
- ・南芦屋浜に大型ショッピングモールを作って欲しい。
- ・山手幹線沿いに特色ある小規模小売店・飲食店の誘致と集積を。植栽をほどこし，表参道のように世界から若者が集まってくる街づくりを。

< 保健・医療・福祉 >

保健・医療・福祉の連携（4件）

- ・市立芦屋病院，南芦屋病院の機能充実。
- ・芦屋の地域医療制度の充実。
- ・市内に救急医療施設を設けて欲しい。

ともに助け合う地域福祉の推進（1件）

- ・子育て中の方，年配の方など，いろいろな年齢の人が理解しあえる場があれば。

高齢者の自立への支援（13件）

- ・高齢者のための医療福祉サービスに力を入れて欲しい。
- ・キャリアのある高齢者を人材として生かすシステムづくり。

子育て支援（19件）

- ・子育てのしやすい環境作りを。
- ・子供が安心して遊べる公園の整備。
- ・子育てセンターは乳幼児の遊ぶところなので，幼稚園・小学生向けの遊べる施設を作って欲しい。
- ・保育所，学童保育などの確保・機能充実
- ・乳幼児に対する医療助成の拡大

障がいのある人の生活と社会参加への支援（3件）

- ・障がいのある人が自由に散策できる通路や空間の確保
- ・障がいのある人を等級で判断するのではなく，それぞれ自分らしさを発揮できる施設づくりを。

経済的困窮者への支援（1件）

- ・経済的困窮者への支援

<教育・文化>

学校教育と教育施設の充実（14件）

- ・公立校の学力向上。
- ・公立校での読み聞かせなど，地域ボランティア制度の推進
- ・教育施設の改善整備（学校のトイレが汚い）
- ・食育に力を入れて欲しい。
- ・南芦屋浜地区への小学校の増設

文化・芸術・スポーツなどの活動への支援（4件）

- ・図書館の充実
- ・市民が中心になって取り組めるような文化・環境事業を

国内・国際交流の促進（1件）

- ・外国の人がもっと住みやすくなるよう，国際交流を

< 都市基盤 >

住宅都市にふさわしいまちづくり（25件）

- ・住宅都市にふさわしいまちづくりを。
- ・マンション・狭小住宅の規制およびルール作り
- ・公園の充実，管理の徹底。ベンチを設置して欲しい。

安全で快適な交通環境の整備（54件）

- ・自転車マナーの向上。自転車専用道路を。
- ・交通機関（特にバス）の利便向上。
- ・マンションの建設許可するときゴミ収集車・宅配便者の一時停車スペースをつくるよう義務付けてはどうか。
- ・自転車も人も安心して歩ける歩道の整備。街路樹の管理。
- ・南浜での信号設置。事故が多発している。
- ・奥池への道路整備。災害があったときに不安に思う。奥池住民の芦有ドライブウェイ無料化。

上下水道などの整備（5件）

- ・六麓荘町の下水道工事の不備，道路行政の遅れを改善して欲しい。住民への工事代金負担は理解できない。
- ・下水道のふたが曲がって開かないままになっている。土がいっぱい夏には臭いの原因になっている。
- ・転居してきて蚊の多さにびっくりしている。雨水処理はどのようになっているのか。

景観の美しいまちづくり（23件）

- ・電柱の埋設化
- ・街づくりにコンクリート，アスファルトを使わないで木・石・土などの自然材を利用してはどうか。
- ・高層ビル・マンションなどを規制し，美しい六甲山や海の眺望を守って欲しい。
- ・地域景観などにもっと住民の意見を取り入れて欲しい。
- ・芦屋川と芦屋浜の美化，整備。

< 行政 >

市民参画と協働の推進（6件）

- ・市政に関する取り組みを知る機会がない。広報の充実・拡大を。携帯やWEBで配信してはどうか。
- ・もう少し市民の声をきくチャンスが多くなるようにして欲しい。

効率的な市役所づくり（20件）

- ・南部に市役所の支所を作って欲しい。
- ・財政の改善・再建。
- ・市役所の効率化と人件費の削減（職員，議員）
- ・市民税を安くして欲しい。

<その他>（11件）

- ・地域格差の解消（阪神以南と以北）
- ・若者～中高年層の人口増加対策を。
- ・活気のあるまちづくりを。

4 . 自由意見

< 環境・衛生 >

衛生・公害対策（15 件）

- ・ J R 芦屋駅前タクシーのアイドリングストップを実施するよう市から各社へ提唱して欲しい。
- ・ 犬の糞等をきびしく取り締まって欲しい。
- ・ 禁煙地域を増やして欲しい。
- ・ ポイ捨て条例の範囲を拡大して、取り締まりもきびしくして欲しい。
- ・ 公共墓地を拡張・新設して欲しい。

騒音（2 件）

- ・ 県立芦屋高校東側の南北道路で、阪神電鉄の高架が鉄骨むき出しのため車両通行時には轟音が発生するので、スピード調整などでなく構造的な改善をして欲しい。
- ・ 山手幹線開通後の車の騒音が心配。

< まちづくり・整備 >

公園・河川・浜（33 件）

- ・ 公園を増やして欲しい。
- ・ 芦屋川の管理（雑草の草刈など）。住民参加も呼びかけてはどうか。
- ・ 芦屋浜をきれいに整備して欲しい。
- ・ 空き地などにドッグランを作って欲しい。
- ・ 公園の利用マナー向上・照明の設置・芝生の整備など。
- ・ 総合公園で時々悪臭がするので何とかして欲しい。
朝日ヶ丘町 37 番地付近の川に架かる小さな鉄橋が著しく破損しており危険。

道路・交通安全（30 件）

- ・ 交差点など、標識や横断歩道の実効性のない場所、ミラーの不足等を改善して欲しい。
- ・ 芦屋川の西側（J R より北側）の歩道は狭すぎるしアスファルトが隆起していて実用的でない。
- ・ 歩道、自転車道路の充実。
- ・ 街路樹の剪定、根が張り出している箇所の歩道整備。
- ・ 危険防止のため、住宅地の道路わきの側溝にコンクリート蓋ができないか。
- ・ 以前閉鎖予定との看板が立っていた 2 号線の中央分離帯は事故が多く危険なので早く閉鎖して欲しい。

違法駐車（13 件）

- ・ 茶屋之町さくら通りの路上駐車を何とかして欲しい。

- ・ J R 芦屋駅前の路上駐車・駐輪の取締りを強化して欲しい。
駐車場・駐輪場（10件）
- ・ 駐車場の整備（阪急芦屋川駅前）
- ・ 駐輪場の整備（阪急芦屋川駅前，J R 芦屋駅前）。無料で短時間駐輪できるスペースを。
- ・ J R 芦屋駅前のバイク置き場が無くて困っている。
- ・ 最近できた芦屋駐輪場は一定時間無料とあるが，市営か，コープデイズのものが運営者が不明なのではっきりして欲しい。

駅・交通機関（31件）

- ・ バスの本数を増やして欲しい。通勤通学時間帯，夜間，土日祝日のバスを増やして欲しい。最終の時間を遅らせて欲しい。
- ・ 三条町にバスを通して欲しい。J R 芦屋駅から山手幹線を通り J R 甲南山手駅・阪急夙川駅へと結ぶバス路線を増やして欲しい。
- ・ 市立芦屋病院までの交通アクセス（バス）の強化
- ・ 車椅子で一人でも乗れる駅の整備など交通バリアフリーの推進を。
- ・ 阪急の駅を増やして欲しい（岩園町付近）

<教育・福祉など>

学校教育（9件）

- ・ 南浜町，潮芦屋に小学校が欲しい。
- ・ 中・高等学校の教育の充実・レベルアップ，教育施設の充実

生涯教育・施設（15件）

- ・ 海浜プールの午後の開館時間を見直して欲しい。17:30 まで閉館しているのに保護者なしでは 18:00 までしか利用できない。
- ・ 市民プールに刺青のある者の入場を制限していないと聞いた。ルール作りと係の再教育をすべき。

子育て支援（40件）

- ・ 放課後の学校校庭を開放して欲しい。
- ・ 雨の日でも安心して遊べる児童館などの整備を。
- ・ 子供が自由にのびのび遊べる場所を作って欲しい。
- ・ 学童保育の時間拡大
- ・ 保育施設の整備・充実を。地域ごとや駅周辺にもっと必要（潮芦屋地区，駅前など）
- ・ 待機児童の解消を。
- ・ 乳児サークルがあればいいなと思う。
- ・ 通学路の交通安全確保。

高齢者・障がい者福祉（18件）

- ・高齢者に優しいまちづくりを
- ・母が以前デイサービスに通っていたのに介護度を下げられ通えなくなった。こういうことはおかしいと思う。

保健・医療（29件）

- ・市立芦屋病院の機能充実と再構築を。また場所（アクセス）が不便。
- ・今年から廃止になった市民健診を復活して欲しい。

<生活環境など>

防犯・防災（45件）

- ・街灯を増やして、夜道を明るくして欲しい。
- ・子供の安全を含む地域のパトロールを継続して欲しい。
- ・ひたたくりや空き巣が増えているので防犯対策を。

緑などの自然（14件）

- ・緑と花がたくさんのもちにして欲しい。
- ・豊かな自然環境を次世代まで守り続けて欲しい。

住環境・景観（32件）

- ・すばらしい景観・住環境を今後も守って欲しい。
- ・芦屋市独自の建築規制によってマンションの乱立を防ぐべき。
- ・潮芦屋の住環境を整備して、もっと活気ある町にして欲しい。
- ・電線の埋設化，看板・広告・照明・建築物の色などへの規制。

商業施設等（8件）

- ・ショッピングモールやスーパー，飲食店，コンビニなどを増やして欲しい（特に南芦屋浜）。
- ・JR駅前に商業施設や銀行が集まりすぎていて不便。

芦屋らしさ・イメージ（8件）

- ・「高級住宅地」以外のイメージでも芦屋市をアピールできるようにした方が良い。
- ・市と市民双方が一体となって，芦屋ならではのまちづくりを進めていくべき。

地域活動・つきあい・集会所（7件）

- ・若い世代がコミュニケーションを取れるような環境づくりが必要。
- ・市民の憩いの場が少ない。
- ・市民農園の場を提供して欲しい。

< 行政全般，他 >

財政・経費削減・公共事業（34件）

- ・ J R 芦屋南地区の再開発計画の早期決着，駅前広場の確保。
- ・ 税金が高い（市民税，固定資産税など）
- ・ 歳出カットなど，市財政のコスト意識を高めて欲しい。
- ・ 公営賃貸住宅を増やして欲しい。
- ・ 上下水道の料金が高すぎる。水質があまり良くないと感じる。下水道がにおう。
- ・ スポーツに対するの支援を増やして欲しい。
- ・ 生活保護・母子手当受給者への審査が甘い。
- ・ 市などが所有する土地建物の現在使用者の資格を確認し，違反者への指導を行って欲しい。
- ・ 部分的に豪華にするのではなく，まんべんなく街全体をきれいにしたい。地域によって偏りがある。

議会・職員等（22件）

- ・ 市会議員・市職員の削減。
- ・ 市職員の対応・服装の改善。
- ・ 市立教育施設の用務員は市職員ではなくパート・アルバイトで十分。

行政サービス（9件）

- ・ インターネットで各種申請ができるようになればよい。
- ・ 市役所のお困りです課は大変役立っている。
- ・ 労働相談の時間帯を，職場を休まずに行ける時間帯にして欲しい。
- ・ 市役所のある課の電話番号に誤って個人宅のものが記載されている。確認を。

情報提供（15件）

- ・ せっかく良い取り組みをしても市民へ伝わる情報量が少ない。市政が市民にわかる情報発信を，よりわかりやすく，色々な方法でして欲しい。

その他（18件）

- ・ 明るく活気のある町にして欲しい。
- ・ 住みやすく大好き。今後もより良い芦屋のまちづくりをお願いしたい。
- ・ マナーのある人間の育つ町になって欲しい。

アンケート・意見受け入れ（6件）

- ・ 工事等をする前に地域住民にアンケートをするなど細かな情報収集をするべき。
- ・ 市長や議員との意見交換会や討論会を開いて欲しい。
- ・ 投書以外に意見を聞いてもらえる仕組みづくりを。
- ・ 「市民が危険に感じている場所」を市役所の方に容易に伝えられる窓口とその存在の広報があれば良いと思う。ホームページやメールからであれば，地図や図を

示せて良いと思う。

付録 アンケート調査票

「 芦屋市市民アンケート調査 」

< 調査へのご協力をお願い >

市民の皆様におかれましては、日ごろから市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市では、10年間のまちづくりの基本として平成13年度にスタートした第3次芦屋市総合計画が、現在8年目を迎えています。

このたび、現在の生活環境、地域活動、芦屋市政に対する市民の皆様の意識や関心等をお聞きするアンケート調査のため、市内にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた3,000人を対象に調査用紙を送付させていただいております。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、ご回答された方にご迷惑をおかけするようなことはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年10月
芦屋市

< ご記入にあたってのお願い >

1. お答えは、**郵送させていただいた宛名のご本人**が、この調査票に直接ご記入ください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
3. お答えは、あてはまる番号を選んで○をつけてください。
また、記述を必要とする箇所は、文章でご記入ください。
4. ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)に入れて

10月22日(水)までにご投函ください。

5. この調査資料の利用にあたっては、芦屋市個人情報保護条例の規定に基づき、適正に行います。また、調査内容については、この統計以外の目的に使用することはありません(集計後は、責任を持って調査用紙等を廃棄します)。

お問い合わせは、市役所 総務部行政経営課まで
担当：山内，上田，米原
電 話 0797-38-2005 (直通)
F A X 0797-31-4841

芦屋市市民アンケート調査票

- ・回答にあたっては、「1つだけ」、「3つ以内」、「いくつでも」などの表記に従って、該当する番号に 印を付けてください。
- ・その他（具体的に：_____）には文章でお書きください。

地域の住み心地についてお伺いします。

問1 あなたは、今お住まいになっている地域（町，学区など）を住みよいところだと思いますか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. かなり住みよい | 4. かなり住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問2 あなたは、お住まいになっている地域の生活環境について、どのように感じておられますか。
a～pの項目ごとに、1から5の数字を **1つだけ**選んで 印を付けてください。

		かなり良い	やや良い	普通	やや悪い	かなり悪い
安全・安心	a 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性	1.	2.	3.	4.	5.
	b 子どもが外で遊ぶときの安全性	1.	2.	3.	4.	5.
	c 通園・通学時の安全性	1.	2.	3.	4.	5.
	d 夜道の明るさなどの安全性	1.	2.	3.	4.	5.
	e 周辺道路の交通安全性	1.	2.	3.	4.	5.
	f 医院，病院等の医療機関の充足	1.	2.	3.	4.	5.
	g 休日や夜間の急病時の安心さ	1.	2.	3.	4.	5.
住環境	h 河川・海辺などの水辺の環境	1.	2.	3.	4.	5.
	i 緑などの自然の豊かさ	1.	2.	3.	4.	5.
	j まち並み等の景観の美しさ	1.	2.	3.	4.	5.
	k 公園・広場・緑地等の充足	1.	2.	3.	4.	5.
	l ごみやタバコ等の散乱状況	1.	2.	3.	4.	5.
	m 隣近所との付き合い	1.	2.	3.	4.	5.
生活利便	n 地域のコミュニティ活動の状況	1.	2.	3.	4.	5.
	o 日用品・食料品等の買物の便利さ	1.	2.	3.	4.	5.
	p 通勤・通学時の便利さ	1.	2.	3.	4.	5.

問3 あなたは、今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。

転勤等による移転予定の有無に関わらず、ご自身の気持ちとして該当するものを次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。

1. 永住したい	<input type="checkbox"/>	→	問4へ
2. 当分住み続けたい	<input type="checkbox"/>		
3. 移転したい(市内へ)	<input type="checkbox"/>	→	問5へ
4. 移転したい(市外へ)	<input type="checkbox"/>		
5. わからない	<input type="checkbox"/>	→	問6へ

問3で、「1. 永住したい」、「2. 当分住み続けたい」と答えた方に、お伺いします。

問4 住み続けたいと思われる理由を、次の中から**3つ以内**で選び 印を付けてください。

1. 芦屋らしさを感じられる
2. 地域イメージが良い
3. 豊かな自然環境に恵まれている
4. 歴史的な景観や伝統がある
5. 自分や家族の勤め先が芦屋市内である
6. 交通が便利である
7. 買い物や医療など日常生活に便利である
8. 住宅事情や住宅環境が良い
9. 物価や住居費が適当である
10. 学校などの教育環境に恵まれている
11. 集会所などのコミュニティ施設が充実している
12. 文化・スポーツ施設が充実している
13. 衛生環境が良い・近隣公害が少ない
14. 隣近所とのつきあいがよい
15. 長年、住み慣れている
16. 家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある
17. 特に理由はない
18. その他(具体的に: _____)

問6へお進みください。

問3で、「3. 移転したい(市内へ)」、「4. 移転したい(市外へ)」と答えた方にお伺いします。

問5 移転したいと思われる理由を、次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。

1. 芦屋らしさがなくなった
2. 地域イメージが良くない
3. 自然環境に恵まれていない
4. 歴史的な景観や伝統が乏しい
5. 働く場所がない
6. 交通が不便である
7. 買い物や医療など日常生活に不便である
8. 住宅事情や住宅環境が悪い
9. 物価や住居費の負担が大きい
10. 学校などの教育環境が良くない
11. 集会所などのコミュニティ施設が整っていない
12. 文化・スポーツ施設が充実していない
13. 衛生環境が悪い・近隣公害がある
14. 隣近所とのつきあいが悪い
15. 住み慣れていない(近年、引っ越してきたばかりである)
16. 家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある
17. 特に理由はない
18. その他(具体的に: _____)

問6へお進みください。

問6 芦屋市外に移転の予定がありますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

- | | | |
|----------------|--------------------------|-----------|
| 1. 移転予定がある | <input type="checkbox"/> | → 問6 - 1へ |
| 2. 将来移転の可能性はある | <input type="checkbox"/> | |
| 3. 移転予定がない | <input type="checkbox"/> | → 問7へ |

問6 - 1 移転の主な理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

1. 転勤のため
2. 介護のため
3. 家を継ぐため
4. その他の理由(具体的に: _____)

地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについてお伺いします。

問7 あなたは、芦屋市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. かなり関心がある | 4. まったく関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 5. わからない |
| 3. あまり関心がない | |

問8 あなたは、地域内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. かなり関心がある | 4. まったく関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 5. わからない |
| 3. あまり関心がない | |

問9 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 日ごろから親しくしている | 3. あいさつをする程度 |
| 2. 立ち話をする程度 | 4. ほとんどつきあいがいい |

問10 あなたは、お住まいの地域で、地域活動の機会があれば参加しますか。次の中から **1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | | | |
|-----------------------------|---|----------|
| 1. 現在、参加しており、今後も参加したい | } | → 問10 1へ |
| 2. 現在、参加しているが、今後は参加したくない | | |
| 3. 以前、参加したことがあり、今後も参加したい | | |
| 4. 以前、参加したことがあるが、今後は参加したくない | } | → 問10 2へ |
| 5. これまで参加したことはないが、今後は参加したい | | |
| 6. これまで参加したことがなく、今後は参加したくない | → | 問10 3へ |

問 10 - 1 どんな地域活動に参加していますか、または参加していましたか。次の中から**いくつでも**選んで 印を付けてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 . 防災活動 | 7 . 交通安全活動 |
| 2 . 防犯活動 | 8 . スポーツ・リクリエーション活動 |
| 3 . 公園や道路の清掃活動 | 9 . リサイクルなどの環境活動 |
| 4 . 緑化や園芸活動 | 10 . まつりなどの交流行事 |
| 5 . 子育て支援活動 | 11 . その他 (_____) |
| 6 . 障がい者や高齢者の生活支援 | |

問 10-2 または 問 10-3 へお進みください。

問 10 で「参加したい」(回答番号 1 . 3 . 5 .) と回答された方にお伺いします。

問 10 - 2 どのようなテーマであれば参加したいと思いますか。次の中から**3つ以内**で選び 印を付けてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 . 防災活動 | 7 . 交通安全活動 |
| 2 . 防犯活動 | 8 . スポーツ・リクリエーション活動 |
| 3 . 公園や道路の清掃活動 | 9 . リサイクルなどの環境活動 |
| 4 . 緑化や園芸活動 | 10 . まつりなどの交流行事 |
| 5 . 子育て支援活動 | 11 . その他 (_____) |
| 6 . 障がい者や高齢者の生活支援 | |

問 11 へお進みください。

問 10 で「参加したくない」(回答番号 2 . 4 . 6 .) と回答された方にお伺いします。

問 10 - 3 参加したくない主な理由は何ですか。次の中から**1つだけ**選んで 印を付けてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 . 地域の活動に関心がない |
| 2 . 時間的にゆとりがない |
| 3 . 体力的にゆとりがない |
| 4 . 人間関係がわずらわしい |
| 5 . その他 (具体的に : _____) |

芦屋市政へのお考えについてお伺いします。

問 11 あなたは、市の行政についてどの程度関心がありますか。次の中から**1つだけ**選んで印を付けてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1．かなり関心がある | 4．全く関心がない |
| 2．ある程度関心がある | 5．わからない |
| 3．あまり関心がない | |

問 12 あなたは、市の行政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から**いくつでも**選んで印を付けてください。

- | |
|--|
| 1．市が実施するアンケート調査で回答したい |
| 2．パブリックコメント（行政計画等を策定する過程での市民の意見募集）があれば意見等を述べたい |
| 3．市長や議員との懇談会などがあれば参加したい |
| 4．市民の自主的な集まりがあれば参加したい |
| 5．陳情・請願等により意見を述べたい |
| 6．市の審議会や委員会のようなものに委員として参加したい |
| 7．議員や専門家に任せる |
| 8．その他の方法（具体的に：_____） |
| 9．関心がない |

問 13 下記の a ~ v の各項目は、第 3 次芦屋市総合計画（まちづくりの指針として平成 13 年度にスタート）に基づく取り組みです。

あなたは、それぞれの取り組みについてどのような感想をお持ちですか。また、今後はどのような期待をお持ちですか。

a ~ v の各項目について、それぞれ数字を **1 つだけ**選んで 印を付けてください。

		現在までの取組 へのご感想				今後の取組 への期待		
		充分である	普通	不十分である	わからない	れて欲しい	もつと力を入れて 程度	これまでと同 わからない
生活環境	a 地域活動への支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	b 安全と防災の確保	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	c 環境を大切に取る取組	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	d 差別のない社会への取組	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	e 地域特性を生かした産業の振興	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	f 消費者保護の対策	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
保健・医療・福祉	g 保健・医療・福祉の連携	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	h 共に助け合う地域福祉の推進	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	i 高齢者の自立への支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	j 子育て支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	k 障がいのある人の生活と社会参加への支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	l 経済的困窮者への支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
教育・文化	m 学校教育と教育施設の充実	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	n 文化・芸術・スポーツなどの活動への支援	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	o 男女が対等に共同参画する社会づくり	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	p 国内・国際交流の促進	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
都市基盤	q 住宅都市にふさわしいまちづくり	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	r 安全で快適な交通環境の整備	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	s 上・下水道などの整備	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	t 景観の美しいまちづくり	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
行政	u 市民参画と協働の推進	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .
	v 効率的な市役所づくり	1 .	2 .	3 .	4 .	1 .	2 .	3 .

前ページの取り組み以外で、あなたが「今後取り組みが必要である」と思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

あなた自身のことについてお伺いします。

1 あなたが今、お住まいになっている町名は。

町

2 あなたは、今お住まいになっているところで何年住んでおられますか。
(一度転出して、また戻ってこられた場合は、戻ってこられてからの年数)

1. 3年未満	4. 10年以上 20年未満
2. 3年以上 5年未満	5. 20年以上 30年未満
3. 5年以上 10年未満	6. 30年以上

3 あなたは通算して、芦屋市に何年住んでおられますか。
(一度転出して、また戻ってこられた場合は、以前住んでいた年数も含める)

1. 3年未満	4. 10年以上 20年未満
2. 3年以上 5年未満	5. 20年以上 30年未満
3. 5年以上 10年未満	6. 30年以上

4 あなたは今、何人で住んでおられますか。(あなた自身も含めた人数)

1. 1人(自分だけ)	4. 4人
2. 2人	5. 5人
3. 3人	6. 6人以上

5 一緒に住んでいる方々はどのような構成になっていますか。

1. 自分だけ	4. 親と子と孫(三世代)
2. 夫婦一組だけ(一世代)	5. その他
3. 親と子(二世代)	

6 一緒に住んでいる方々のうち、次に該当する方はおられますか。(あてはまるものすべて)

1. 小学生以下(小学生含む)の児童	4. 左記にあてはまる人は一人もいない
2. 65歳以上の方	
3. 介護の必要な方	

7 あなたのお住まいの住宅形式は。

1. 持ち家(戸建て・長屋建)	5. 県営・市営・公団などの公営賃貸住宅
2. 持ち家(分譲マンション等)	6. 社宅・職員住宅
3. 民間の賃貸住宅(戸建て・長屋建)	7. その他
4. 民間の賃貸住宅(マンション等)	

8 あなたの年齢は。

1 . 20～29 歳	5 . 60～69 歳
2 . 30～39 歳	6 . 70～79 歳
3 . 40～49 歳	7 . 80 歳以上
4 . 50～59 歳	

9 あなたの性別は。

1 . 男性	2 . 女性
--------	--------

10 あなたのお仕事は。(兼業の方は主な仕事についてお答えください。)

1 . 営業主・会社経営	7 . 専業主婦・主夫
2 . 家業手伝い(農林漁業を含む)	8 . 学生
3 . 自由業(弁護士・開業医・個人教師等)	9 . 無職(年金生活者)
4 . 正社員・正職員などの常勤	10 . 無職(年金生活者を除く)
5 . 公務員	11 . その他
6 . 派遣職員・アルバイト・パートなど	

11 勤務または通学されている方にお伺いします。主な勤務先(または通学先)をお答えください。(働きながら通学されている方は、勤務先)

1 . 自宅(専業主婦・主夫・無職を除く)	6 . 大阪市を除く大阪府
2 . 市内	7 . 兵庫県, 大阪府以外の都道府県
3 . 神戸市	8 . 勤務(通学)していない, 専業主婦・主夫
4 . 芦屋市・神戸市を除く兵庫県	9 . その他
5 . 大阪市	

12 市政やまちづくりに対して、意見・要望などがありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。